

# 北区外国人意識・意向調査 報告書

【令和5年度】

令和6（2024）年3月





# 目次

第1章 調査概要.....	2
第2章 調査結果.....	5
I. 回答者の基本属性について.....	5
II. ことばについて.....	25
III. 暮らしについて.....	39
IV. 地震、台風等への対応について.....	73
V. 子育てや教育について.....	81
VI. 多文化共生社会について.....	95
VII. 北区の実施に対する評価.....	116
VIII. その他.....	131
【資料】北区民意識・意向調査との比較.....	150
【資料】調査票.....	151

## 第1章 調査概要

### 1. 調査の目的

「北区多文化共生指針」（平成30年7月策定）の改定にあたり、外国人区民の生活の実態や区に対する意見・要望を把握し、現状の分析や今後の多文化共生の推進に役立てることを目的としている。

### 2. 調査の設計

項目	内容										
調査地域	区内全域										
調査期間	令和5年11月6日（月）～11月30日（木）										
調査対象	北区在住の18歳以上の外国人区民										
標本数	2,000人 ※ 内訳は以下の通り <table border="1"><thead><tr><th>国籍・出身地</th><th>標本数</th></tr></thead><tbody><tr><td>中国または台湾</td><td>1,000人</td></tr><tr><td>韓国または朝鮮</td><td>200人</td></tr><tr><td>ベトナム</td><td>200人</td></tr><tr><td>その他</td><td>600人</td></tr></tbody></table>	国籍・出身地	標本数	中国または台湾	1,000人	韓国または朝鮮	200人	ベトナム	200人	その他	600人
国籍・出身地	標本数										
中国または台湾	1,000人										
韓国または朝鮮	200人										
ベトナム	200人										
その他	600人										
抽出方法	住民基本台帳から層化二段無作為抽出										
調査方法	調査票を郵送し、郵送またはWebにより回答（自記式） ※ 調査票は、日本語版調査票（ルビ付・やさしい日本語）と外国語版調査票（言語別）を作成し、調査対象者別に以下のとおり配布した。 <table border="1"><thead><tr><th>国籍・出身地</th><th>標本数</th></tr></thead><tbody><tr><td>中国または台湾</td><td>日本語版調査票 外国語版調査票（中国語）</td></tr><tr><td>韓国または朝鮮</td><td>日本語版調査票 外国語版調査票（韓国語）</td></tr><tr><td>ベトナム</td><td>日本語版調査票 外国語版調査票（ベトナム語）</td></tr><tr><td>その他</td><td>日本語版調査票 外国語版調査票（英語）</td></tr></tbody></table>	国籍・出身地	標本数	中国または台湾	日本語版調査票 外国語版調査票（中国語）	韓国または朝鮮	日本語版調査票 外国語版調査票（韓国語）	ベトナム	日本語版調査票 外国語版調査票（ベトナム語）	その他	日本語版調査票 外国語版調査票（英語）
国籍・出身地	標本数										
中国または台湾	日本語版調査票 外国語版調査票（中国語）										
韓国または朝鮮	日本語版調査票 外国語版調査票（韓国語）										
ベトナム	日本語版調査票 外国語版調査票（ベトナム語）										
その他	日本語版調査票 外国語版調査票（英語）										

### 3. 回収結果

発送数	回収数	有効回収率
2,000 件	697 件	34.9%

※ 回答方法別の内訳：郵送 442 件（63.4%）、Web 255 件（36.6%）

※ 回答言語別の内訳：

やさしい日本語 380 件（54.5%）、英語 110 件（15.8%）、

中国語（簡体字）154 件（22.1%）、韓国語 9 件（1.3%）、ベトナム語 44 件（6.3%）

### 4. 調査内容

<b>I 回答者の基本属性について</b>	
(1) 性別	(6) 北区での居住期間
(2) 年齢	(7) 居住地域
(3) 国籍または出身地	(8) 同居家族または同居人
(4) 在留資格	(9) 職業
(5) 日本での居住期間	
<b>II ことばについて</b>	
(1) 話すことができることば	(3) 日本語の学習方法
(2) 日本語能力の程度	
<b>III 暮らしについて</b>	
(1) 北区の良い点・悪い点	(5) 情報を得るときに一番使う SNS
(2) 北区で生活するうえでの困りごと	(6) 連絡を取るときに一番使う SNS
(3) 生活で困ったときの相談先	(7) 生活するうえで必要な情報
(4) 知りたい情報の入手方法	(8) 近隣住民とのトラブルの経験
<b>IV 地震、台風等への対応について</b>	
(1) 災害時の心配ごと	(3) 新型コロナウイルスによる困りごと
(2) 避難場所の認知度	
<b>V 子育てや教育について</b>	
(1) 15 歳以下の子供の有無	(4) 通っている小中学校
(2) 通園、通学の有無	(5) 学校での困りごと
(3) 保育園・幼稚園での困りごと	(6) 子育て上での困りごと
<b>VI 多文化共生社会について</b>	
(1) 近隣住民との付き合い	(4) 地域住民と生活するためにできること
(2) 地域活動への参加状況	(5) 日本人にしてほしいこと
(3) 地域活動への参加意向	
<b>VII 北区の取組に対する評価</b>	
(1) 北区が行っている取組の認知度	(3) 北区が行っている取組の重要度
(2) 北区が行っている取組の満足度	
<b>VIII その他</b>	
(1) 北区に必要な取組	(3) 自由意見
(2) 今後の北区への居住意向	

## 5. 調査結果の見方

- ① 図表中の“n”とは、各設問の回答者数をいう。
- ② 回答の比率（％）は n を基数として算出し、小数点以下第 2 位を四捨五入して、小数点以下第 1 位まで記載している。したがって、合計が 100%にならない場合がある。
- ③ 性別、年齢別等の基本属性の設問に無回答である対象者がいるため、各基本属性の回答者数の合計が全体の回答者数と一致していない場合がある。
- ④ 回答者数が 50 に満たないものについては、比率が上下しやすいため、図示するにとどめ、本文中では触れていない場合がある。
- ⑤ 本文中で百分率の比較をする際には、「ポイント」と表記している。
- ⑥ 本文、表、グラフは表記の都合上、選択肢の文言を一部簡略化している場合がある。
- ⑦ 統計数値を考察するにあたっての表現について、概ね以下のとおりとしている。

例	表現
百分率の比較をする際の差が 5 ポイント以上	やや高い、やや低い
百分率の比較をする際の差が 10 ポイント以上	高い、低い
百分率の比較をする際の差が 30 ポイント以上	非常に高い、非常に低い

## 第2章 調査結果

### I. 回答者の基本属性について

Q1 あなたの性別を教えてください。(チェック☑は1つだけ)

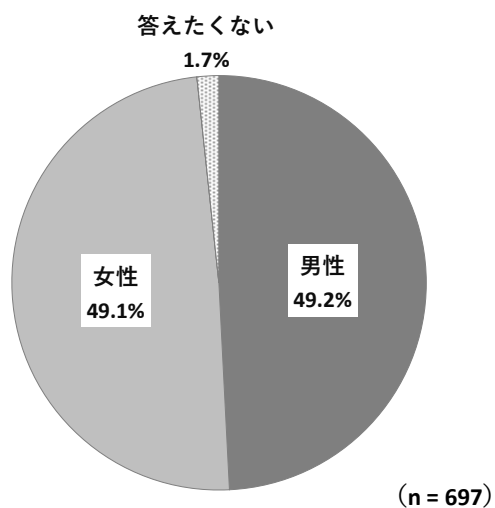


ポイント 男女の比率はほぼ同じ

「男性」は49.2%、「女性」は49.1%と、男女の比率はほぼ同じとなっている。

図表 I - 1

項目	回答者数	割合
全体	697	100.0%
男性	343	49.2%
女性	342	49.1%
どちらでもない	-	-
答えたくない	12	1.7%



Q2 あなたは何歳ですか。(チェック☑は1つだけ)

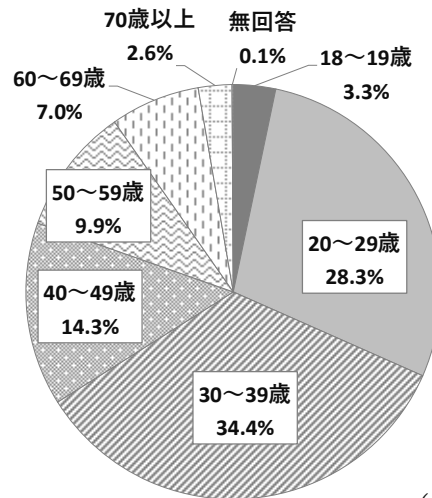


ポイント 20代から30代で6割以上を占める

「30～39歳」の割合が34.4%と最も高く、「20～29歳」(28.3%)、「40～49歳」(14.3%)と続いている。20代から30代で62.7%と、全体の6割以上を占める。

図表 I - 2

項目	回答者数	割合
全体	697	100.0%
18～19歳	23	3.3%
20～29歳	197	28.3%
30～39歳	240	34.4%
40～49歳	100	14.3%
50～59歳	69	9.9%
60～69歳	49	7.0%
70歳以上	18	2.6%
無回答	1	0.1%



(n = 697)



Q 3 あなたの国籍か出身地を教えてください。(チェック☑は1つだけ)

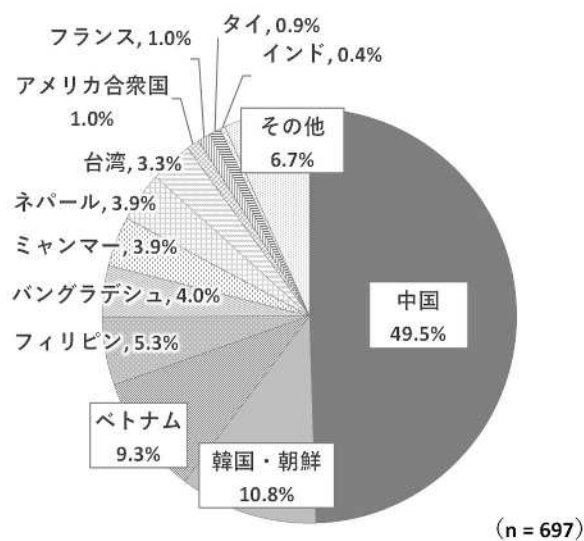


**ポイント** 中国がおよそ半数を占める

「中国」の割合が49.5%と最も高く、「韓国・朝鮮」(10.8%)、「ベトナム」(9.3%)と続いている。

図表 I - 3

項目	回答者数	割合
全体	697	100.0%
中国	345	49.5%
韓国・朝鮮	75	10.8%
ベトナム	65	9.3%
フィリピン	37	5.3%
バングラデシュ	28	4.0%
ミャンマー	27	3.9%
ネパール	27	3.9%
台湾	23	3.3%
アメリカ合衆国	7	1.0%
フランス	7	1.0%
タイ	6	0.9%
インド	3	0.4%
その他	47	6.7%



< 「その他」の国籍・出身地 >

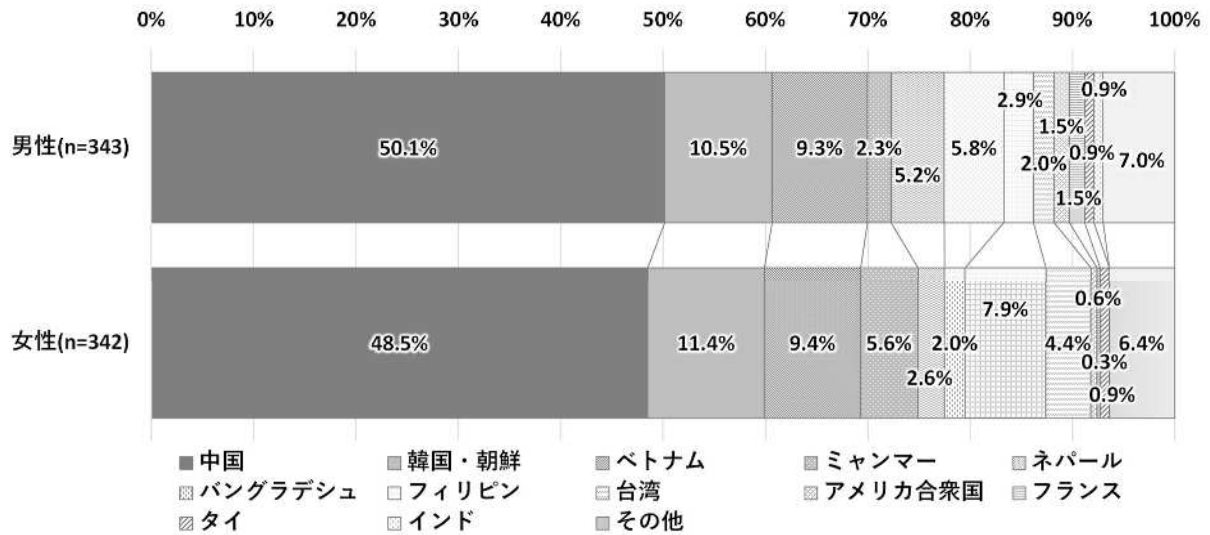
図表 I - 4

国籍・出身地	人数	国籍・出身地	人数
香港	6	オーストラリア	1
マレーシア	6	ウクライナ	1
インドネシア	4	英国	1
スペイン	4	シンガポール	1
ロシア	3	ベラルーシ	1
パキスタン	3	タンザニア	1
カナダ	2	イタリア	1
モンゴル	2	ボリビア	1
ニュージーランド	2	ドイツ	1
ブラジル	2	カンボジア	1
スリランカ	2	合計	47
ポーランド	1		

### 【男女別】

男女別では、国籍・出身地に大きな違いは見られない。

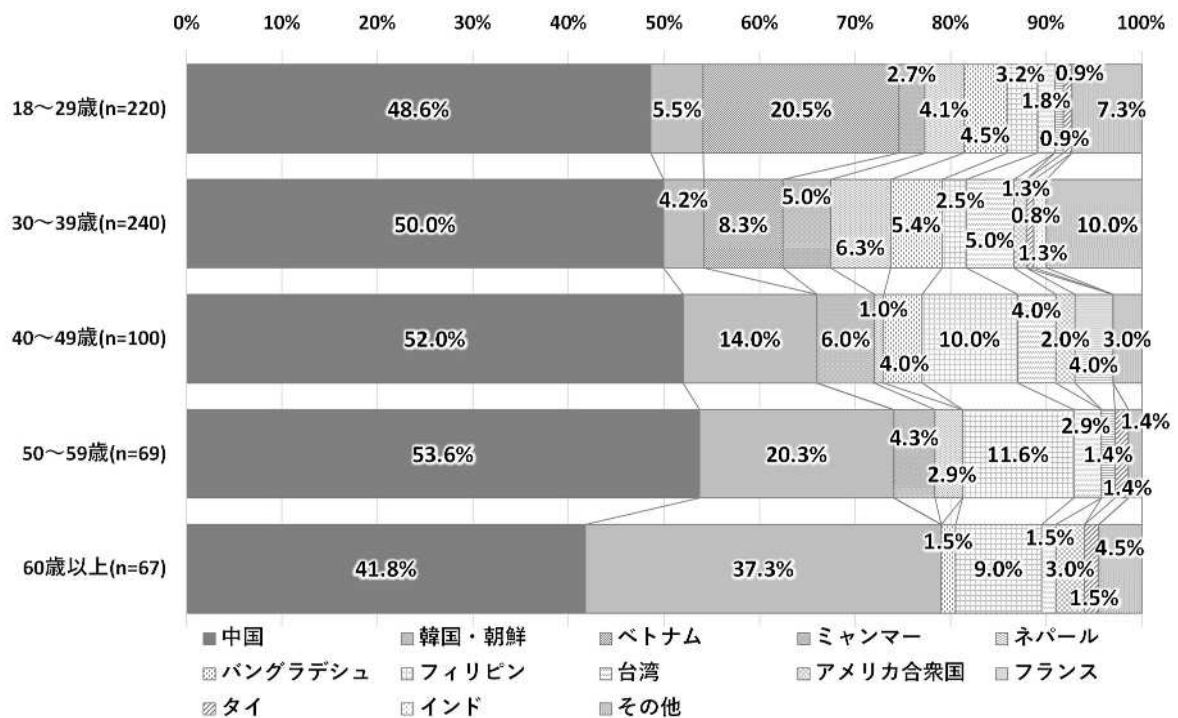
図表 I - 5



### 【年齢別】

40代以上において「韓国・朝鮮」の割合が比較的高く、年齢が上がるにつれてその割合も高くなっている。20代以下においては「ベトナム」の割合が20.5%と、他の年齢と比較して高い。

図表 I - 6



Q 4 あなたの在留資格を教えてください。(チェック☑は1つだけ)

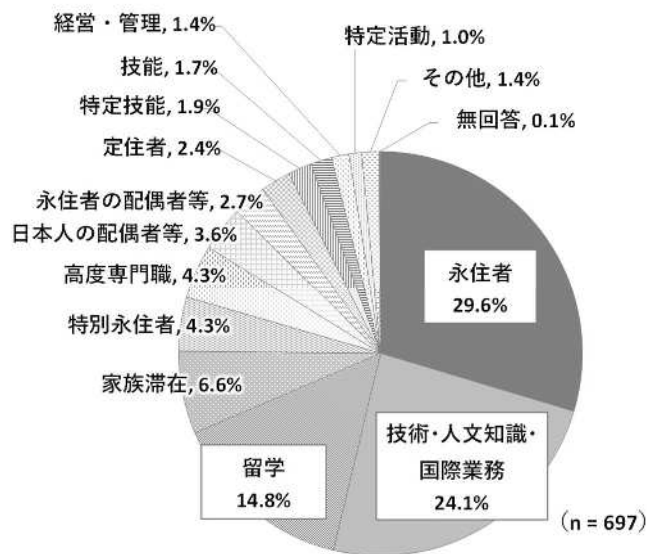


**ポイント** 「永住者」「留学」「技術・人文知識・国際業務」でおよそ7割を占める

「永住者」の割合が29.6%と最も高く、「技術・人文知識・国際業務」(24.1%)、「留学」(14.8%)と続いている。上位3つの在留資格の合計は68.5%と、全体のおよそ7割を占める。

図表 I - 7

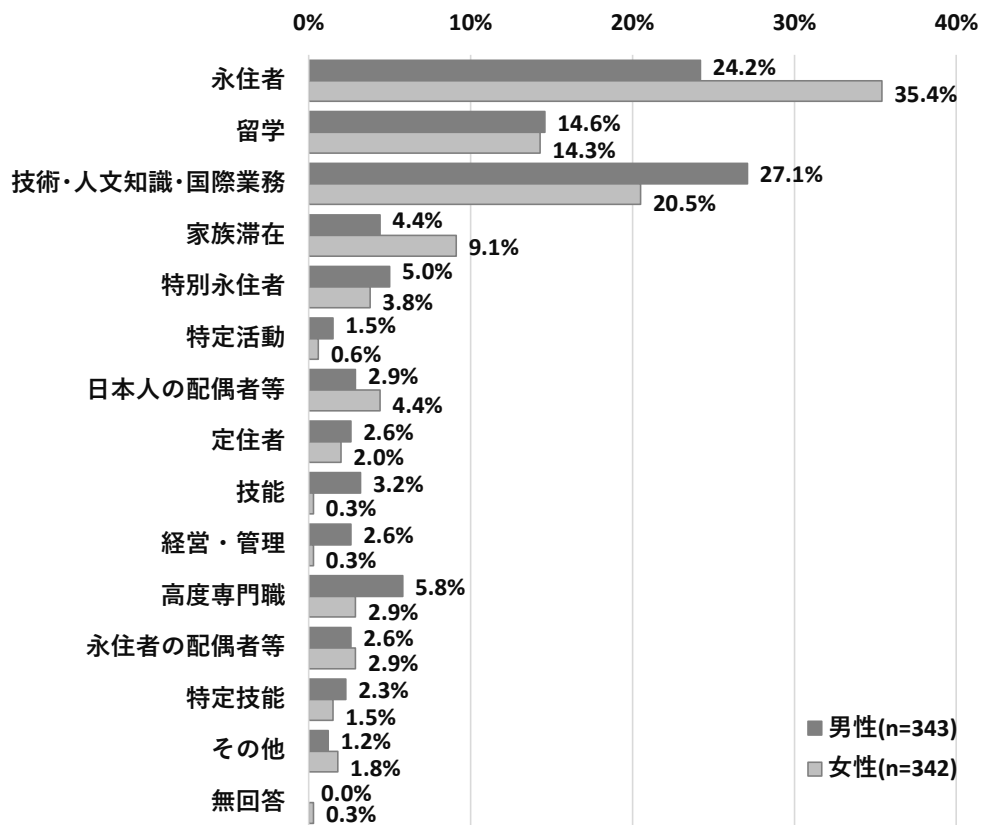
項目	回答者数	割合
全体	697	100.0%
永住者	206	29.6%
技術・人文知識・国際業務	168	24.1%
留学	103	14.8%
家族滞在	46	6.6%
特別永住者	30	4.3%
高度専門職	30	4.3%
日本人の配偶者等	25	3.6%
永住者の配偶者等	19	2.7%
定住者	17	2.4%
特定技能	13	1.9%
技能	12	1.7%
経営・管理	10	1.4%
特定活動	7	1.0%
その他	10	1.4%
無回答	1	0.1%



**【男女別】**

女性では「永住者」の割合が35.4%と、男性と比較して高い。男性では「技術・人文知識・国際業務」の割合が27.1%と、女性と比較してやや高い。

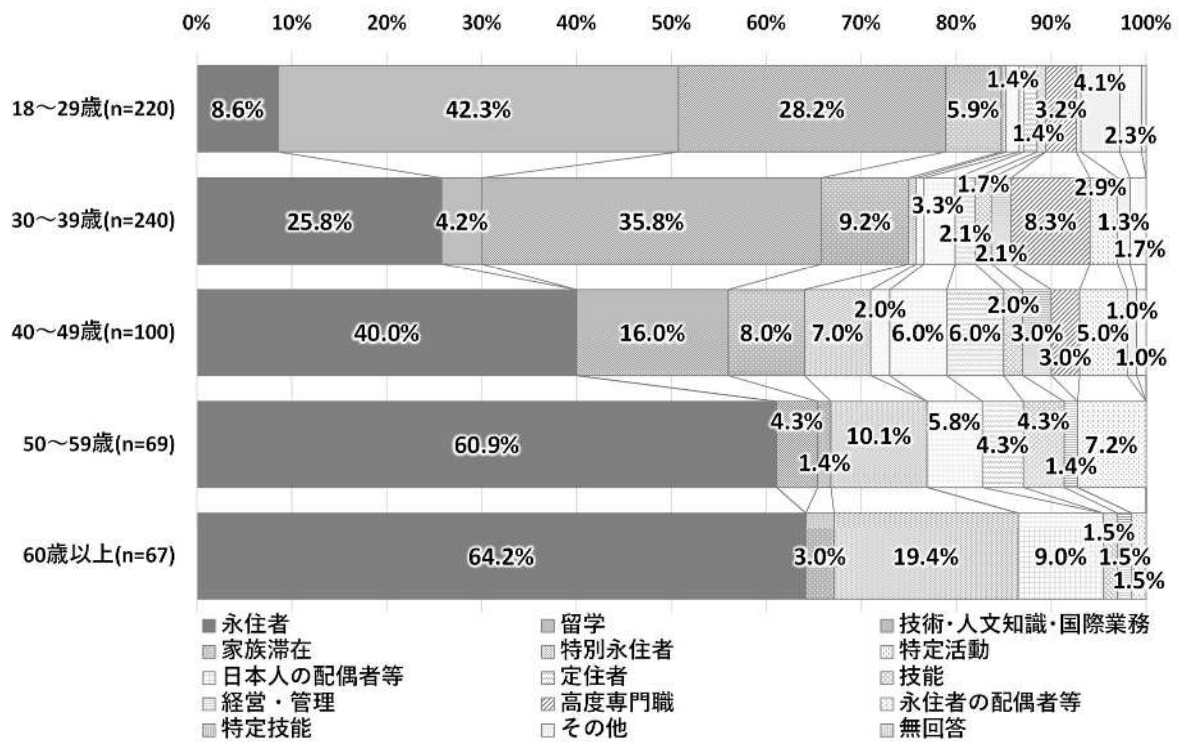
図表 I - 8



## 【年齢別】

年齢が上がるにつれて「永住者」及び「特別永住者」の割合が高くなっている。20代以下では「留学」の割合が42.3%と、他の年齢と比較して高い。40代以下において「技術・人文知識・国際業務」の割合が比較的高く、特に30代では35.8%を占める。

図表 I - 9

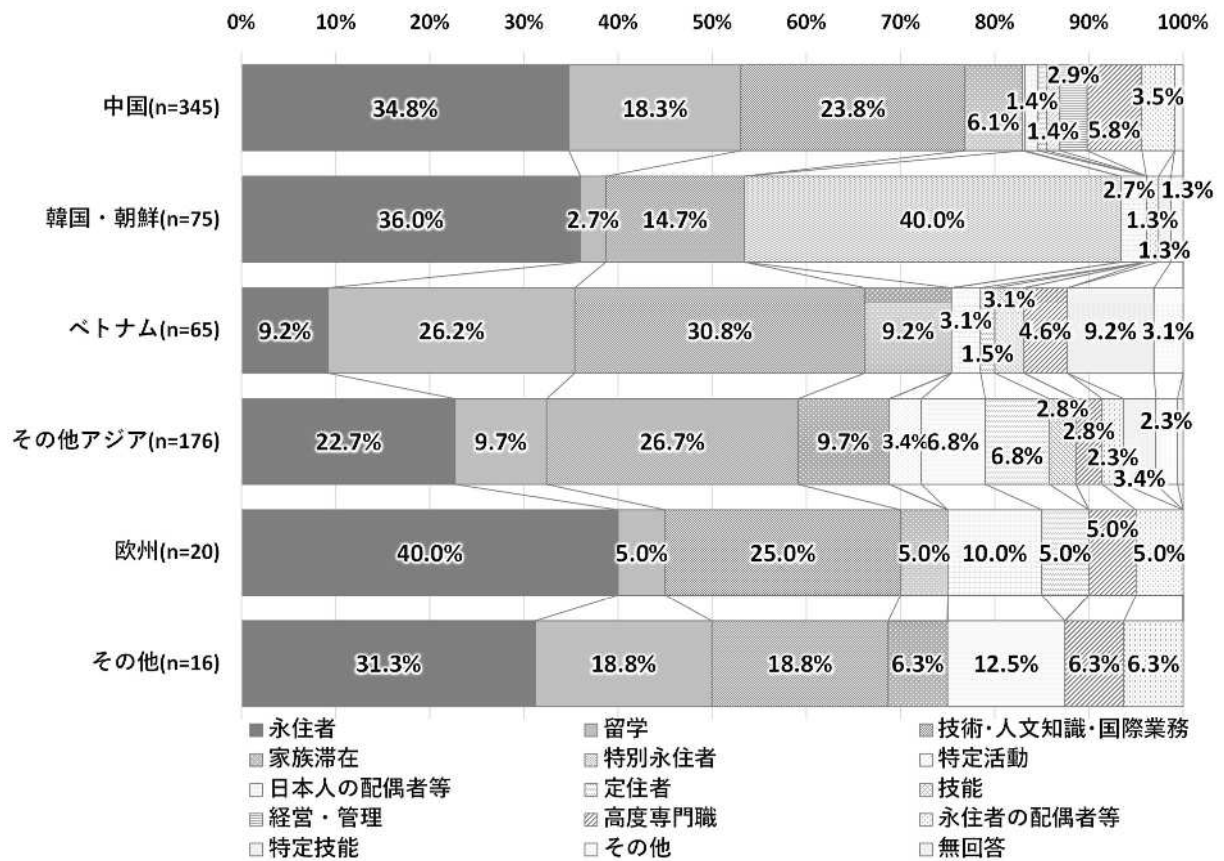


※1%未満のものはデータラベルを非表示にしている

### 【国籍・出身地別】

韓国・朝鮮では「特別永住者」の割合が40.0%と、他の国籍・出身地と比較して高い。ベトナムでは「留学」(26.2%)の割合が他の国籍・出身地と比較して高く、一方で「永住者」(9.2%)の割合が比較的低い。

図表 I - 10



※1%未満のものはデータラベルを非表示にしている

Q5-1 あなたは日本にどのくらい住んでいますか。(チェック☑は1つだけ)

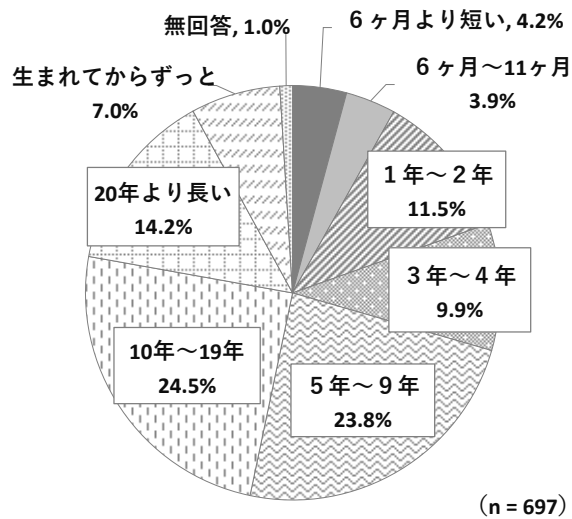


ポイント 「10～19年」の割合が最も高く、1年未満は1割に満たない

「10～19年」の割合が24.5%と最も高く、「5～9年」(23.8%)、「20年より長い」(14.2%)と続いている。

図表 I - 11

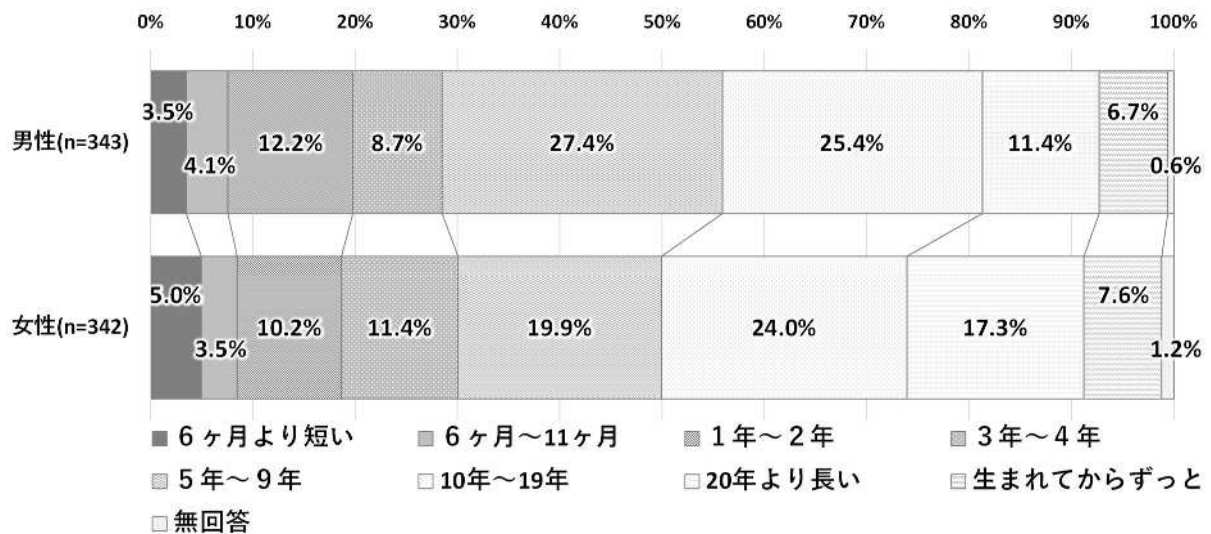
項目	回答者数	割合
全体	697	100.0%
6ヶ月より短い	29	4.2%
6ヶ月～11ヶ月	27	3.9%
1年～2年	80	11.5%
3年～4年	69	9.9%
5年～9年	166	23.8%
10年～19年	171	24.5%
20年より長い	99	14.2%
生まれてからずっと	49	7.0%
無回答	7	1.0%



【男女別】

男性では「5～9年」の割合が27.4%と、女性と比較してやや高い。

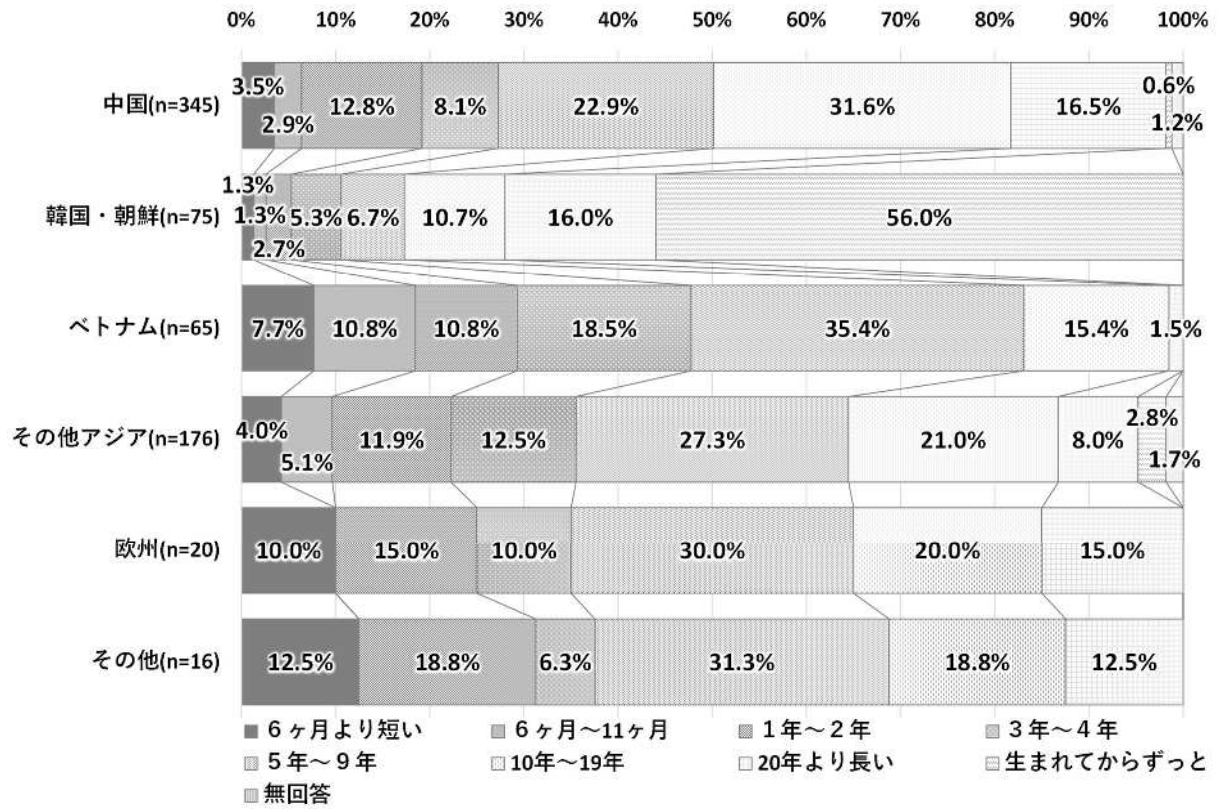
図表 I - 12



【国籍・出身地別】

韓国・朝鮮では「生まれてからずっと」の割合が56.0%と、他の国籍・出身地と比較して非常に高く、また他の国籍・出身地と比較して全体的に居住期間が長い。

図表 I - 13





Q5-2 あなたは北区にどのくらい住んでいますか。(チェック☑は1つだけ)

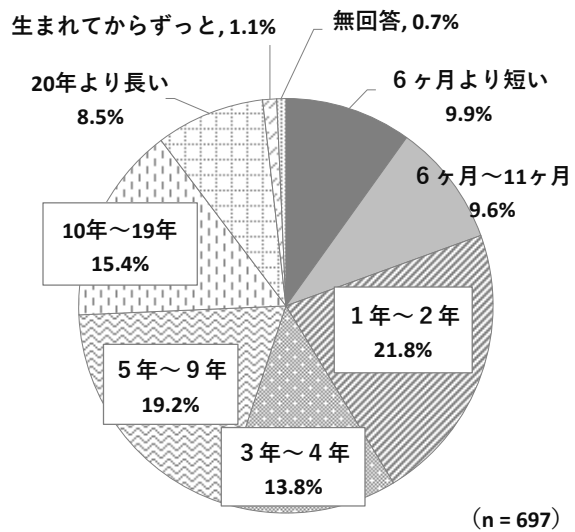


**ポイント** 「1～2年」の割合が最も高く、1年未満が比較的少ない

「1～2年」の割合が21.8%と最も高く、「5～9年」(19.2%)、「10～19年」(15.4%)と続いている。

図表 I - 14

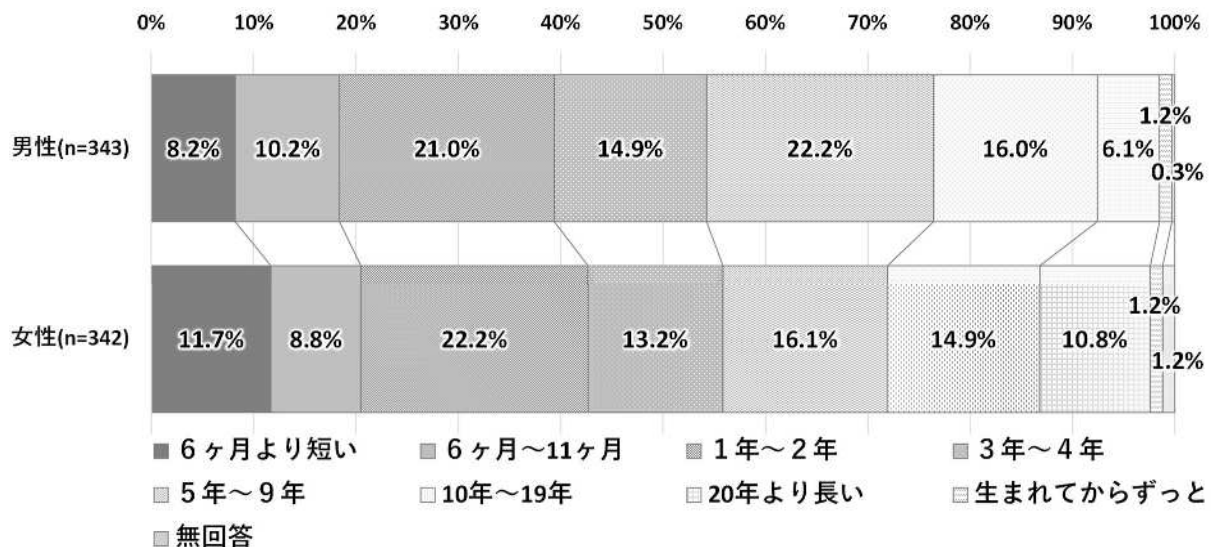
項目	回答者数	割合
全体	697	100.0%
6ヶ月より短い	69	9.9%
6ヶ月～11ヶ月	67	9.6%
1年～2年	152	21.8%
3年～4年	96	13.8%
5年～9年	134	19.2%
10年～19年	107	15.4%
20年より長い	59	8.5%
生まれてからずっと	8	1.1%
無回答	5	0.7%



**【男女別】**

男性では「5～9年」の割合が22.2%と、女性と比較してやや高い。

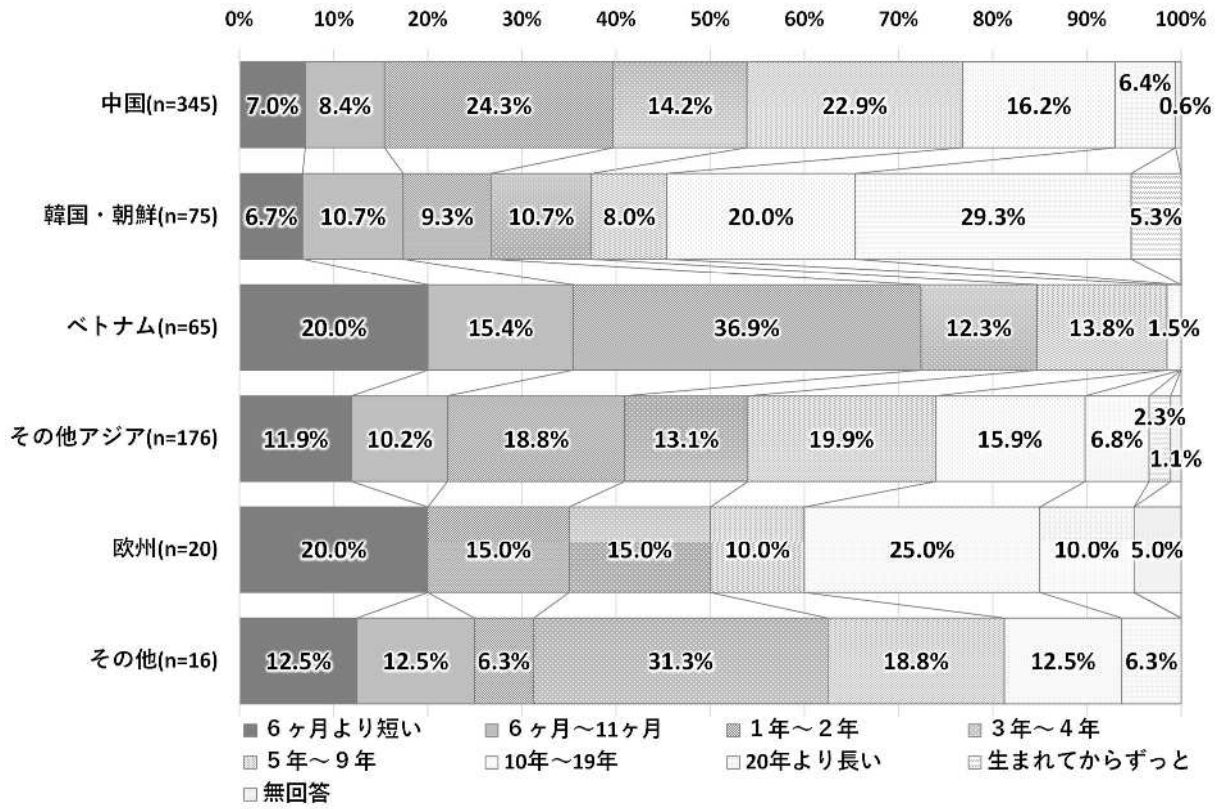
図表 I - 15



**【国籍・出身地別】**

韓国・朝鮮では「20年より長い」の割合が29.3%と、他の国籍・出身地と比較して非常に高い。ベトナムでは1年～2年以下の割合が72.3%を占めており、他の国籍・出身地と比較して全体的に居住期間が短い。

図表 I - 16



Q 6 あなたは北区のどこの地域に住んでいますか。(チェック☑は1つだけ)

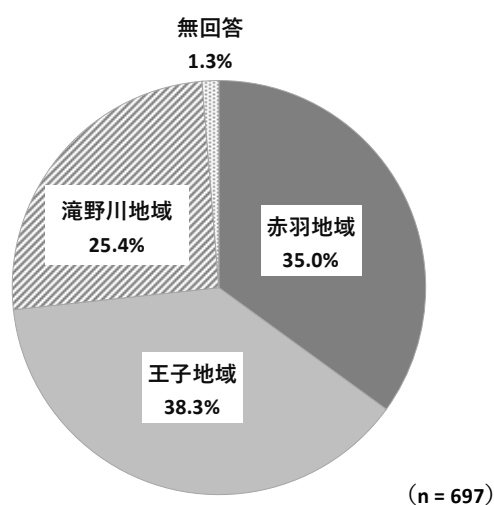


- ポイント**
- ・「赤羽地域」「王子地域」の割合が比較的高い
  - ・「滝野川地域」の割合は比較的低い

「王子地域」の割合が38.3%と最も高く、「赤羽地域」の割合は35.0%。「滝野川地域」の割合は25.4%と、他の2つの地域と比較して低い。

図表 I - 17

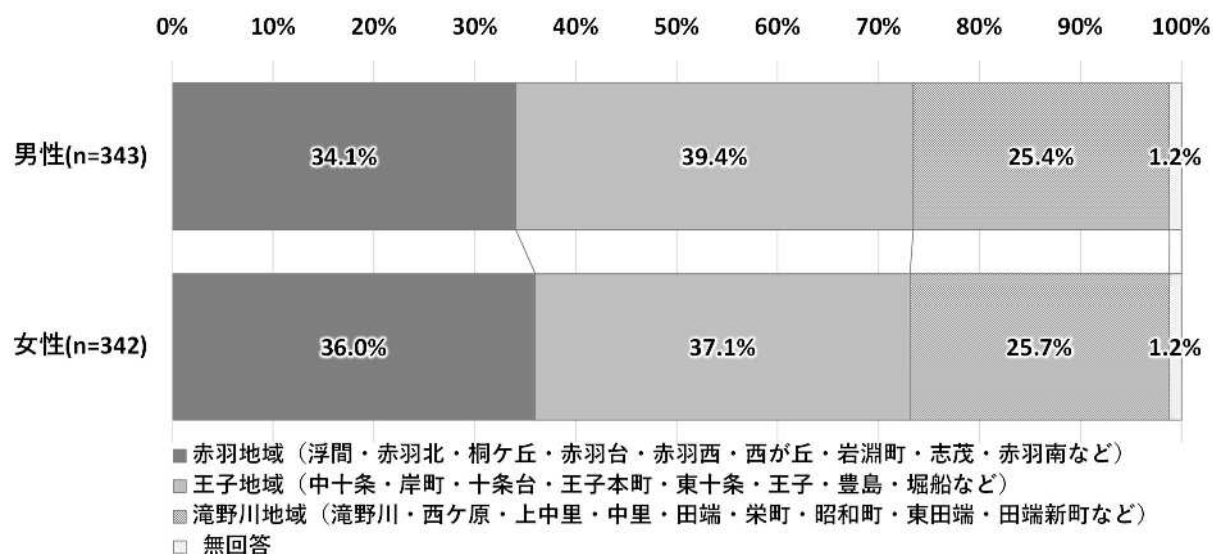
項目	回答者数	割合
全体	697	100.0%
赤羽地域 (浮間・赤羽北・桐ヶ丘・赤羽台・赤羽西・西が丘・岩淵町・志茂・赤羽南など)	244	35.0%
王子地域 (中十条・岸町・十条台・王子本町・東十条・王子・豊島・堀船など)	267	38.3%
滝野川地域 (滝野川・西ヶ原・上中里・中里・田端・栄町・昭和町・東田端・田端新町など)	177	25.4%
無回答	9	1.3%



**【男女別】**

男女別では、居住地域に大きな違いは見られない。

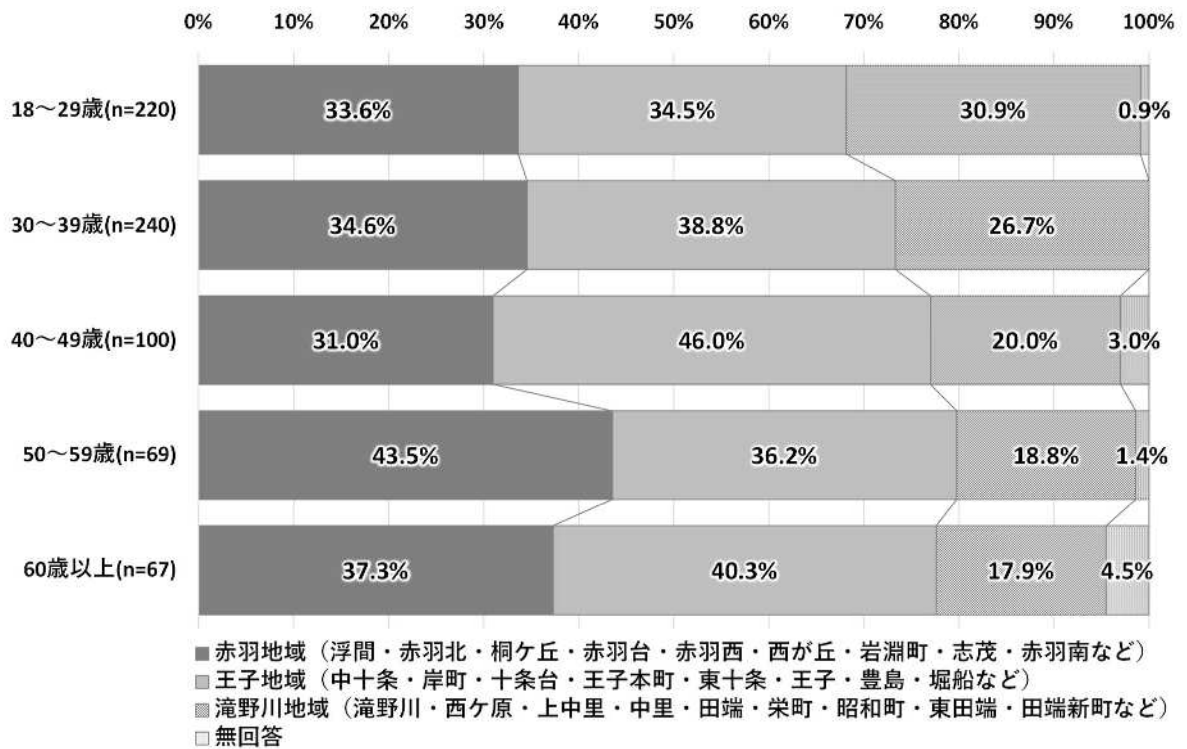
図表 I - 18



**【年齢別】**

40代では「王子地域」の割合が46.0%と、他の年齢と比較してやや高い。50代では「赤羽地域」の割合が43.5%と、他の年齢と比較してやや高い。

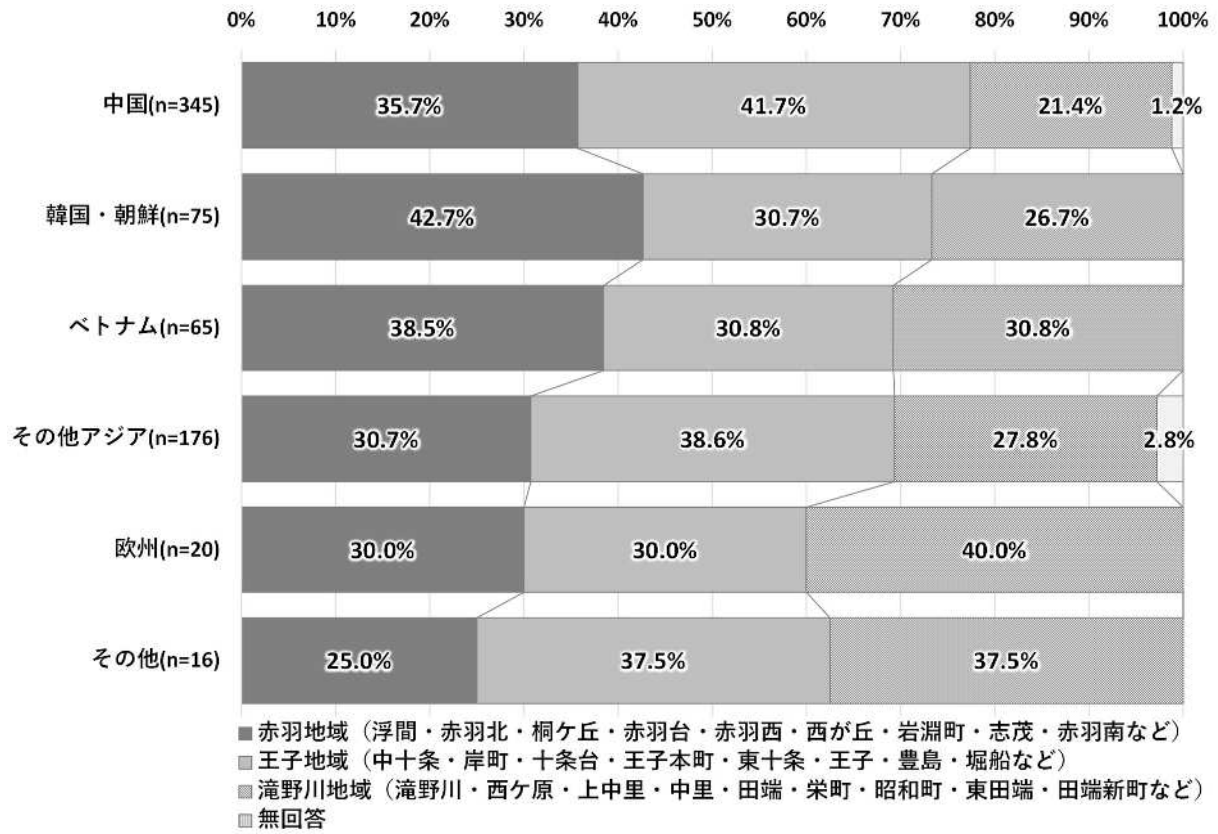
図表 I - 19



**【国籍・出身地別】**

韓国・朝鮮では「赤羽地域」の割合が42.7%、中国では「王子地域」の割合が41.7%、欧州では「滝野川地域」の割合が40.0%と、それぞれ他の国籍・出身地と比較してやや高い。

図表 I - 20



Q7 あなたと一緒に住んでいる人はだれですか。(チェック☑はいくつでも)

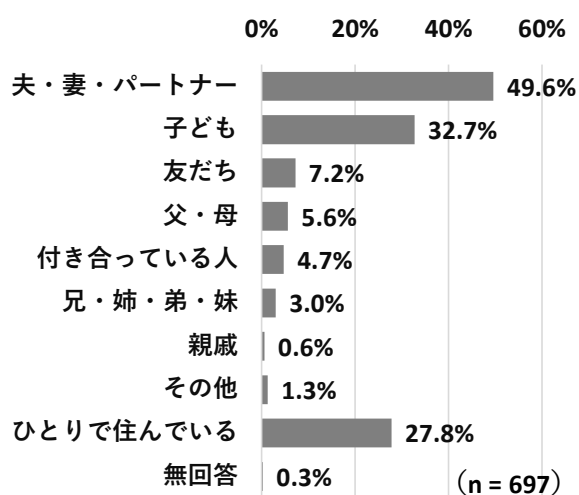


**ポイント** 家族等との同居が7割弱、単身世帯はおよそ3割

「夫・妻・パートナー」の割合が49.6%と最も高く、「子ども」(32.7%)、「友だち」(7.2%)と続いている。

図表 I - 21

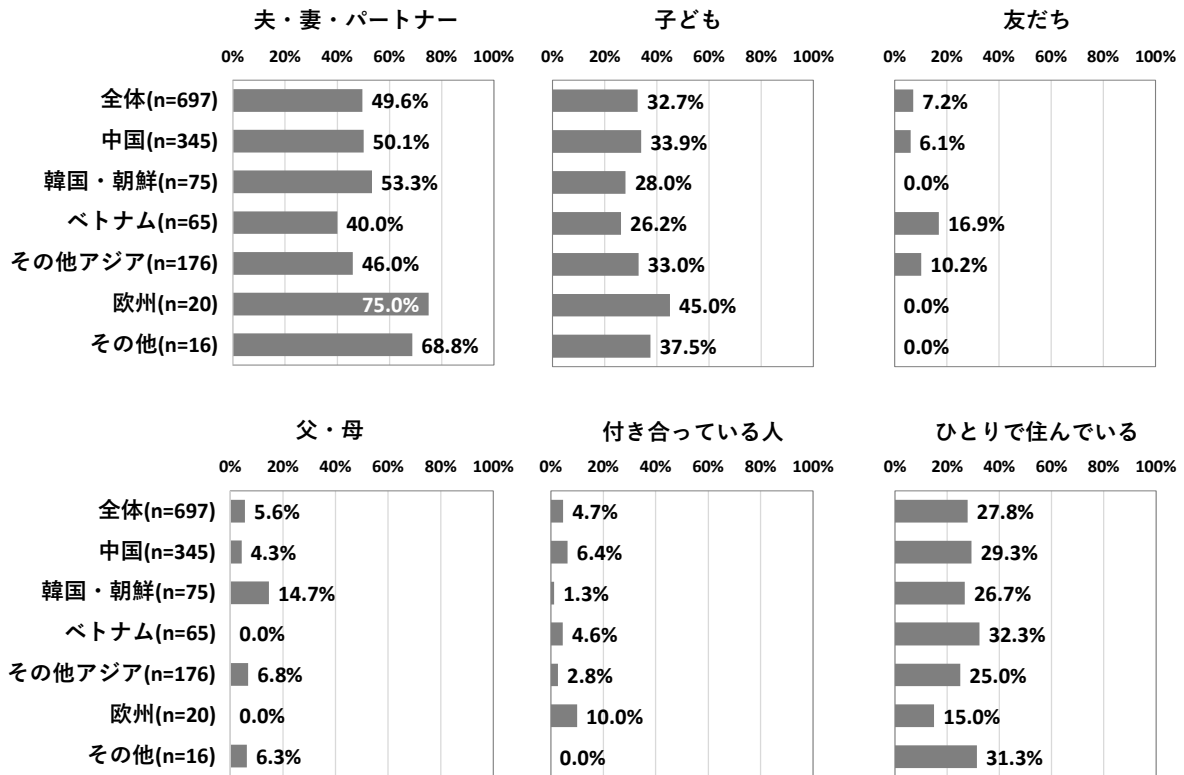
項目	回答者数	割合
全体	697	100.0%
夫・妻・パートナー	346	49.6%
子ども	228	32.7%
友だち	50	7.2%
父・母	39	5.6%
付き合っている人	33	4.7%
兄・姉・弟・妹	21	3.0%
親戚	4	0.6%
その他	9	1.3%
ひとりで住んでいる	194	27.8%
無回答	2	0.3%



## 【国籍・出身地別】

ベトナムでは「友だち」の割合が16.9%と、他の国籍・出身地と比較してやや高い。また韓国・朝鮮では「父・母」の割合が14.7%と、他の国籍・出身地と比較してやや高い。

図表 I - 22



Q 8 あなたの仕事は何ですか。(チェック☑は1つだけ)

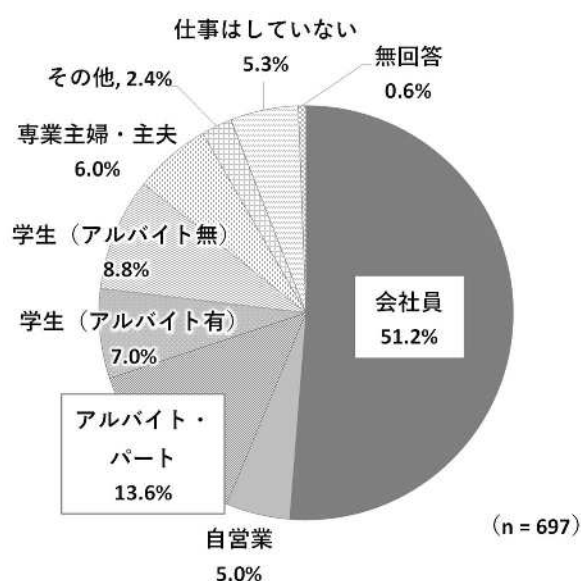


ポイント 「会社員」が5割を占める

「会社員」の割合が51.2%と最も高く、「アルバイト・パート」(13.6%)が続いている。学生全体の割合は15.8%となっている。

図表 I - 23

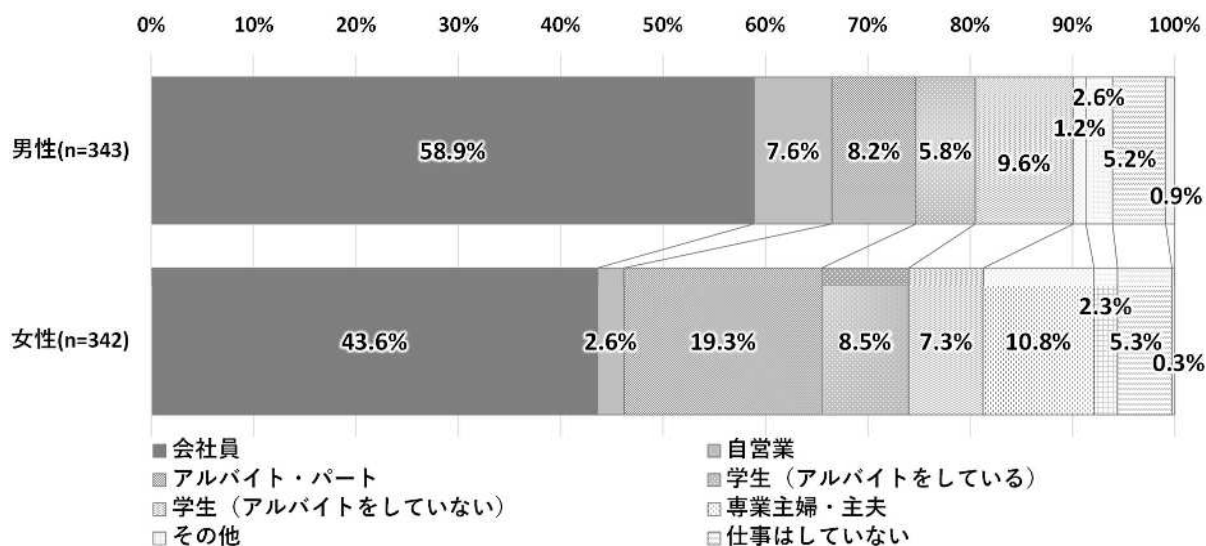
項目	回答者数	割合
全体	697	100.0%
会社員	357	51.2%
自営業	35	5.0%
アルバイト・パート	95	13.6%
学生(アルバイト有)	49	7.0%
学生(アルバイト無)	61	8.8%
専業主婦・主夫	42	6.0%
その他	17	2.4%
仕事はしていない	37	5.3%
無回答	4	0.6%



【男女別】

男性では「会社員」の割合が58.9%と、女性と比較して高い。一方女性では「アルバイト・パート」の割合が19.3%と、男性と比較して高い。

図表 I - 24

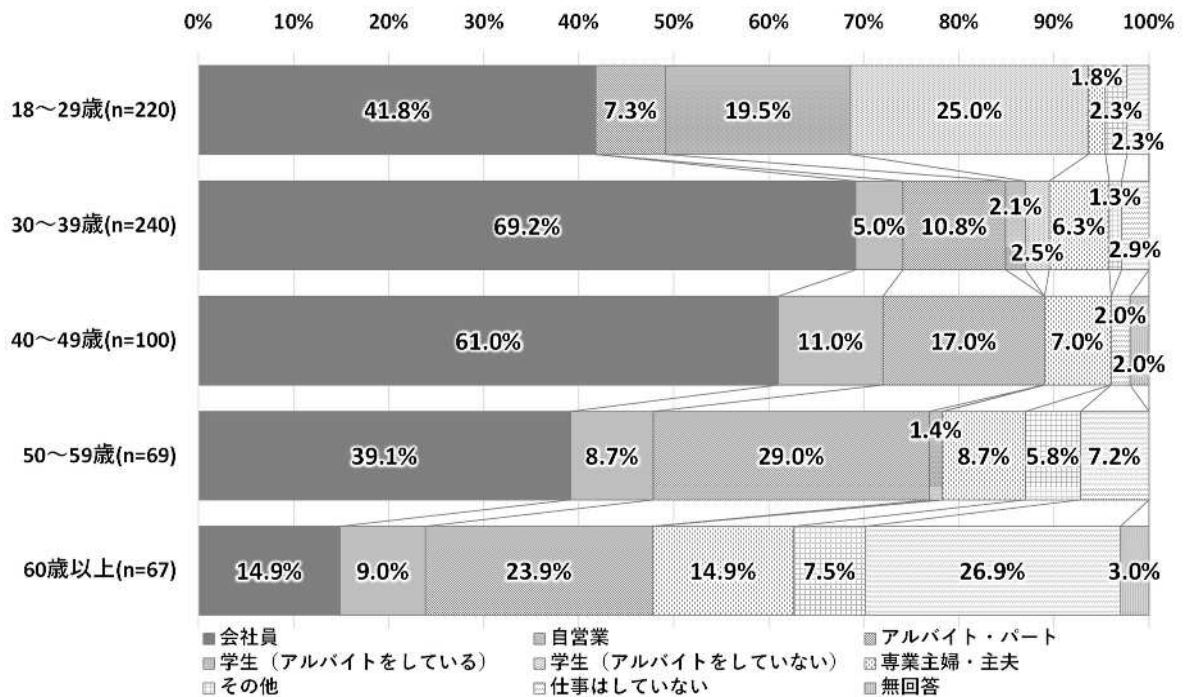




## 【年齢別】

20代以下では「学生（アルバイトをしている）」(19.5%) 及び「学生（アルバイトをしていない）」(25.0%) の割合が、他の年齢と比較して非常に高い。「会社員」の割合は30代で69.2%と最も高く、年齢が上がるにつれて低くなっている。「アルバイト・パート」の割合は年齢が上がるにつれて概ね高くなっている。

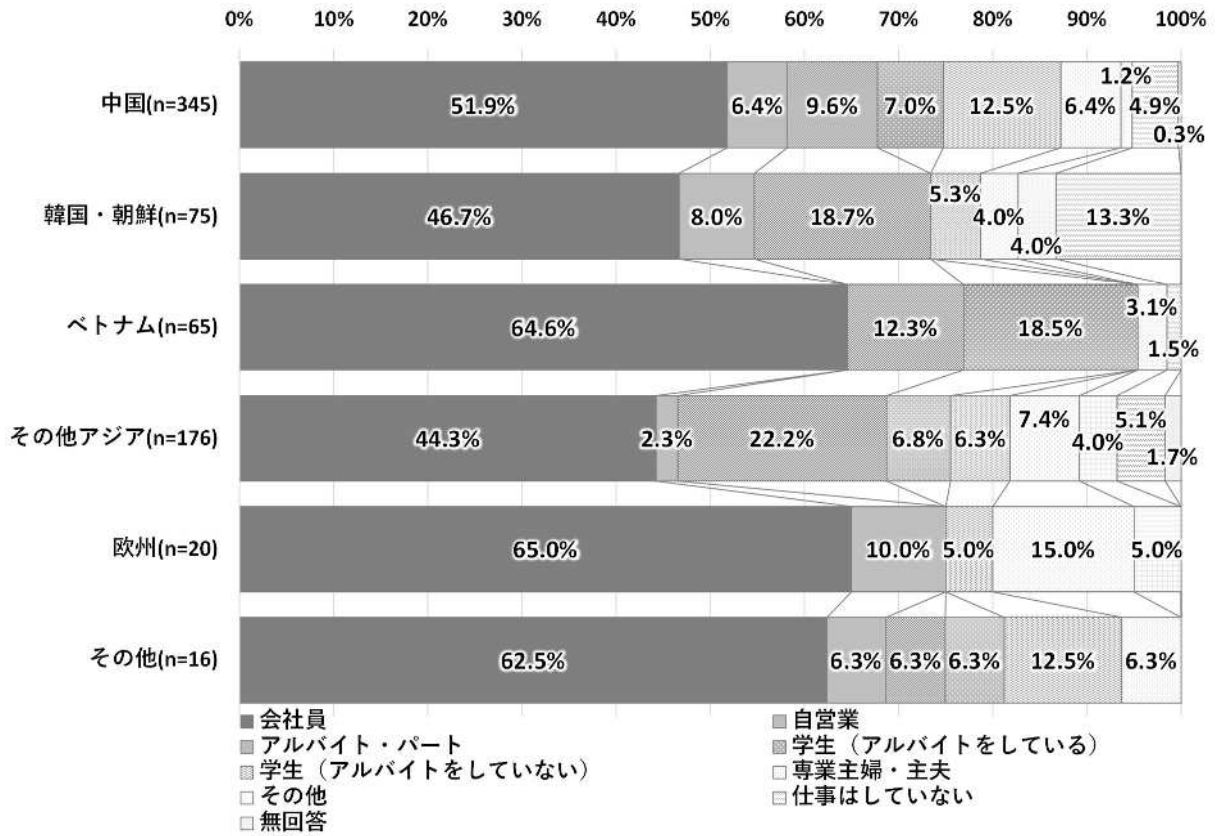
図表 I - 25



【国籍・出身地別】

ベトナムでは「会社員」(64.6%) 及び「学生(アルバイトをしている)」(18.5%) の割合が、他の国籍・出身地と比較して高い。一方韓国・朝鮮では、「学生(アルバイトをしている)」が一人もいない。

図表 I - 26



## II. ことばについて

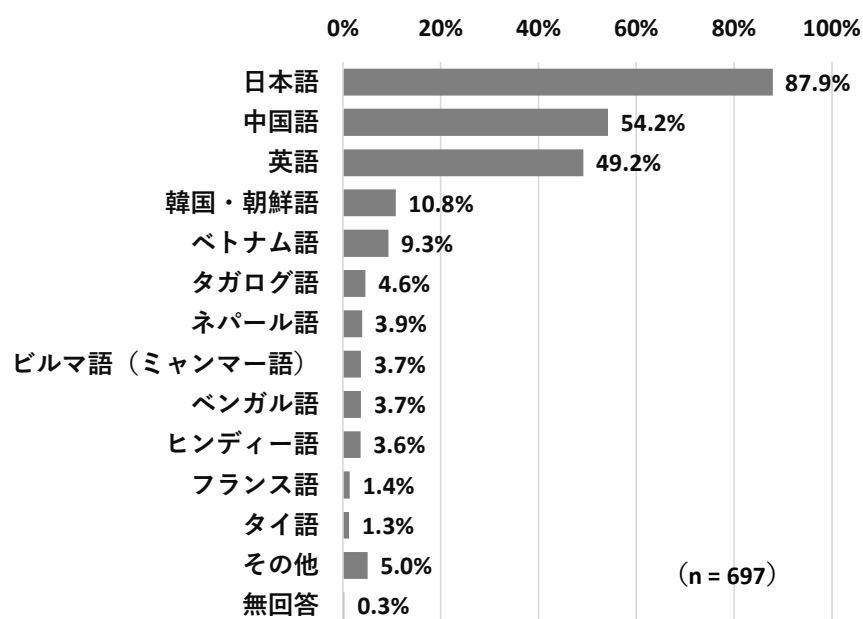
Q9 あなたが話することができることばはどれですか。(チェック☑はいくつでも)



**ポイント 「日本語」が9割弱、「中国語」「英語」はおおよそ5割**

「日本語」の割合が87.9%と最も高く、「中国語」(54.2%)、「英語」(49.2%)と続いている。

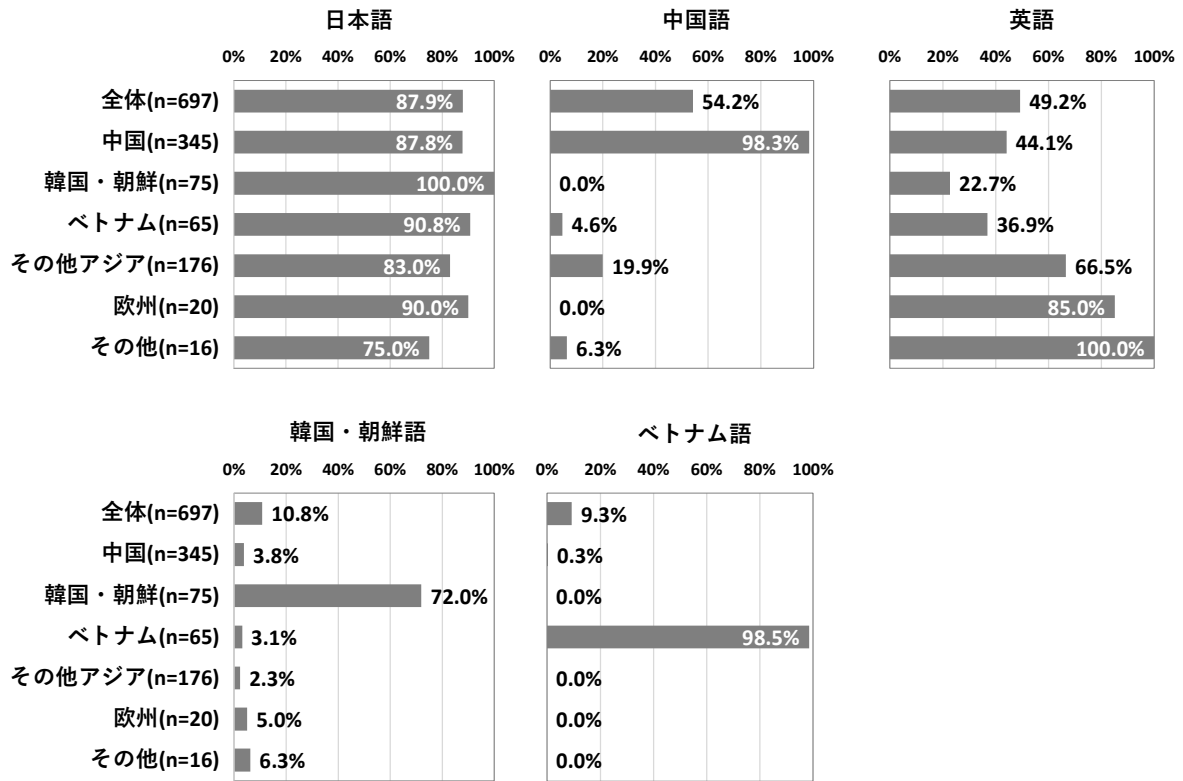
図表 II - 1



**【国籍・出身地別】**

「日本語」の割合はどの国籍・出身地でも高く、韓国・朝鮮では100%となっている。韓国・朝鮮及びベトナムにおける「英語」の割合はそれぞれ22.7%、36.9%となっており、他の国籍・出身地と比較して低い。

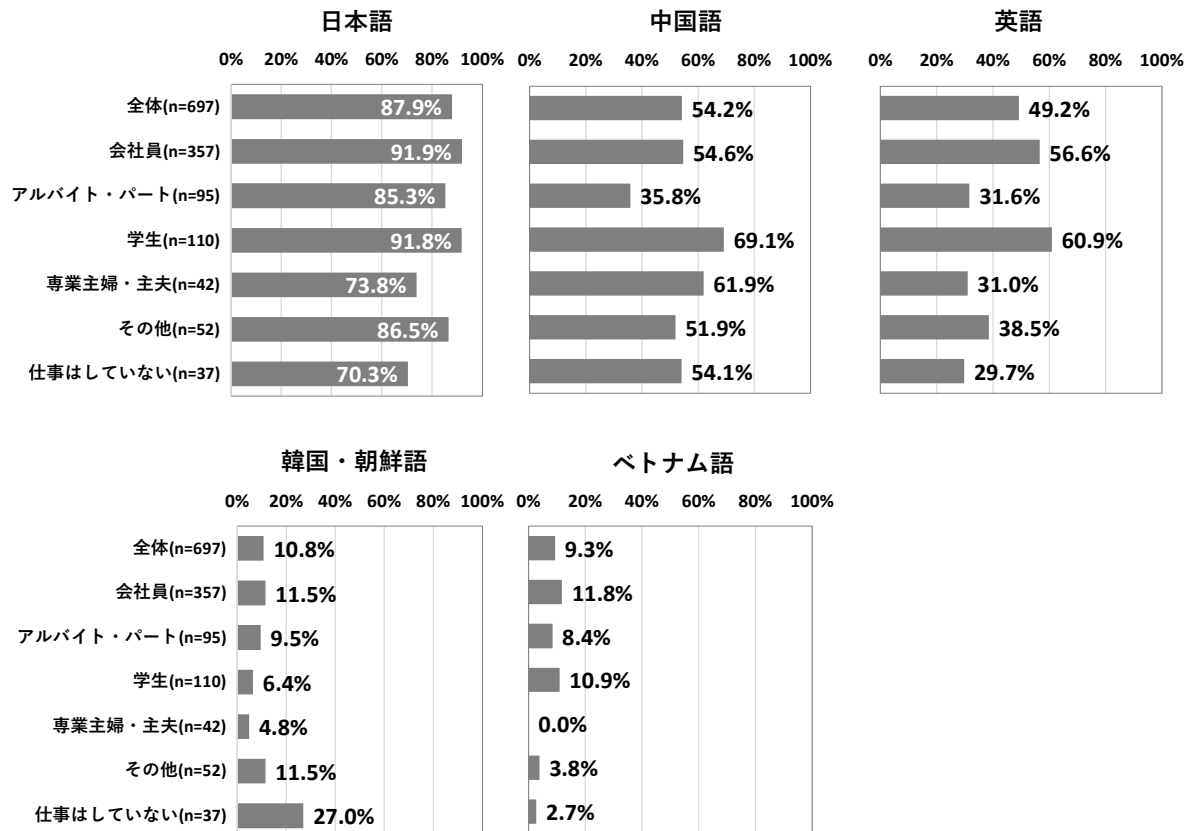
**図表 II - 2**



**【職業別】**

「日本語」の割合はどの職業でも高く、会社員及び学生では9割以上となっている。「英語」の割合は会社員及び学生において5割以上となっている。

**図表 II - 3**



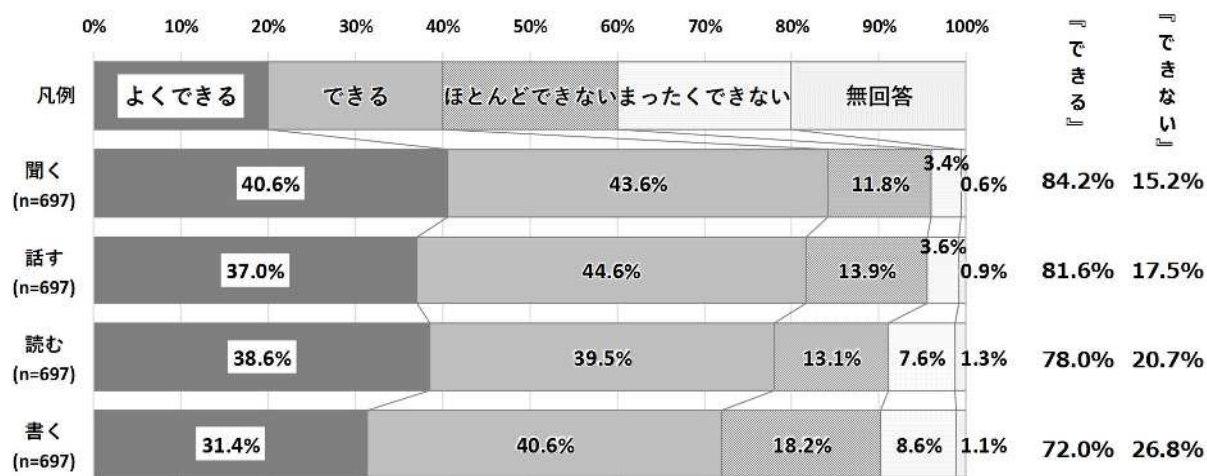
**Q10** あなたはどのくらい日本語ができますか。  
 (「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」のそれぞれにチェック框を1つずつ)



**ポイント** 全ての項目に対して『できる』が7~8割

「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の順に割合は下がるものの、7~8割が『できる』と回答している。

図表 II - 4



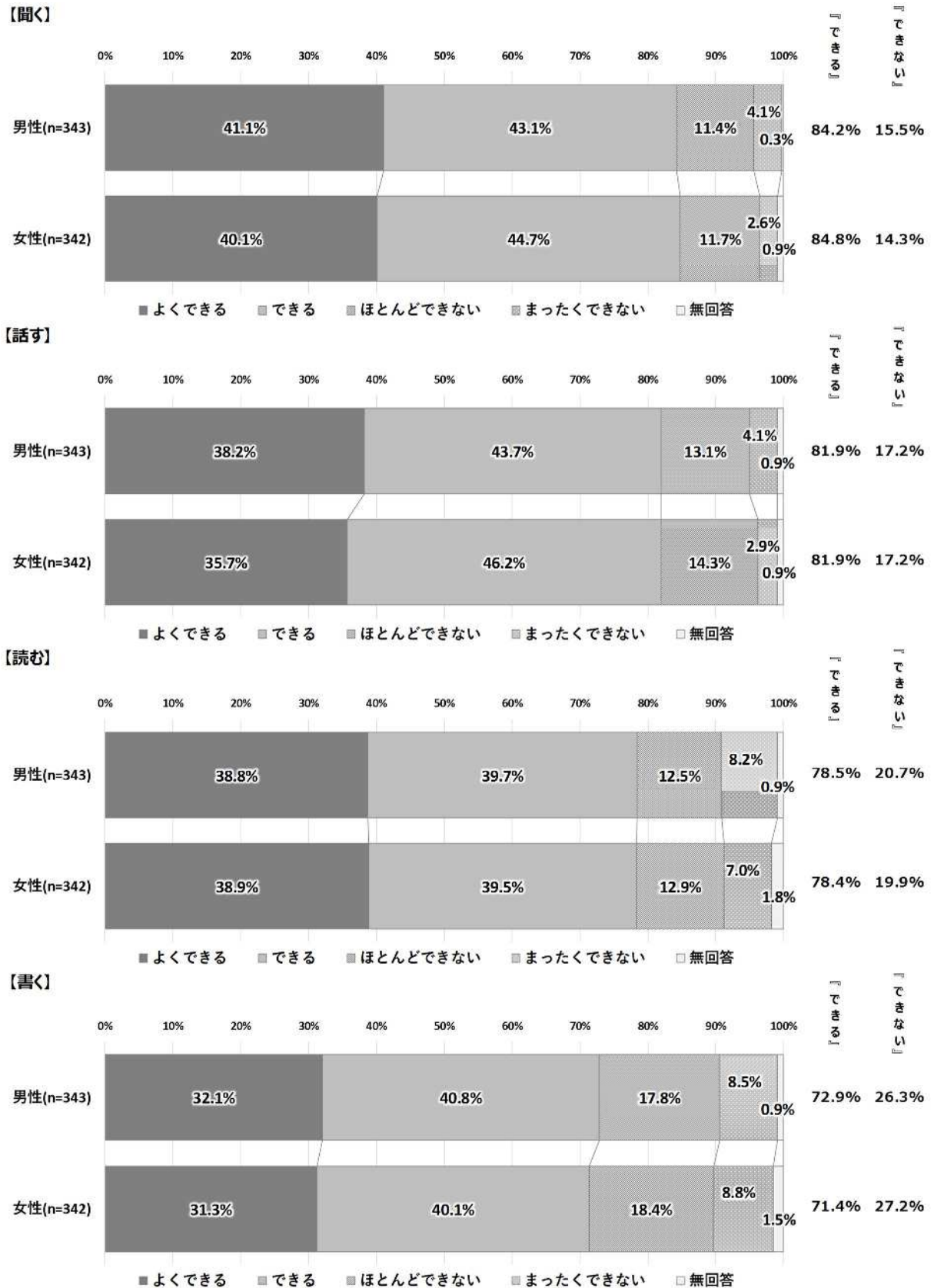
『できる』 = 「よくできる」 + 「できる」

『できない』 = 「ほとんどできない」 + 「まったくできない」

【男女別】

男女別では、日本語能力に大きな違いは見られない。

図表 II - 5

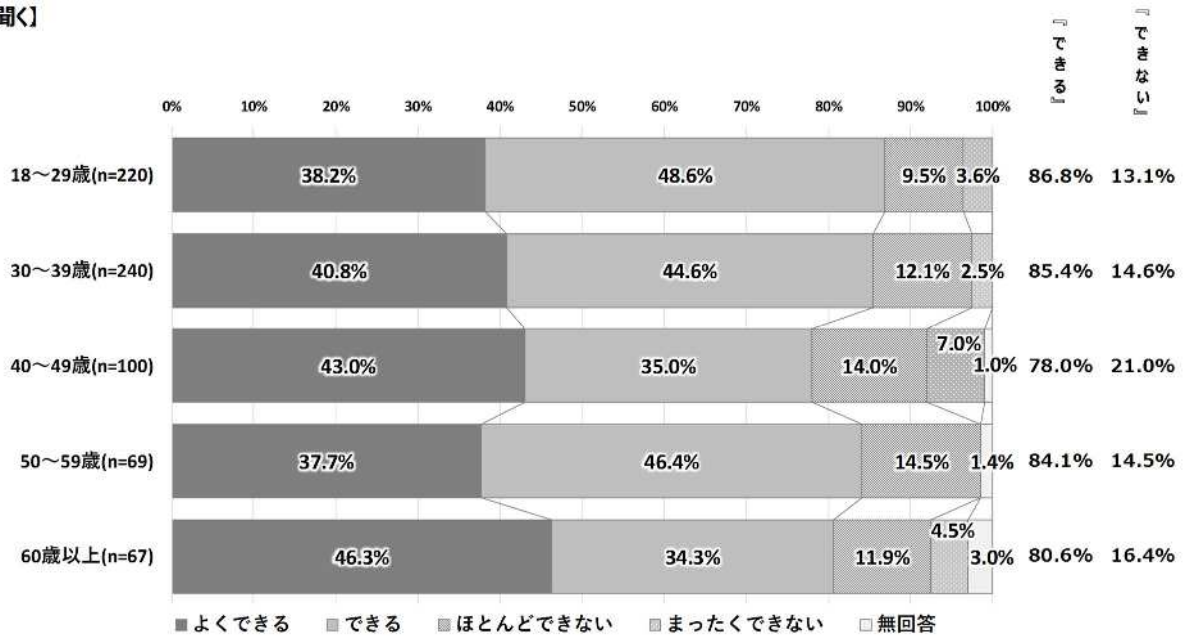


### 【年齢別】

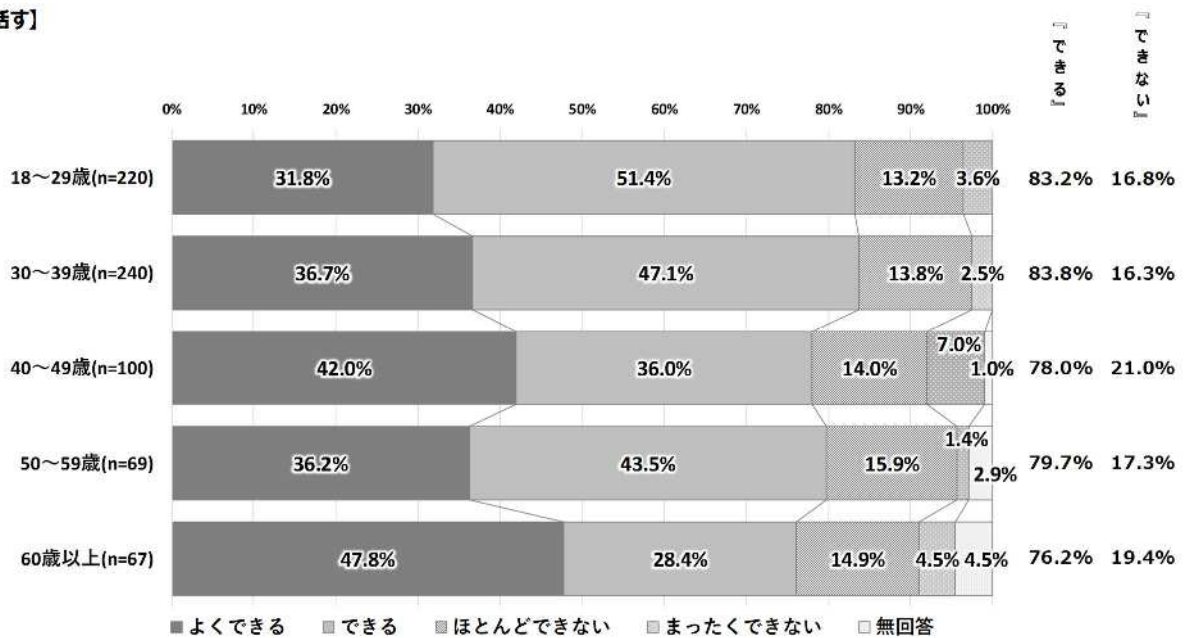
30代以下では、「読む」及び「書く」における『できる』の割合が40代以上と比べて高い。一方、「聞く」及び「話す」では年齢によって日本語能力に大きな違いが見られない。

図表 II - 6

#### 【聞く】

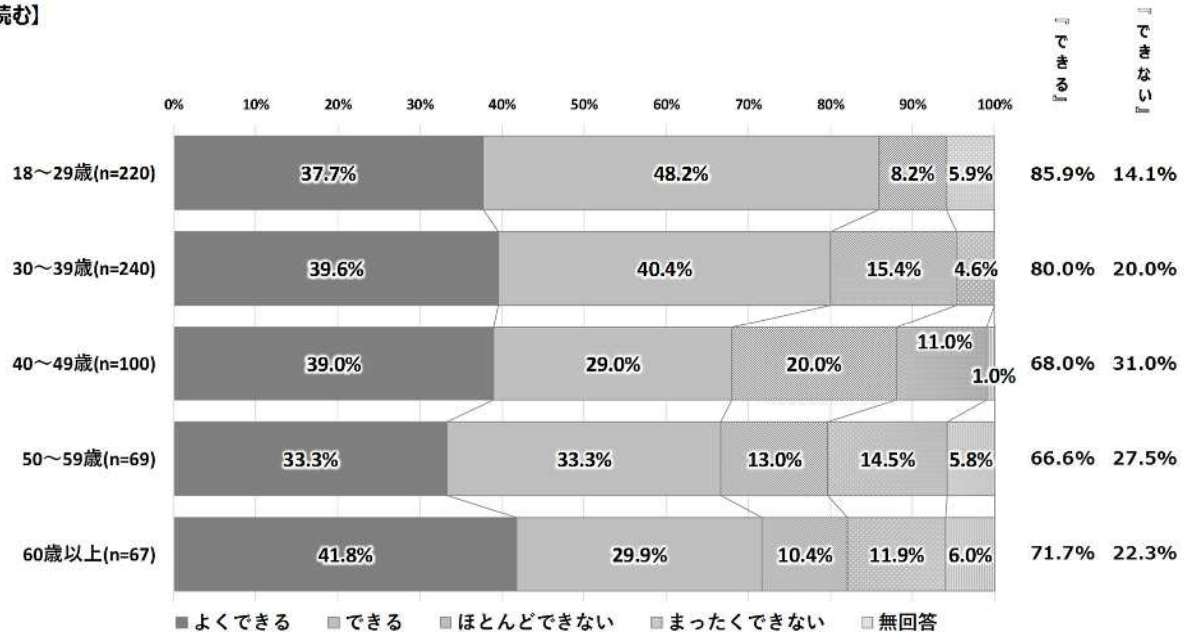


#### 【話す】

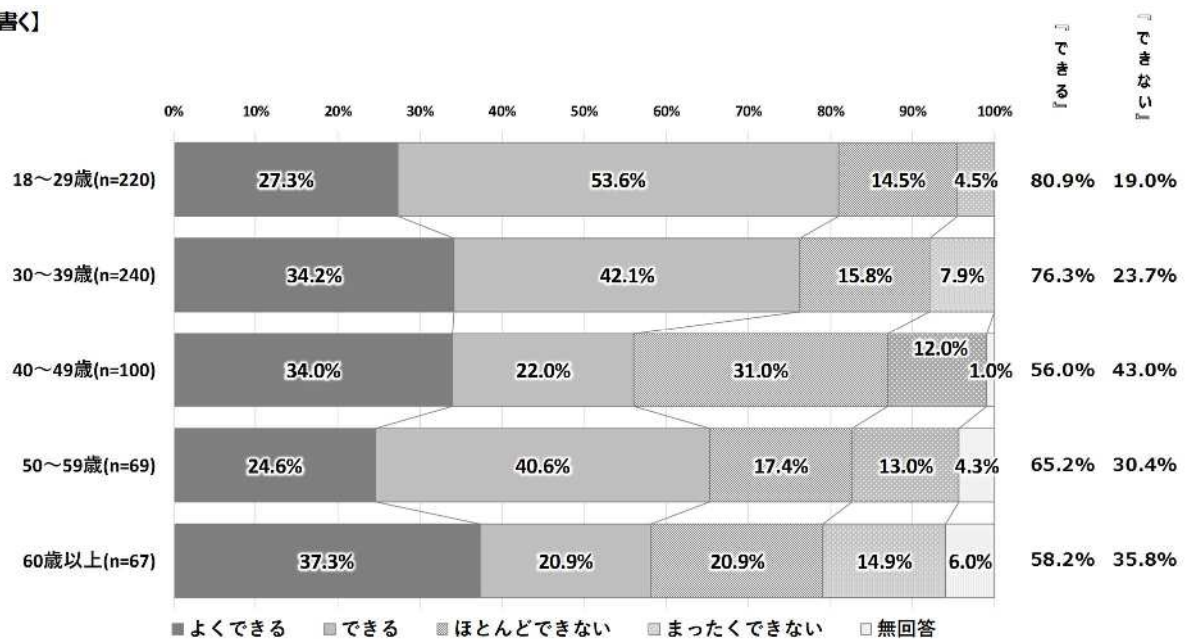




【読む】



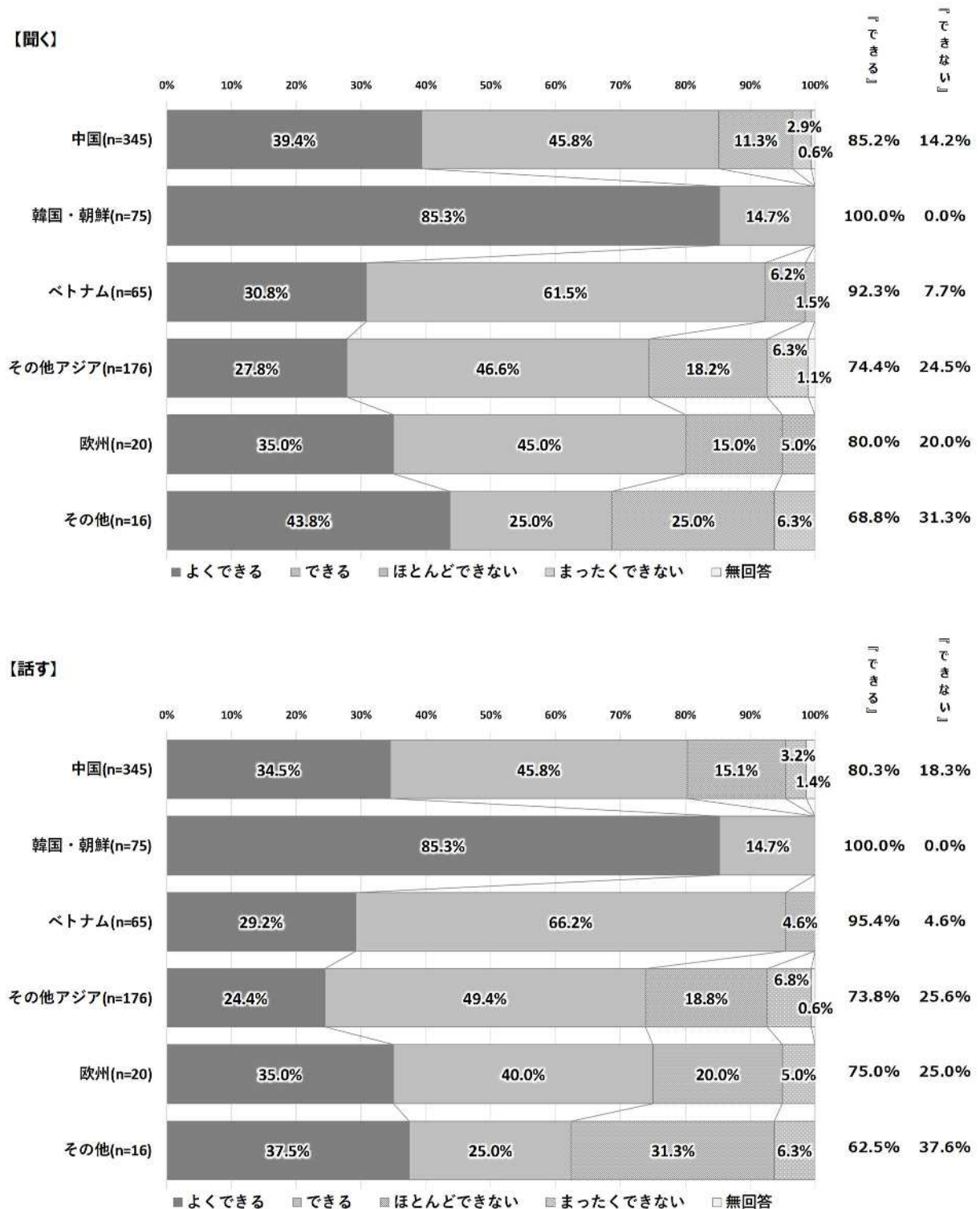
【書く】



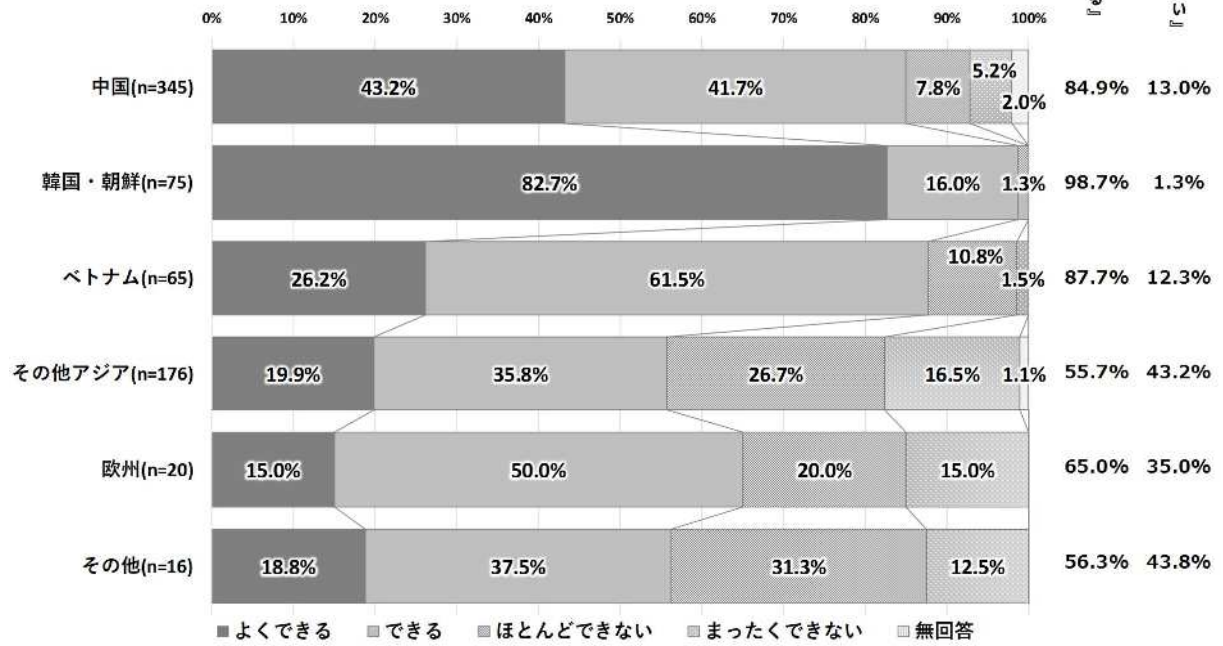
### 【国籍・出身地別】

韓国・朝鮮は「聞く」「話す」「読む」「書く」の全てにおいて『できる』の割合が最も高く、概ね 100%となっている。韓国・朝鮮に次いで日本語能力が高い国籍・出身地はベトナムで、「聞く」「話す」「読む」「書く」の全てにおいて『できる』の割合がおよそ9割となっている。

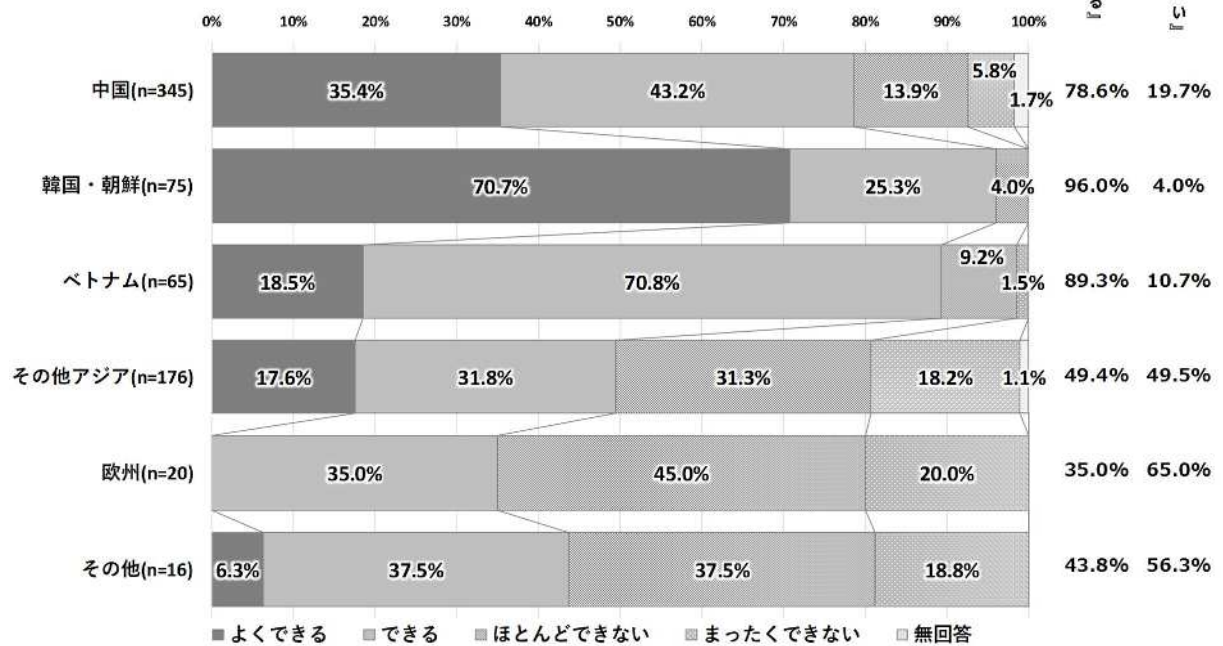
図表 II - 7



【読む】



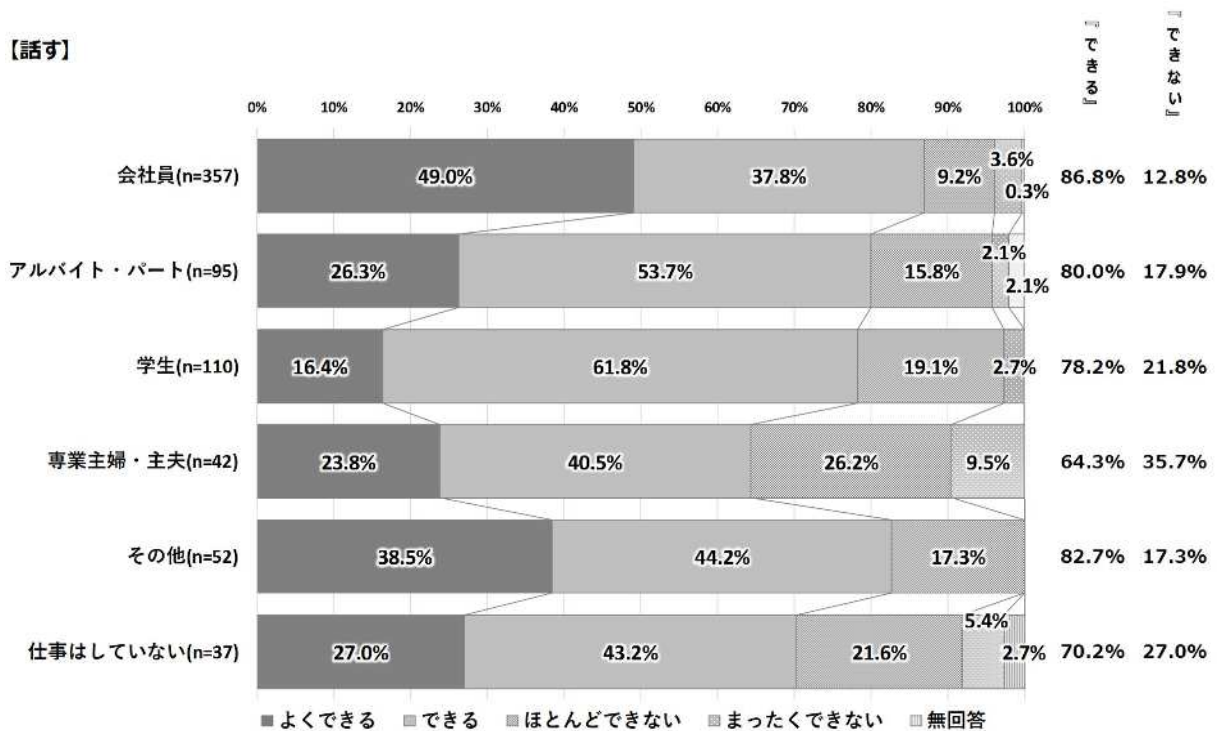
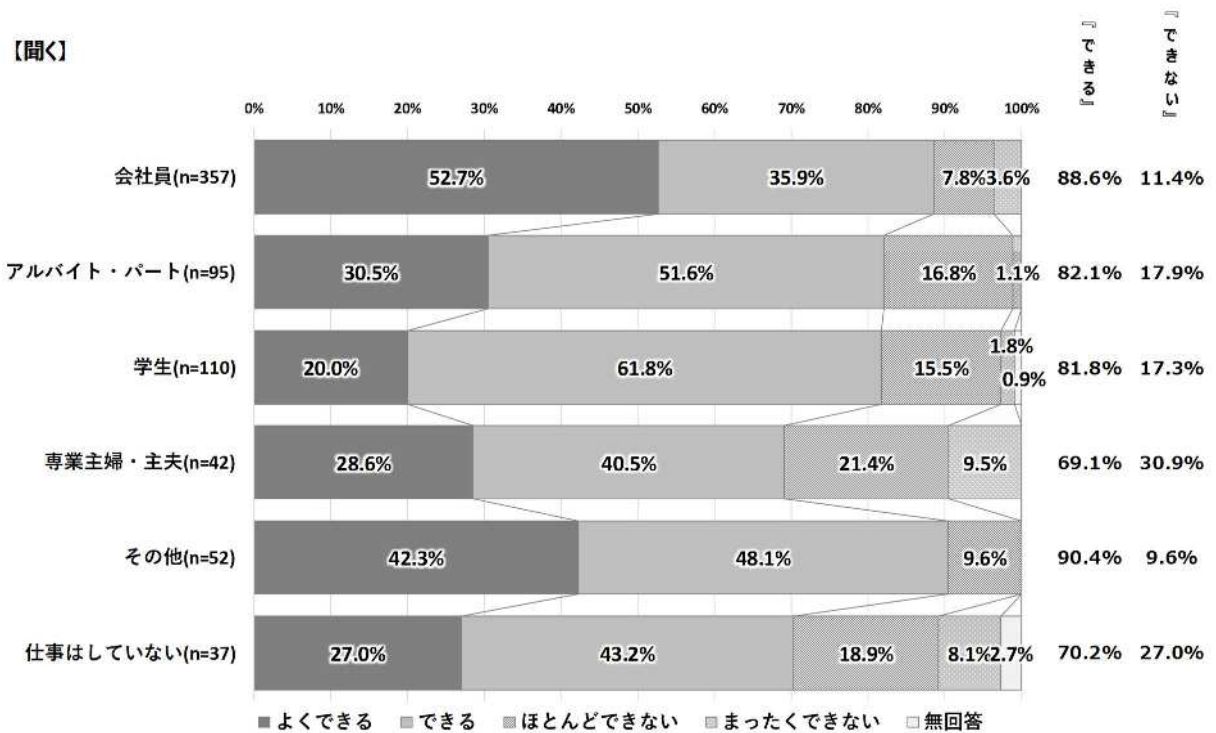
【書く】



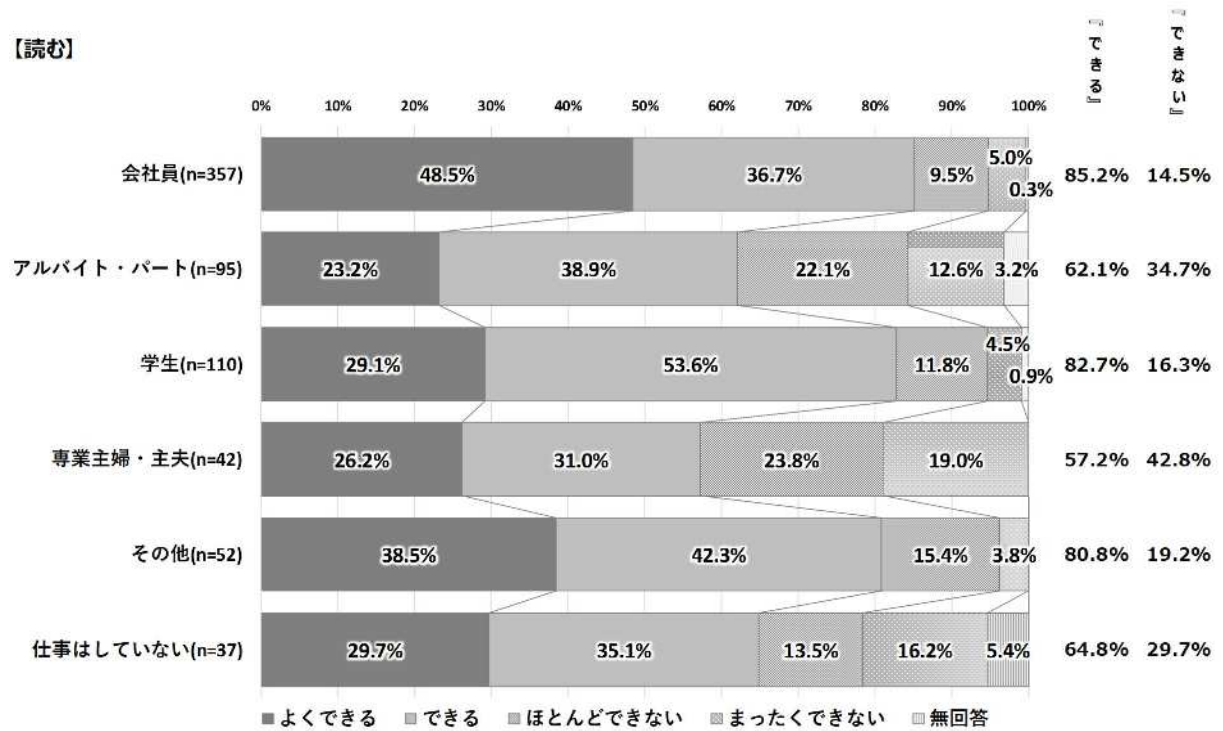
【職業別】

会社員は「聞く」「話す」「読む」「書く」の全てにおいて『できる』の割合が他の職業と比較して高く、概ね8割以上となっている。

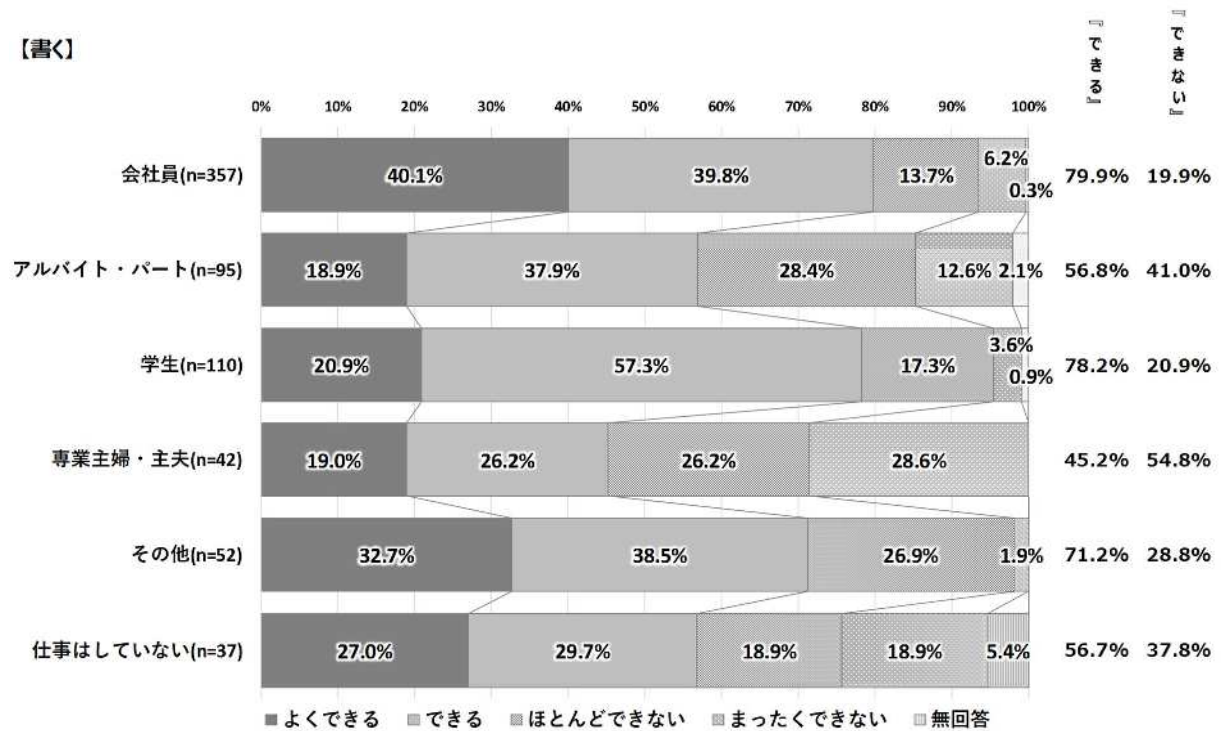
図表 II - 8



【読む】



【書く】



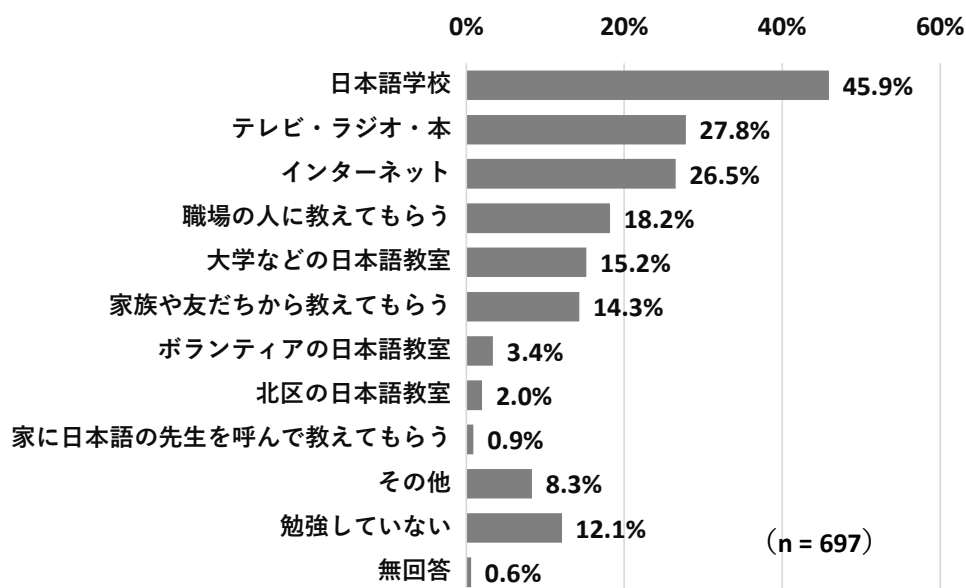
Q11 あなたは日本語をどうやって勉強しますか。(チェック☑はいくつでも)



**ポイント 「日本語学校」が4割半ば**

「日本語学校」の割合が45.9%と最も高く、「テレビ・ラジオ・本」(27.8%)、「インターネット」(26.5%)と続いている。

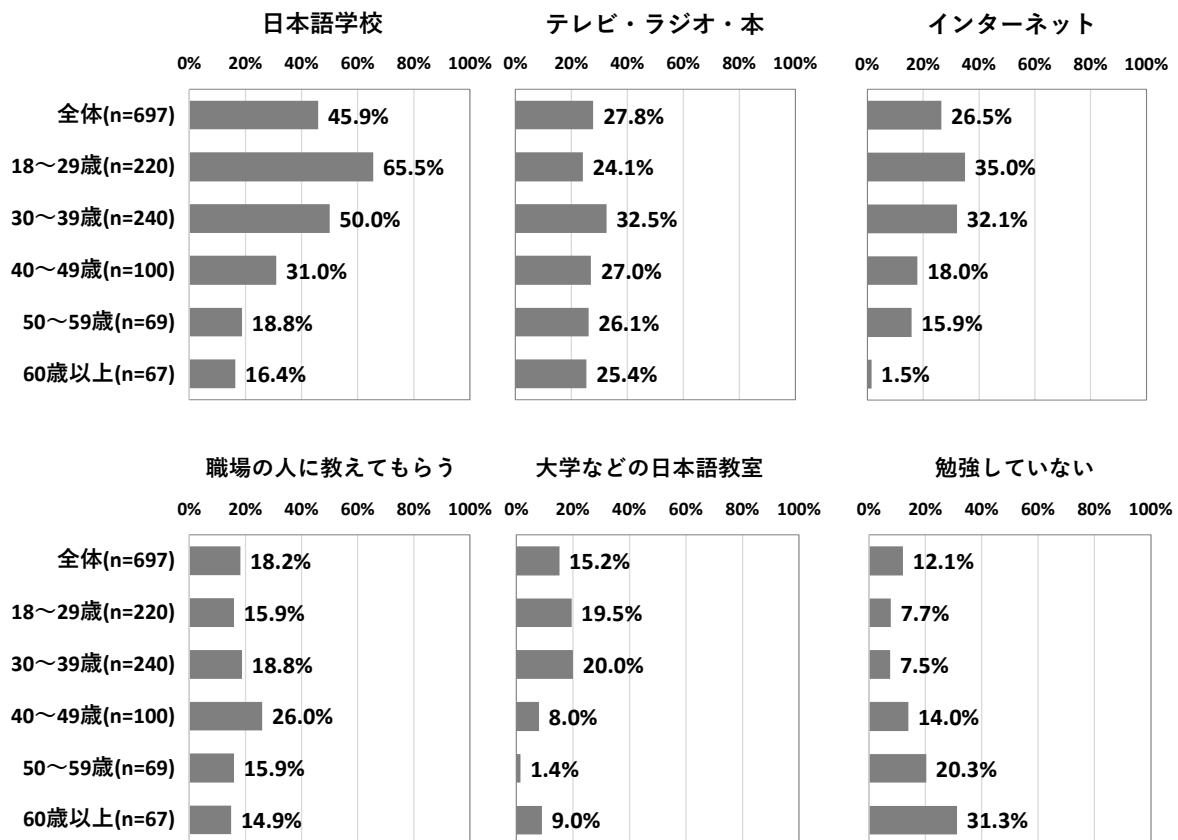
図表 II - 9



**【年齢別】**

「日本語学校」の割合は20代以下で65.5%と最も高く、年齢が上がるにつれてその割合は低くなっている。「インターネット」の割合は20代以下で35.0%と最も高く、年齢が上がるにつれてその割合は低くなっている。「勉強していない」の割合は60代以上で31.3%と最も高く、年齢が上がるにつれてその割合は高くなっている。

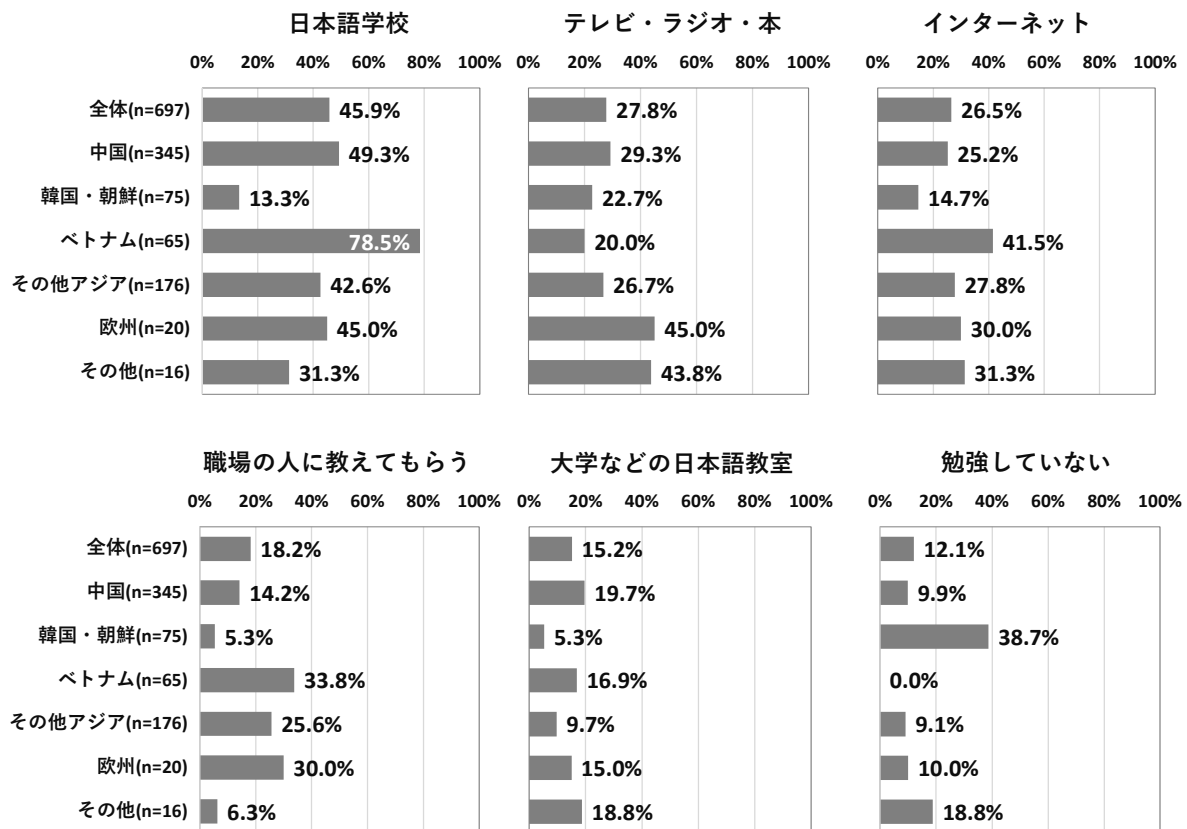
**図表 II - 10**



## 【国籍・出身地別】

「日本語学校」の割合はベトナムが78.5%と、他の国籍・地域と比べて非常に高い。またベトナムは「インターネット」(41.5%)及び「職場の人に教えてもらう」(33.8%)においても他の国籍・出身地と比較して割合が高くなっている。一方、韓国・朝鮮は「勉強していない」の割合が38.7%と、他の国籍・出身地と比較して高くなっている。

図表 II - 11





### Ⅲ.暮らしについて

Q12 北区のどこが良いと思いますか。北区のどこが悪いと思いますか。

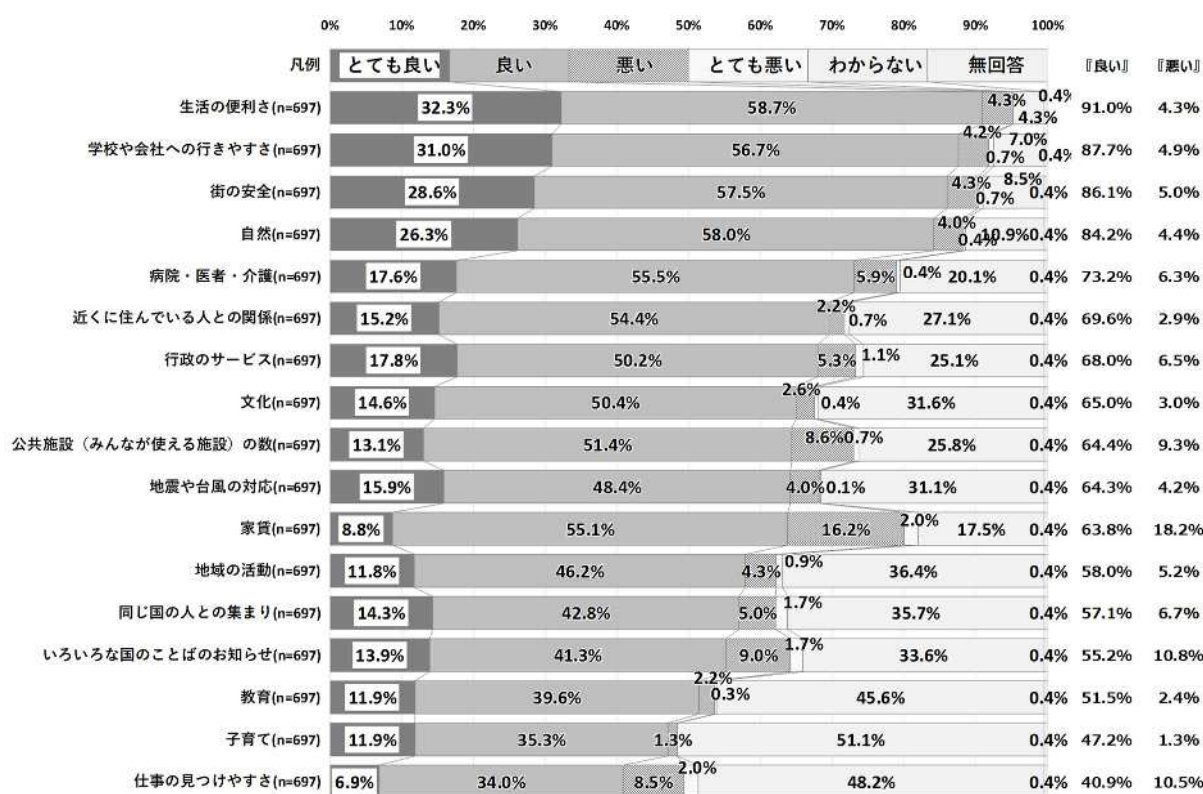
(①～⑰のそれぞれにチェック箱を1つずつ)



**ポイント 「生活の便利さ」で『良い』と回答した人は9割以上**

『良い』の割合が最も高い項目は「生活の便利さ」で91.0%。全ての項目において『良い』が『悪い』を上回っている一方で、「家賃」や「いろいろな国のことばのお知らせ」、「仕事の見つけやすさ」については『悪い』の割合が比較的高い。

図表Ⅲ- 1



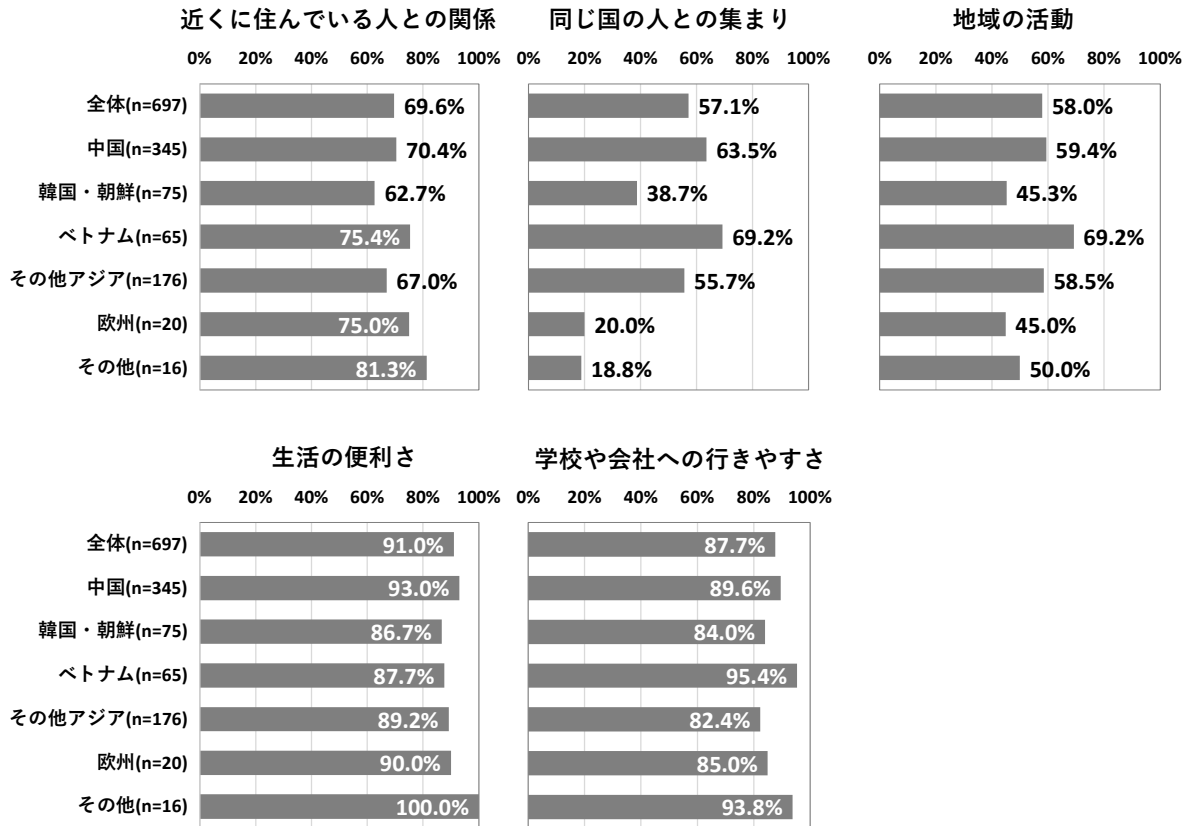
『良い』 = 「とても良い」 + 「良い」

『悪い』 = 「悪い」 + 「とても悪い」

**【国籍・出身地別、良い点】**

ベトナムではどの項目においても『良い』の割合が高く、特に「同じ国の人との集まり」(69.2%)や「地域の活動」(69.2%)において他の国籍・出身地と比較して『良い』の割合が高くなっている。

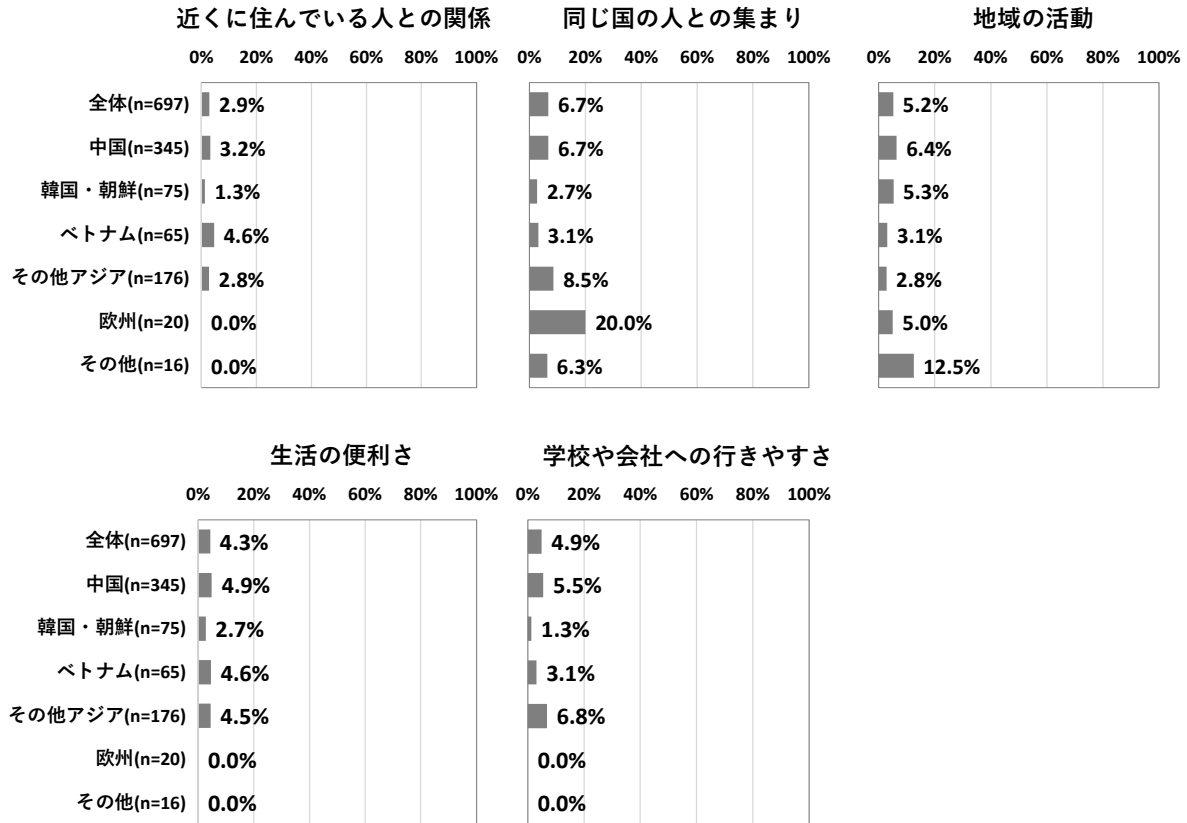
**図表III- 2**



### 【国籍・出身地別、悪い点】

アジア諸国では、どの項目においても『悪い』の割合が10%未満となっており、大きな違いは見られない。

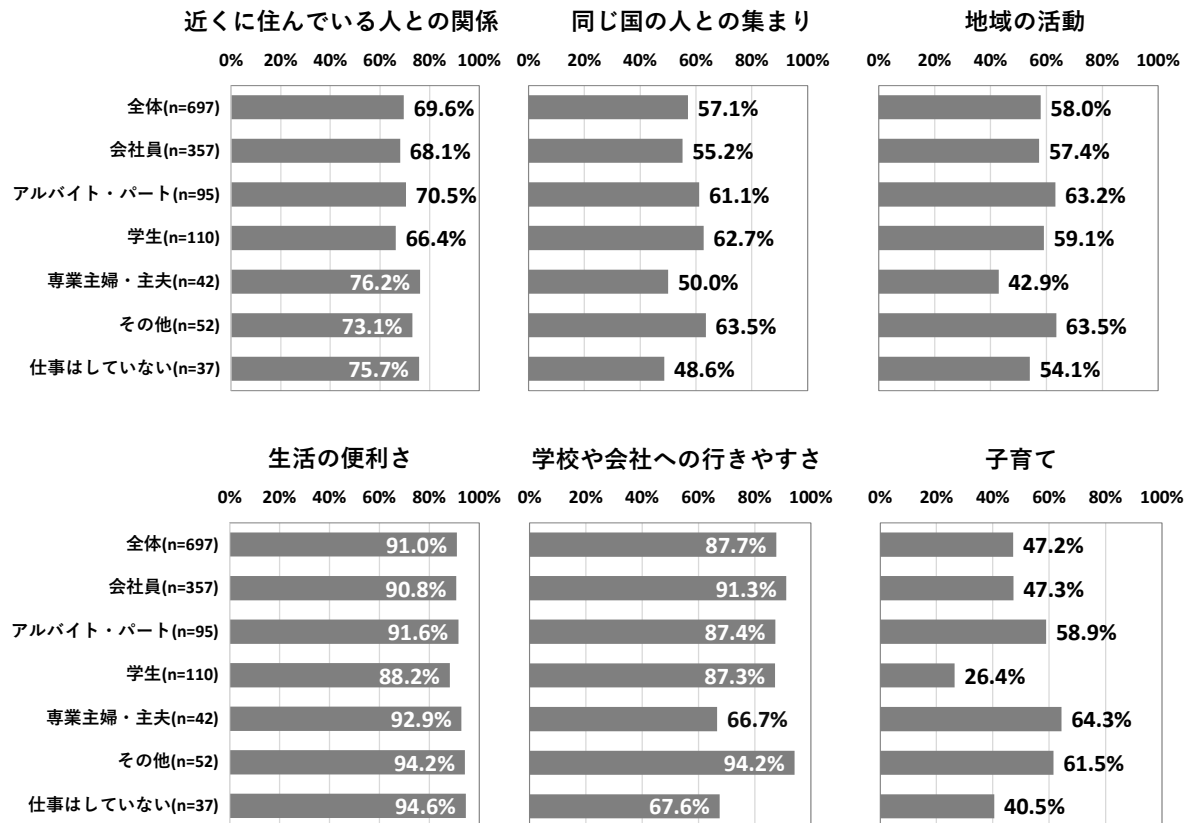
図表III-3



## 【職業別、良い点】

「同じ国の人との集まり」や「地域の活動」、「学校や会社への行きやすさ」については、専業主婦・主夫を含めて仕事をしていない人において、『良い』の割合が他の職業と比較して低い。

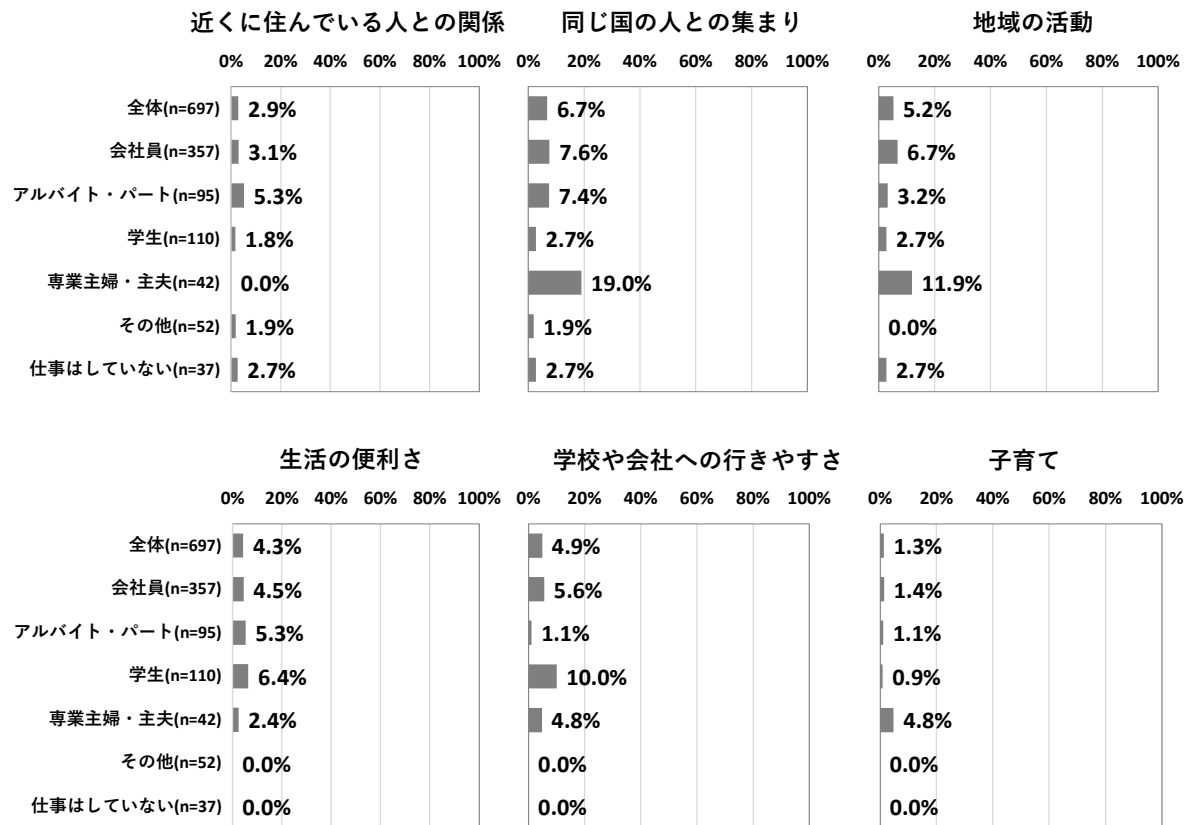
図表III- 4



### 【職業別、悪い点】

専業主婦・主夫では「同じ国の人との集まり」(19.0%)及び「地域の活動」(11.9%)において、『悪い』の割合が他の職業と比較して高い。また学生では「学校や会社への行きやすさ」(10.0%)において、『悪い』の割合が他の職業と比較してやや高い。

図表III- 5



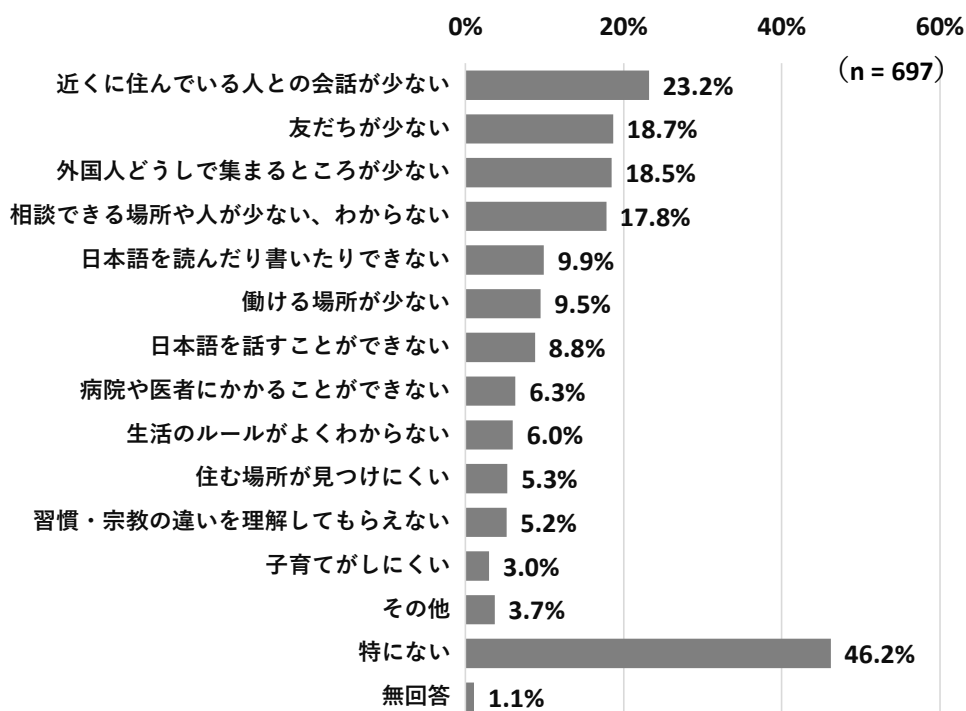
Q13 北区で生活をしていて困っていることはありますか。(チェック☑はいくつでも)



**ポイント** 近隣住民とのコミュニケーションや友達の少なさ等で困っている

「近くに住んでいる人との会話が少ない」の割合が 23.2%と最も高く、「友達が少ない」(18.7%)、「外国人どうして集まるところが少ない」(18.5%)と続いている。

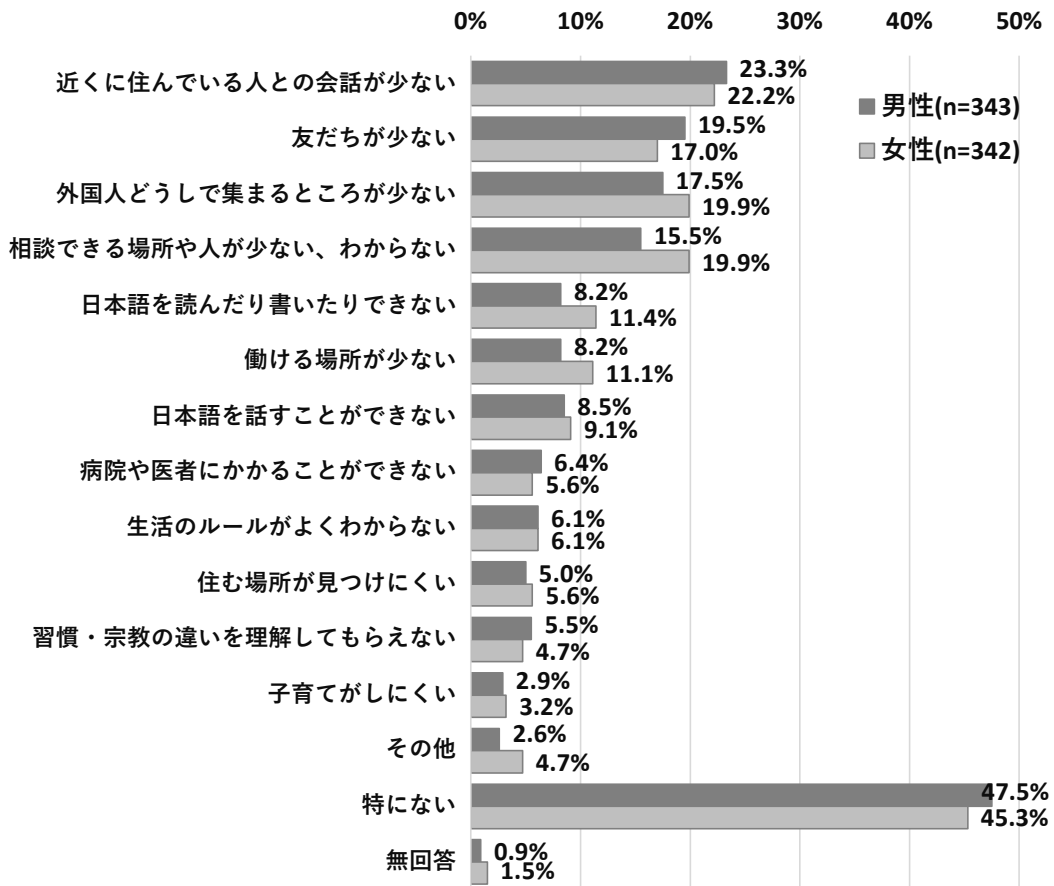
図表III- 6



【男女別】

男女別では、北区で生活するうえでの困りごとに大きな違いは見られない。

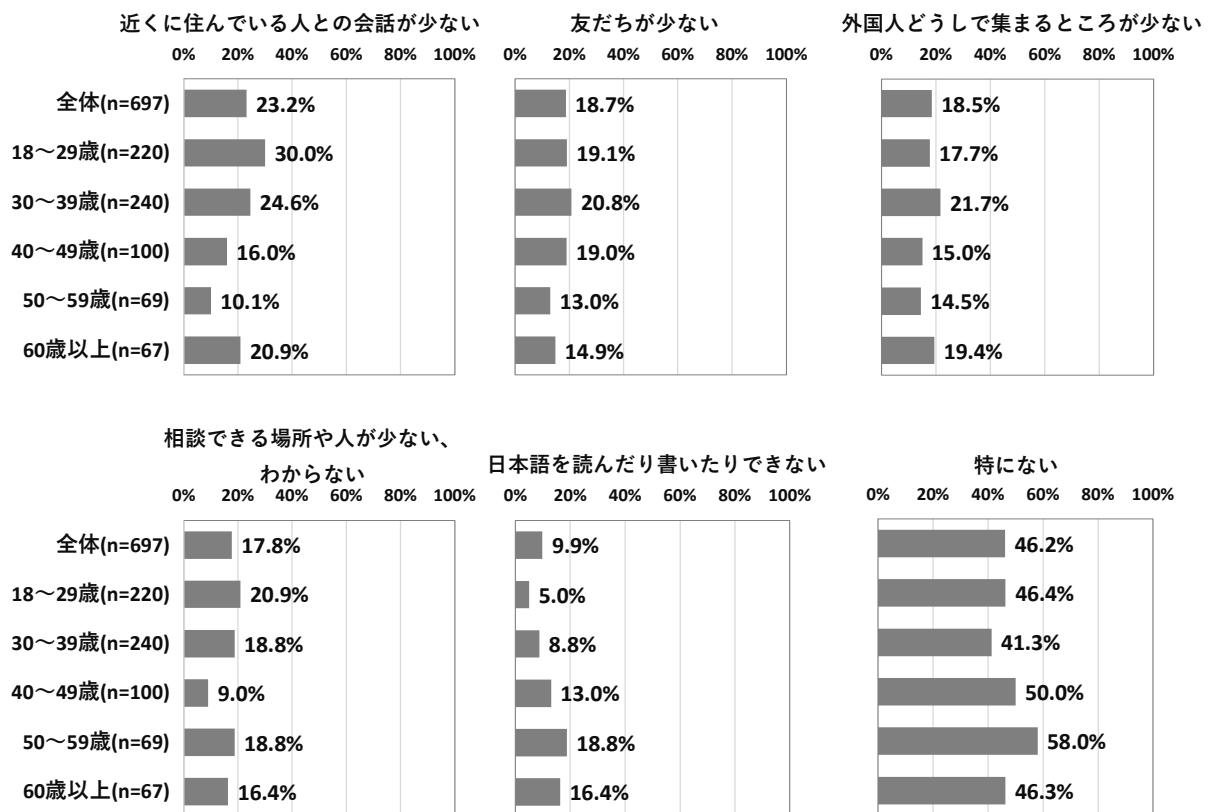
図表III-7



## 【年齢別】

「近くに住んでいる人との会話が少ない」の割合は20代以下で30.0%と最も高く、50代にかけては年齢が上がるにつれて減少している。「相談できる場所や人が少ない、わからない」の割合は40代で9.0%と、他の年齢と比較してやや低い。「日本語を読んだり書いたりできない」の割合は、年齢が上がるにつれて概ねその割合が高くなっている。

図表III- 8

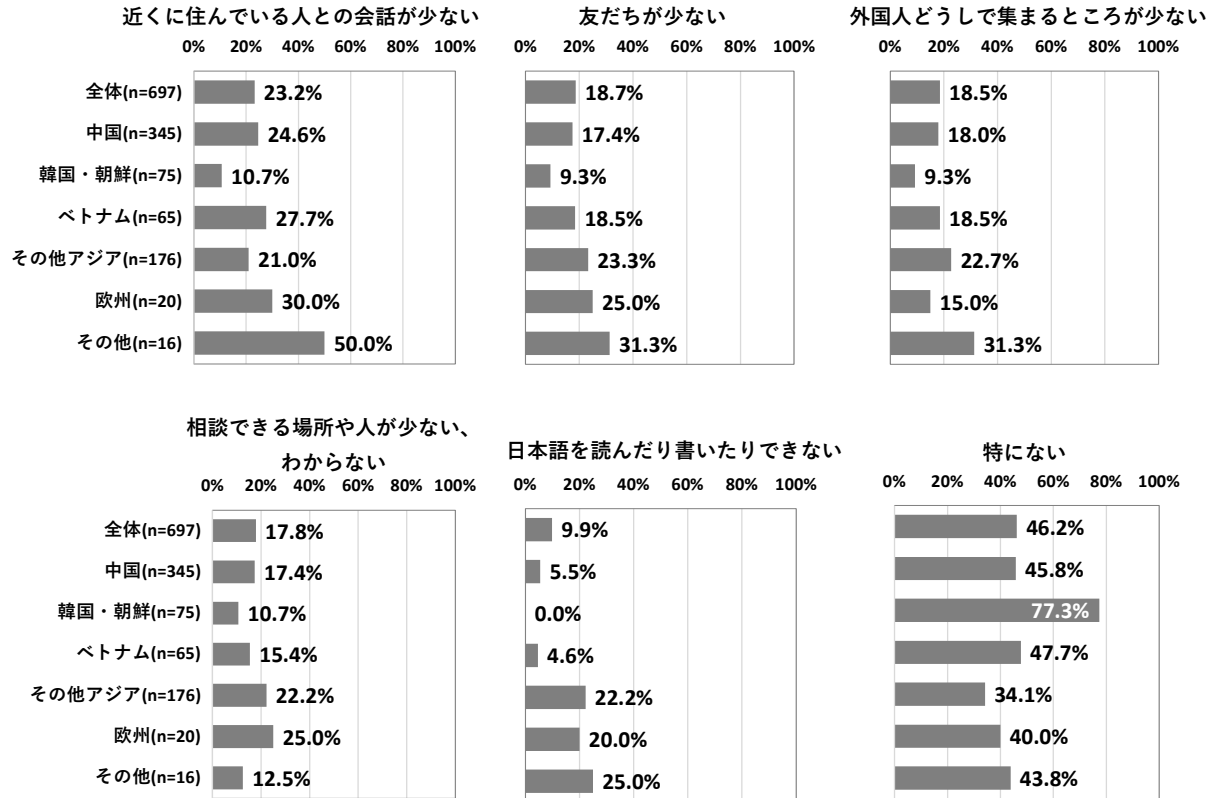




## 【国籍・出身地別】

韓国・朝鮮では「特にない」の割合が77.3%と最も高く、北区で生活するうえで困りごとを抱えている人の割合は、どの項目においても他の国籍・出身地と比較して低い。

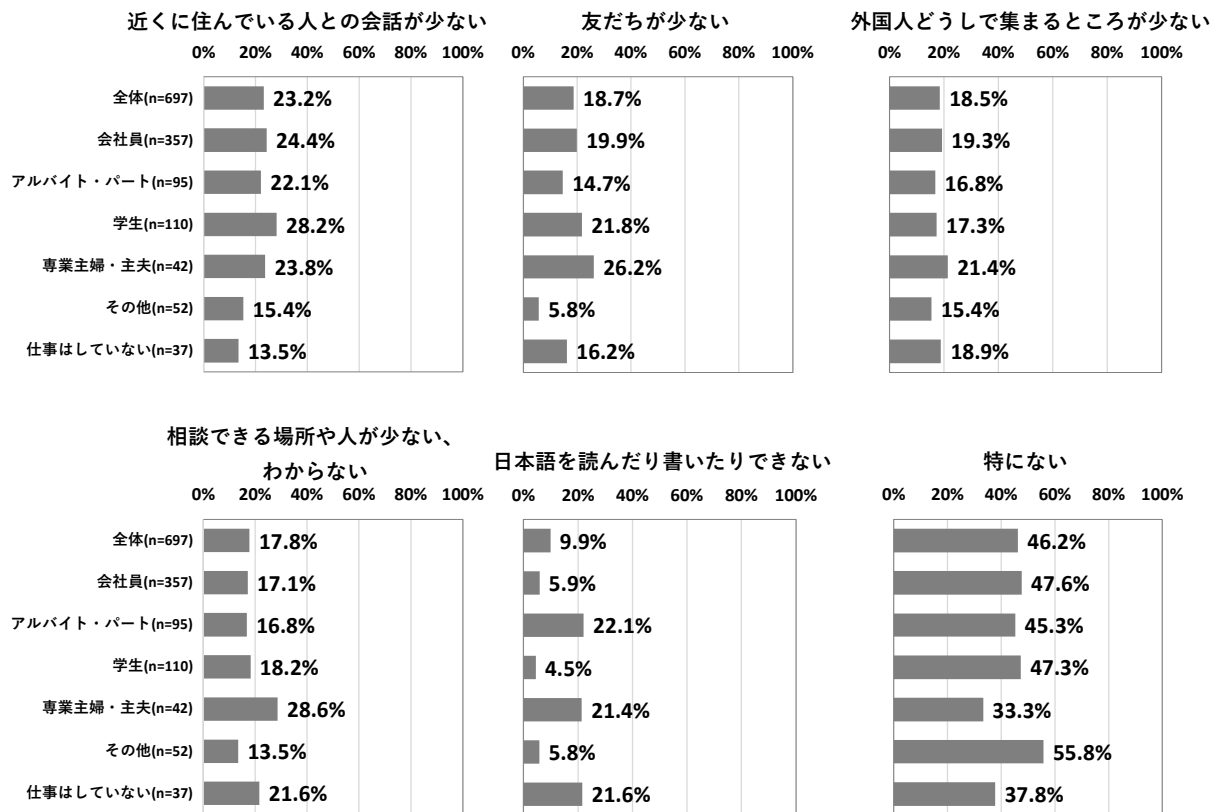
図表III-9



**【職業別】**

「日本語を読んだり書いたりできない」の割合はアルバイト・パートのほか、専業主婦・主夫を含めて仕事をしていない人において、回答の割合が高い。

**図表Ⅲ- 10**



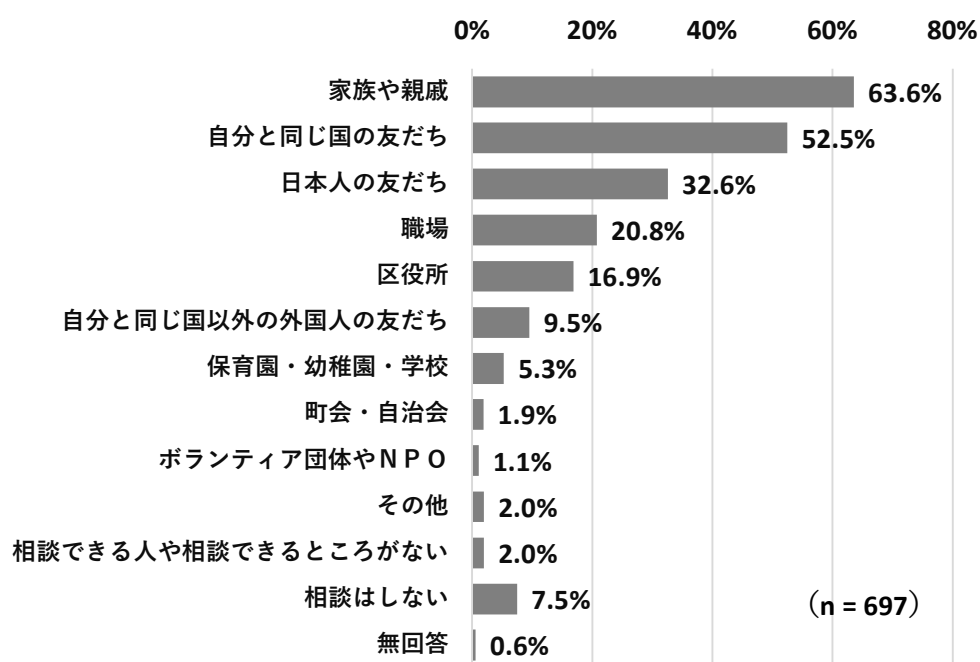
Q14 生活に困ったときにだれ（どこ）に相談しますか。（チェック☑は5つまで）



**ポイント 困りごとの相談先は、親族や同国人が多い**

「家族や親戚」の割合が63.6%と最も高く、「自分と同じ国の友だち」(52.5%)、「日本人の友だち」(32.6%)と続いている。

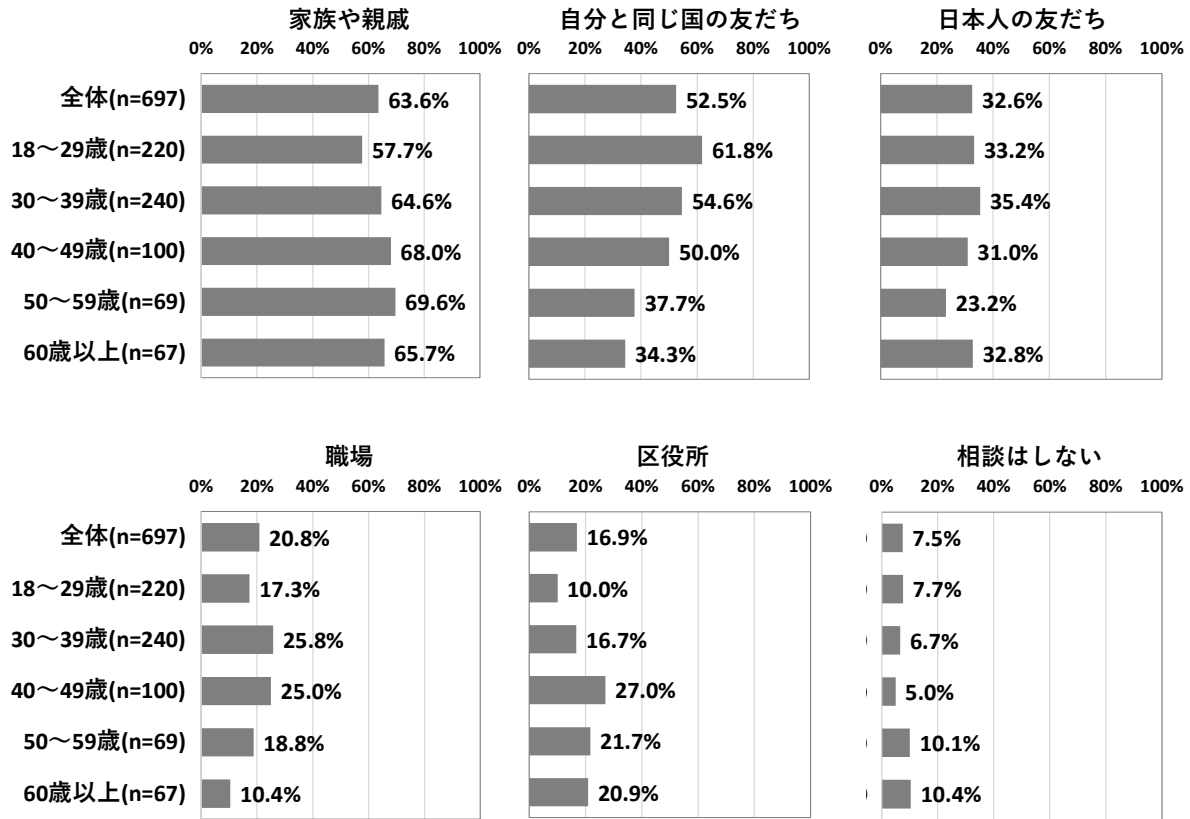
図表Ⅲ- 11



**【年齢別】**

「自分と同じ国の友だち」の割合は20代で61.8%と最も高く、年齢が上がるにつれてその割合は低くなっている。

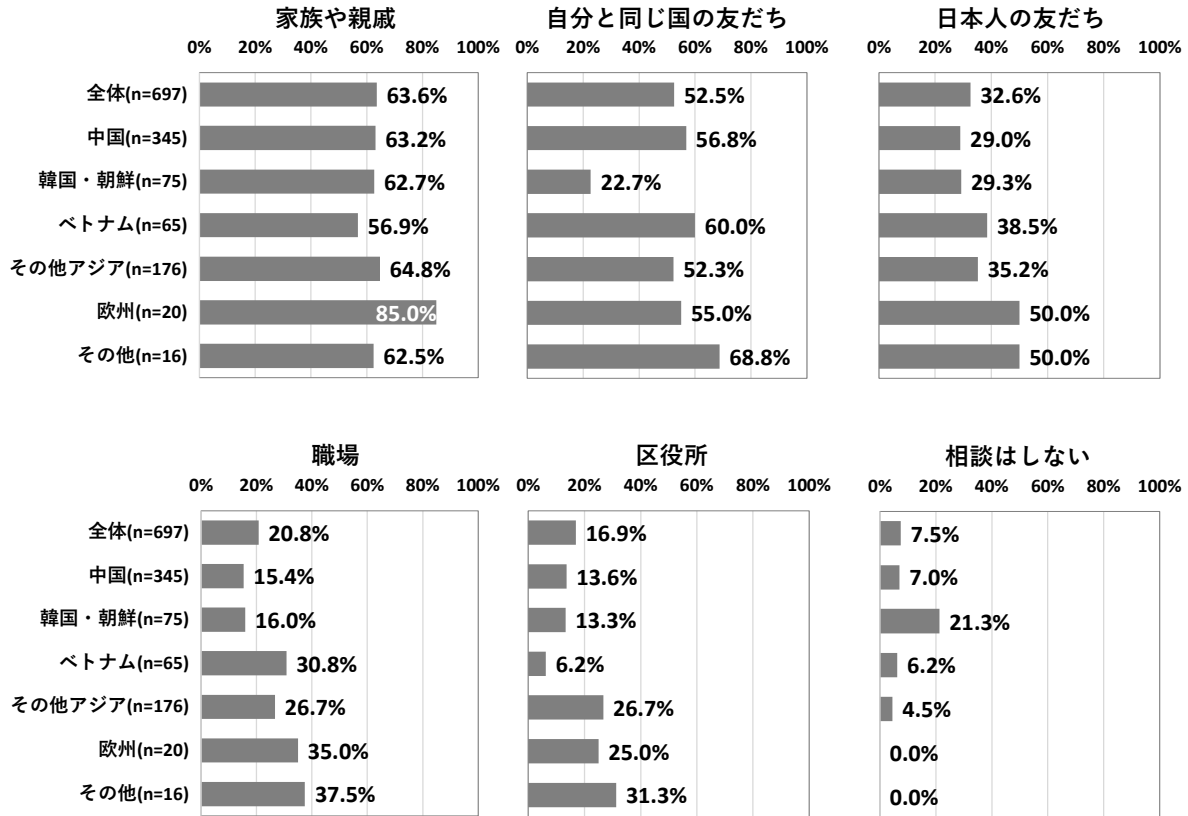
**図表III-12**



## 【国籍・出身地別】

韓国・朝鮮において「相談はしない」の割合が21.3%と最も高く、特に「自分と同じ国の友達」の割合が他の国籍・出身地と比較して低い。

図表III-13



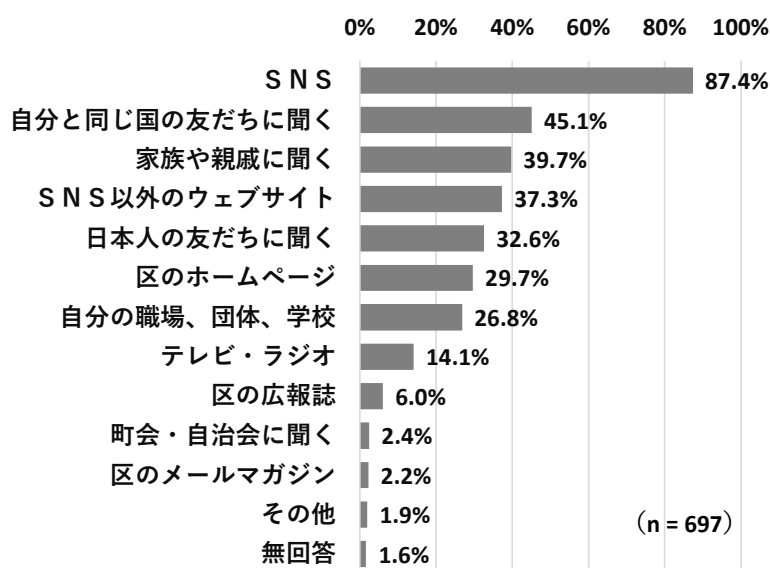
Q15 あなたは知りたいことをどうやって調べますか。(チェック☑は5つまで)



**ポイント SNSの活用が特に高く、友人や家族からも情報を得ている**

「SNS」の割合が87.4%と最も高く、「自分と同じ国の友だちに聞く」(45.1%)、「家族や親戚に聞く」(39.7%)と続いている。

図表III-14

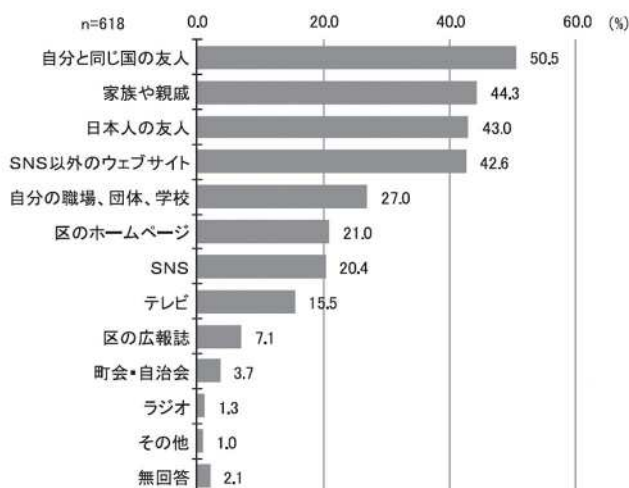


<前回(令和元年度)調査との比較>

前回調査では20.4%だった「SNS」が、今回調査では87.4%と67.0ポイント増加している。

(参考) 令和元年度調査結果

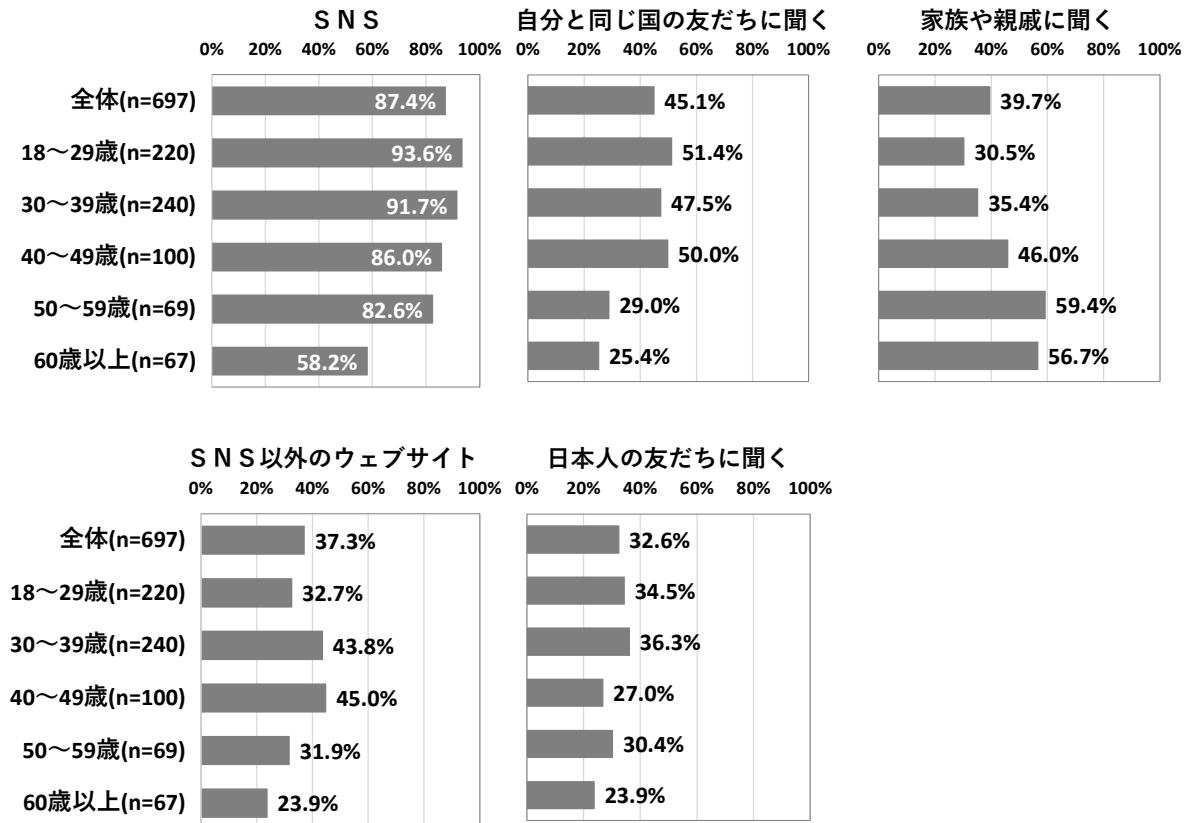
図III-14. 知りたい情報の入手方法



**【年齢別】**

「SNS」の割合は50代以下で8割を超えている。「自分と同じ国の友だちに聞く」の割合は40代以下が比較的高く、一方で「家族や親戚に聞く」の割合は50代以上で比較的高い。

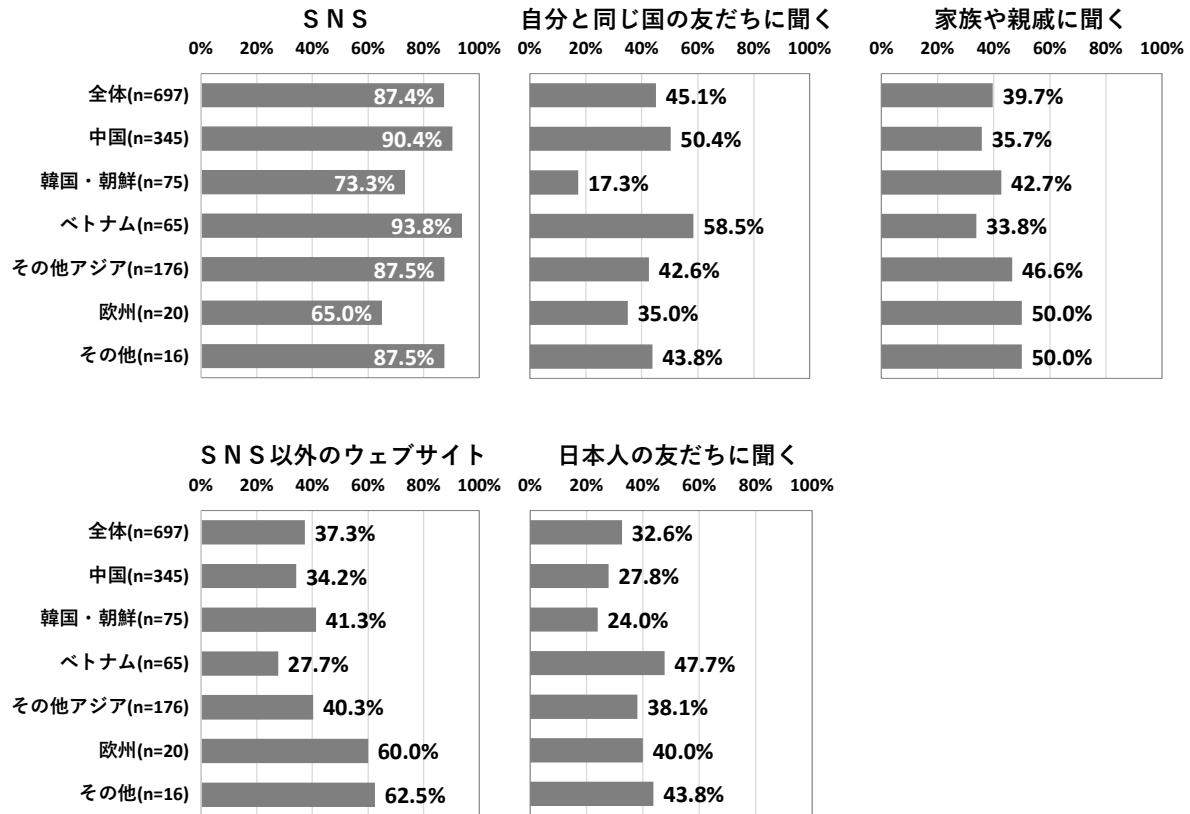
**図表III- 15**



**【国籍・出身地別】**

ベトナムでは「自分と同じ国の友達に聞く」(58.5%)及び「日本人の友だちに聞く」(47.7%)の割合が他の国籍・出身地と比較してやや高い。韓国・朝鮮では「自分と同じ国の友達に聞く」の割合が17.3%と、他の国籍・出身地と比較して低い。

図表III-16

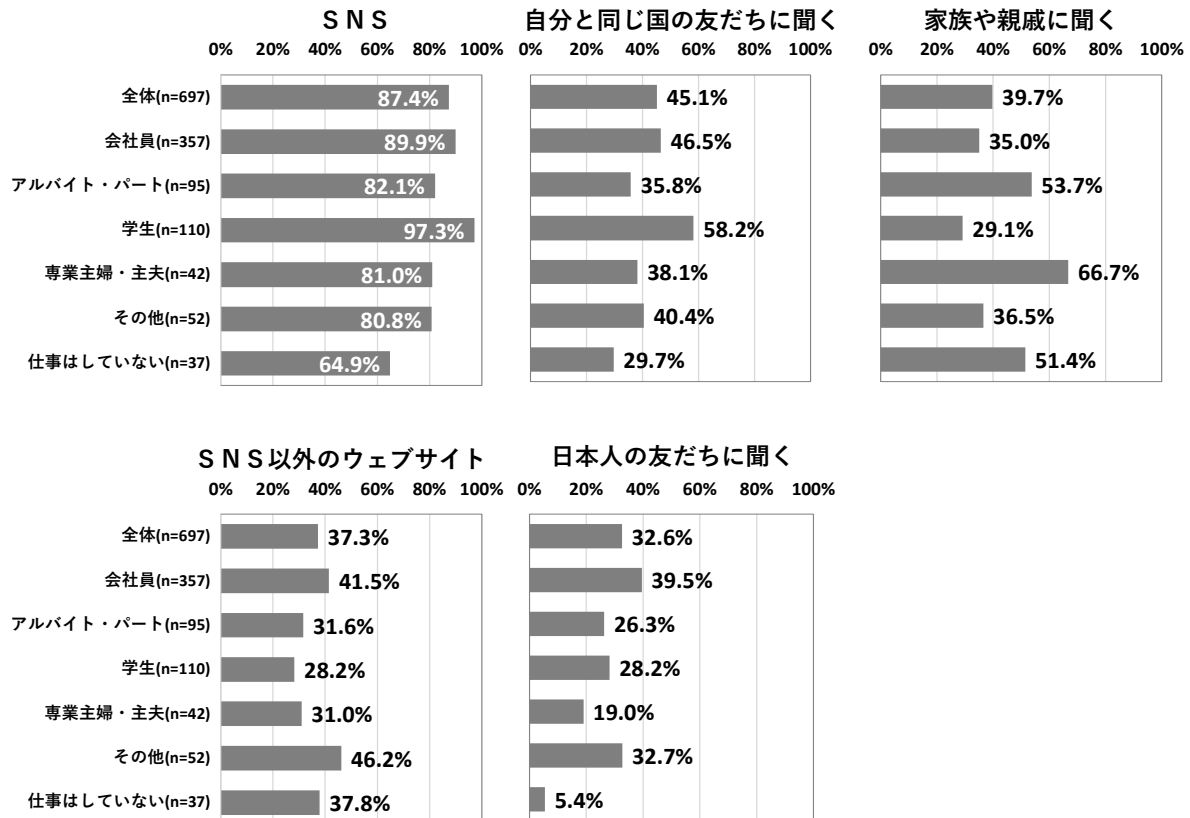




**【職業別】**

学生では「SNS」の割合が概ね 100%となっており、「自分と同じ国の友だちに聞く」の割合も 58.2%と、他の職業と比較して高い。

図表Ⅲ- 17



Q16-1 あなたが情報を知るときに1番使うSNSは何ですか。(チェック☑は1つだけ)

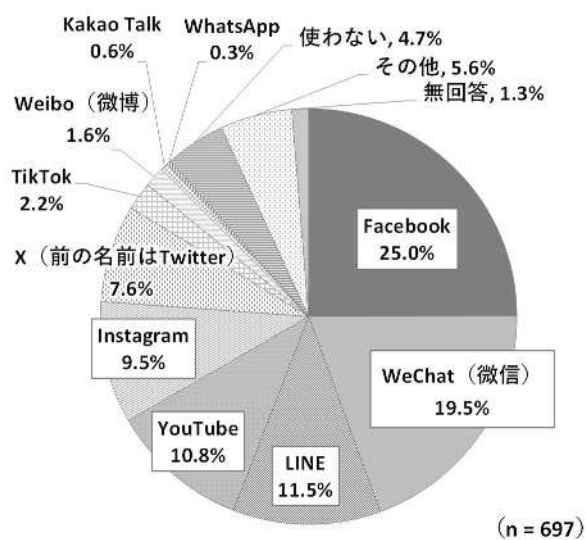


ポイント 「Facebook」、「WeChat (微信)」、「LINE」で半数を占める

「Facebook」の割合が25.0%と最も高く、「WeChat (微信)」(19.5%)、「LINE」(11.5%)と続いている。

図表III-18

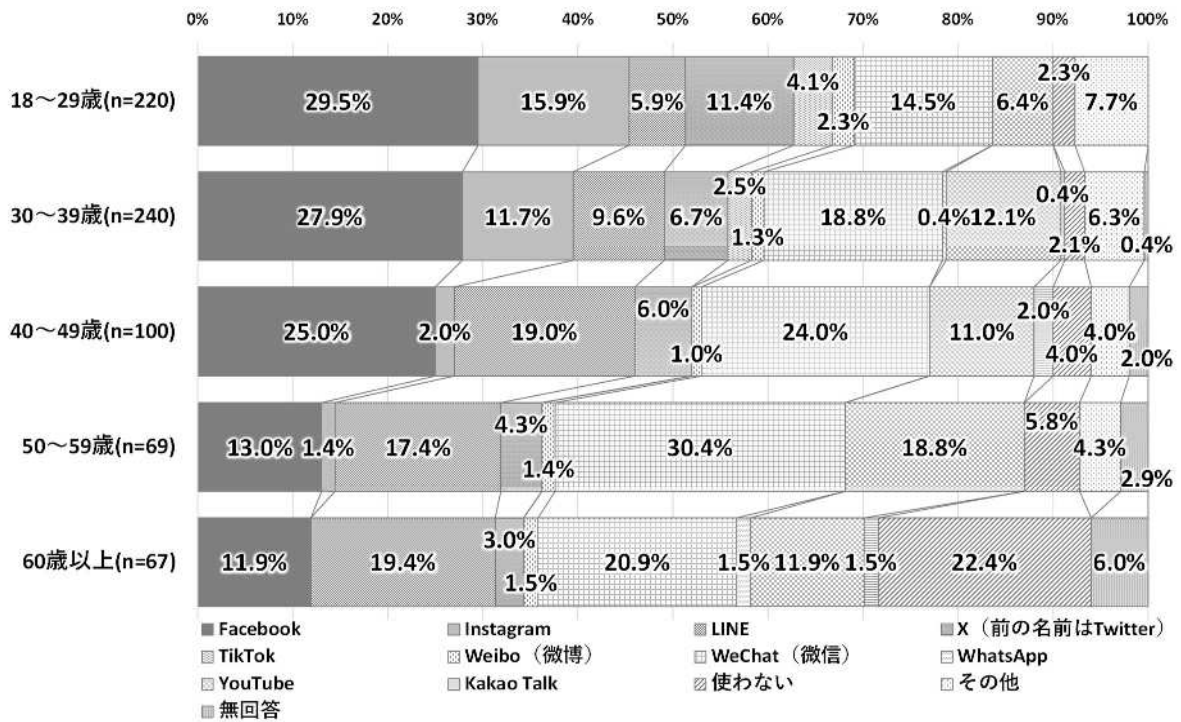
項目	回答者数	割合
全体	697	100.0%
Facebook	174	25.0%
WeChat (微信)	136	19.5%
LINE	80	11.5%
YouTube	75	10.8%
Instagram	66	9.5%
X (前の名前はTwitter)	53	7.6%
TikTok	15	2.2%
Weibo (微博)	11	1.6%
Kakao Talk	4	0.6%
WhatsApp	2	0.3%
使わない	33	4.7%
その他	39	5.6%
無回答	9	1.3%



### 【年齢別】

「Facebook」の割合は40代以下で比較的高く、「Instagram」の割合は30代以下で比較的高い。60代以上では「使わない」の割合が22.4%と、他の年齢と比較して高い。

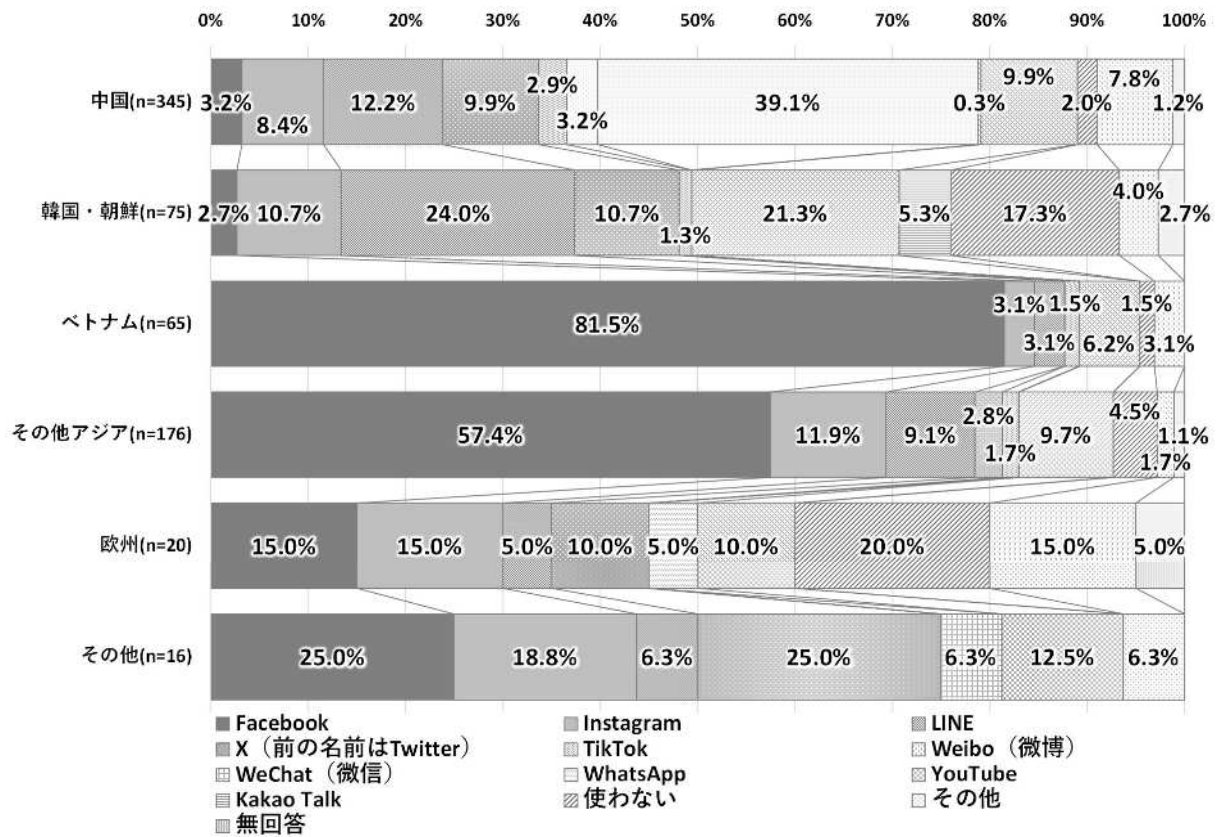
図表III-19



【国籍・出身地別】

中国では「WeChat」(39.1%)の割合が高く、韓国・朝鮮では「LINE」(24.0%)、「YouTube」(21.3%)が上位を占めている。ベトナム及びその他アジアでは「Facebook」の割合がそれぞれ81.5%、57.4%と非常に高い。

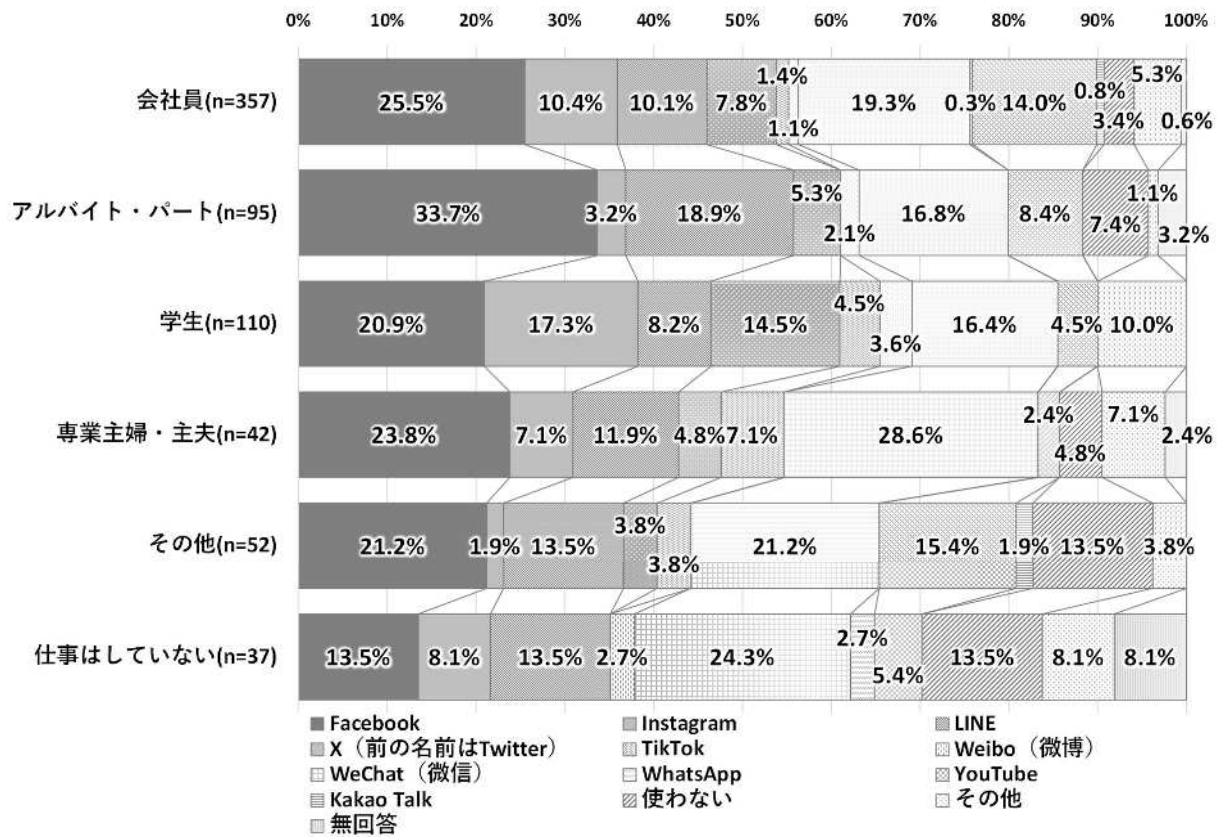
図表III-20



【職業別】

アルバイト・パートでは「Facebook」(33.7%)及び「LINE」(18.9%)の割合が、他の職業と比較してやや高い。学生では「Instagram」(17.3%)及び「X」(14.5%)の割合が、他の職業と比較してやや高い。

図表III-21



Q16-2 あなたが連絡をとるときに1番使うSNSは何ですか。(チェック☑は1つだけ)

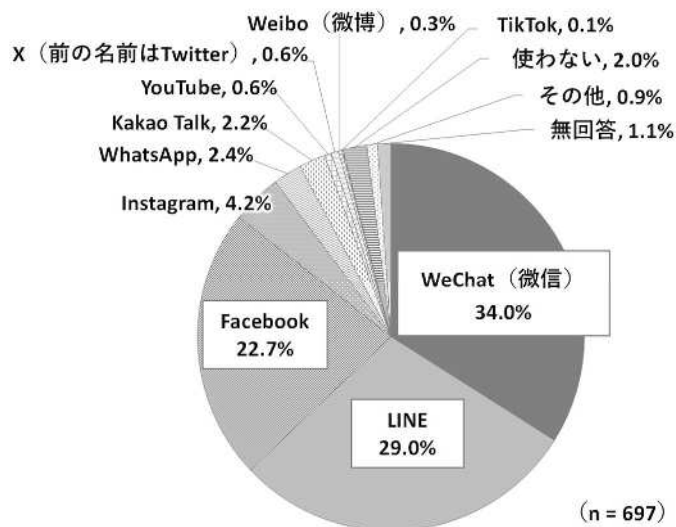


ポイント 「WeChat (微信)」、「Facebook」、「LINE」で8割半ばを占める

「WeChat (微信)」の割合が34.0%と最も高く、「LINE」(29.0%)、「Facebook」(22.7%)と続いている。

図表III- 22

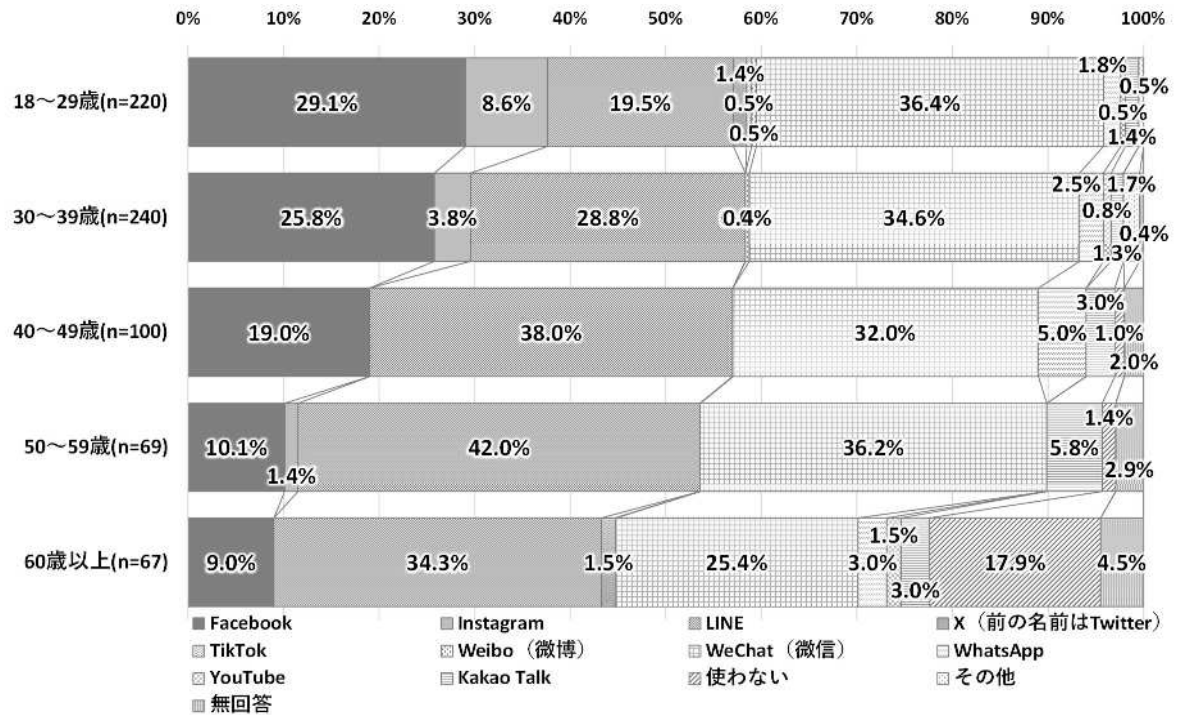
項目	回答者数	割合
全体	697	100.0%
WeChat (微信)	237	34.0%
LINE	202	29.0%
Facebook	158	22.7%
Instagram	29	4.2%
WhatsApp	17	2.4%
Kakao Talk	15	2.2%
YouTube	4	0.6%
X (前の名前はTwitter)	4	0.6%
Weibo (微博)	2	0.3%
TikTok	1	0.1%
使わない	14	2.0%
その他	6	0.9%
無回答	8	1.1%



### 【年齢別】

「Facebook」の割合は20代以下で29.1%と最も高く、年齢が上がるにつれてその割合は低くなっている。「LINE」の割合は50代で42.0%と最も高く、10代から50代にかけては年齢が上がるにつれてその割合も高くなっている。60代以上は「使わない」の割合が17.9%と、他の年齢と比較して高い。

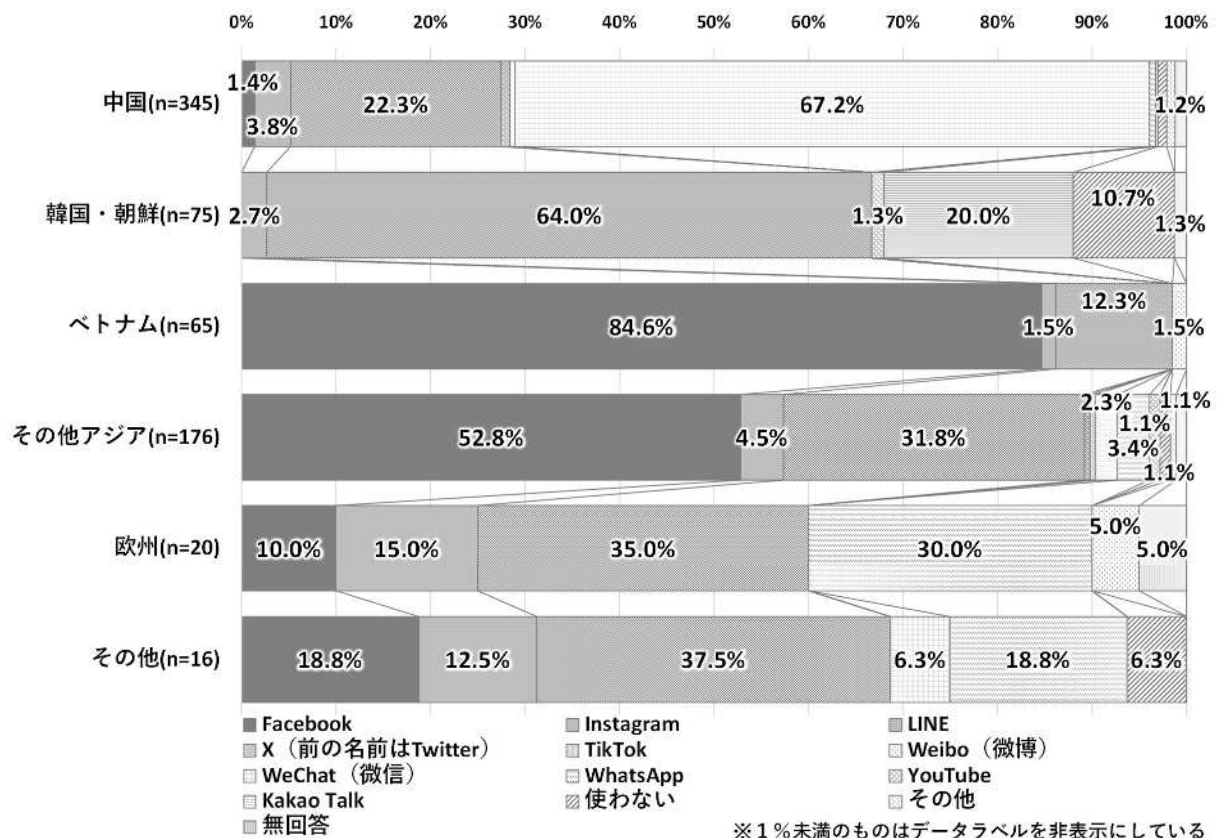
図表III-23



### 【国籍・出身地別】

中国では「WeChat」(67.2%)の割合が最も高く、「LINE」(22.3%)が続いている。韓国・朝鮮では「LINE」(64.0%)の割合が最も高く、「Kakao Talk」(20.0%)が続いている。ベトナムでは「Facebook」(84.6%)の割合が最も高く、「LINE」(12.3%)が続いている。その他アジアでは「Facebook」(52.8%)の割合が最も高く、「LINE」(31.8%)が続いている。

図表III-24

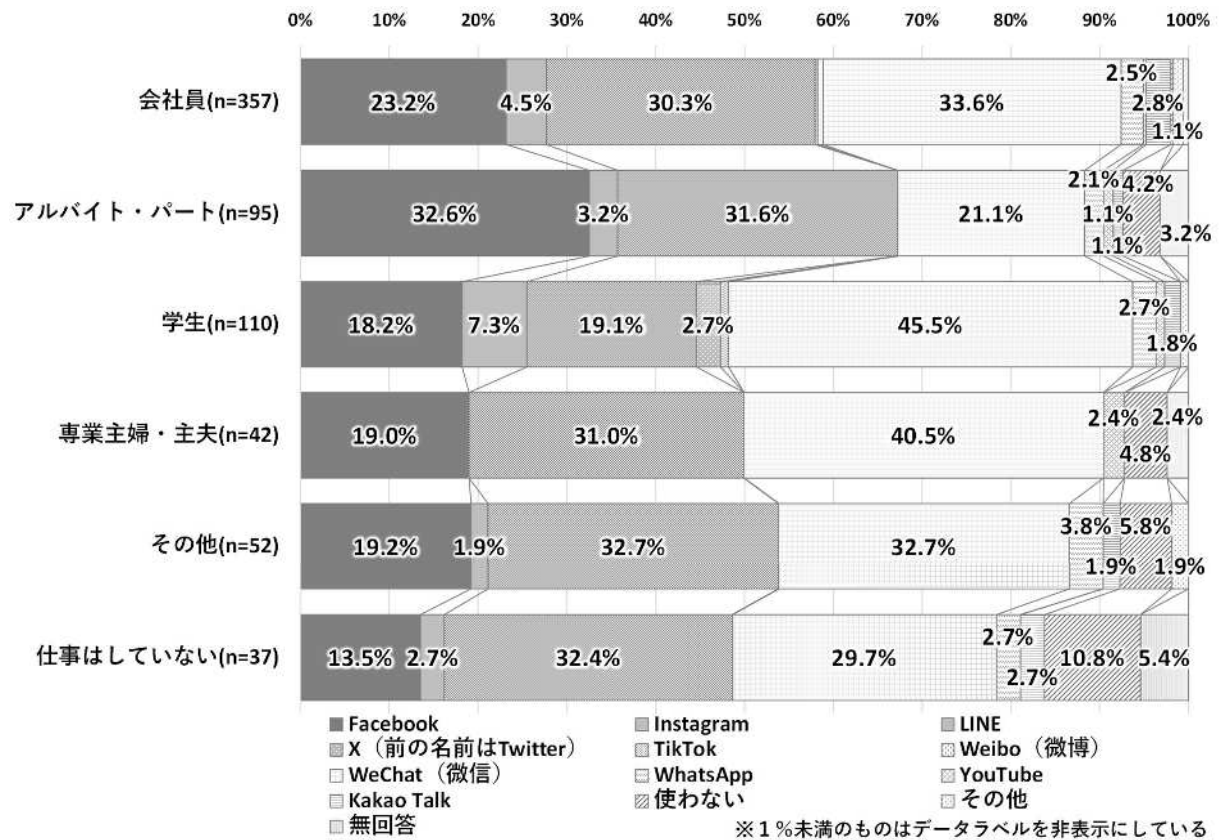




【職業別】

アルバイト・パートでは「Facebook」の割合が32.6%と、他の職業と比較して高い。学生では「WeChat（微信）」の割合が45.5%と、他の職業と比較して高い。

図表III- 25



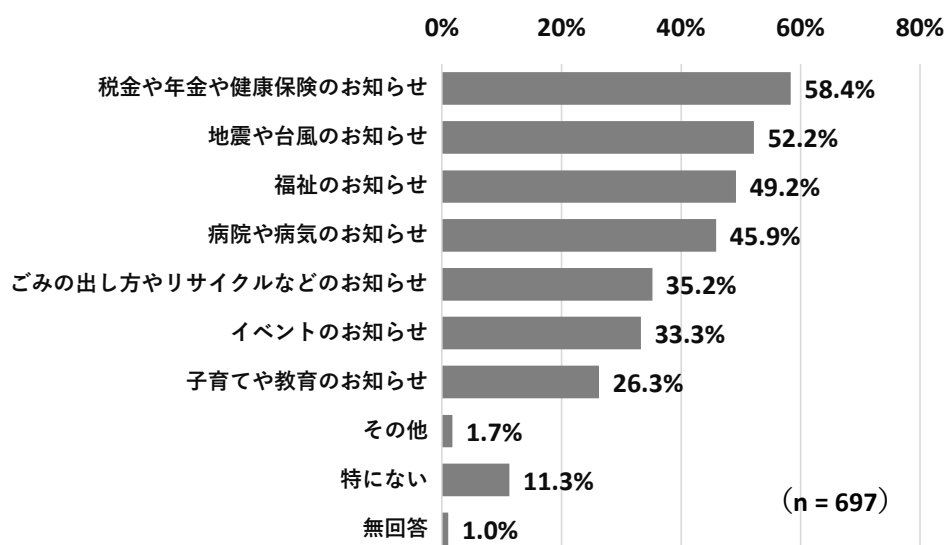
Q17 生活するときにどんなお知らせが必要ですか。(チェック☑は5つまで)



**ポイント 税金・年金・健康保険、地震や台風に関するお知らせが半数を超える**

「税金や年金や健康保険のお知らせ」の割合が 58.4%と最も高く、「地震や台風のお知らせ」(52.2%)、「福祉のお知らせ」(49.2%)と続いている。

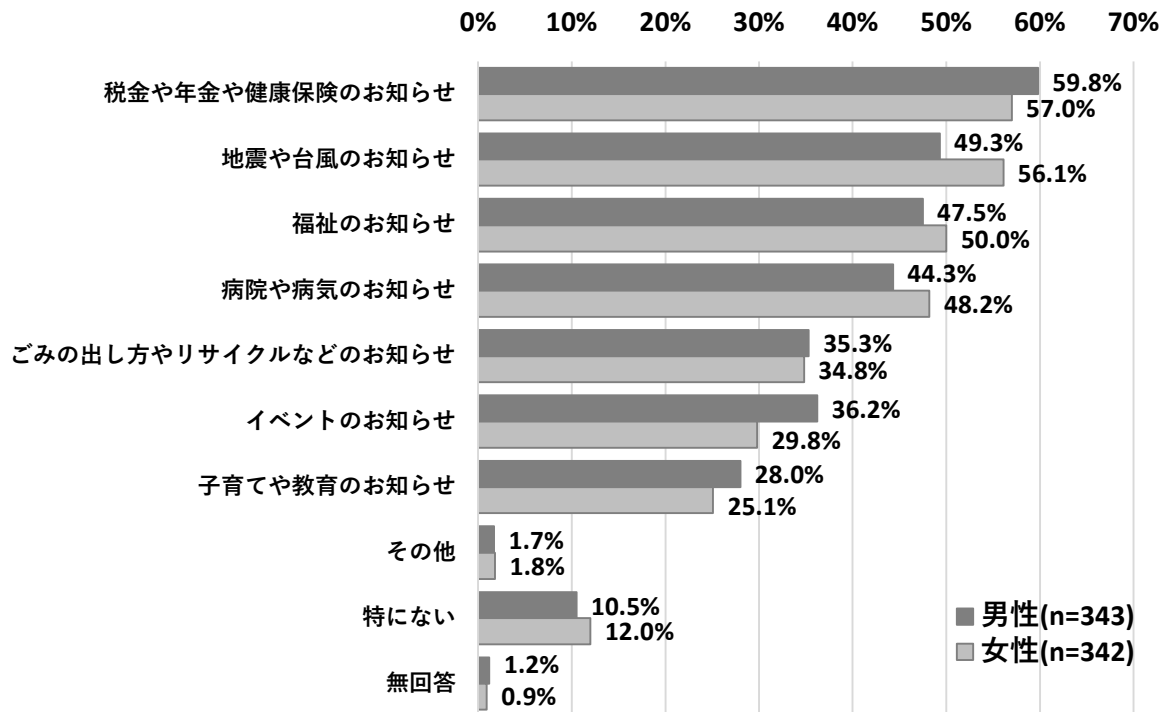
図表III-26



### 【男女別】

女性では「地震や台風のお知らせ」の割合が56.1%と、男性と比較してやや高い。

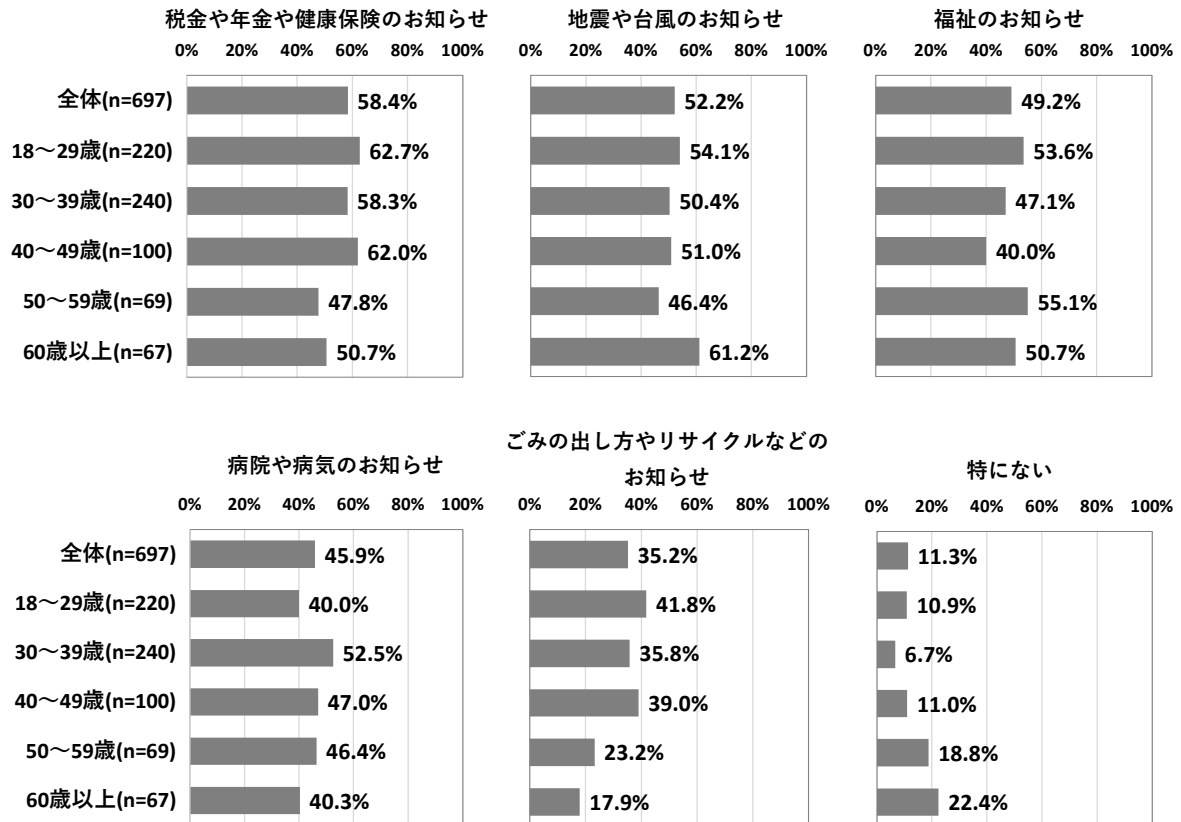
図表III-27



**【年齢別】**

50代以上において、「税金や年金や健康保険のお知らせ」及び「ごみの出し方やリサイクルなどのお知らせ」の回答の割合が、他の年齢と比較して低い。

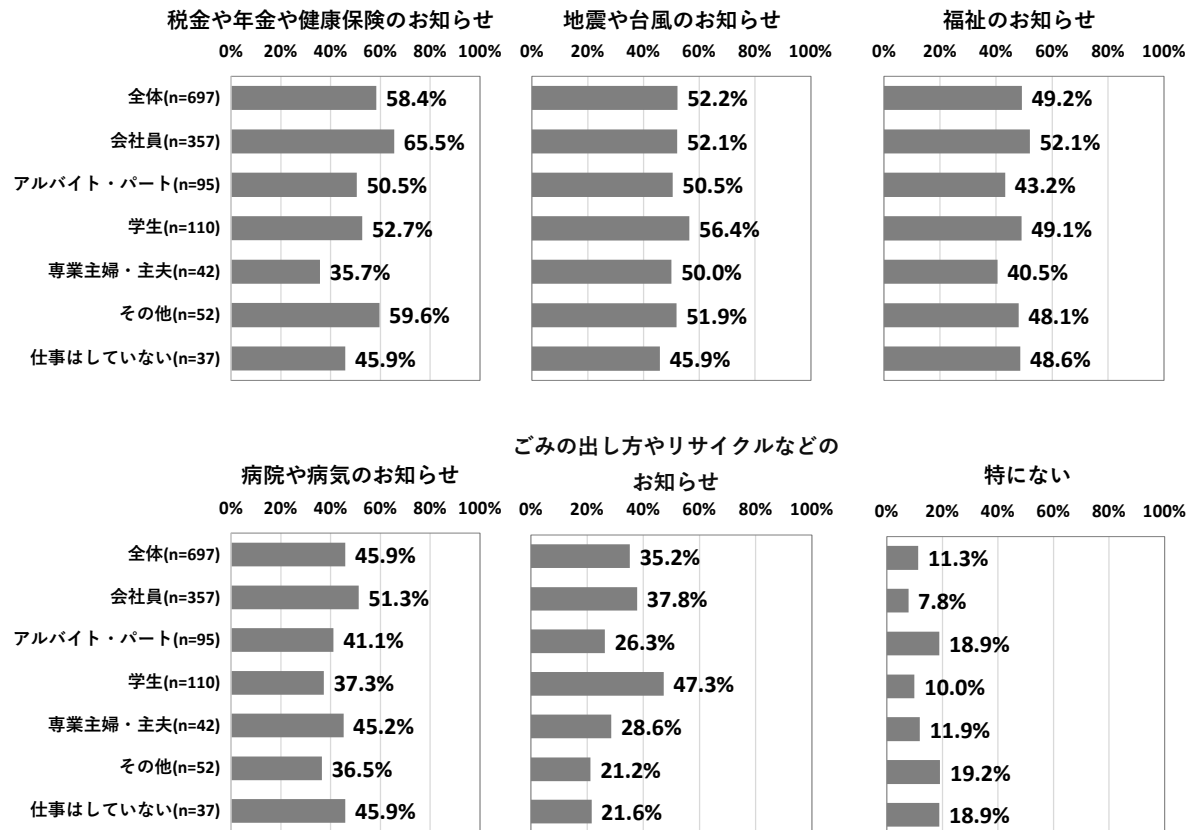
**図表Ⅲ- 28**



## 【職業別】

学生では「ごみの出し方やリサイクルなどのお知らせ」の割合が47.3%と、他の年齢と比較して高い。会社員では「税金や年金や健康保険のお知らせ」の割合は65.5%と、他の年齢と比較してやや高い。

図表III-29



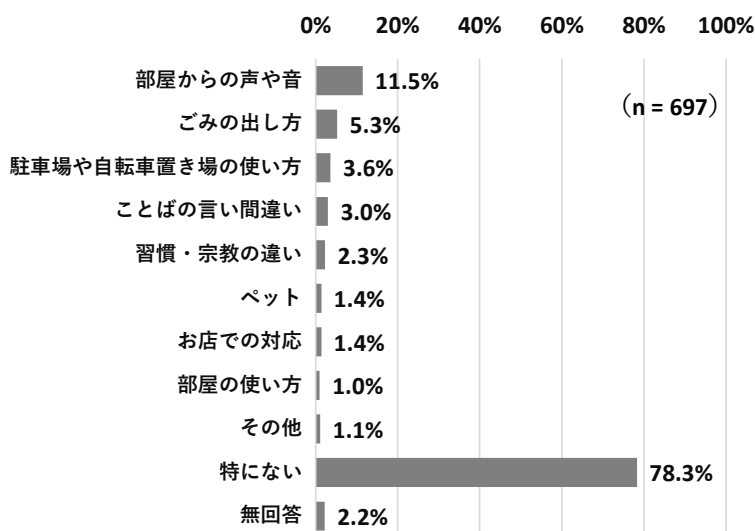
Q18 近くに住む人とトラブルになったことがありますか。(チェック☑はいくつでも)



**ポイント** 部屋からの声や音のトラブルが1割、一方で「特にない」がおよそ8割

「特にない」の割合が78.3%と最も高い。トラブルの原因としては、「部屋からの声や音」の割合が11.5%と最も高く、「ごみの出し方」(5.3%)、「駐車場や自転車置き場の使い方」(3.6%)と続いている。

図表III-30

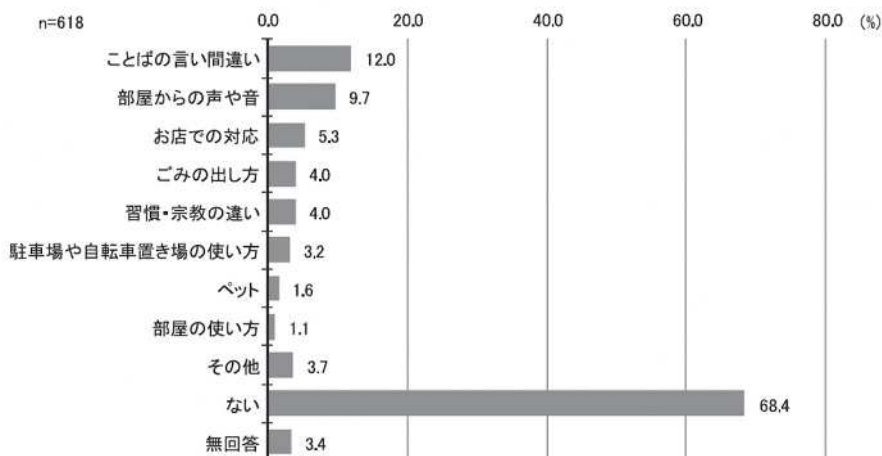


< 前回 (令和元年度) 調査との比較 >

前回調査で最も高かった「ことばの言い間違い」は3.0%と、9.0ポイント減少した。一方で「部屋からの声や音」は1.8ポイント、「ごみの出し方」は1.3ポイントそれぞれ増加している。

(参考) 令和元年度調査結果

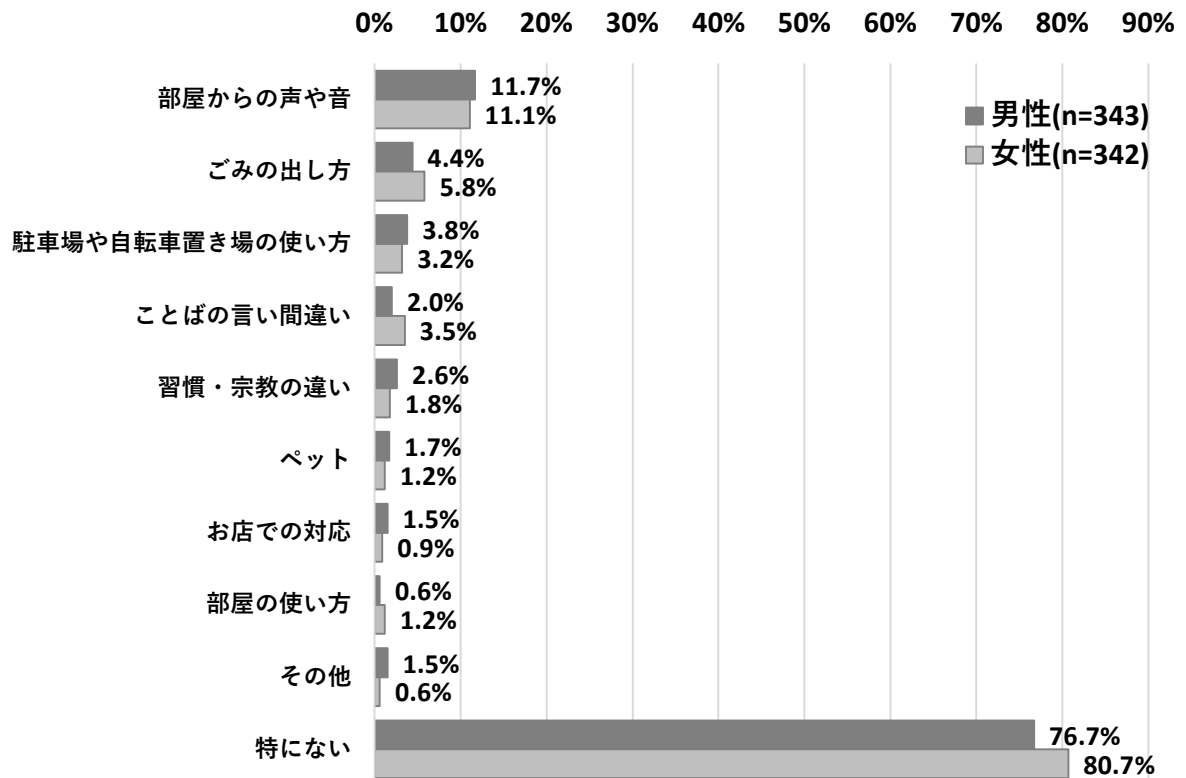
図III-20. 日本人とのトラブルの経験



### 【男女別】

男女別では、近隣住民とのトラブルについて大きな違いは見られない。

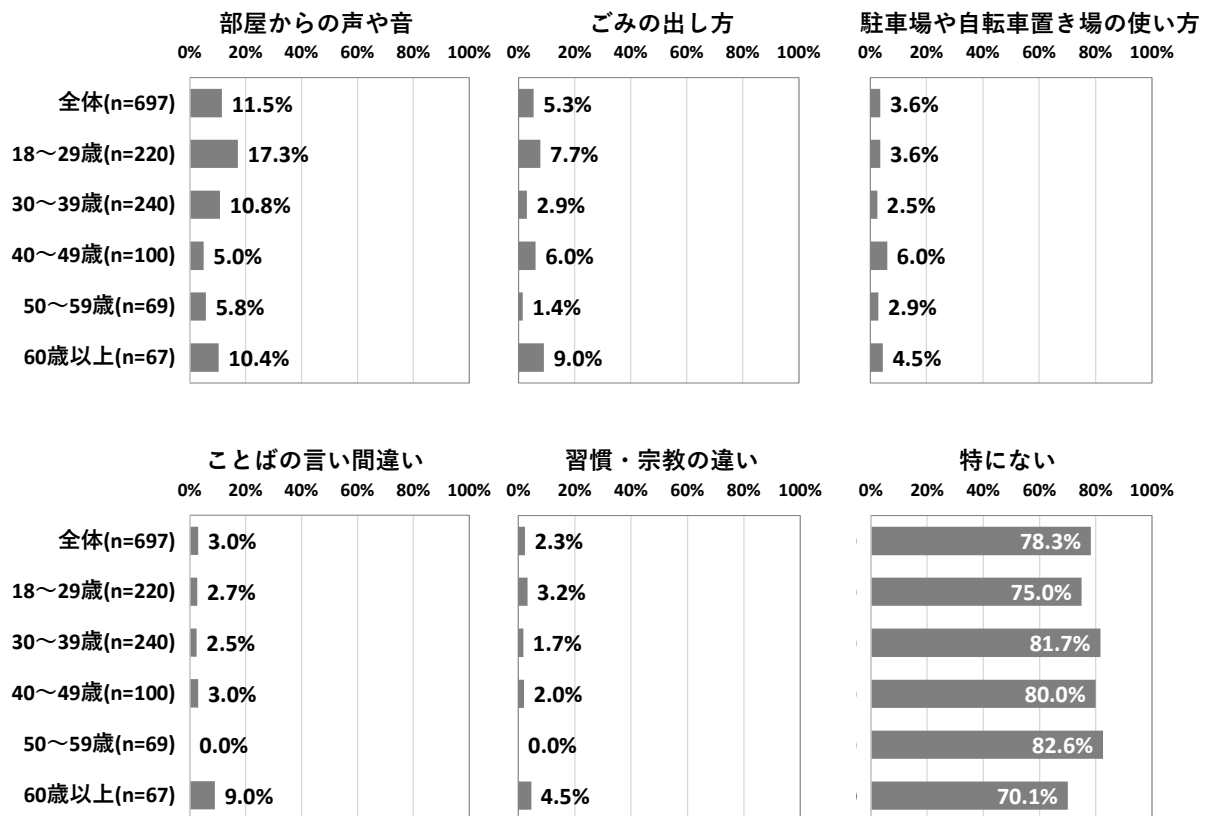
図表Ⅲ- 31



## 【年齢別】

20代以下では「部屋からの声や音」の割合が17.3%と、他の年齢と比較してやや高い。60代以上では「ことばの言い間違い」の割合が9.0%と、他の年齢と比較してやや高い。近隣住民とトラブルになった経験のある人の割合は、60代以上で29.9%と他の年齢と比較してやや高い。

図表III-32

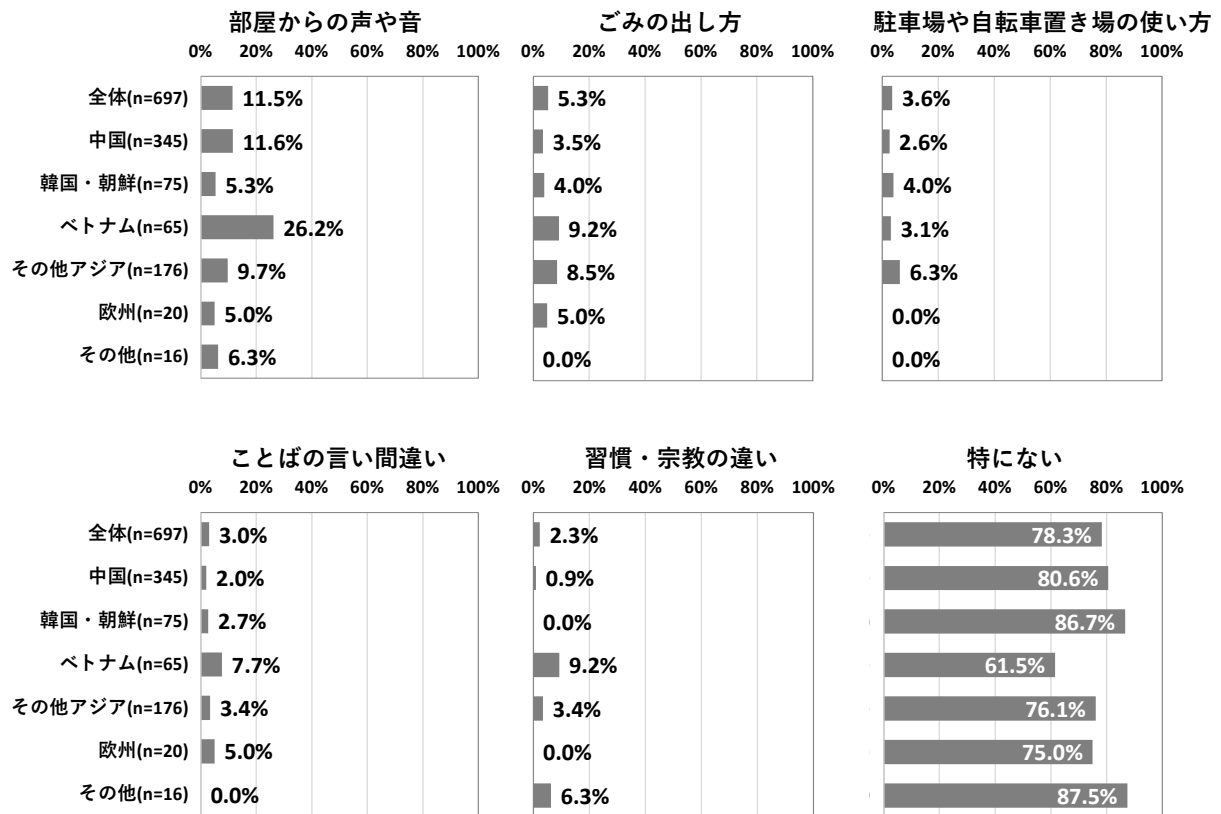




### 【国籍・出身地別】

ベトナムでは、近隣住民とトラブルになった経験のある人の割合は38.5%と、他の国籍・出身地よりも高くなっており、特に「部屋からの声や音」の割合が26.2%と、他の国籍・出身地と比較して高くなっている。

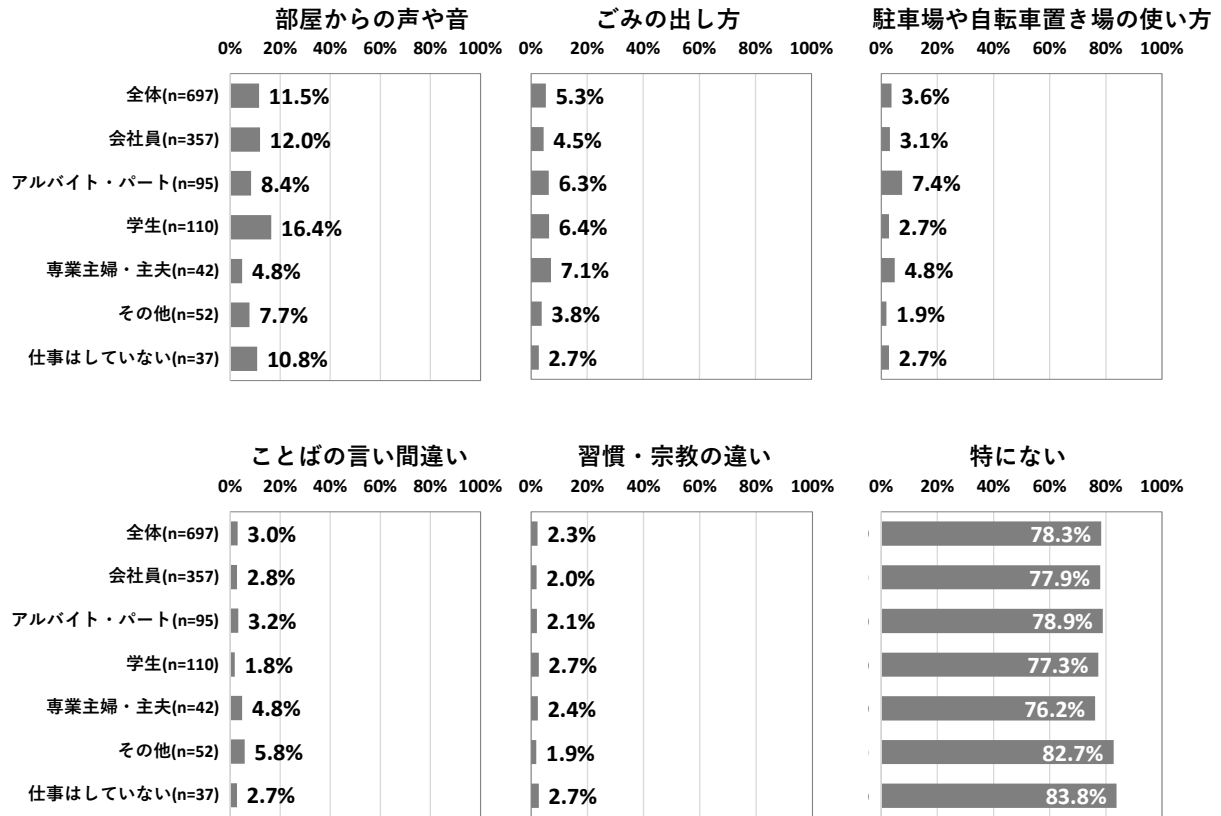
図表III-33



**【職業別】**

学生では「部屋からの声や音」の割合が16.4%と、他の職業と比較してやや高い。

図表III-34



#### IV. 地震、台風等への対応について

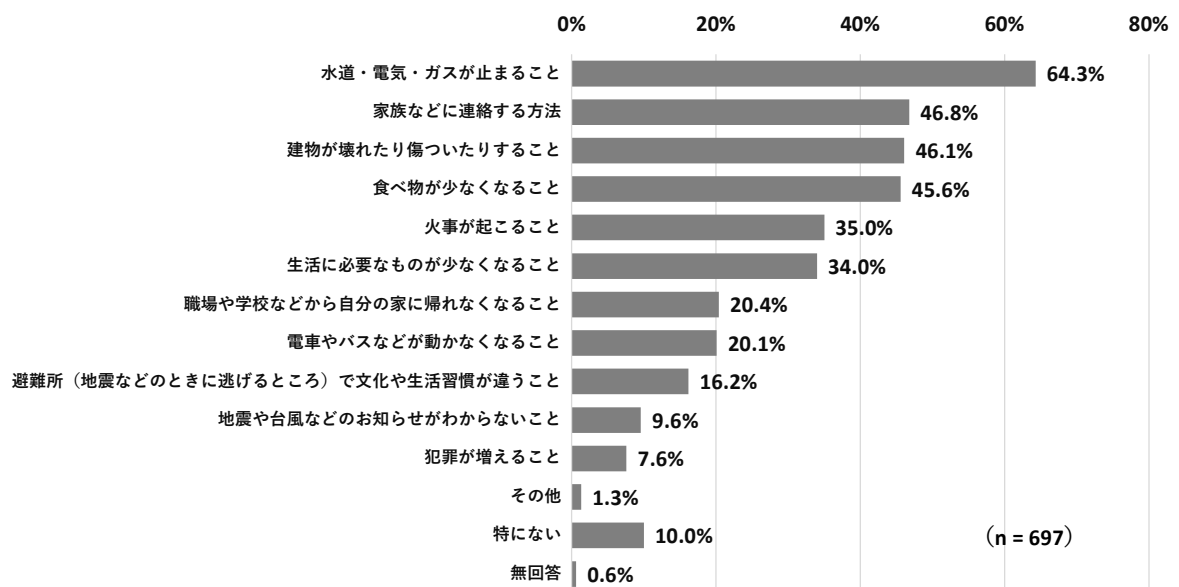
Q19 地震や台風などが起きたときに心配なことは何ですか。(チェック☑は5つまで)



**ポイント 「水道・電気・ガスが止まること」が最も不安**

「水道・電気・ガスが止まること」の割合が64.3%と最も高く、「家族などに連絡する方法」(46.8%)、「建物が壊れたり傷ついたりすること」(46.1%)と続いている。

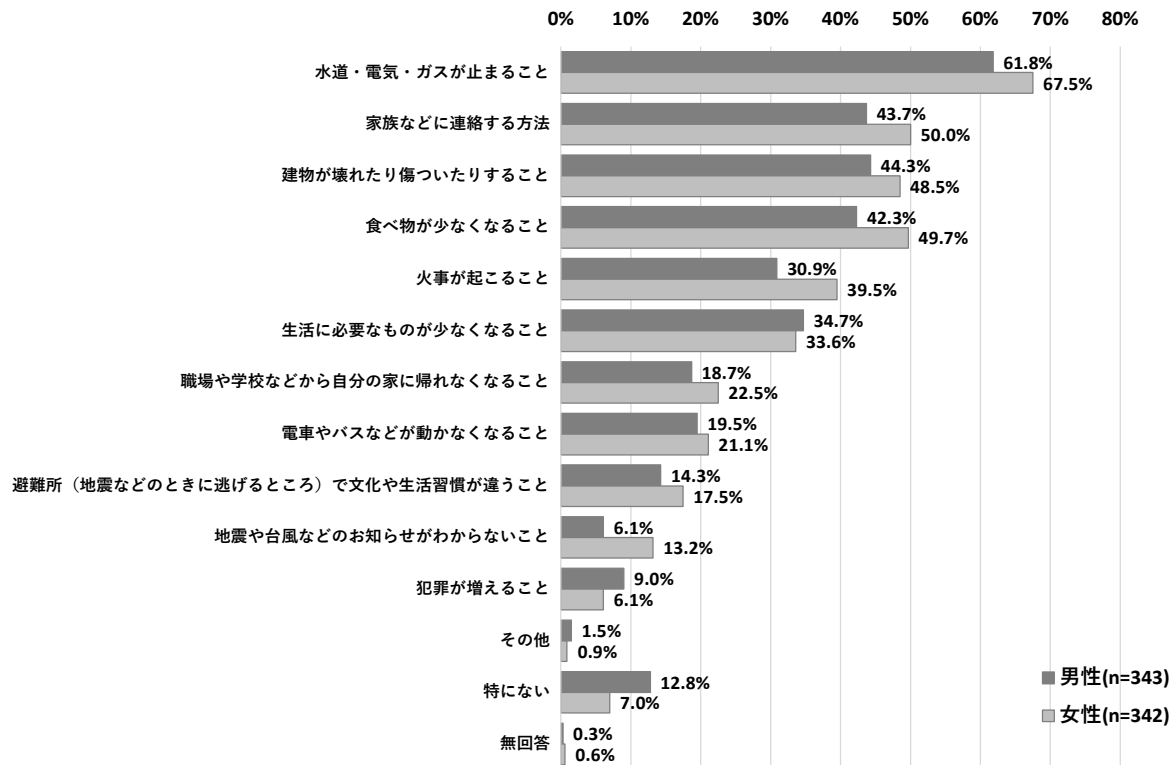
図表IV- 1



## 【男女別】

多くの項目において、女性の回答の割合は男性と比較して高くなっており、特に「火事が起こること」(39.5%)「食べ物が少なくなること」(49.7%)「地震や台風などのお知らせがわからないこと」(13.2%)において、男性と比較して高い。

図表IV- 2



**Q20** 地震や台風などが起きたときの避難場所（逃げるところ）を知っていますか。  
（チェック☑は1つだけ）

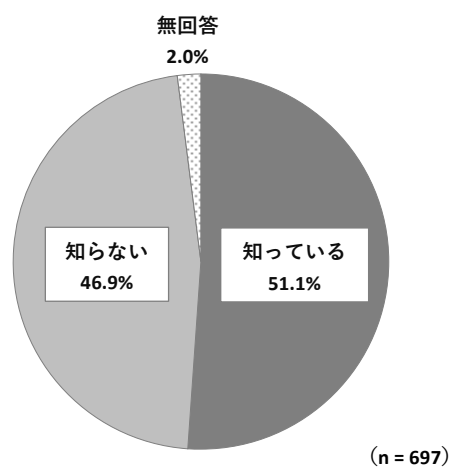


**ポイント** 「知っている」の割合はおよそ半数

「知っている」の割合が51.1%、「知らない」の割合は46.9%となっている。

図表IV- 3

項目	回答者数	割合
全体	697	100.0%
知っている	356	51.1%
知らない	327	46.9%
無回答	14	2.0%

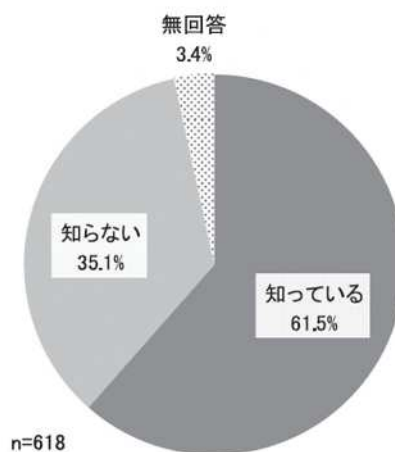


<前回（令和元年度）調査との比較>

「知っている」の割合は、前回調査では61.5%だったのに対し、今回調査では51.1%と、10.4ポイント減少している。

（参考）令和元年度調査結果

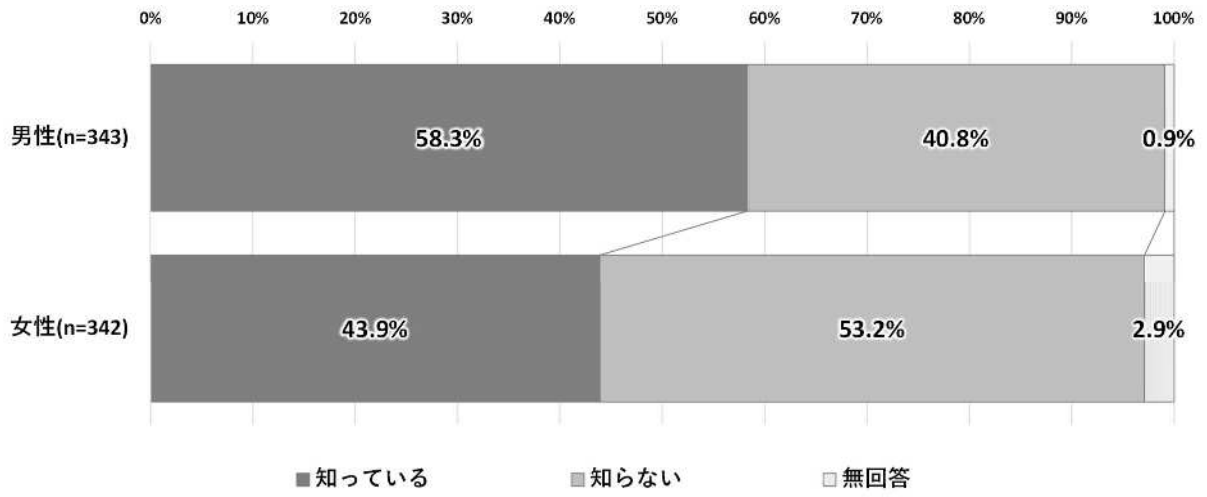
図IV- 3. 避難場所の認知度



**【男女別】**

男性では「知っている」の割合が 58.3%と、女性（43.9%）と比較して高い。

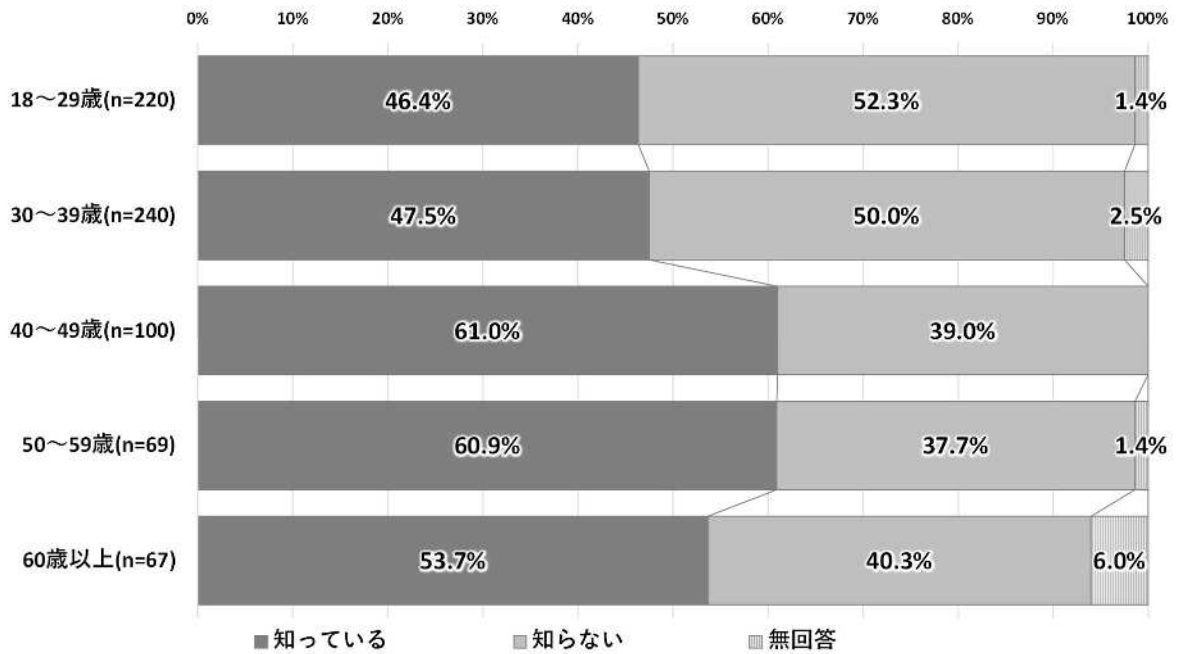
**図表IV- 4**



### 【年齢別】

40代及び50代では「知っている」の割合が6割を超えている一方、30代以下では「知っている」の割合は50%に満たない。

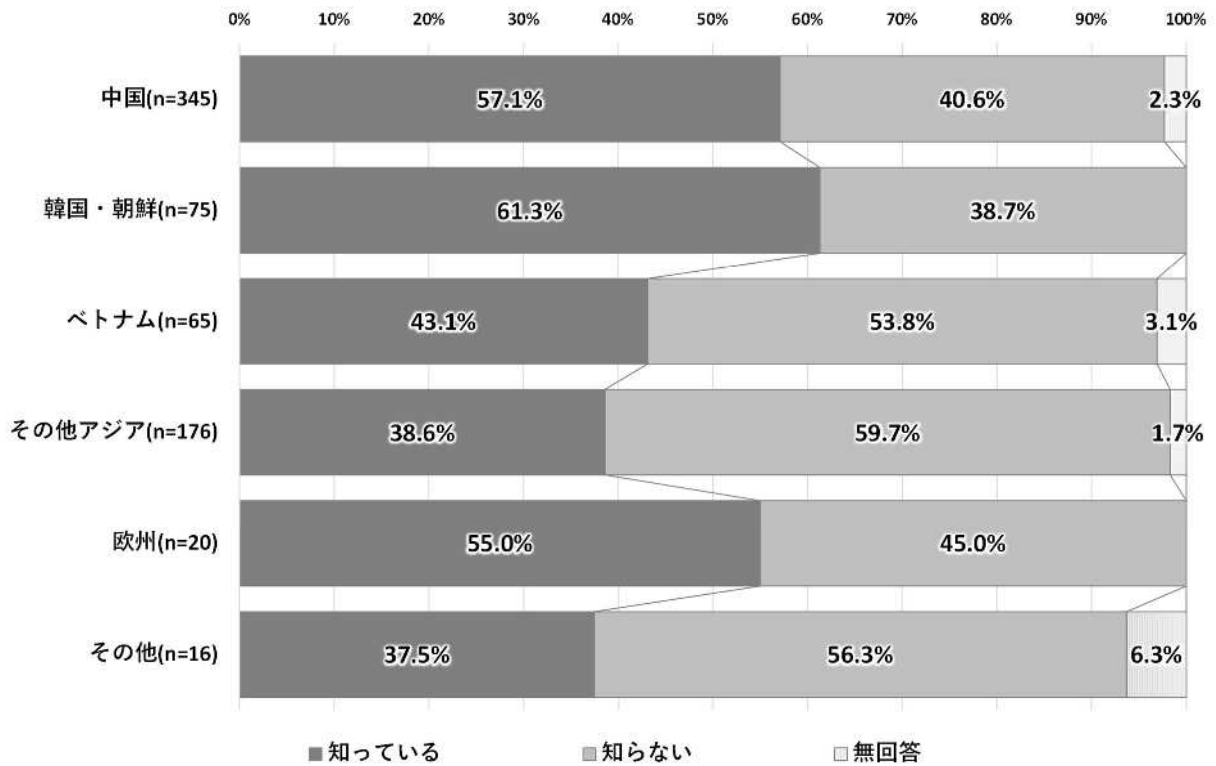
図表IV-5



### 【国籍・出身地別】

「知っている」の割合は、韓国・朝鮮（61.3%）及び中国（57.1%）において比較的高く、ベトナム（43.1%）及びその他アジア（38.6%）においては比較的低い。

図表IV- 6





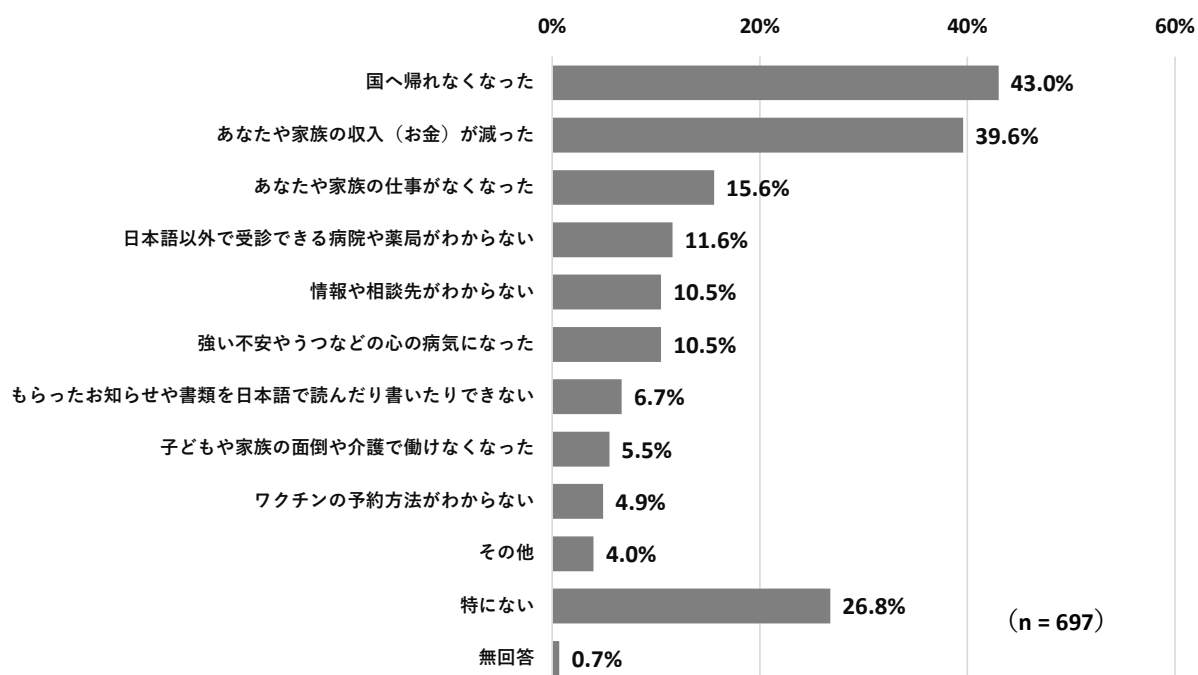
Q21 新型コロナウイルスの感染拡大で困ったことは何ですか。(チェック☑は5つまで)



- ポイント**
- ・「国へ帰れなくなった」の回答が4割を超える
  - ・「あなたや家族の収入(お金)が減った」の回答も4割近い

「国へ帰れなくなった」の割合が43.0%と最も高く、「あなたや家族の収入(お金)が減った」(39.6%)、「あなたや家族の仕事がなくなった」(15.6%)と続いている。

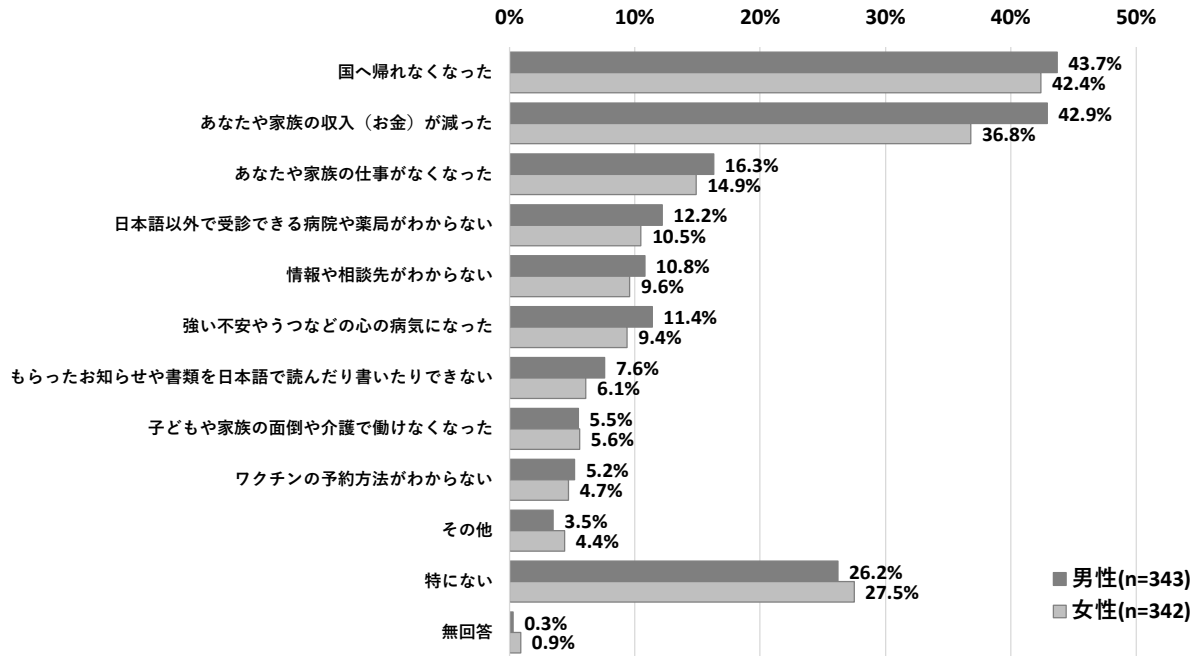
図表IV-7



## 【男女別】

男性では「あなたや家族の収入（お金）が減った」の割合が42.9%と、女性と比較してやや高い。

図表IV- 8



## V. 子育てや教育について

Q22 あなたには、いっしょに暮らしている15歳以下の子どもがいますか。  
(チェック☑は1つだけ)

※ Q3で「子ども」と一緒に住んでいる、と回答した人が対象。

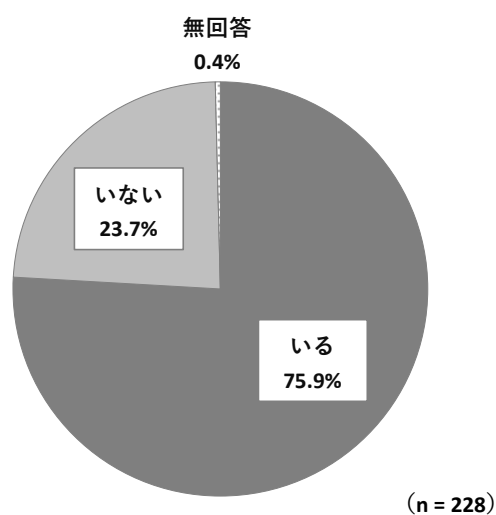


**ポイント** 15歳以下の子どもと一緒に住んでいる人は7割半ば

子どもと一緒に住んでいる人のうち、一緒に住んでいる15歳以下の子供が「いる」と回答した人の割合は75.9%となっている。

図表V-1

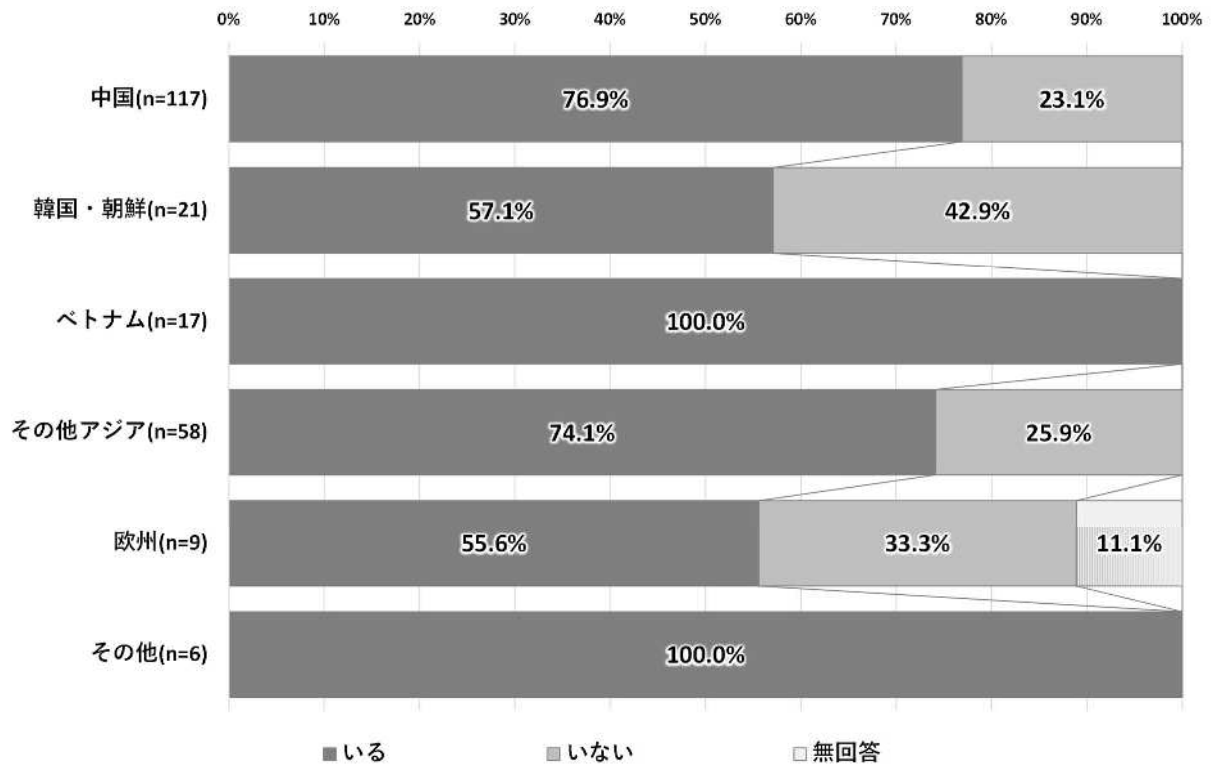
項目	回答者数	割合
全体	228	100.0%
いる	173	75.9%
いない	54	23.7%
無回答	1	0.4%



### 【国籍・出身地別】

子どもと一緒に住んでいる人のうち、一緒に住んでいる15歳以下の子供が「いる」と回答した人の割合は、中国で76.9%、その他アジアで74.1%となっている。

図表V-2



**Q23 あなたの子どもは保育園や学校などに行っていますか。(チェック☑はいくつでも)**

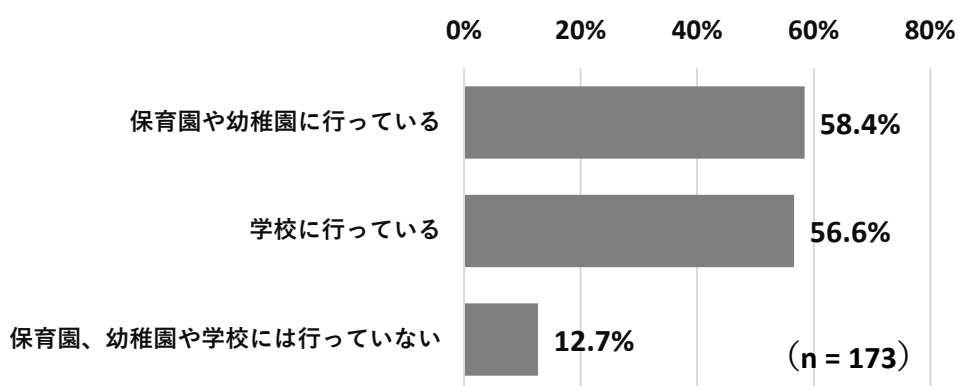
※ Q22 で 15 歳以下の子供が「いる」と回答した人が対象。



**ポイント** およそ 9 割は保育園や幼稚園、学校に通っている

15 歳以下の子供と一緒に住んでいる人のうち、子どもが「保育園や幼稚園に行っている」の割合が 58.4%、「学校に行っている」の割合は 56.6%。「保育園、幼稚園や学校には行っていない」の割合は 12.7%となっており、87.3%は保育園や幼稚園、学校のいずれかに通っている。

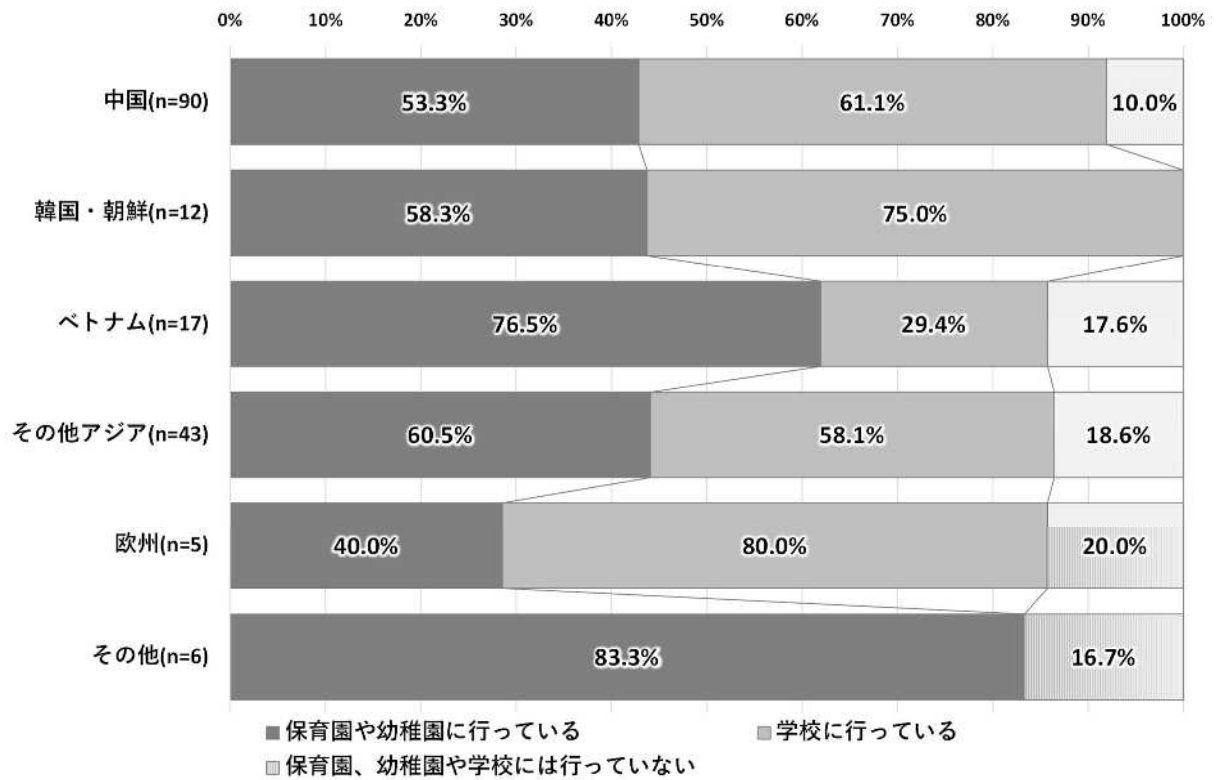
**図表 V - 3**



### 【国籍・出身地別】

中国では、15歳以下の子供と一緒に住んでいる人のうち、子どもが「保育園や幼稚園に行っている」の割合が53.3%、「学校に行っている」の割合は61.1%となっている。

図表V-4



Q24-1 あなたの子どもやあなたが保育園や幼稚園で困っていることはありますか。  
(チェック☑はいくつでも)

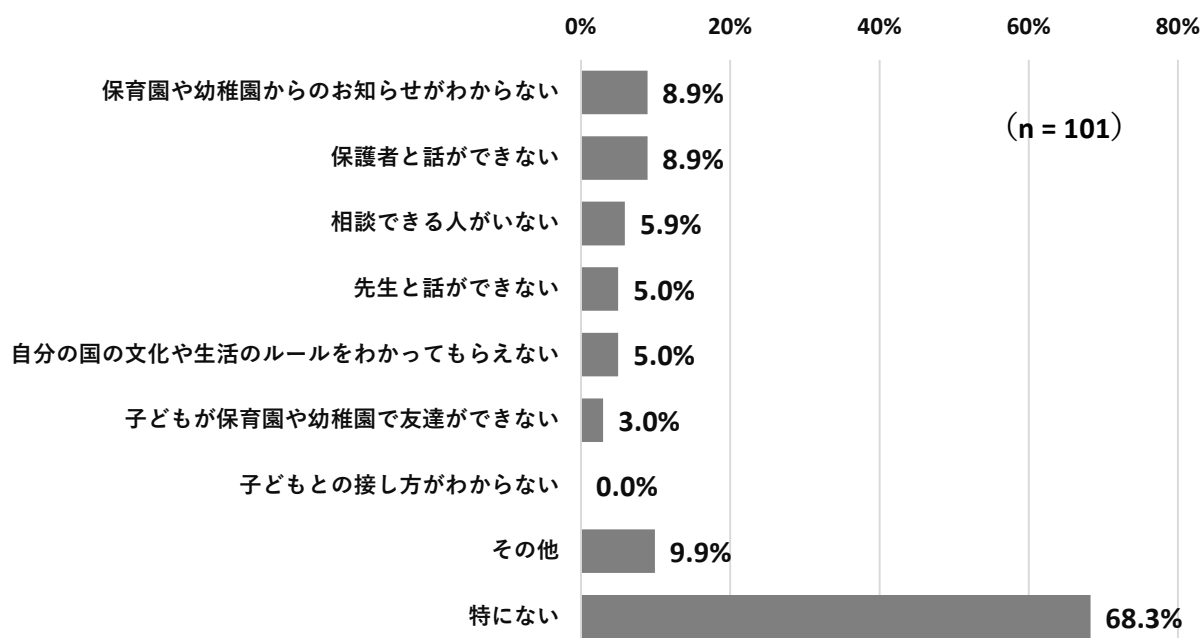
※ Q23で「保育園や幼稚園に行っている」と回答した人が対象。



**ポイント** 園からのお知らせがわからない、他の保護者と話ができない等で困っている

「特にない」の割合が68.3%と最も高い。困りごととしては、「保育園や幼稚園からのお知らせがわからない」及び「保護者と話ができない」の割合が8.9%と最も高く、「相談できる人がいない」(5.9%)と続いている。

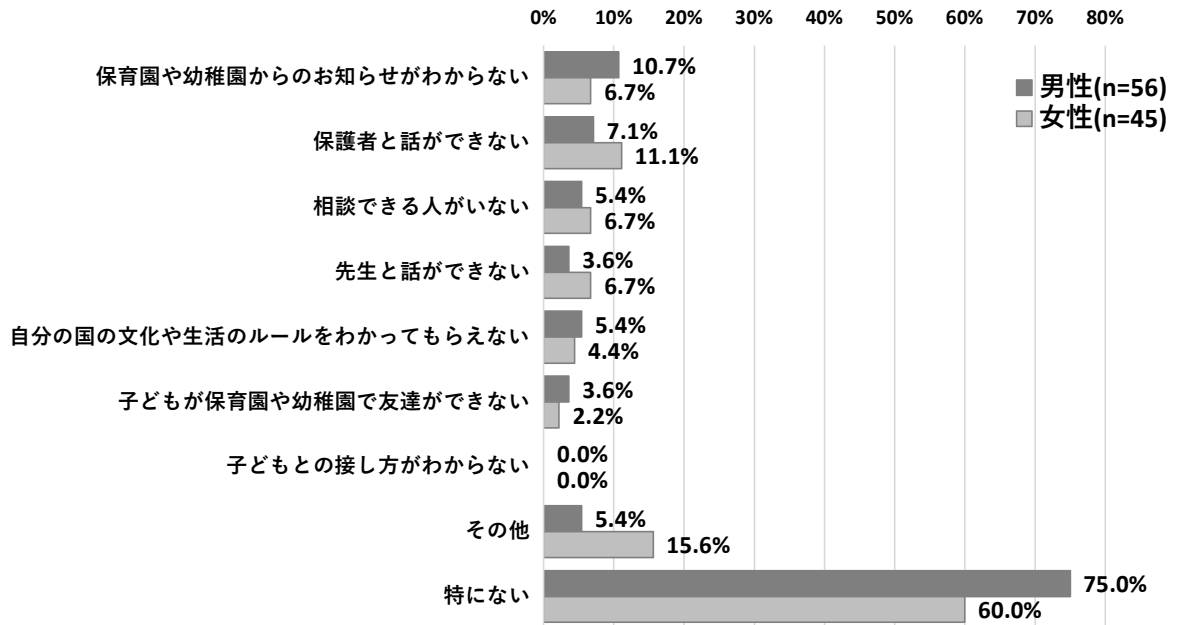
図表V-5



### 【男女別】

男性では困りごとのある人の割合が 25.0%となっており、その理由としては「保育園や幼稚園からのお知らせがわからない」の割合が 10.7%と最も高い。

図表 V - 6

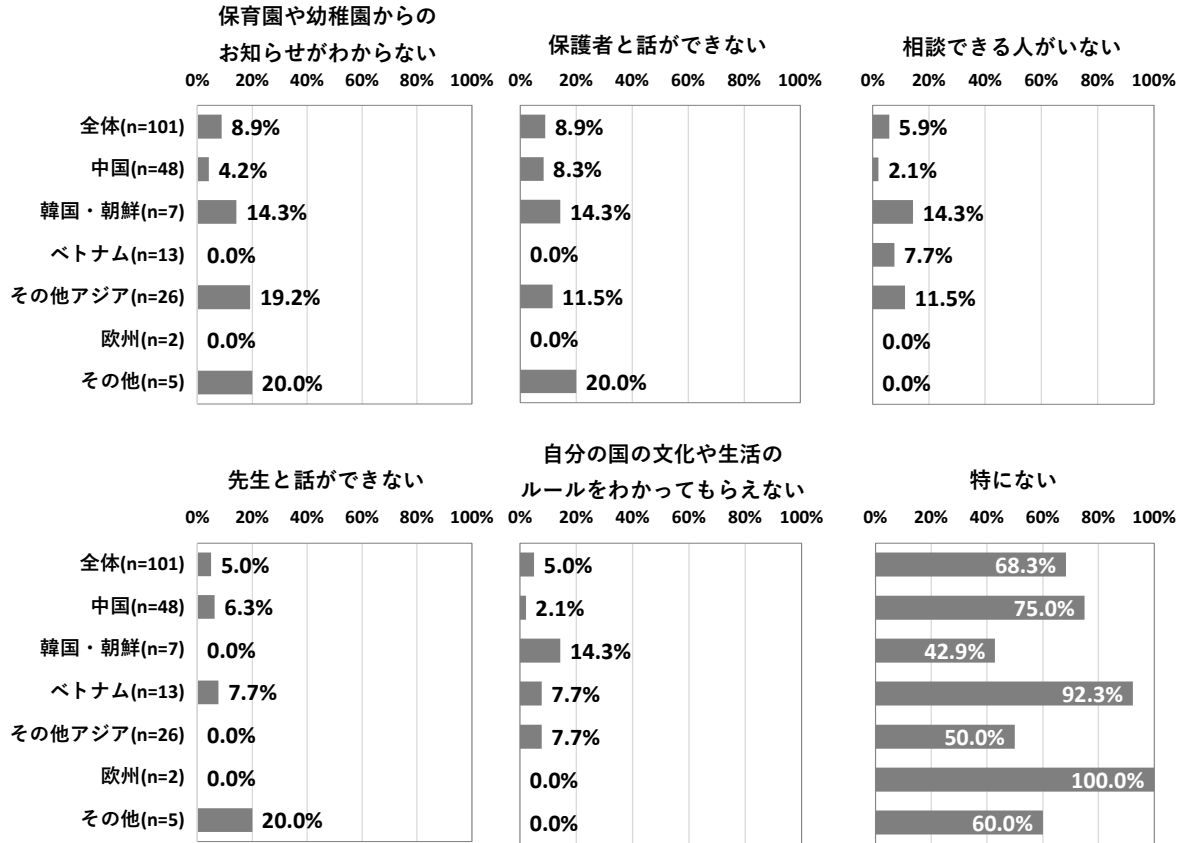




【国籍・出身地別】

※ n 数が 50 未満のため、参考値とする。

図表 V - 7



Q24-2 あなたの子もはどの学校に行っていますか。(チェック☑はいくつでも)

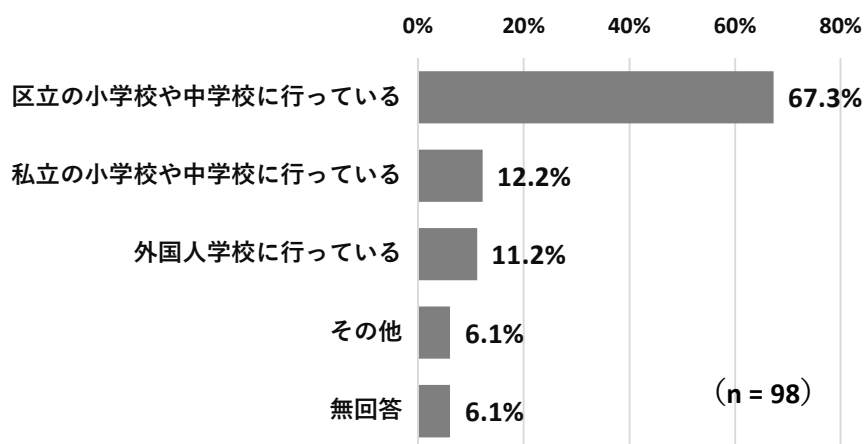
※ Q23で「学校に行っている」と回答した人が対象。



ポイント 「区立の小学校や中学校に行っている」の割合がおよそ7割

「区立の小学校や中学校に行っている」の割合が67.3%と最も高く、「私立の小学校や中学校に行っている」(12.2%)、「外国人学校に行っている」(11.2%)と続いている。

図表V-8



**Q24-3 あなたの子どもやあなたが学校で困っていることはありますか。**  
**(チェック☑はいくつでも)**

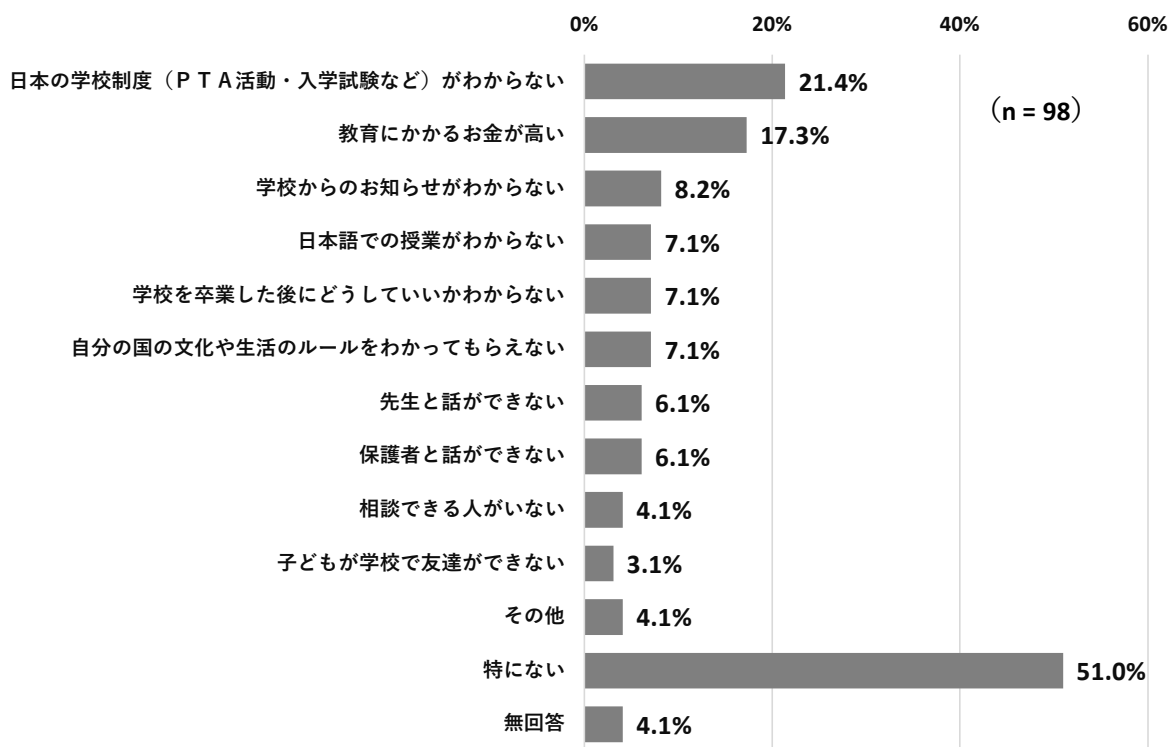
※ Q23で「学校に行っている」と回答した人が対象。



**ポイント 日本の学校制度がわからなくて困っている**

「特にない」の割合が51.0%と最も高い。困りごととしては、「日本の学校制度（PTA活動・入学試験など）がわからない」の割合が21.4%と最も高く、「教育にかかるお金が高い」(17.3%)、「学校からのお知らせがわからない」(8.2%)と続いている。

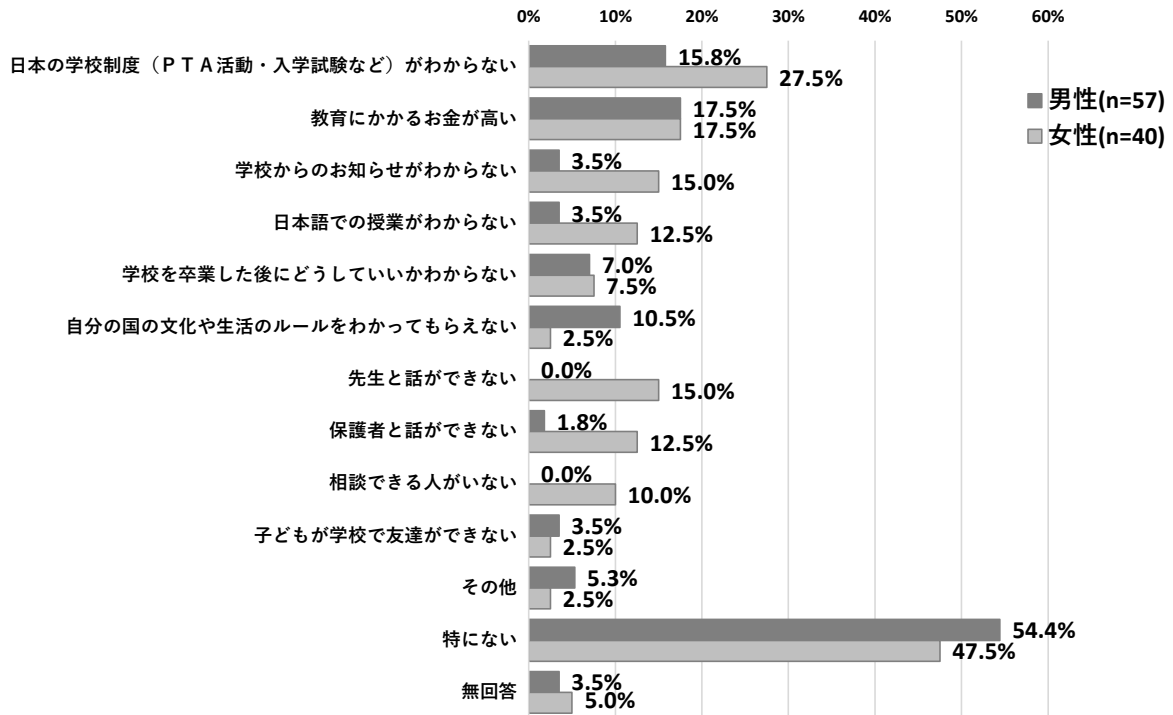
**図表V-9**



### 【男女別】

男性では、学校で困りごとのある人の割合が45.6%となっており、その理由としては「教育にかかるお金が高い」(17.5%)や「日本の学校制度（PTA活動・入学試験など）がわからない」(15.8%)の割合が高い。

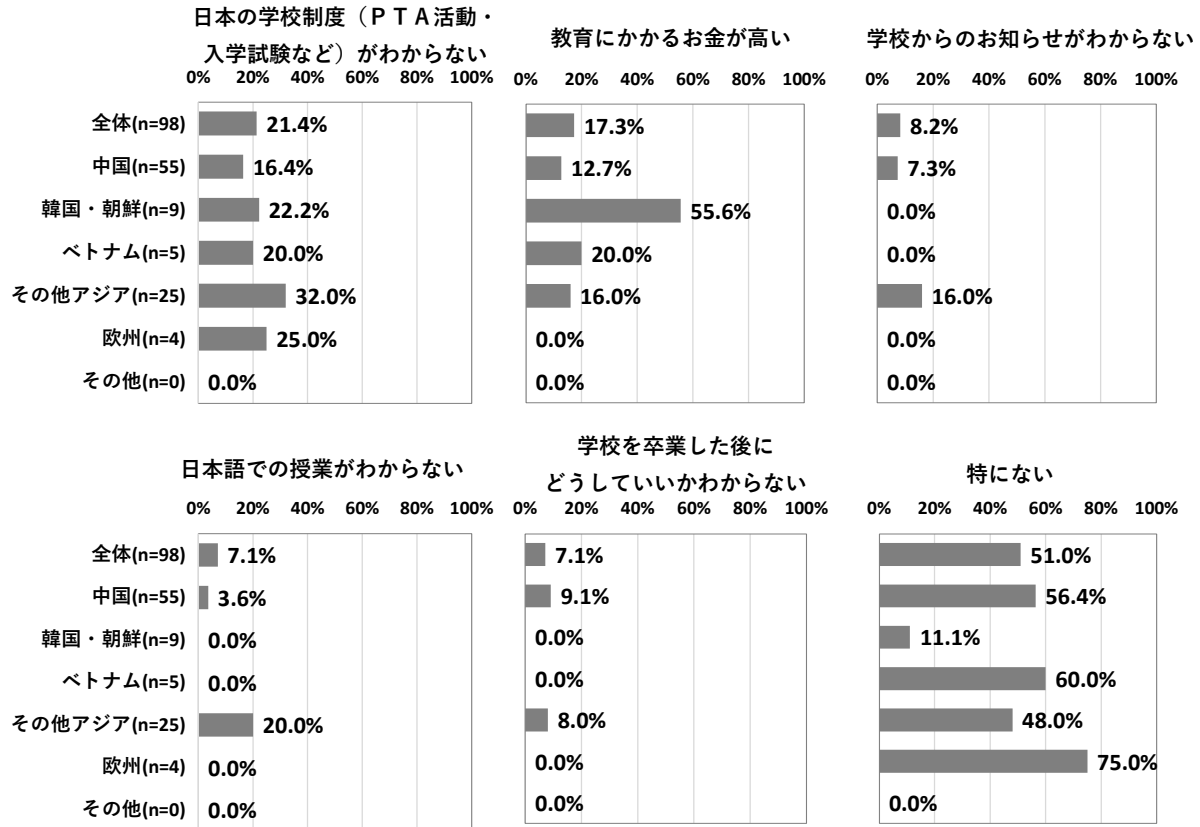
図表 V - 10



## 【国籍・出身地別】

中国では、学校生活で困っている人の割合が43.6%となっており、その理由として「日本の学校制度（PTA活動・入学試験など）がわからない」（16.4%）の割合が最も高い。

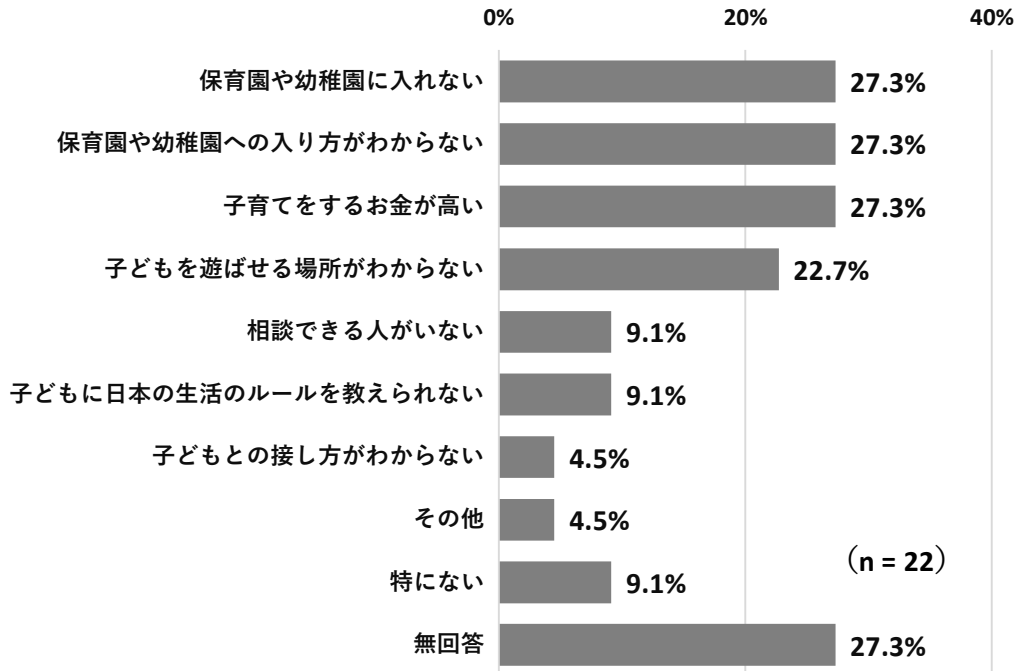
図表V-11



**Q25 子育てについて困っていることはありますか。(チェック☑はいくつでも)**

※ Q23 で「保育園、幼稚園や学校には行っていない」と回答した人が対象。  
※ n 数が 50 未満のため、参考値とする。

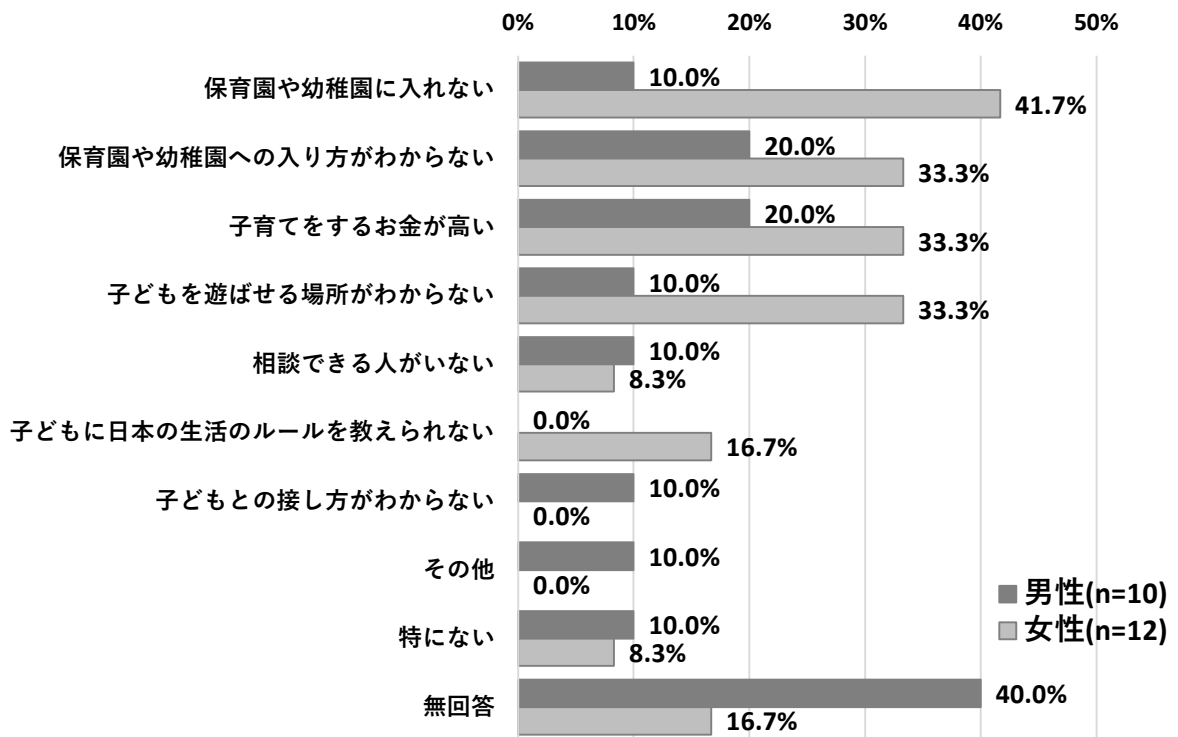
**図表 V - 12**



【男女別】

※ n 数が 50 未満のため、参考値とする。

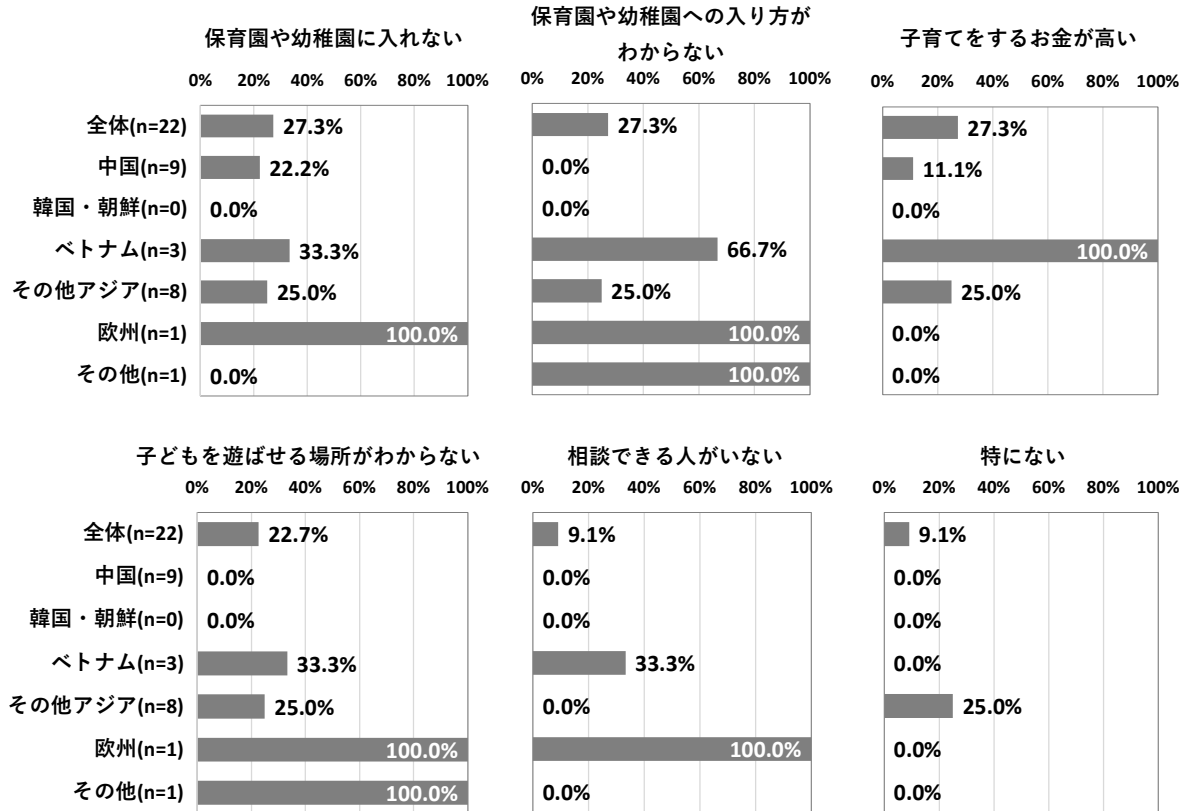
図表 V - 13



【国籍・出身地別】

※ n 数が 50 未満のため、参考値とする。

図表 V - 14





## VI. 多文化共生社会について

Q26 あなたは近くに住む人とどのような付き合いがありますか。(チェック☑は1つだけ)

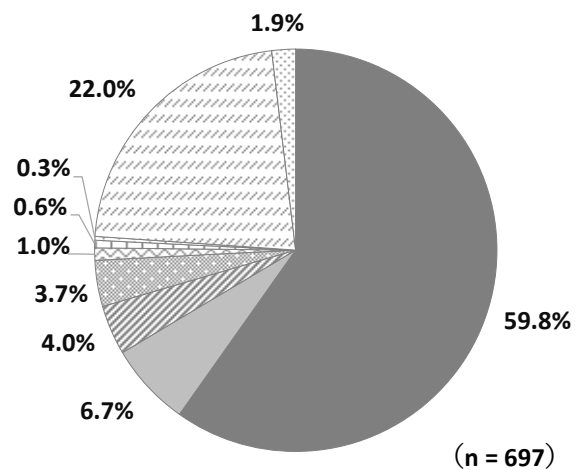


**ポイント** 「あいさつをするだけ」の割合がおよそ6割

近隣住民との付き合いとしては「あいさつをするだけ」の割合が59.8%と最も高く、「日常生活の話をする」(6.7%)、「困ったときに助け合っている」(4.0%)と続いている。一方で、「付き合いはまったくない」の割合は22.0%となっている。

図表VI- 1

項目	回答者数	割合
全体	697	100.0%
あいさつをするだけ	417	59.8%
日常生活の話をする	47	6.7%
困ったときに助け合っている	28	4.0%
友達として付き合い合っている	26	3.7%
家族のように親しく付き合い合っている	7	1.0%
イベントなどで知り合うがその後の付き合いはない	4	0.6%
その他	2	0.3%
付き合いはまったくない	153	22.0%
無回答	13	1.9%

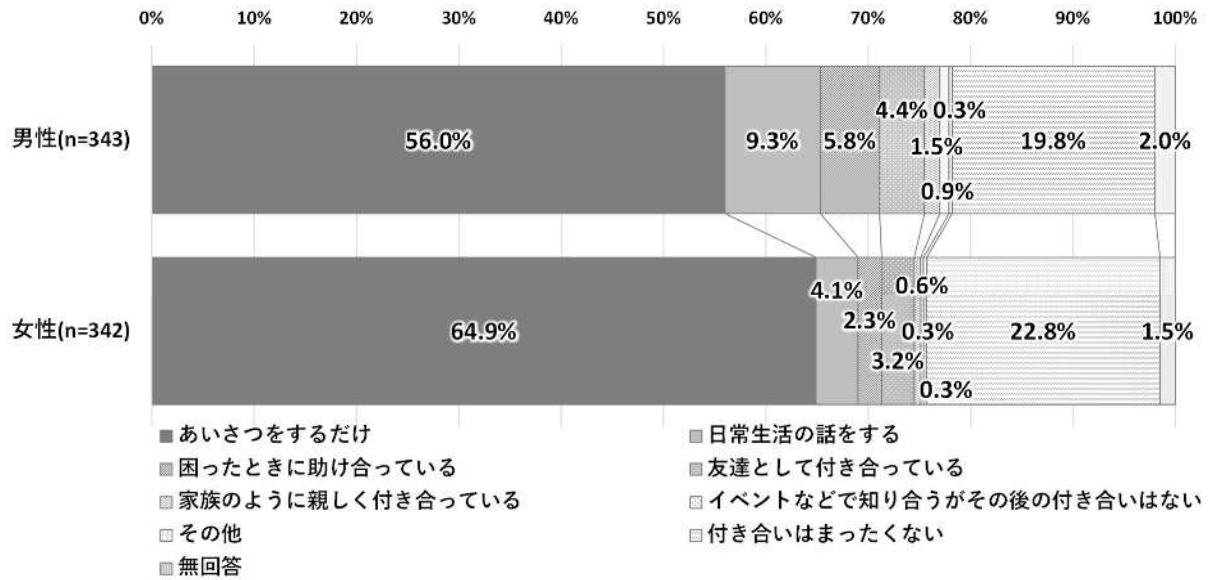


- あいさつをするだけ
- 日常生活の話をする
- ▨ 困ったときに助け合っている
- ▨ 友達として付き合い合っている
- ▨ 家族のように親しく付き合い合っている
- ▨ イベントなどで知り合うがその後の付き合いはない
- ▨ その他
- ▨ 付き合いはまったくない
- ▨ 無回答

**【男女別】**

女性では「あいさつをするだけ」の割合が 64.9%と、男性（56.0%）と比較してやや高い。  
 男性では「日常生活の話をする」の割合が 9.3%と、女性（4.1%）と比較してやや高い。

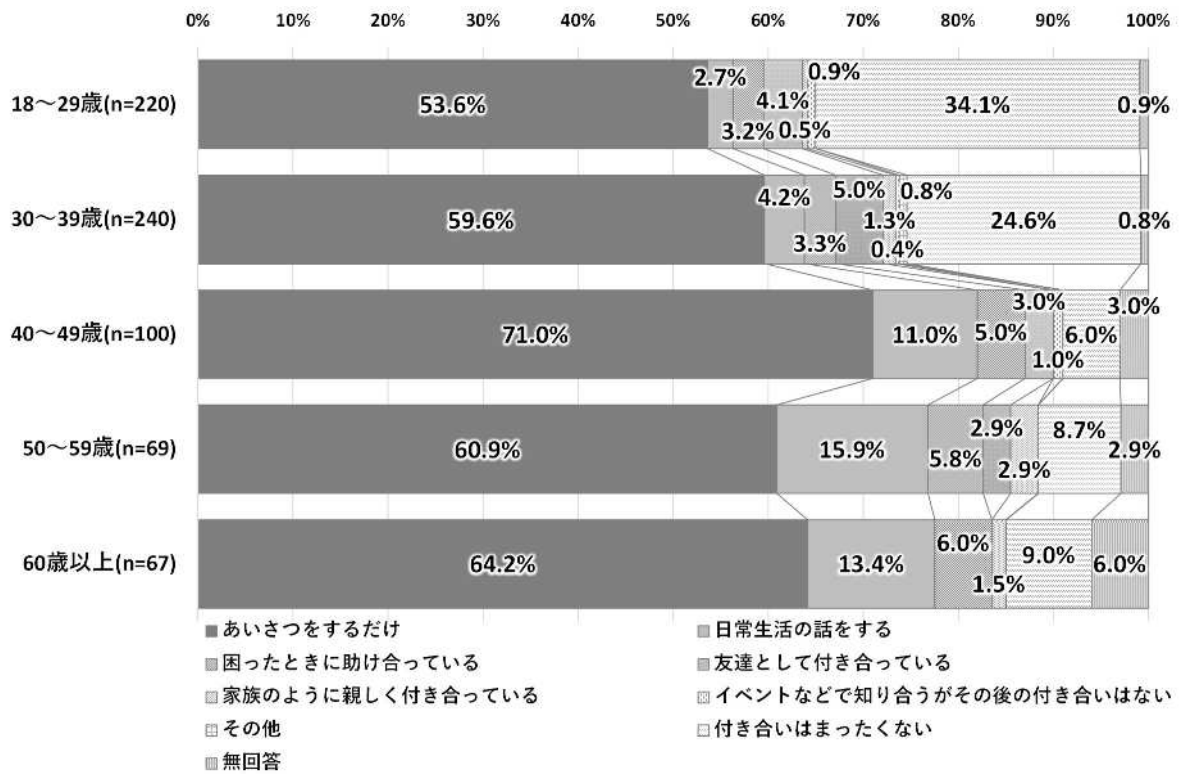
図表VI- 2



### 【年齢別】

どの年齢においても「あいさつをするだけ」の割合が過半数を占めている。30代以下では「付き合いはまったくない」の割合が比較的高く、40代以降では「日常生活の話をする」の割合が比較的高い。

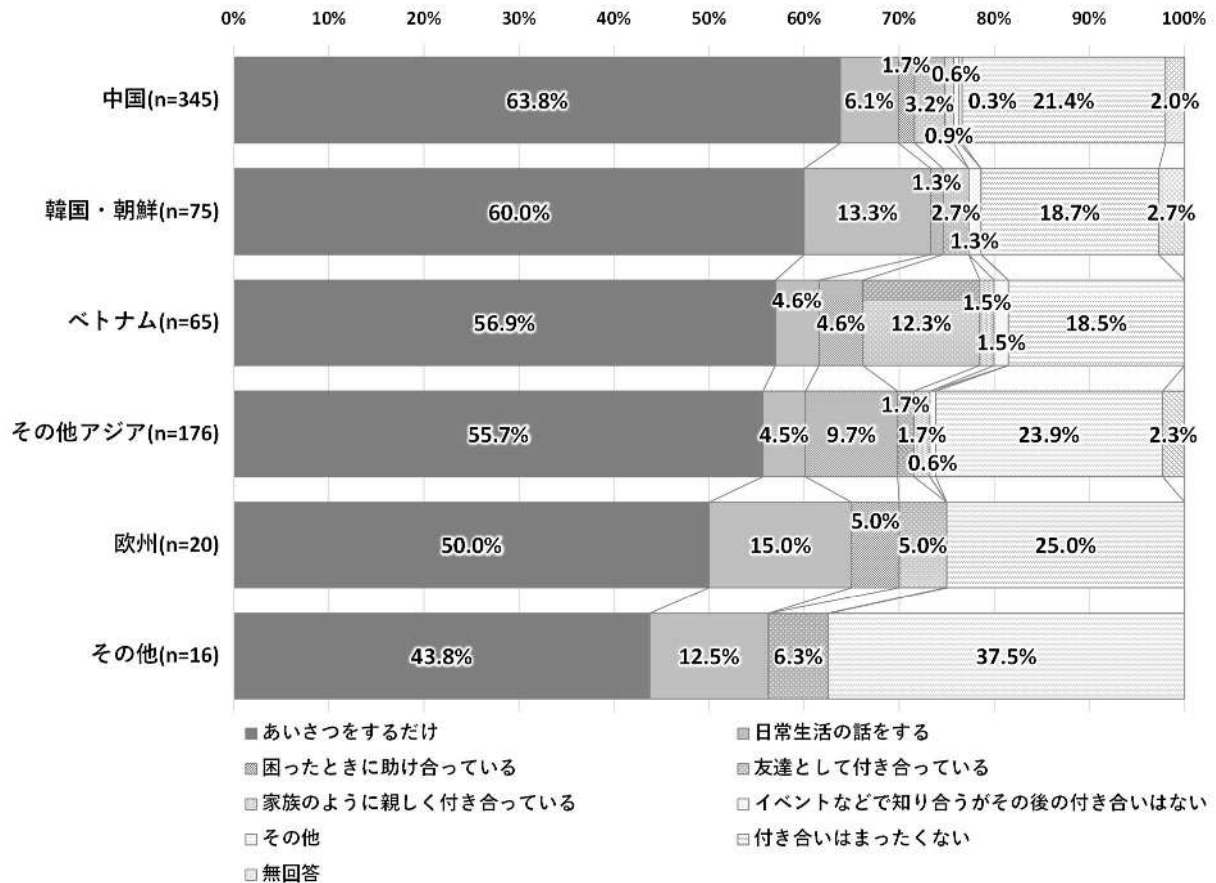
図表VI- 3



### 【国籍・出身地別】

概ねどの国籍・出身地においても「あいさつをするだけ」の割合が過半数を占めており、「付き合いはまったくない」の割合がおよそ2割を占めている。韓国・朝鮮では「日常生活の話をする」の割合が13.3%と比較的高く、ベトナムでは「友達として付き合いしている」の割合が12.3%と比較的高い。

図表VI- 4



Q27-1 あなたはこの1年間で地域活動（地域のイベントやお祭り、自治会・町会の活動など）に参加しましたか。（チェック☑は1つずつ）

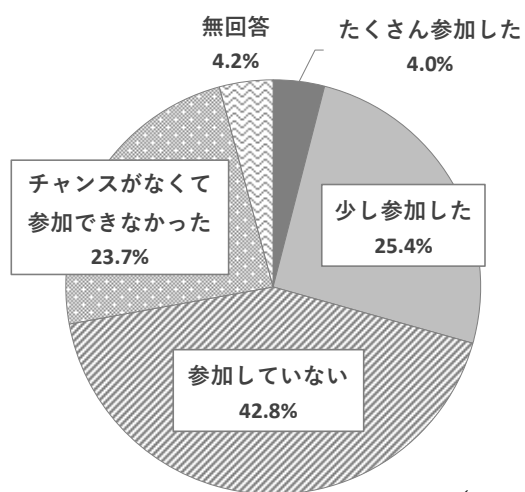


**ポイント** 少しでも参加した人の割合はおよそ3割

「たくさん参加した」の割合は4.0%、「少し参加した」の割合は25.4%で、少しでも参加した人の割合は29.4%となっている。一方、「チャンスがなくて参加できなかった」の割合は23.7%となっている

図表VI-5

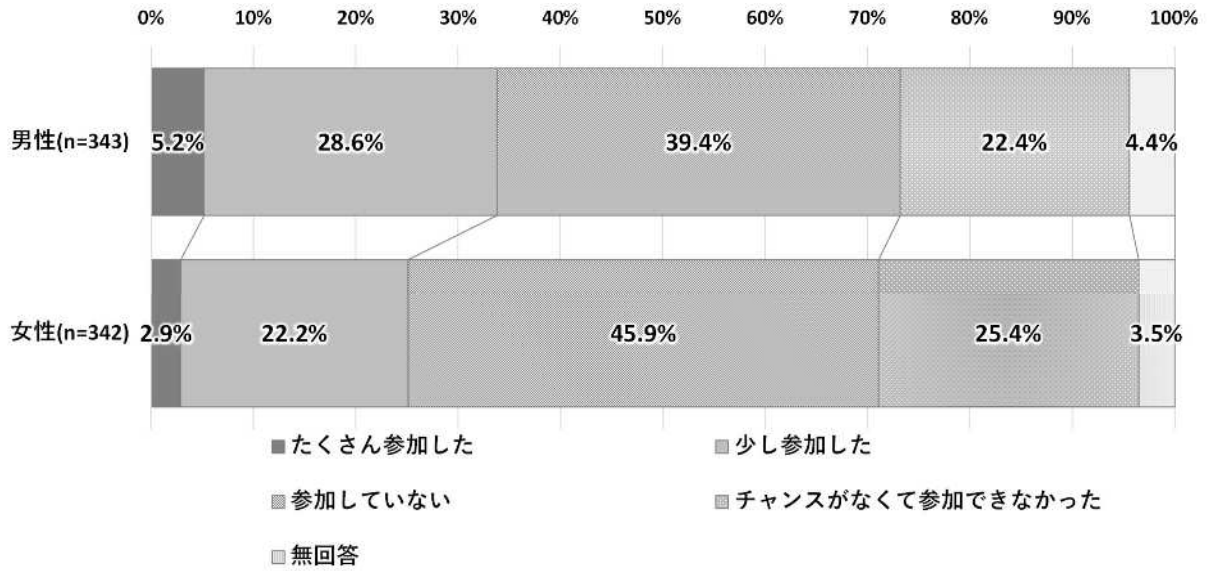
項目	回答者数	割合
全体	697	100.0%
たくさん参加した	28	4.0%
少し参加した	177	25.4%
参加していない	298	42.8%
チャンスがなくて参加できなかった	165	23.7%
無回答	29	4.2%



【男女別】

男性では、少しでも参加した人の割合が 33.8%と、女性（25.1%）と比較してやや高い。

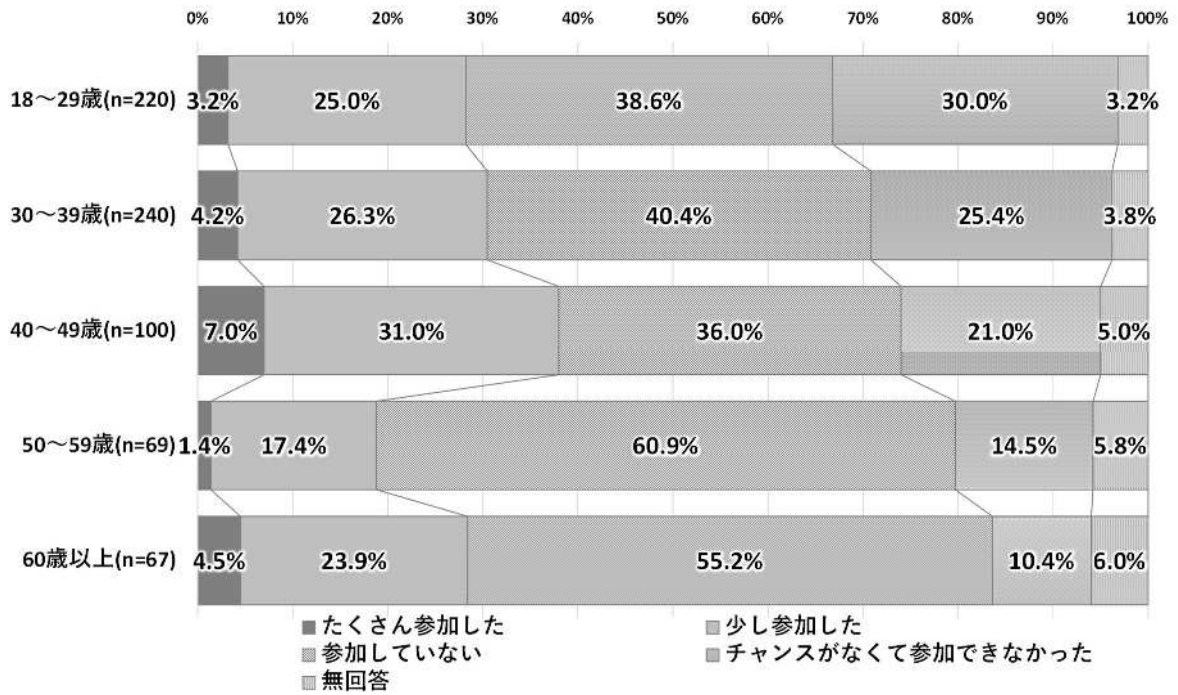
図表VI- 6



### 【年齢別】

40代以下では、少しでも参加した人の割合は3割となっており、50代以上と比較して高い。「チャンスがなくて参加できなかった」の割合は、20代以下で30.0%と最も高く、年齢が上がるにつれてその割合は低くなっている。

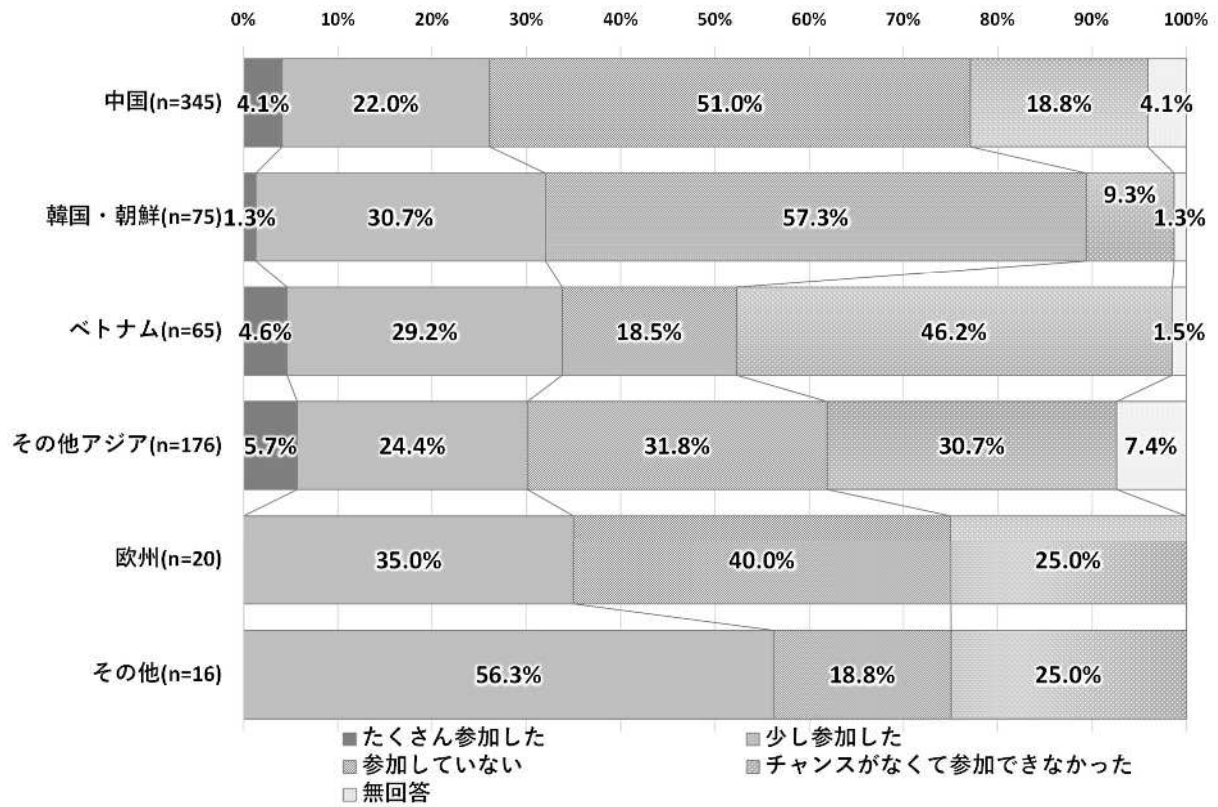
図表VI- 7



【国籍・出身地別】

ベトナムでは「チャンスがなくて参加できなかった」の割合が46.2%と、他の国籍・出身地と比較して高い。

図表VI- 8





Q27-2 また、これから参加したいと思いますか。(チェック☑は1つずつ)

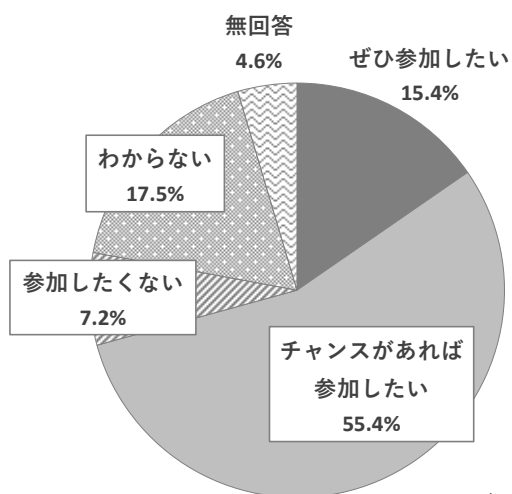


ポイント 7割以上が参加意向あり

「ぜひ参加したい」の割合は15.4%、「チャンスがあれば参加したい」の割合は55.4%で、参加意向のある人の割合は70.8%となっている。

図表VI-9

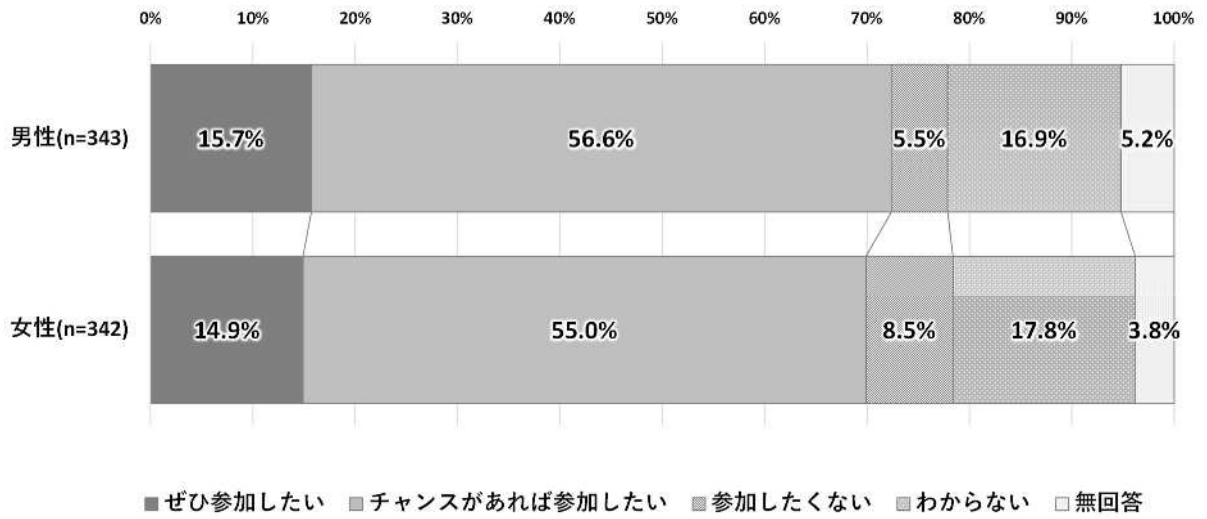
項目	回答者数	割合
全体	697	100.0%
ぜひ参加したい	107	15.4%
チャンスがあれば参加したい	386	55.4%
参加したくない	50	7.2%
わからない	122	17.5%
無回答	32	4.6%



【男女別】

男女別では、今後の参加意向に大きな違いは見られない。

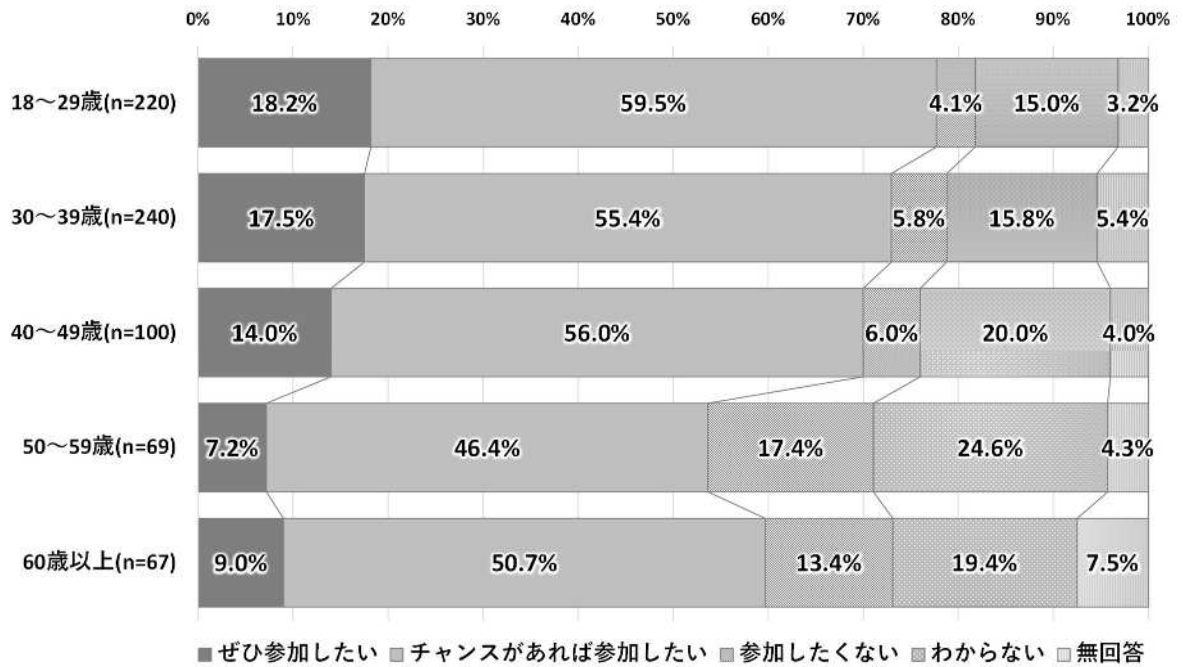
図表VI- 10



### 【年齢別】

40代以下では参加意向者の割合が7割を超えており、50代以上と比較して高い。

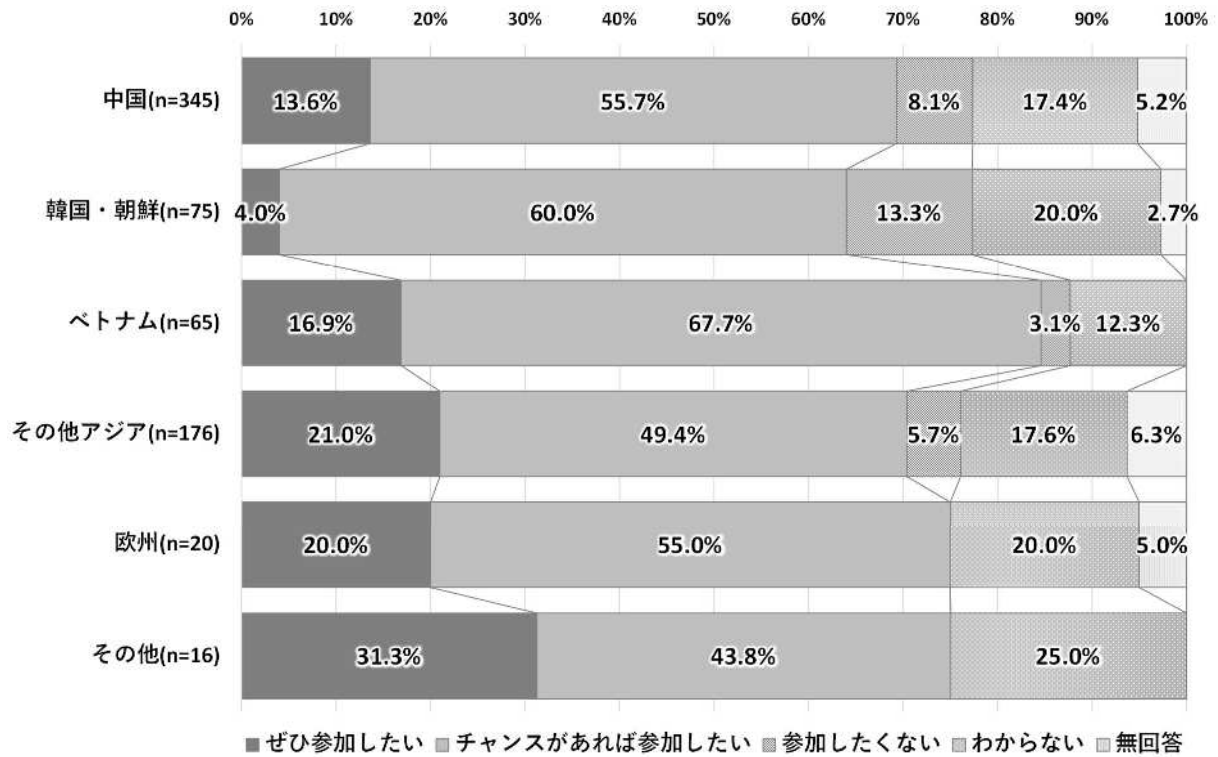
図表VI- 11



【国籍・出身地別】

ベトナムでは参加意向者の割合が84.6%と、他の国籍・出身地と比較して高い。

図表VI- 12



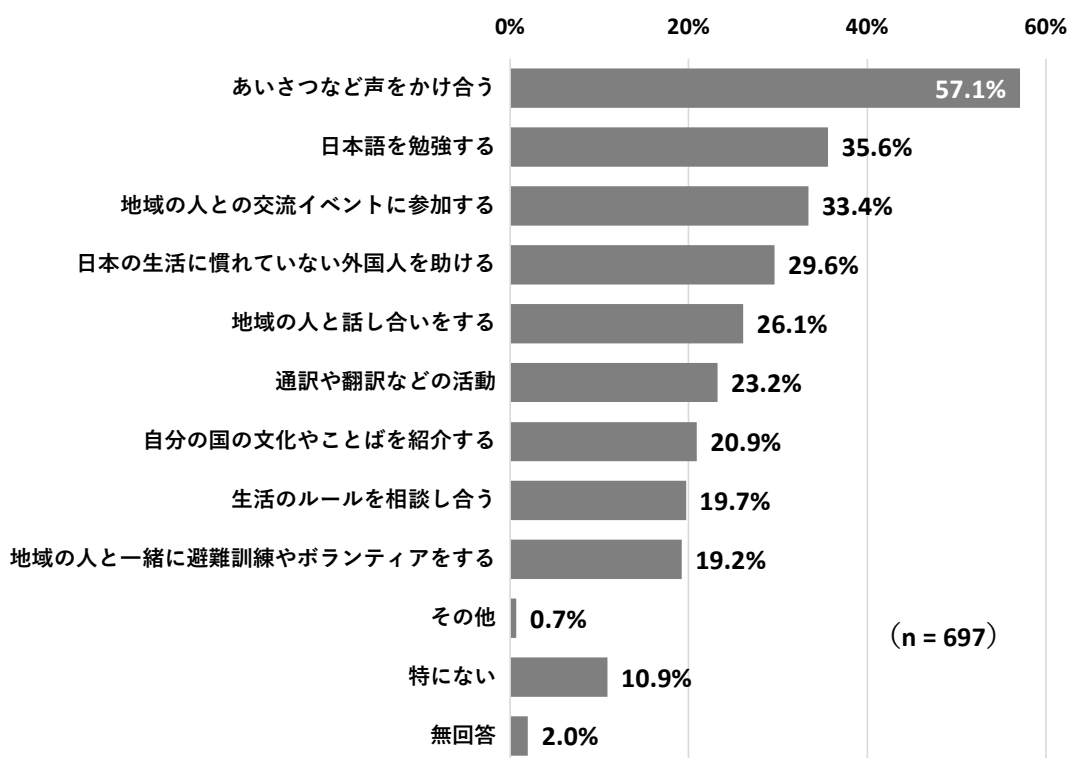
Q28 北区で地域の人と生活していくためにあなたは何かができますか。  
 (チェック☑は5つまで)



**ポイント** 「あいさつなど声をかけ合う」がおおよそ6割

「あいさつなど声をかけ合う」の割合が 57.1%と最も高く、「日本語を勉強する」(35.6%)、  
 「地域の人との交流イベントに参加する」(33.4%)と続いている。

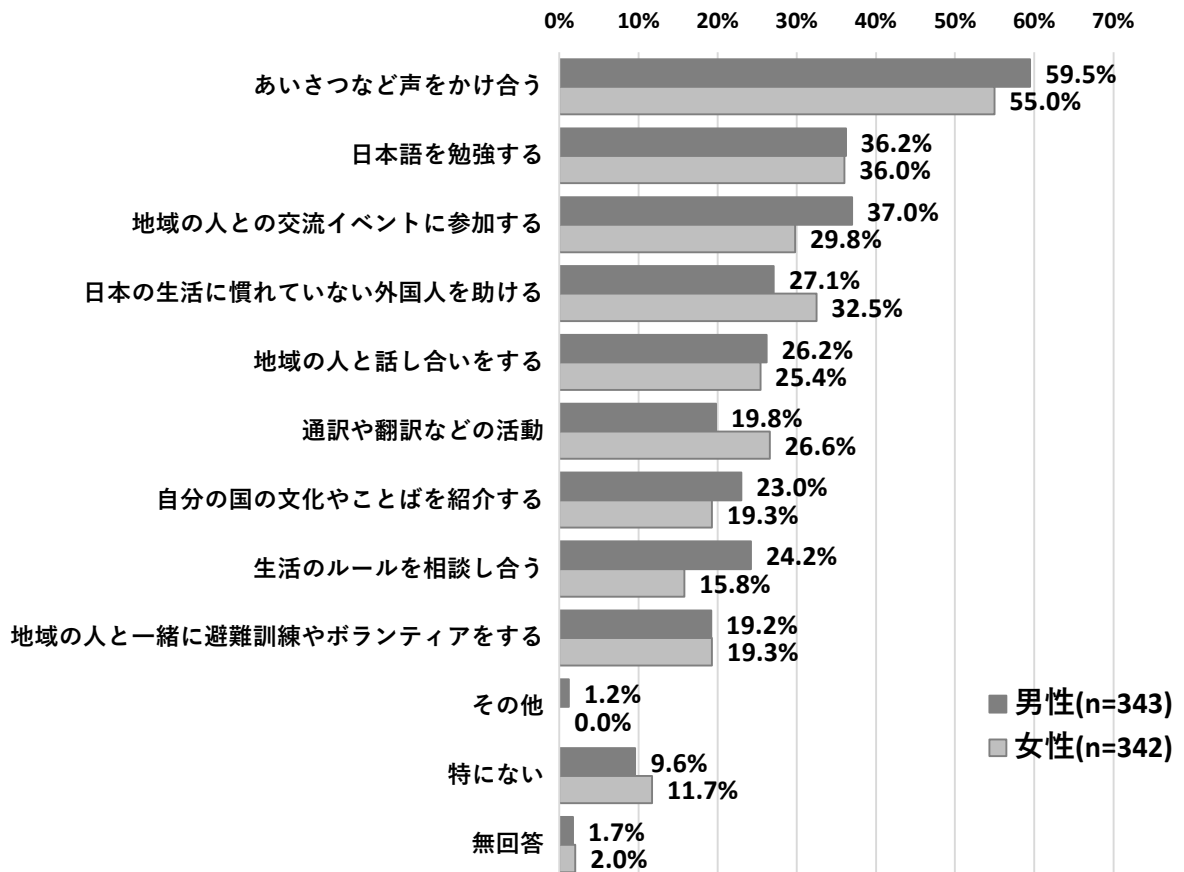
図表VI- 13



**【男女別】**

男性では「生活のルールを相談し合う」(24.2%) 及び「地域の人との交流イベントに参加する」(37.0%) の割合が、女性と比較してやや高い。一方女性では、「通訳や翻訳などの活動」(26.6%) 及び「日本の生活に慣れていない外国人を助ける」(32.5%) の割合が、男性と比較してやや高い。

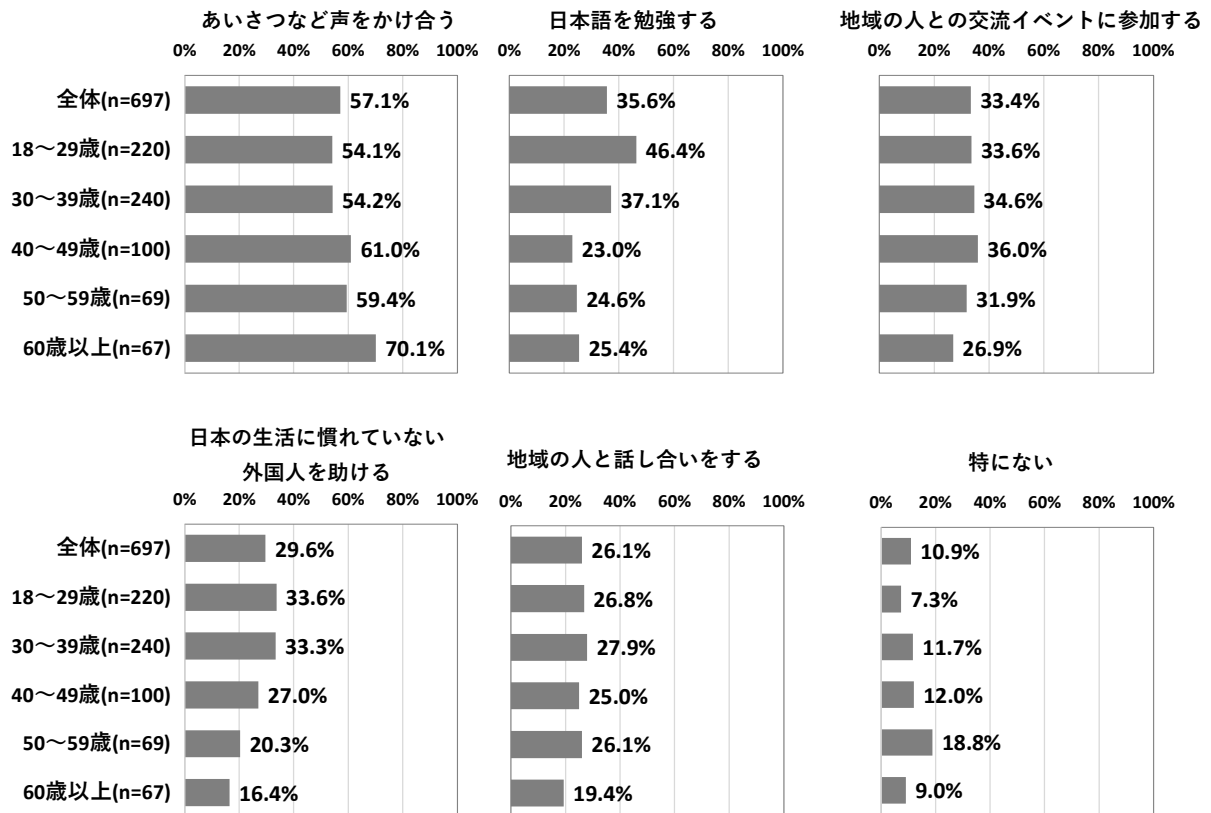
図表VI- 14



## 【年齢別】

30代以下では「日本語の勉強をする」の割合が3割以上と、40代以上と比較して高い。「あいさつなど声をかけ合う」の割合は、年齢が上がるにつれて高くなっている。一方「日本の生活に慣れていない外国人を助ける」の割合は、年齢が上がるにつれて低くなっている。

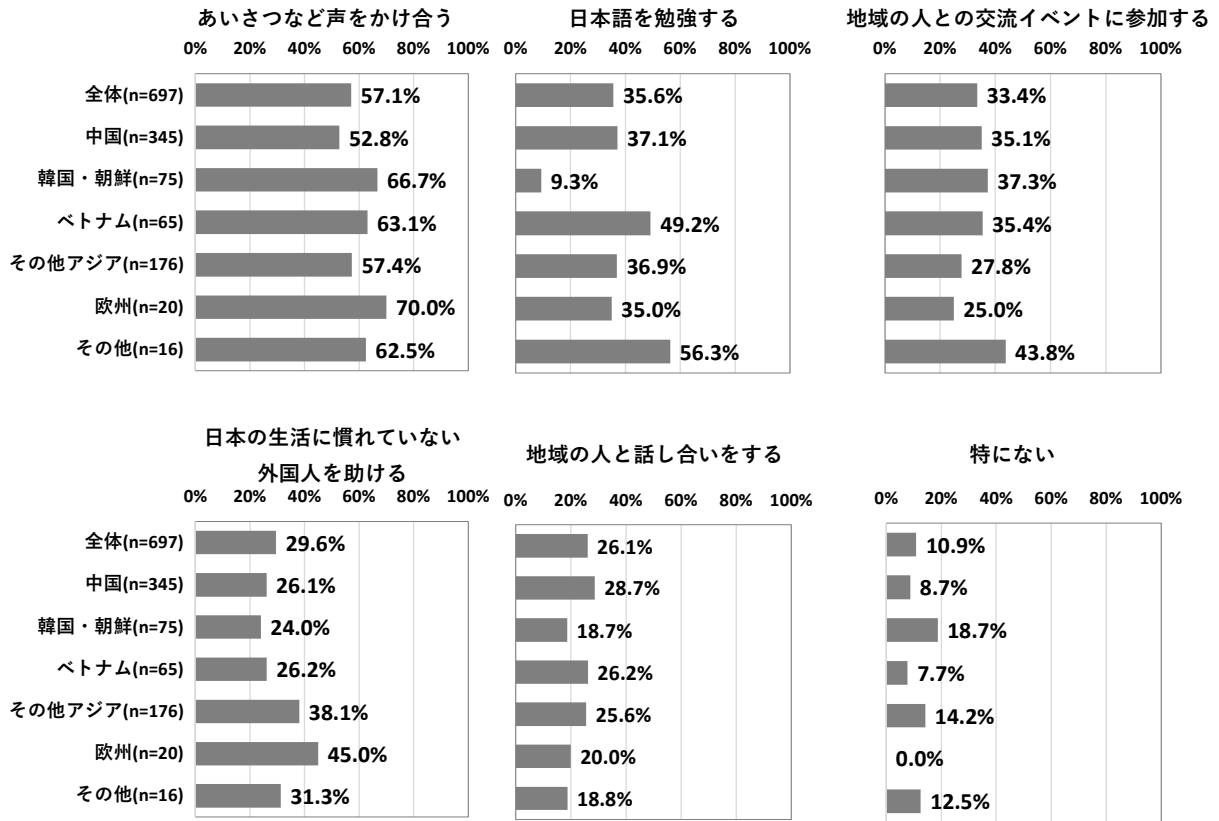
図表VI- 15



## 【国籍・出身地別】

「日本語を勉強する」の割合はベトナムで49.2%と比較的高く、韓国・朝鮮では9.3%と比較的低い。

図表VI- 16





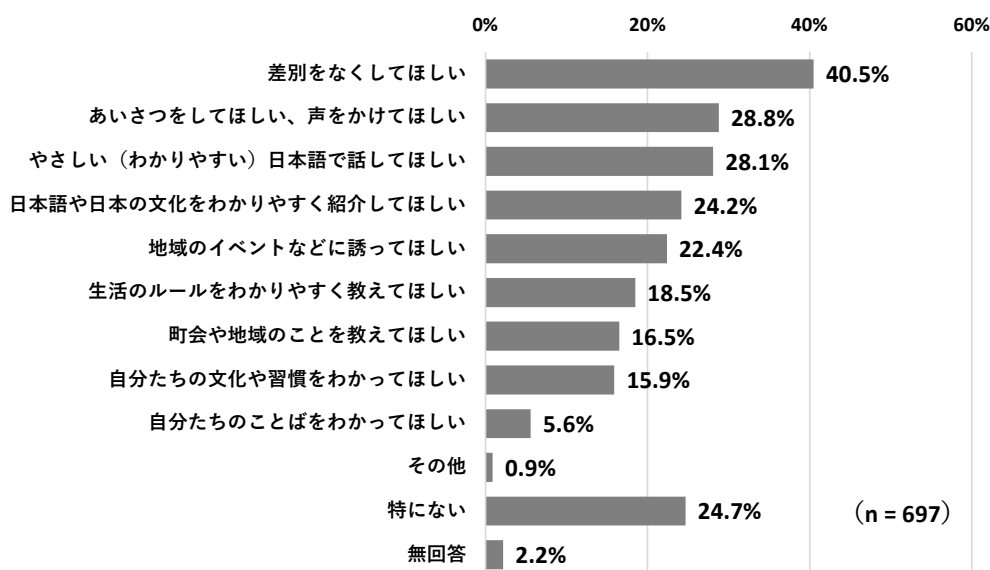
Q29 あなたが日本人にしてほしいことは何ですか。(チェック☑は5つまで)



ポイント 「差別をなくす」ことが求められている

「差別をなくしてほしい」の割合が40.5%と最も高く、「あいさつをしてほしい、声をかけてほしい」(28.8%)、「やさしい(わかりやすい)日本語で話してほしい」(28.1%)と続いている。

図表VI- 17

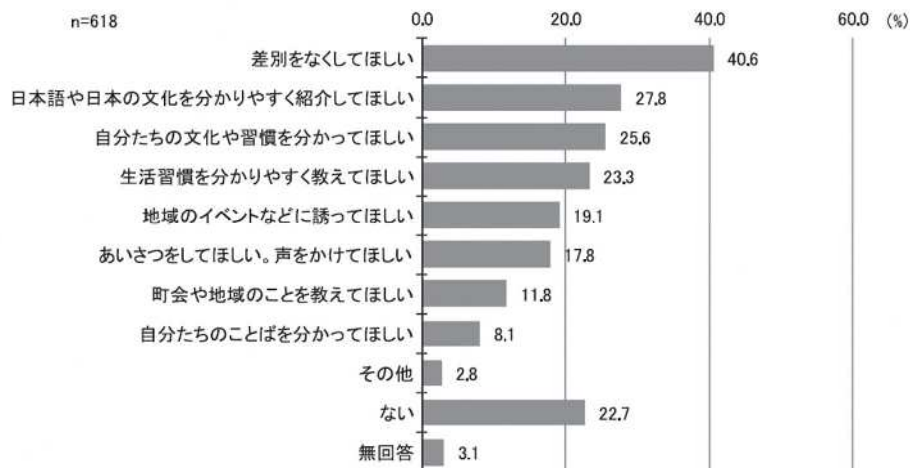


< 前回(令和元年度)調査との比較 >

前回調査から「差別をなくしてほしい」の割合はほとんど変化がない。「自分たちの文化や習慣をわかってほしい」の割合は、前回調査から9.7ポイント減少している。一方で「あいさつをしてほしい、声をかけてほしい」の割合は前回調査から10.0ポイント増加している。

(参考) 令和元年度調査結果

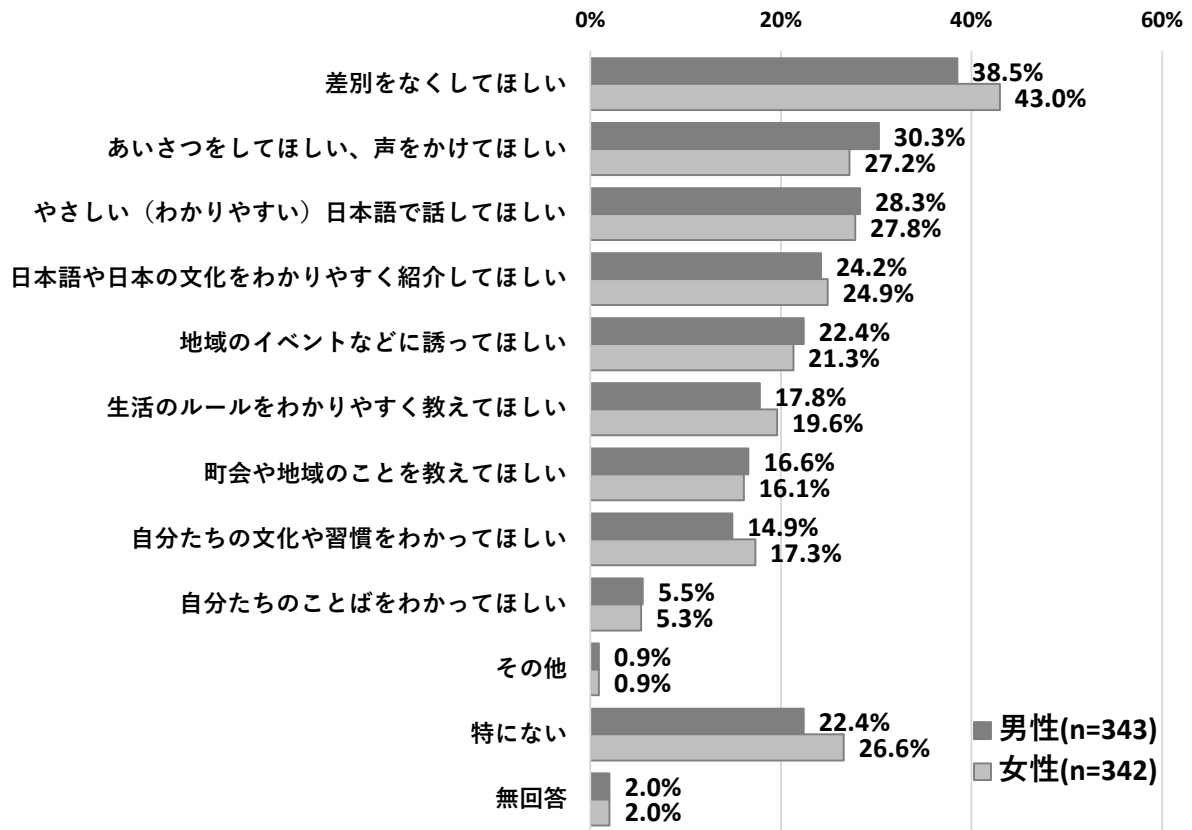
図Ⅲ-28. 日本人にしてほしいこと



【男女別】

男女別では、日本人にしてほしいことに大きな差は見られない。

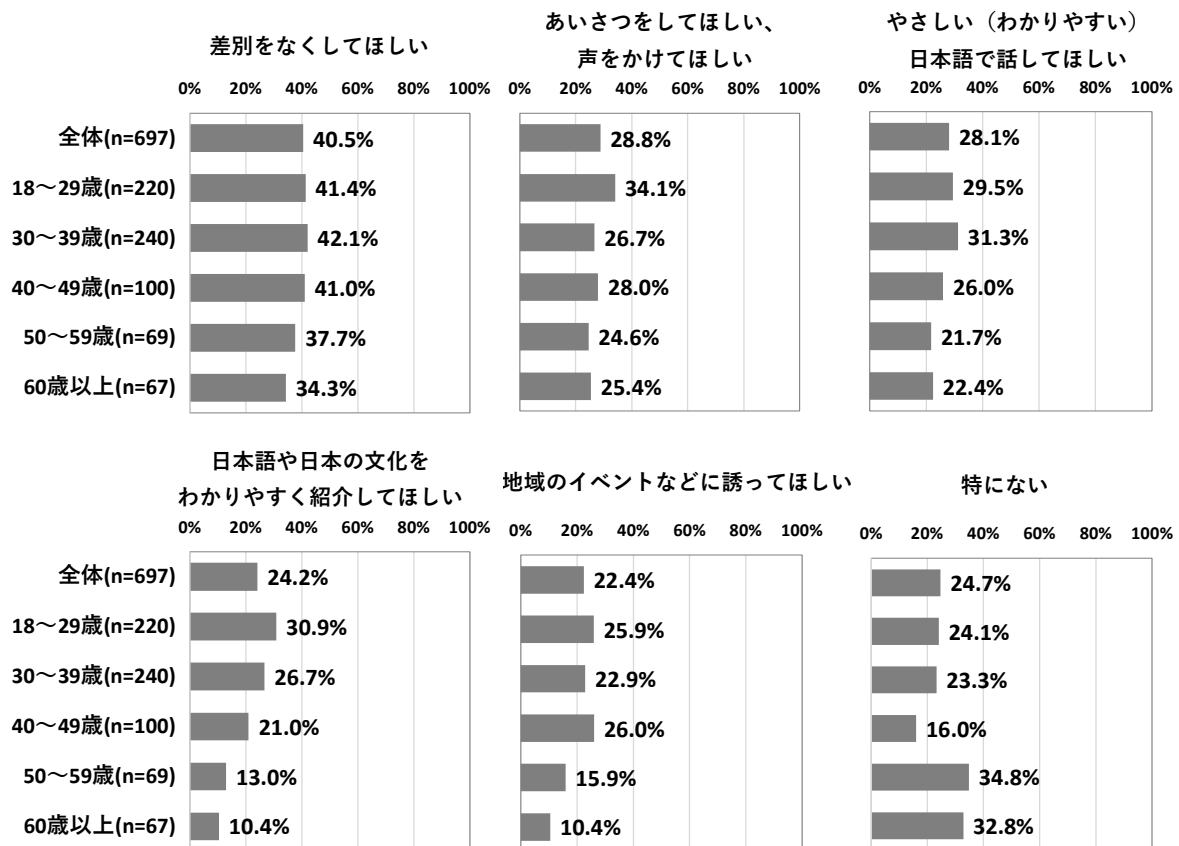
図表VI- 18



## 【年齢別】

「日本語や日本の文化をわかりやすく紹介してほしい」の割合は20代で30.9%と最も高く、年齢が上がるにつれてその割合は低くなっている。

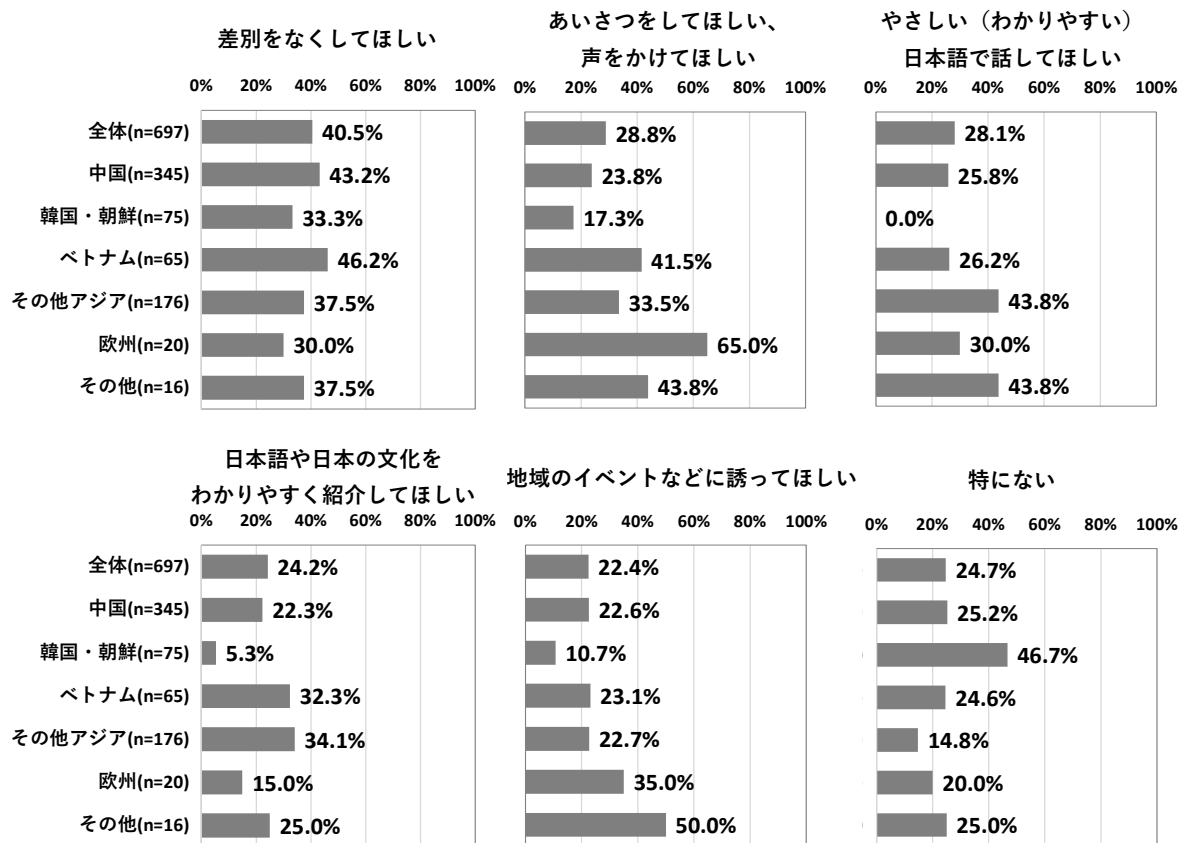
図表VI- 19



## 【国籍・出身地別】

ベトナムでは「あいさつをしてほしい、声をかけてほしい」の割合が41.5%と、他の国籍・出身地と比較して高い。その他アジアでは「やさしい(わかりやすい)日本語で話してほしい」の割合が43.8%と、他の国籍・出身地と比較して高い。韓国・朝鮮では「特にない」の割合が46.7%と、他の国籍・出身地と比較して高い。

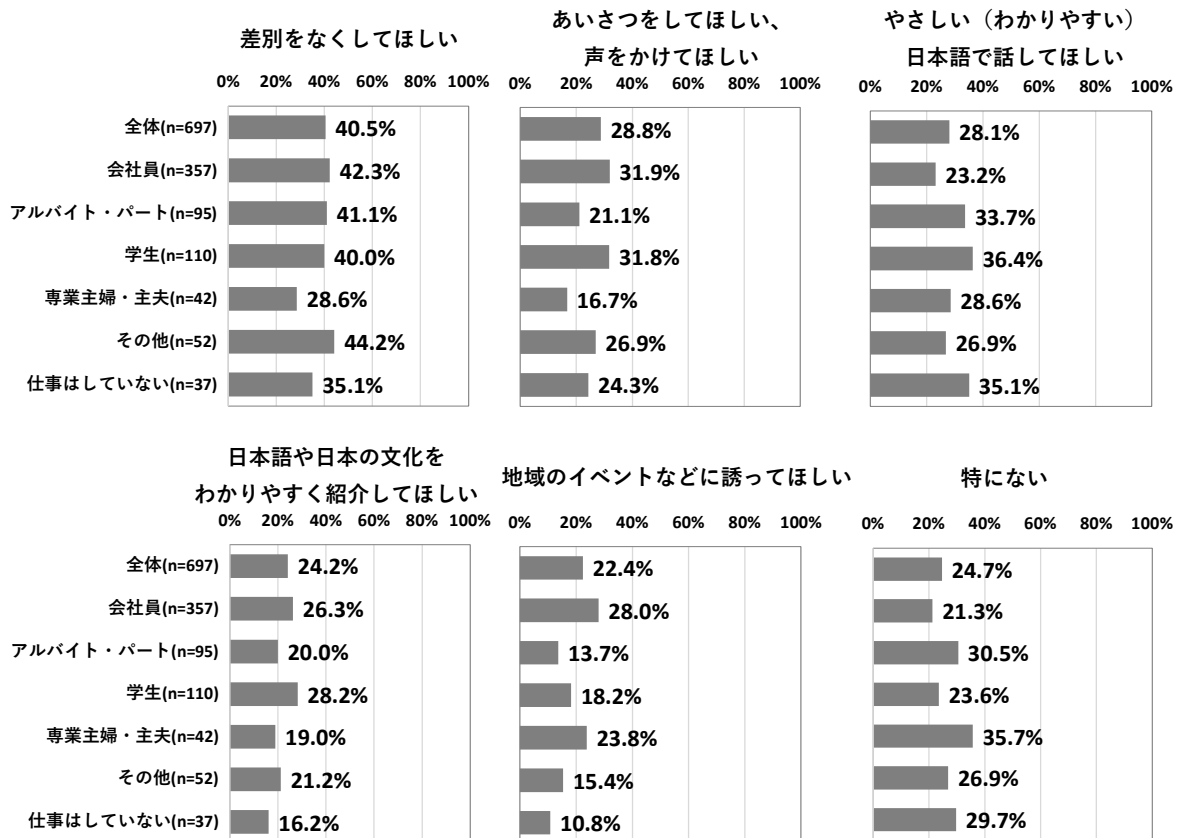
図表VI- 20



## 【職業別】

アルバイト・パート及び学生では「やさしい（わかりやすい）日本語で話してほしい」の割合がそれぞれ33.7%、36.4%となっており、他の職業と比較して高い。会社員では「地域のイベントなどに誘ってほしい」の割合が28.0%と、他の職業と比較して高い。

図表VI- 21



## VII. 北区の実施に対する評価

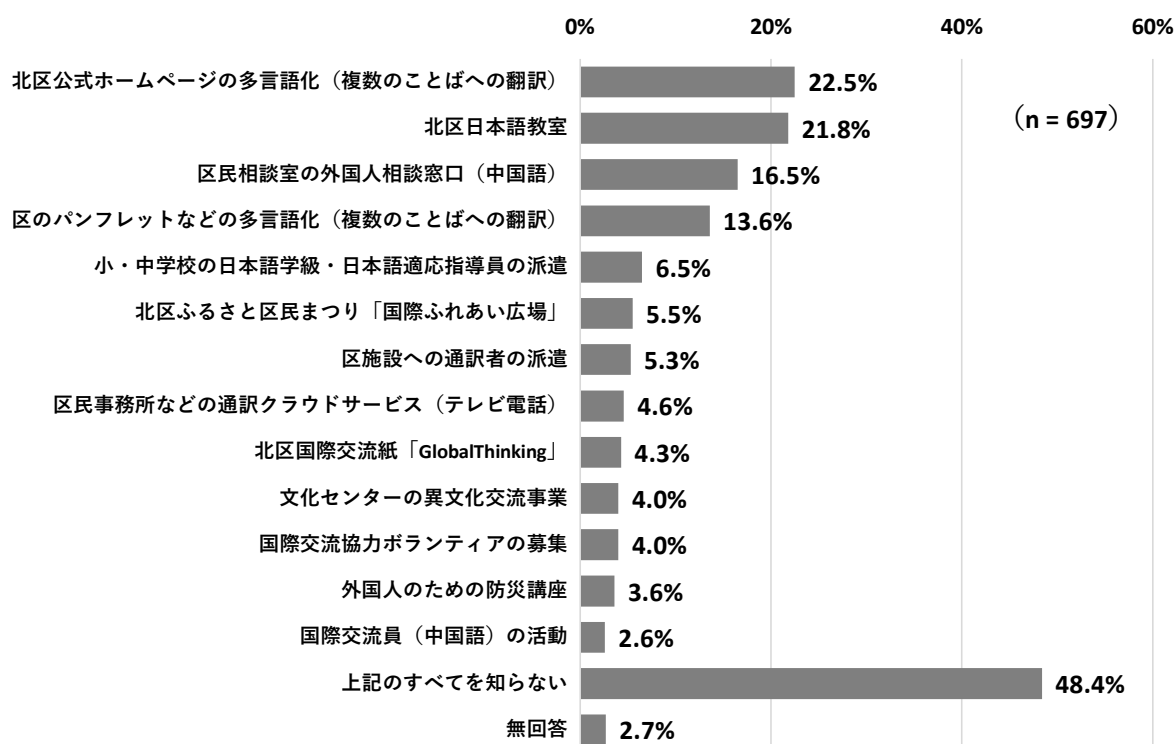
Q30 北区が行っている次の取組やサービスについてあなたが知っているものを教えてください。(チェック☑はいくつでも)



**ポイント** 「北区公式ホームページの多言語化」や「北区日本語教室」がおよそ2割

「北区公式ホームページの多言語化（複数のことばへの翻訳）」の割合が22.5%と最も高く、「北区日本語教室」（21.8%）、「区民相談室の外国人相談窓口（中国語）」（16.5%）と続いている。一方で「上記のすべてを知らない」の割合は48.4%となっている。

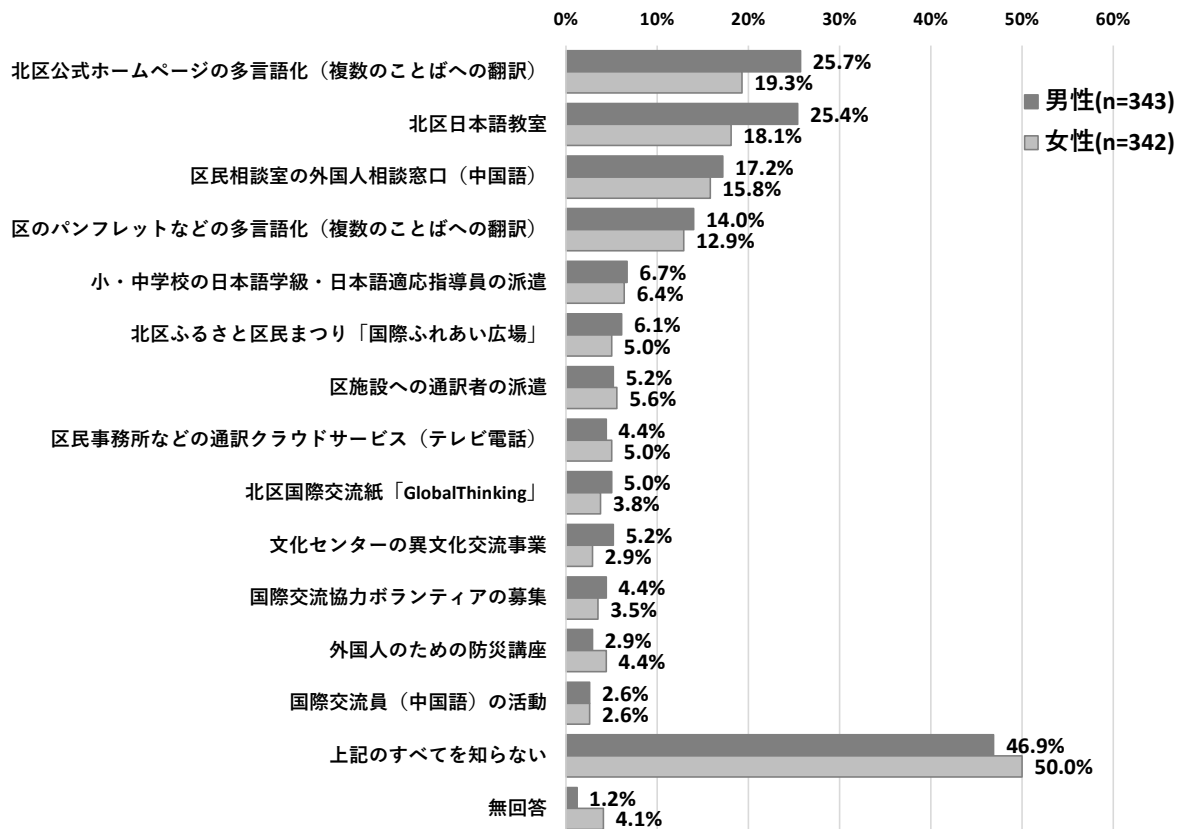
図表VII- 1



## 【男女別】

男性では「北区日本語教室」(25.4%)及び「北区公式ホームページの多言語化(複数のことばへの翻訳)」(25.7%)の割合が女性と比較してやや高い。

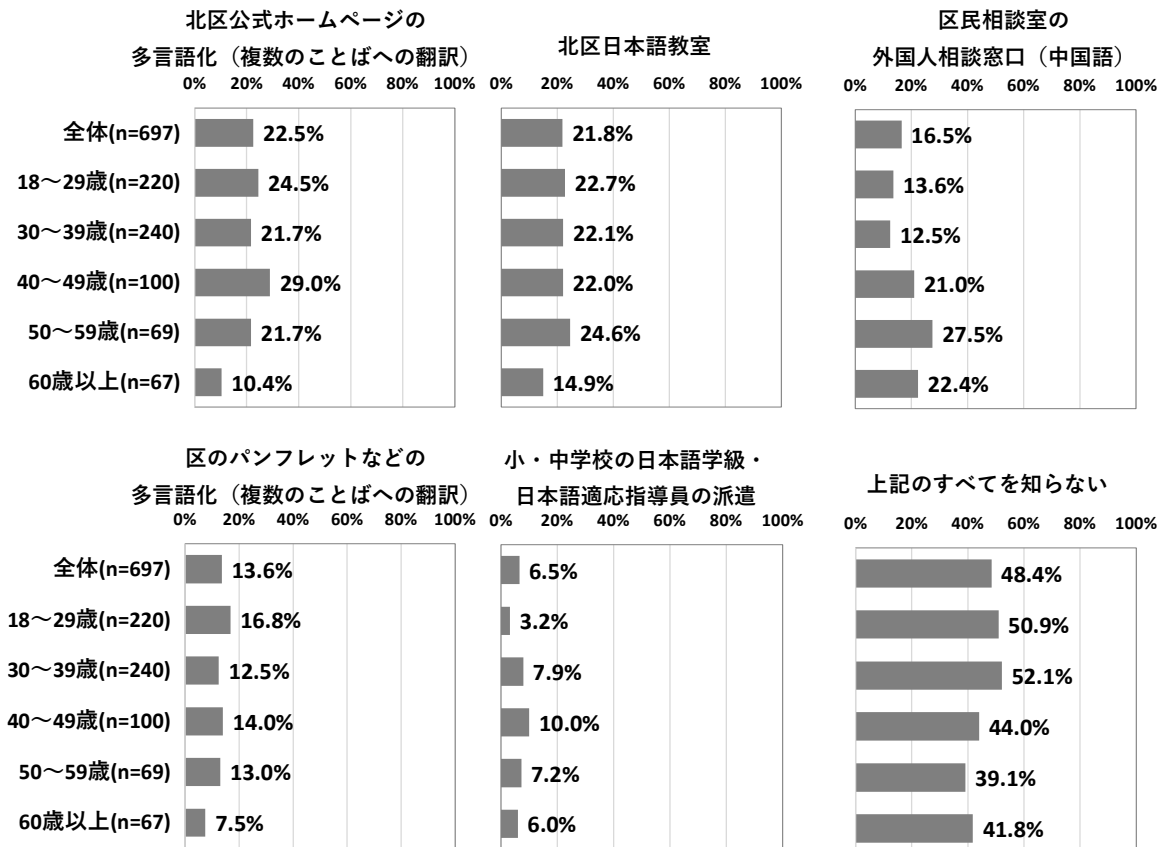
図表VII- 2



## 【年齢別】

「北区公式ホームページの多言語化（複数のことばへの翻訳）」の割合は50代以下で2割を超えている一方、60代以上では10.4%となっている。「区民相談室の外国人相談窓口（中国語）」の割合は20代以下から50代にかけて、年齢が上がるにつれて概ね高くなっている。

図表VII- 3

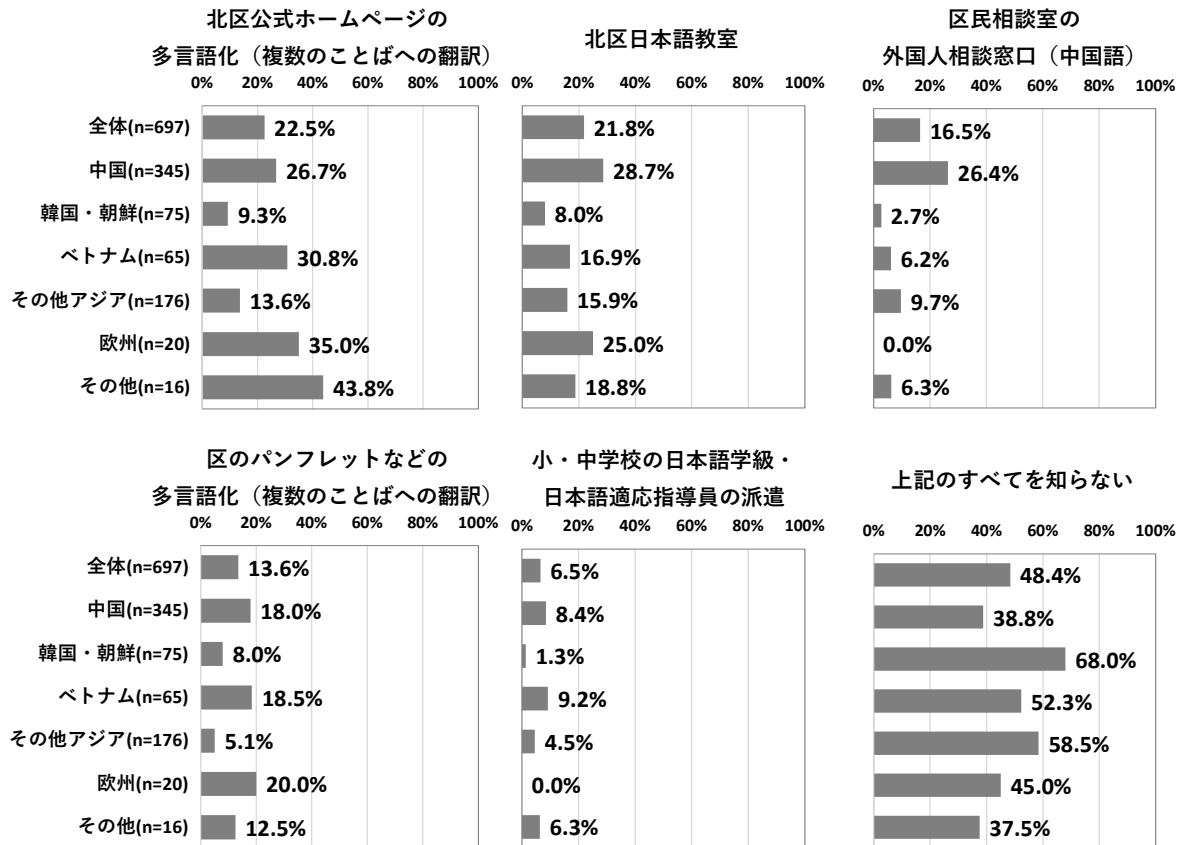




## 【国籍・出身地別】

中国では「区民相談室の外国人相談窓口（中国語）」の割合が26.4%と、他の国籍・出身地と比較してやや高い。韓国・朝鮮では「上記のすべてを知らない」の割合が68.0%と、他の国籍・出身地と比較して高い。

図表VII- 4



Q31 あなたは北区が行っている次の取組にどのくらい満足していますか。  
 また、その取組はあなたにとってどのくらい重要ですか。  
 (チェック☑はそれぞれ1つずつ)

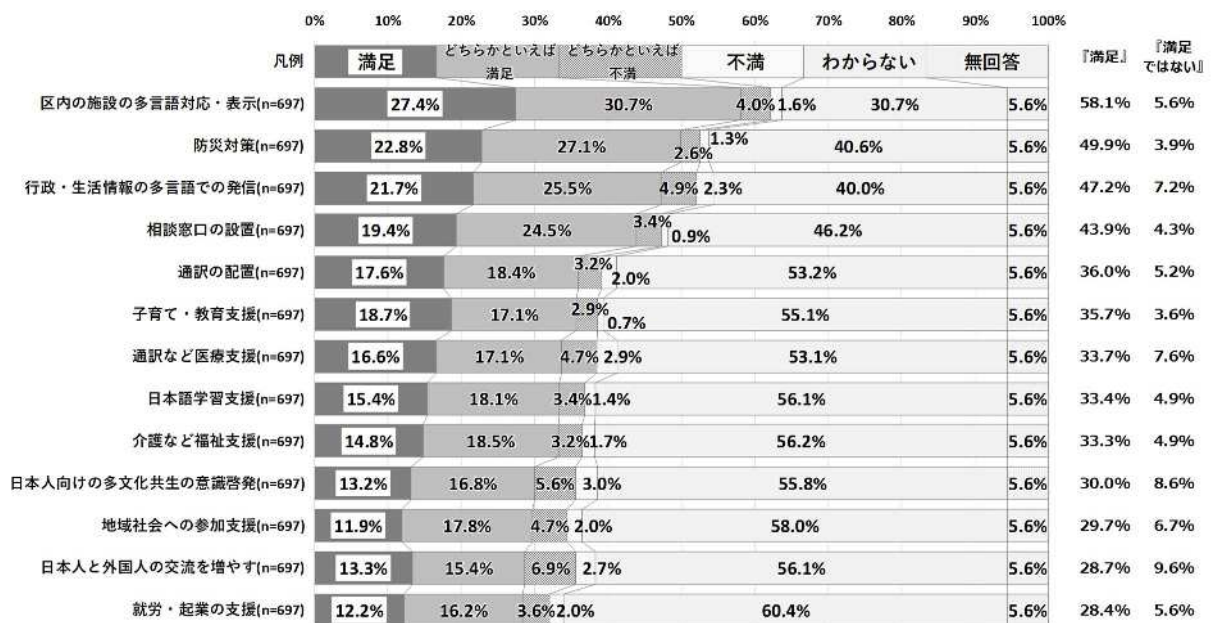
(1) 北区が行っている取組の満足度



ポイント 「区内の施設の多言語対応・表示」が最も満足

「区内の施設の多言語対応・表示」が 58.1%と最も『満足』であり、「防災対策」(49.9%)、「行政・生活情報の多言語での発信」(47.2%)と続いている。

図表VII- 5

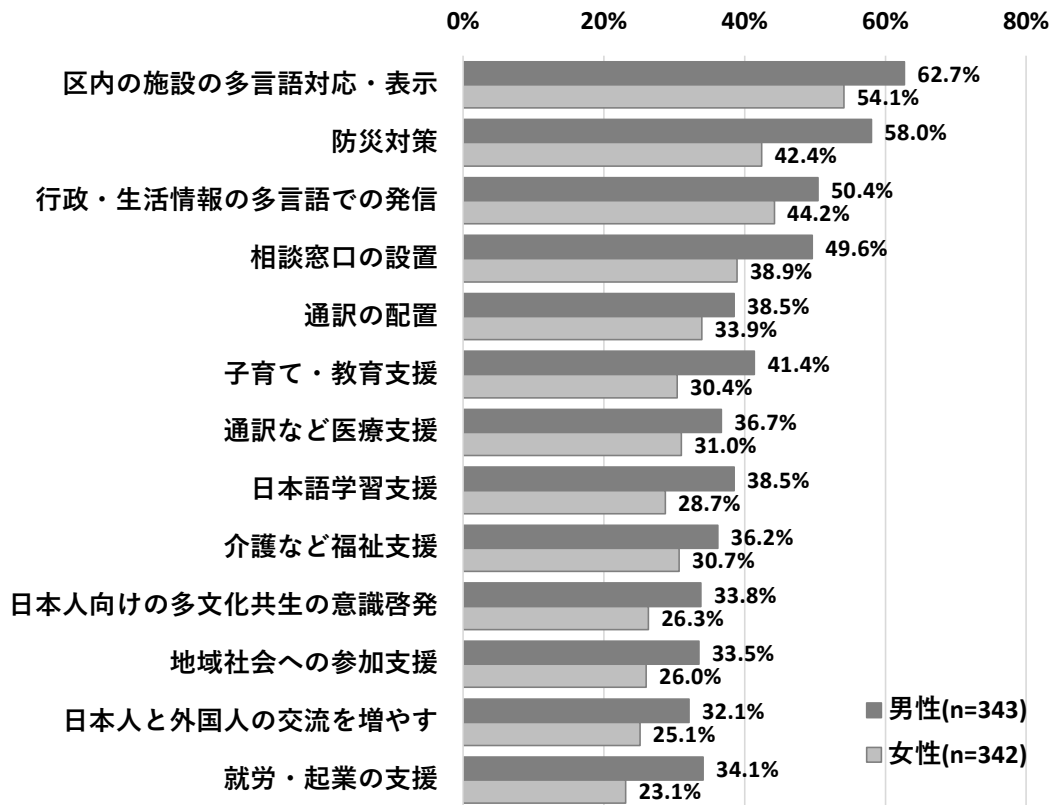


『満足』 = 「満足」 + 「どちらかといえば満足」  
 『満足ではない』 = 「どちらかといえば不満」 + 「不満」

**【男女別】**

「防災対策」において、男女間で『満足』の割合に最も大きな差が生じている。また「子育て・教育支援」や「就労・企業の支援」においても、男女間で『満足』の割合に大きな差が生じている。

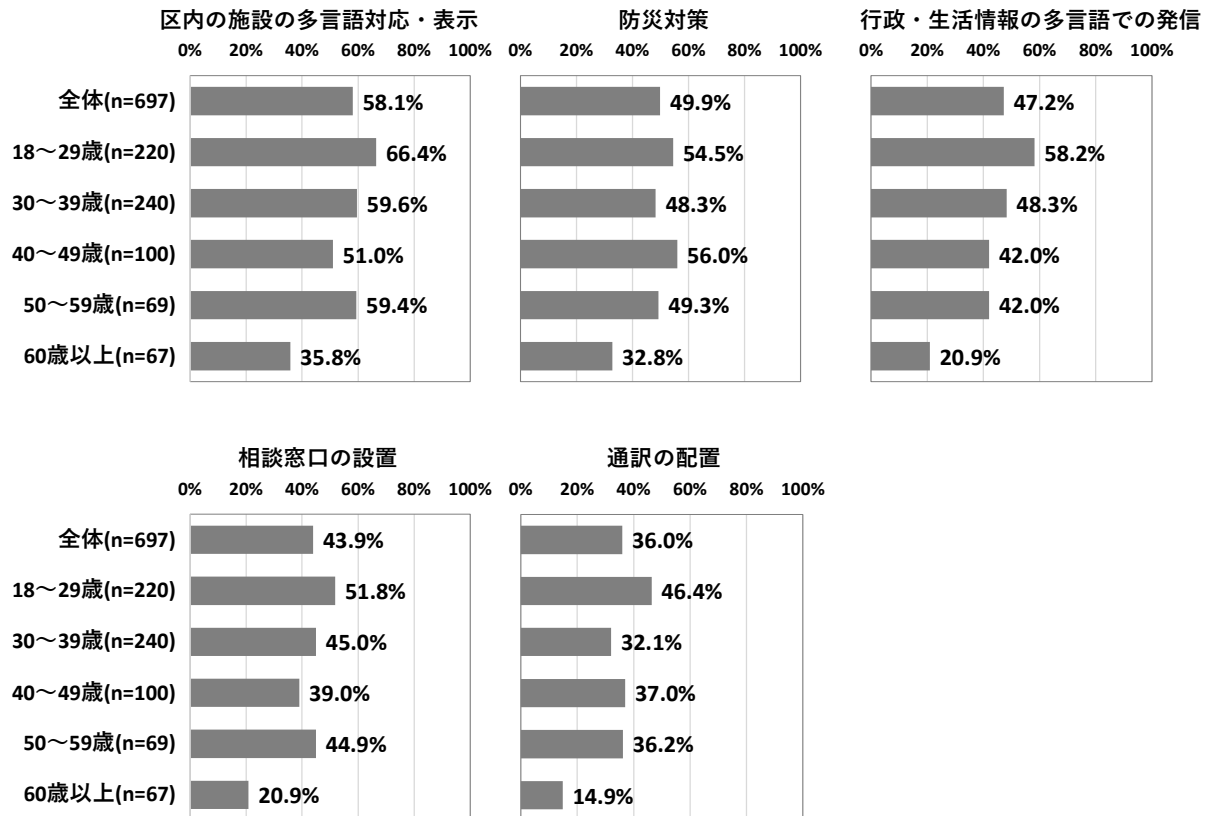
図表VII- 6



## 【年齢別】

「行政・生活情報の多言語での発信」における『満足』の割合は、20代以下で58.2%と最も高く、年齢が上がるにつれてその割合は概ね低くなっている。「通訳の配置」における『満足』の割合は20代以下で46.4%と、他の年齢と比較して高い。

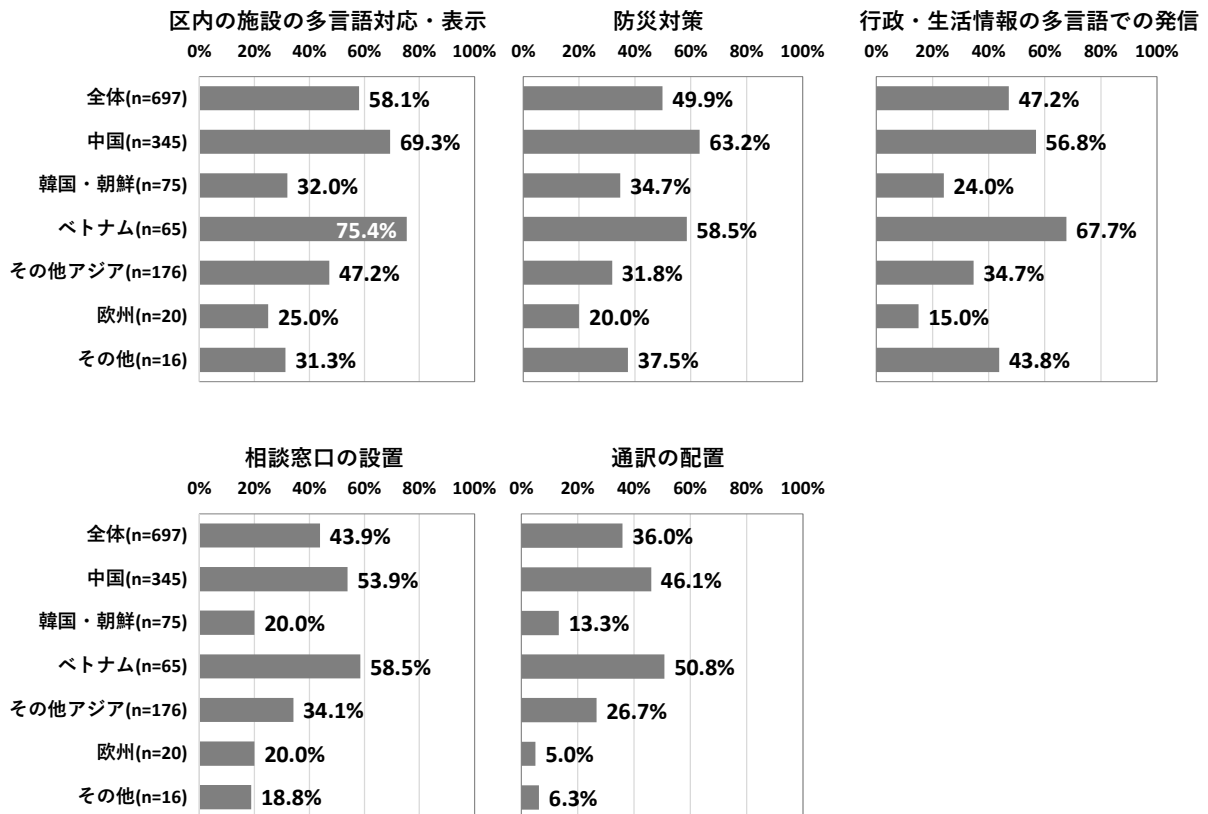
図表VII- 7



## 【国籍・出身地別】

中国及びベトナムでは、どの項目においても『満足』の割合が他の国籍・出身地と比較して高い。一方韓国・朝鮮では、どの項目においても『満足』の割合が他の国籍・出身地と比較して低い。

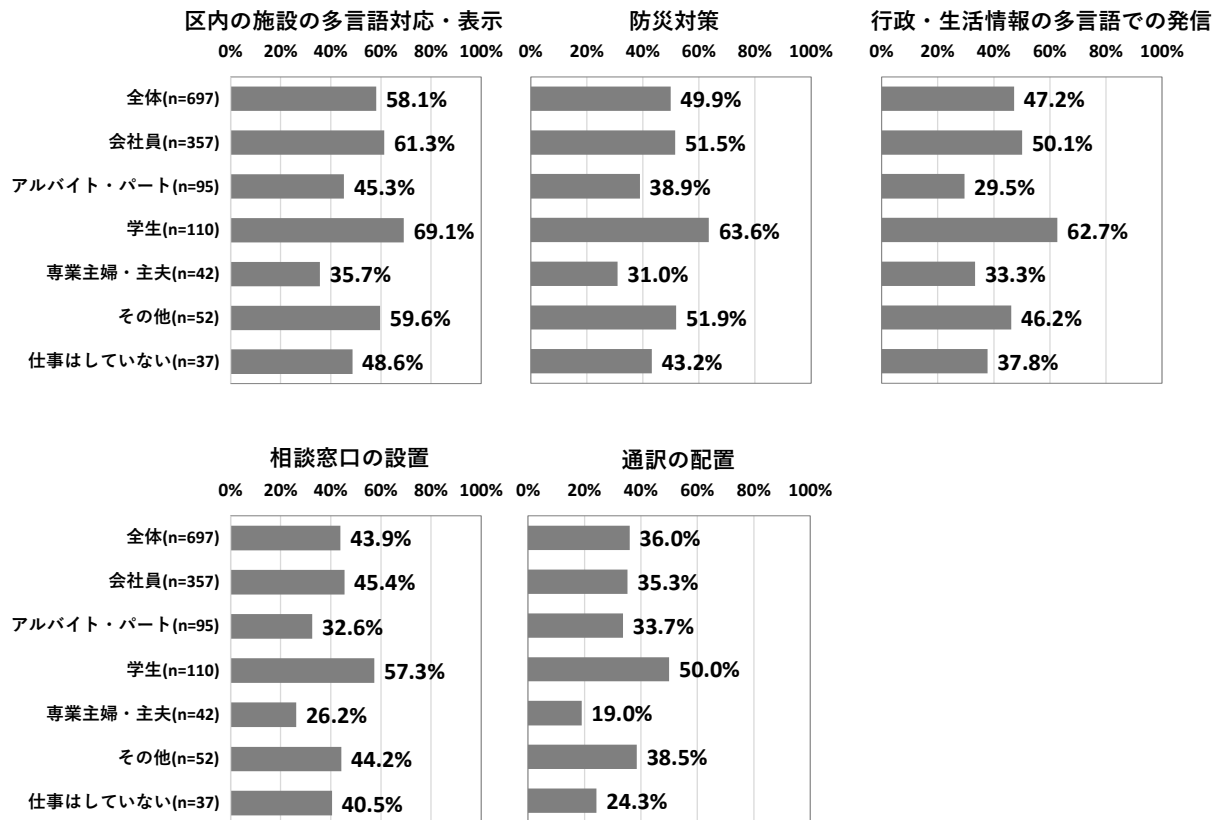
図表VII- 8



**【職業別】**

学生ではどの項目においても『満足』の割合が他の職業と比較して高い。アルバイト・パートでは概ねどの項目においても『満足』の割合が他の職業と比較して低い。

図表VII- 9



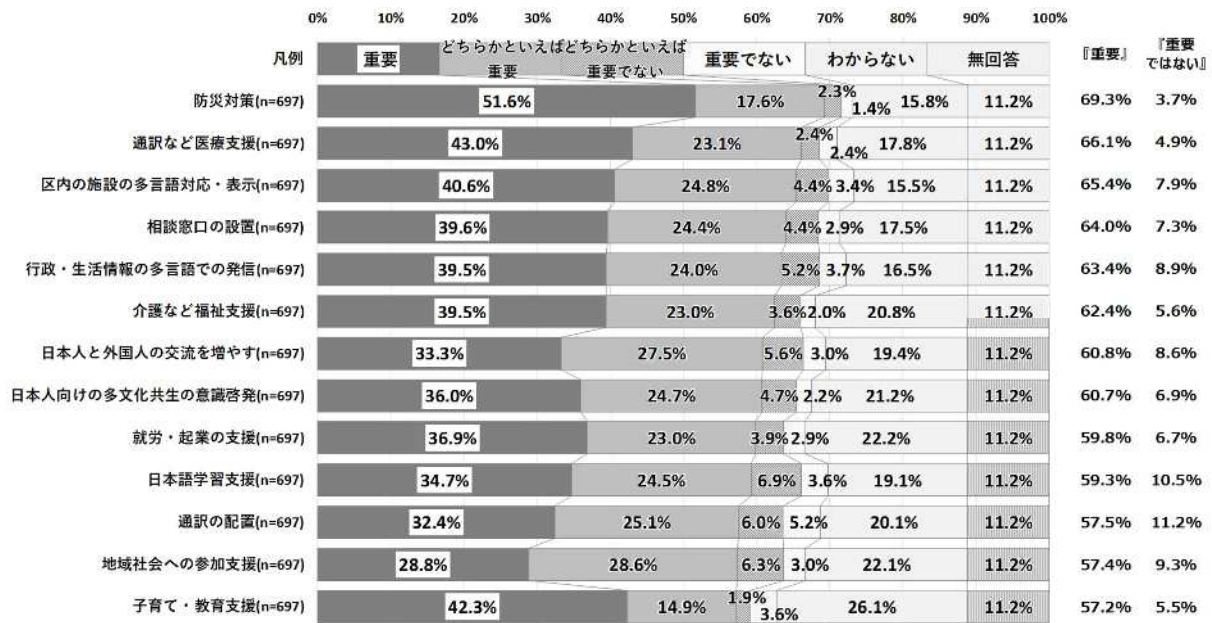
## (2) 北区が行っている取組の重要度



### ポイント 「防災対策」が最も重要

「防災対策」が69.3%と最も『重要』であり、「通訳など医療支援」(66.1%)、「区内の施設の多言語対応・表示」(65.4%)と続いている。

図表VII- 10



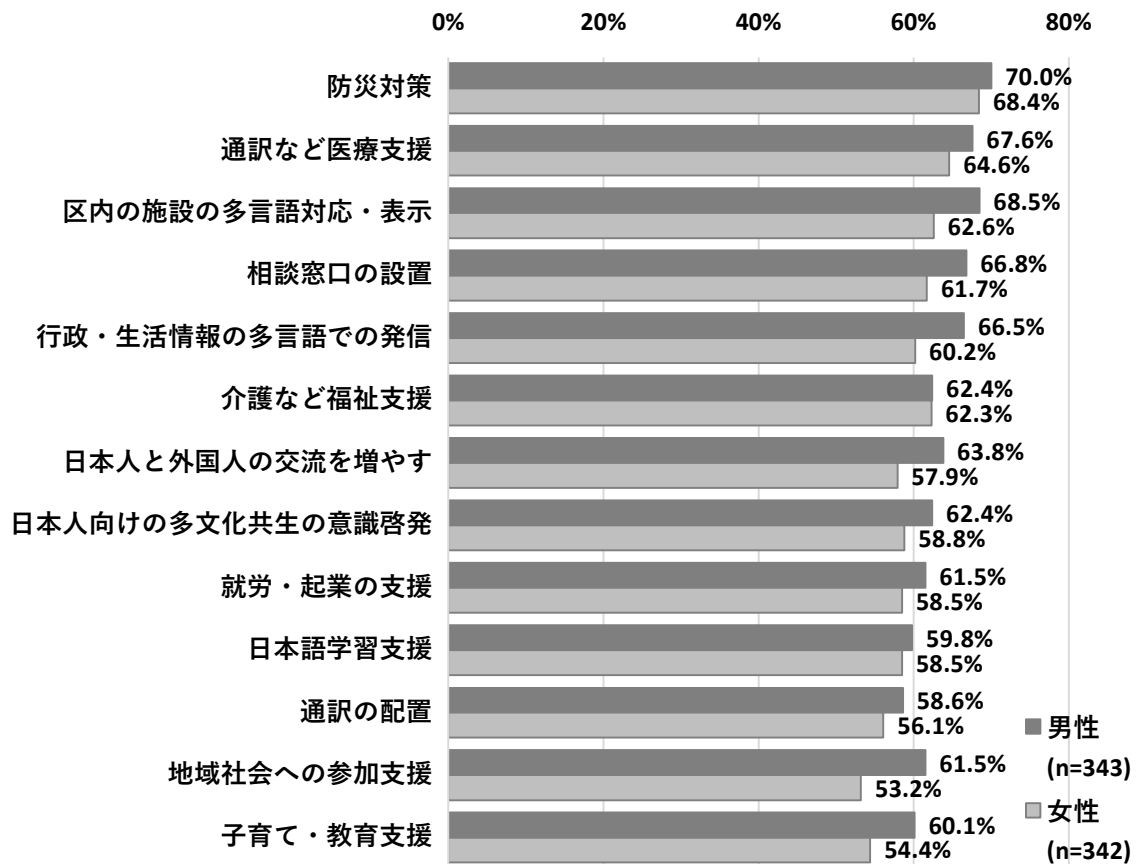
『重要』 = 「重要」 + 「どちらかといえば重要」

『重要ではない』 = 「どちらかといえば重要ではない」 + 「重要ではない」

**【男女別】**

男女間で『重要』の割合の差が最も大きい項目は「地域社会への参加支援」で、8.3ポイントの差が生じている。

図表VII- 11

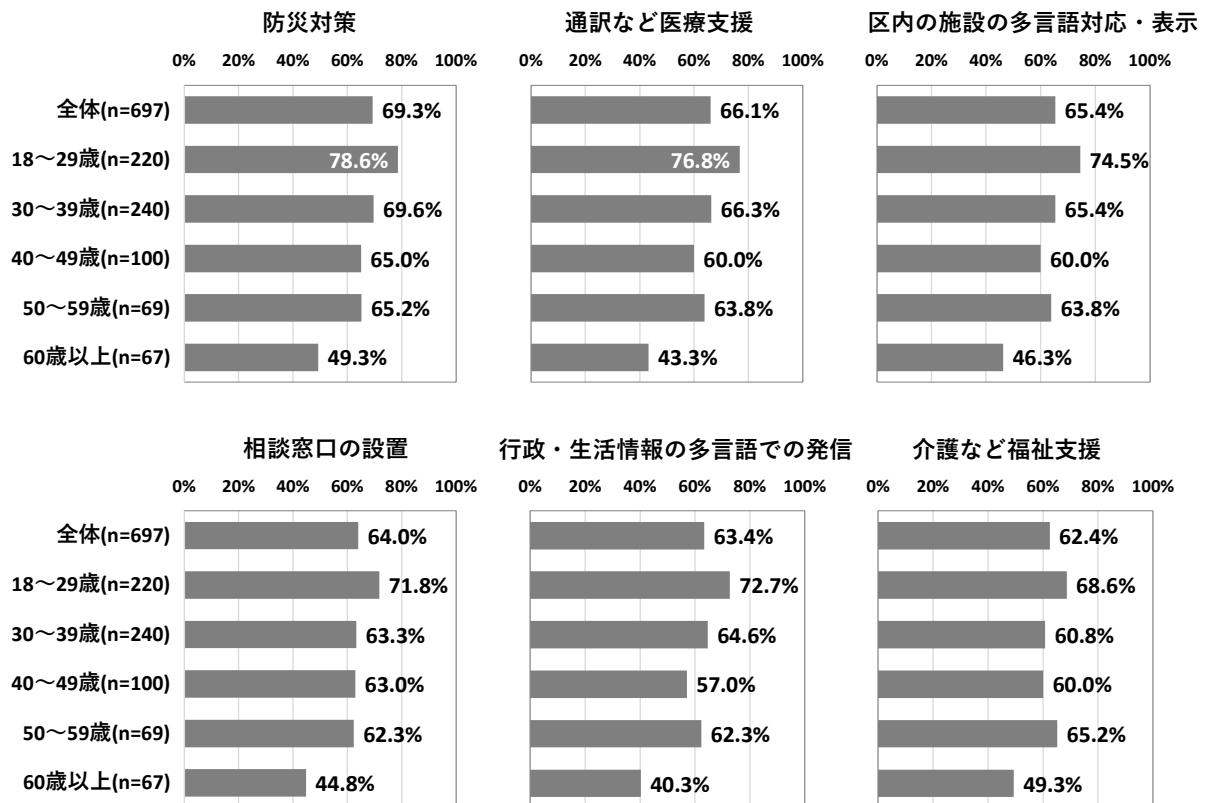




## 【年齢別】

どの項目においても、年齢が上がるにつれて『重要』の割合は概ね低くなっている。

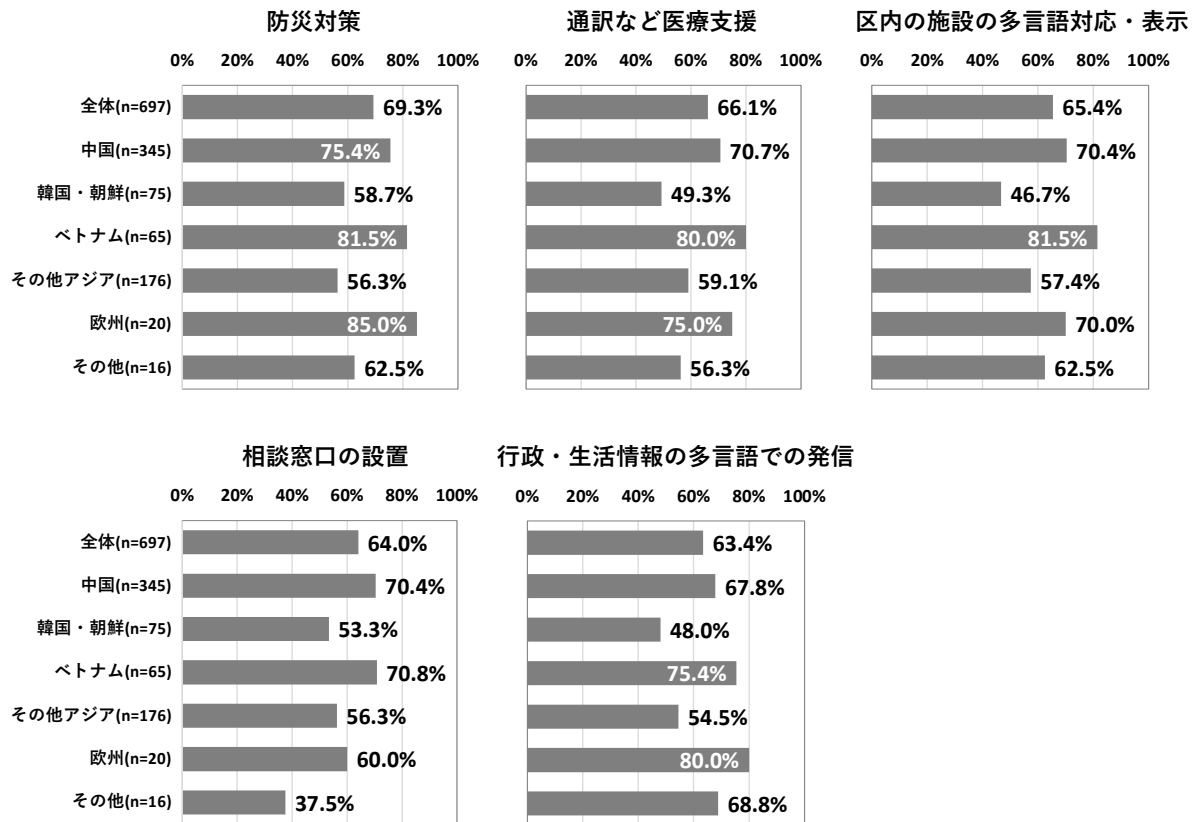
図表VII- 12



## 【国籍・出身地別】

ベトナムでは、どの項目においても『重要』の割合が他の国籍・出身地と比較して高い。一方韓国・朝鮮では、どの項目においても『重要』の割合が他の国籍・出身地と比較して低い。

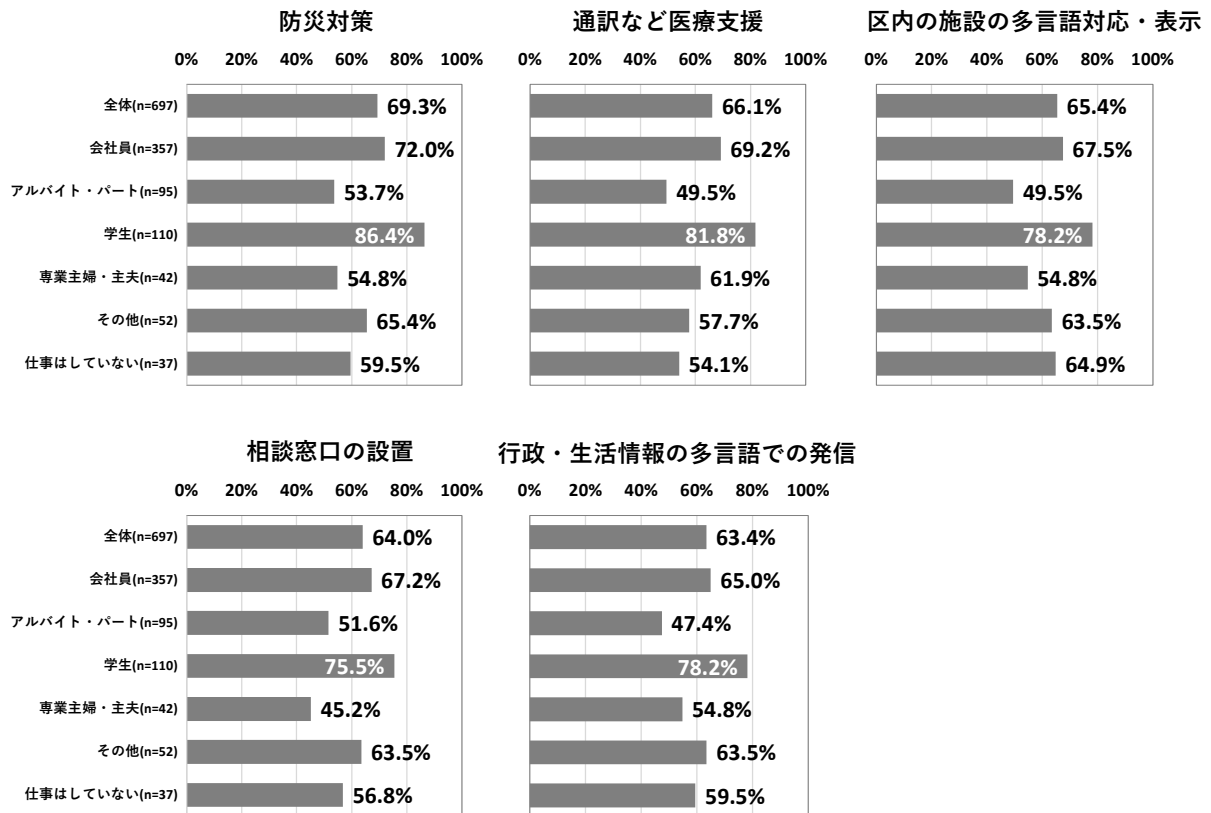
図表VII- 13



**【職業別】**

学生ではどの項目においても『重要』の割合が他の職業と比較して高い。アルバイト・パートでは概ねどの項目においても『重要』の割合が他の職業と比較して低い。

図表VII- 14



### (3) 北区が行っている取組の満足度と重要度の相関

北区が行っている取組について、各回答者の満足度と重要度を下記方法にて点数化したうえで、それぞれの平均点（満足度 0.58、重要度 1.15）を基準として、「A：満足度は低い、重要度は高い」「B：満足度・重要度がともに高い」「C：満足度・重要度がともに低い」「D：満足度は高い、重要度は低い」の4つの領域に分けた。

#### ◆ 満足度の評価点

「満足」2点、「どちらかといえば満足」1点、「どちらかといえば不満」-1点、「不満」-2点、「わからない」0点

#### ◆ 重要度の評価点

「重要」2点、「どちらかといえば重要」1点、「どちらかといえば重要でない」-1点、「重要でない」-2点、「わからない」0点

#### ◆ 平均評価点の算出方法

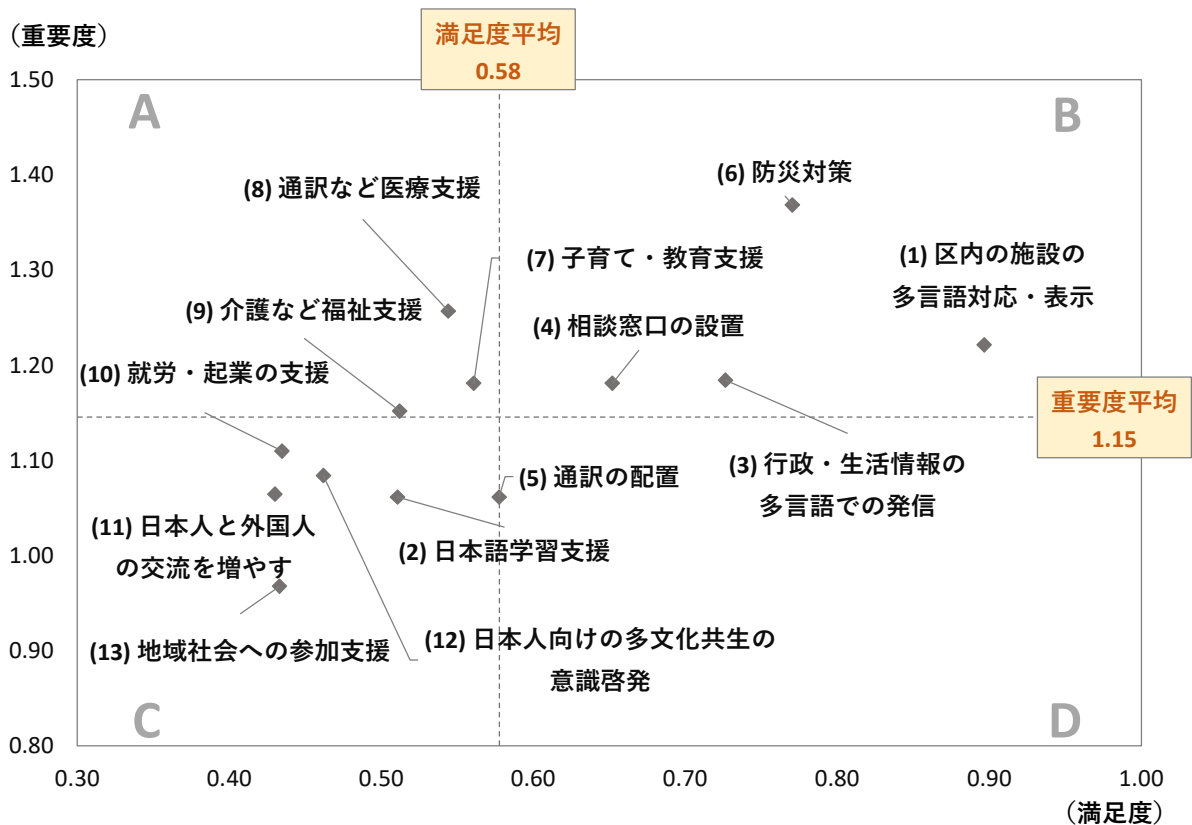
(それぞれの評価点×それぞれの評価を回答した人数)の合計÷無回答を除く全回答者数



**ポイント** 満足度は低い、重要度は高いものは「通訳など医療支援」など3つ

満足度は低い、重要度は高い A 領域には、「子育て・教育支援」「通訳など医療支援」「介護など福祉支援」が位置づけられる。

図表VII- 15



## VIII. その他

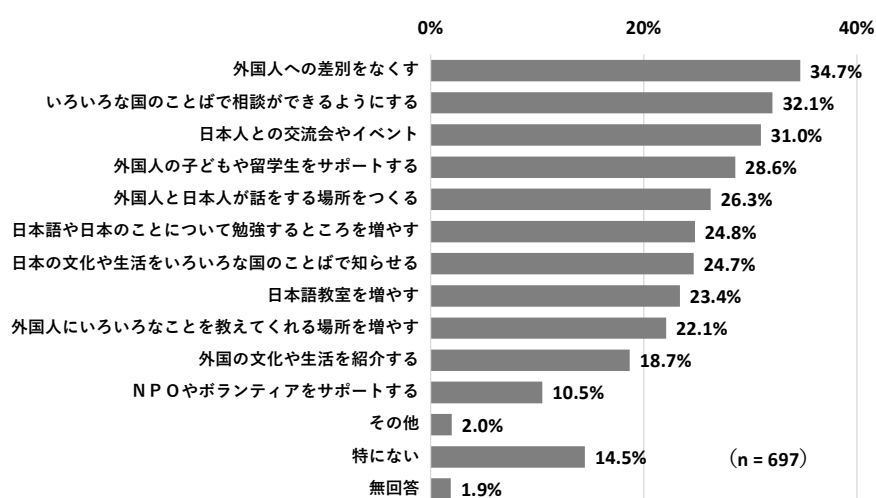
Q32 北区は何をすればいいと思いますか。(チェック☑は5つまで)



### ポイント 外国人への差別をなくす必要がある

「外国人への差別をなくす」の割合が34.7%と最も高く、「いろいろな国のことばで相談ができるようにする」(32.1%)、「日本人との交流会やイベント」(31.0%)と続いている。

図表VIII- 1

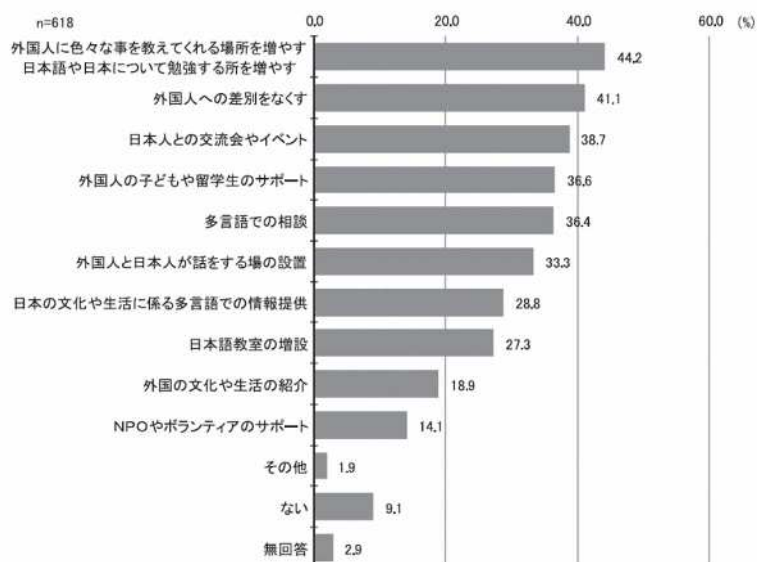


### <前回(令和元年度)調査との比較>

前回調査で最も割合の高かった「日本語や日本について勉強するところを増やす」は今回24.8%と、19.4ポイント減少している。

### (参考) 令和元年度調査結果

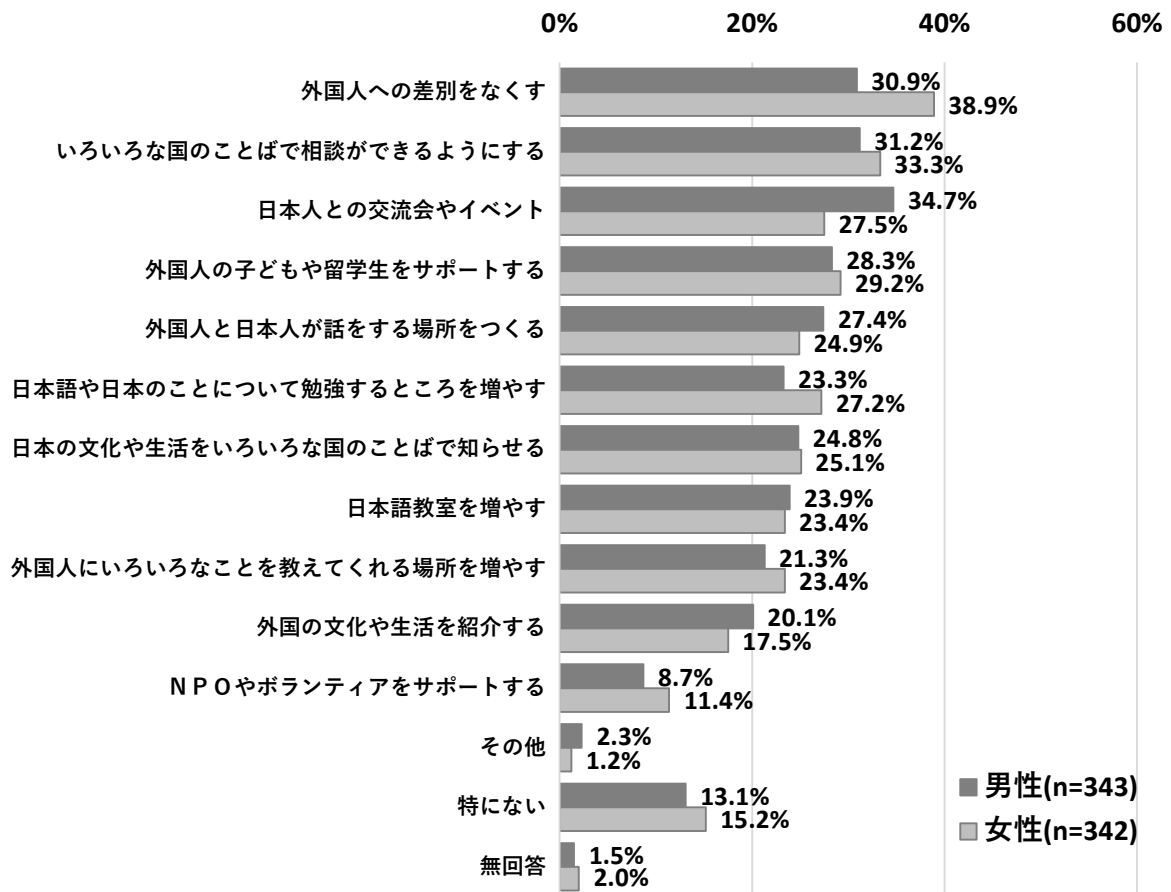
図VI- 4. 北区への要望



**【男女別】**

男性では「日本人との交流会やイベント」の割合が 34.7%と最も高いのに対し、女性では「外国人への差別をなくす」の割合が 38.9%と最も高い。

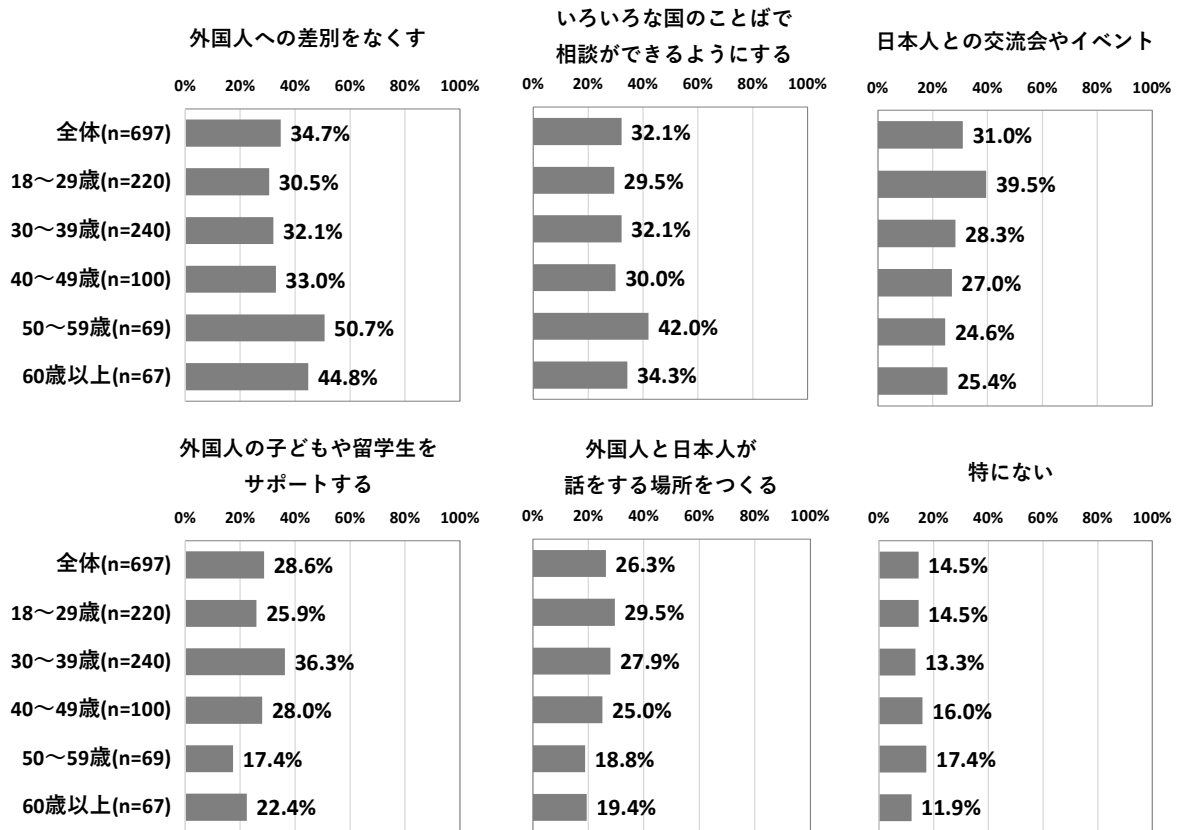
図表VIII- 2



**【年齢別】**

「外国人への差別をなくす」の割合は50代以上で4割を超えており、40代以下と比較して高い。

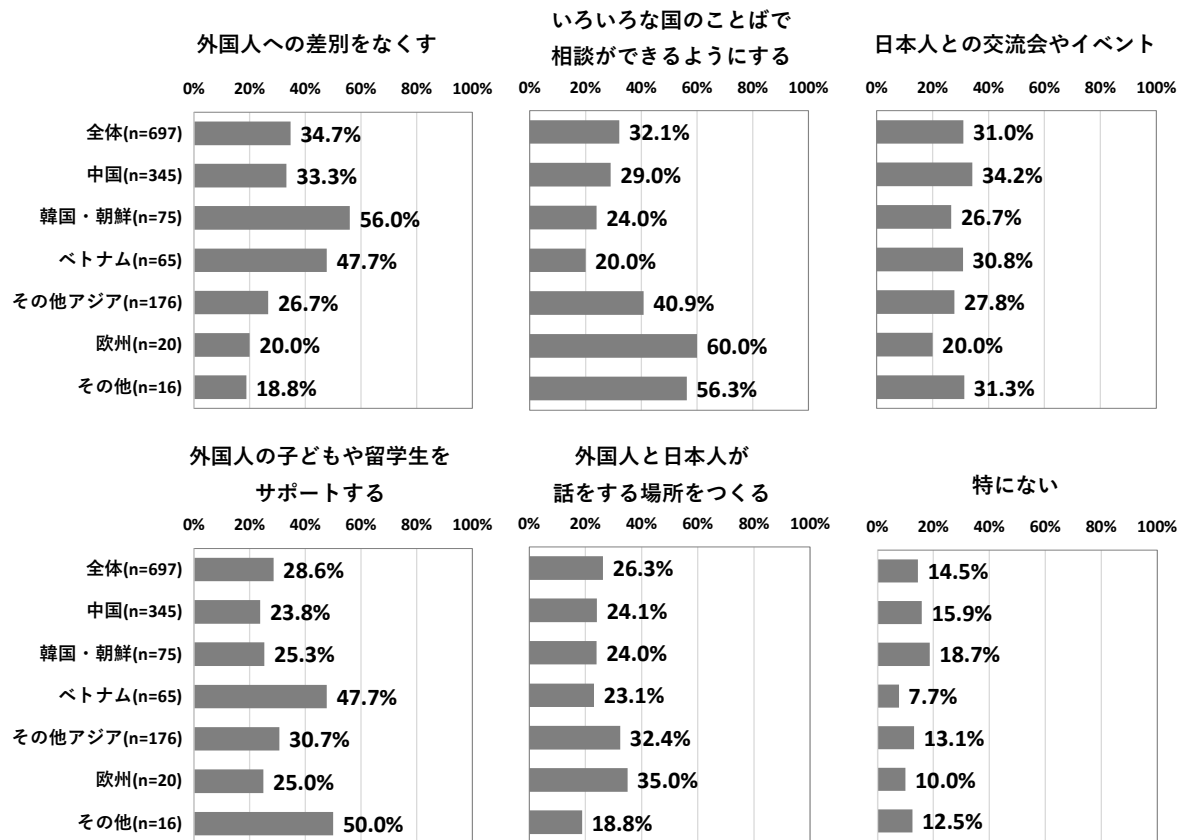
**図表VIII- 3**



## 【国籍・出身地別】

韓国・朝鮮及びベトナムでは、「外国人への差別をなくす」の割合がそれぞれ56.0%、47.7%と、他の国籍・出身地と比較して高い。またベトナムでは「外国人の子どもや留学生をサポートする」の割合が47.7%と、他の国籍・出身地と比較して高い。

図表VIII- 4

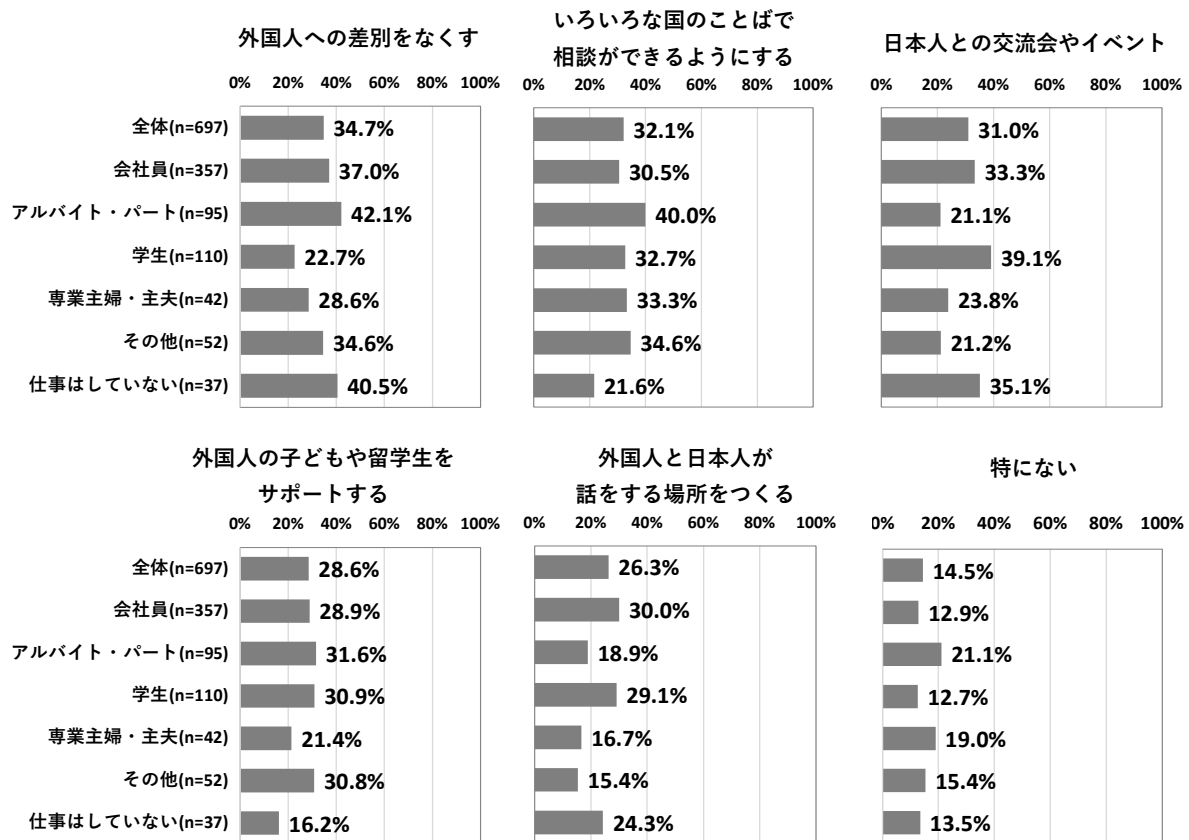




## 【職業別】

アルバイト・パートでは「外国人への差別をなくす」(42.1%) 及び「いろいろな国のことばで相談ができるようにする」(40.0%) の割合が他の職業と比較して高い。学生では「日本人との交流会やイベント」の割合が 39.1%と、他の職業と比較して高い。

図表VIII- 5



Q33 あなたはこれからも北区に住みたいですか。(チェック☑は1つだけ)

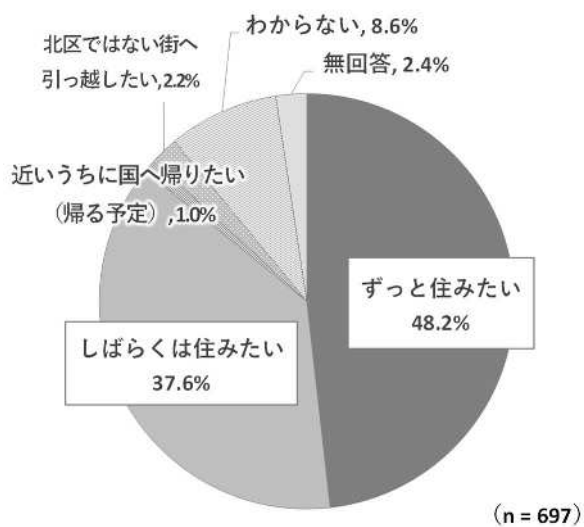


**ポイント** 8割以上は今後も北区に住みたいと思っている

「ずっと住みたい」の割合が48.2%と最も高く、「しばらくは住みたい」の割合は37.6%となっており、85.8%は今後も居住意向がある。

図表VIII- 6

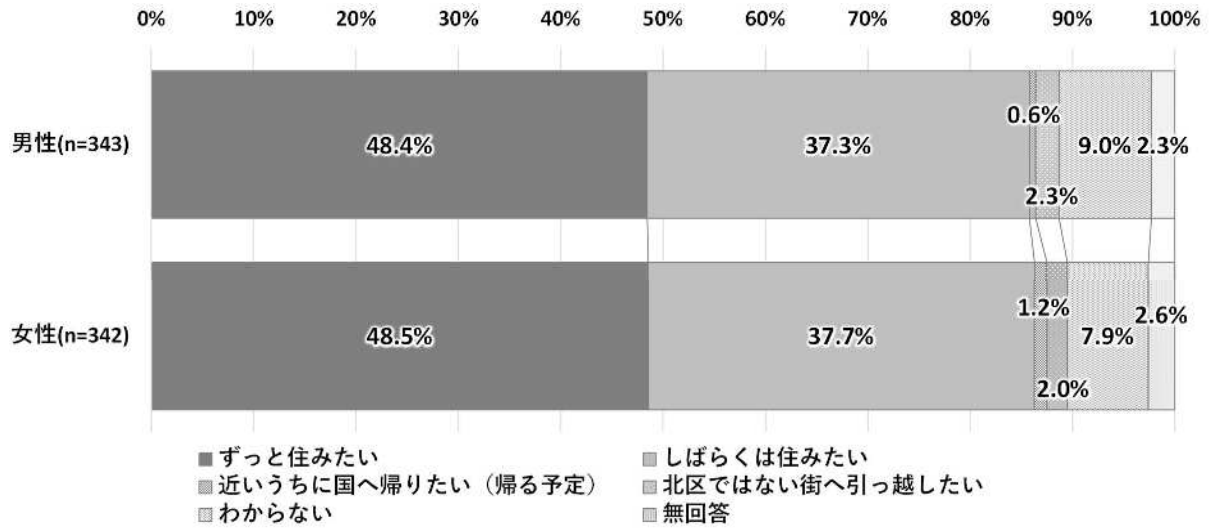
項目	回答者数	割合
全体	697	100.0%
ずっと住みたい	336	48.2%
しばらくは住みたい	262	37.6%
近いうちに国へ帰りたい(帰る予定)	7	1.0%
北区ではない街へ引っ越したい	15	2.2%
わからない	60	8.6%
無回答	17	2.4%



【男女別】

男女別では、今後の北区への居住意向に大きな違いは見られない。

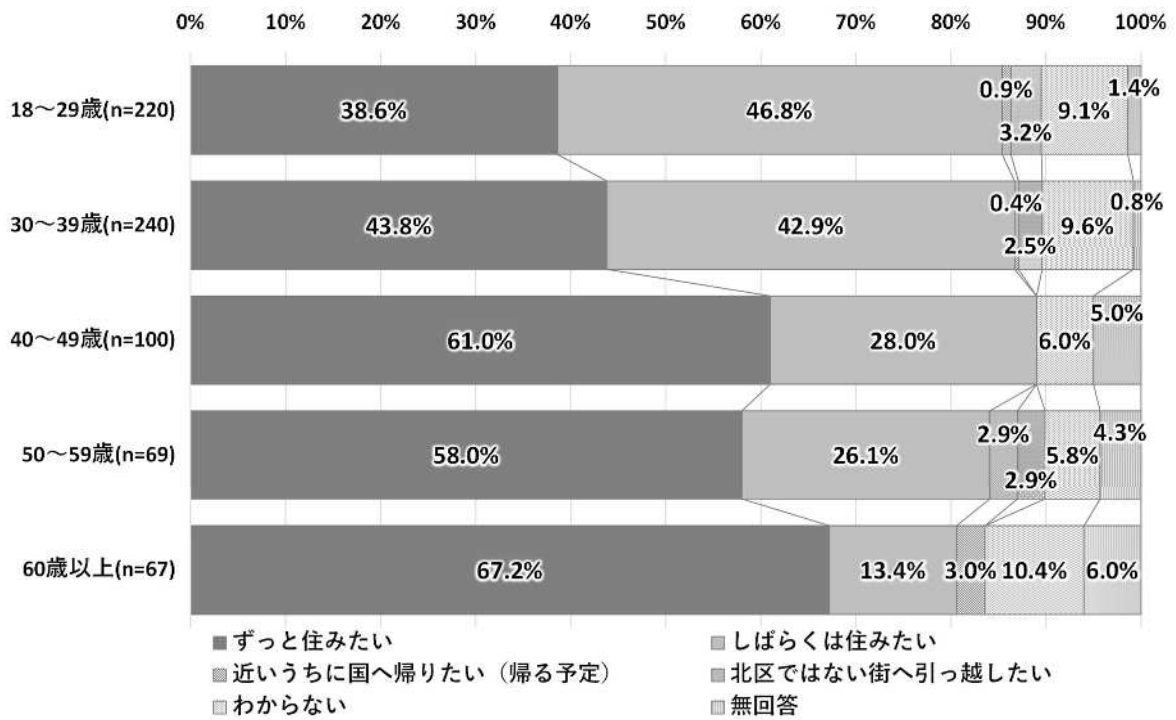
図表VIII- 7



**【年齢別】**

60代以上では「ずっと住みたい」の割合が67.2%と最も高く、年齢が上がるにつれてその割合も概ね高くなっている。今後も北区への居住意向のある人の割合は、どの年齢においても8割を超えている。

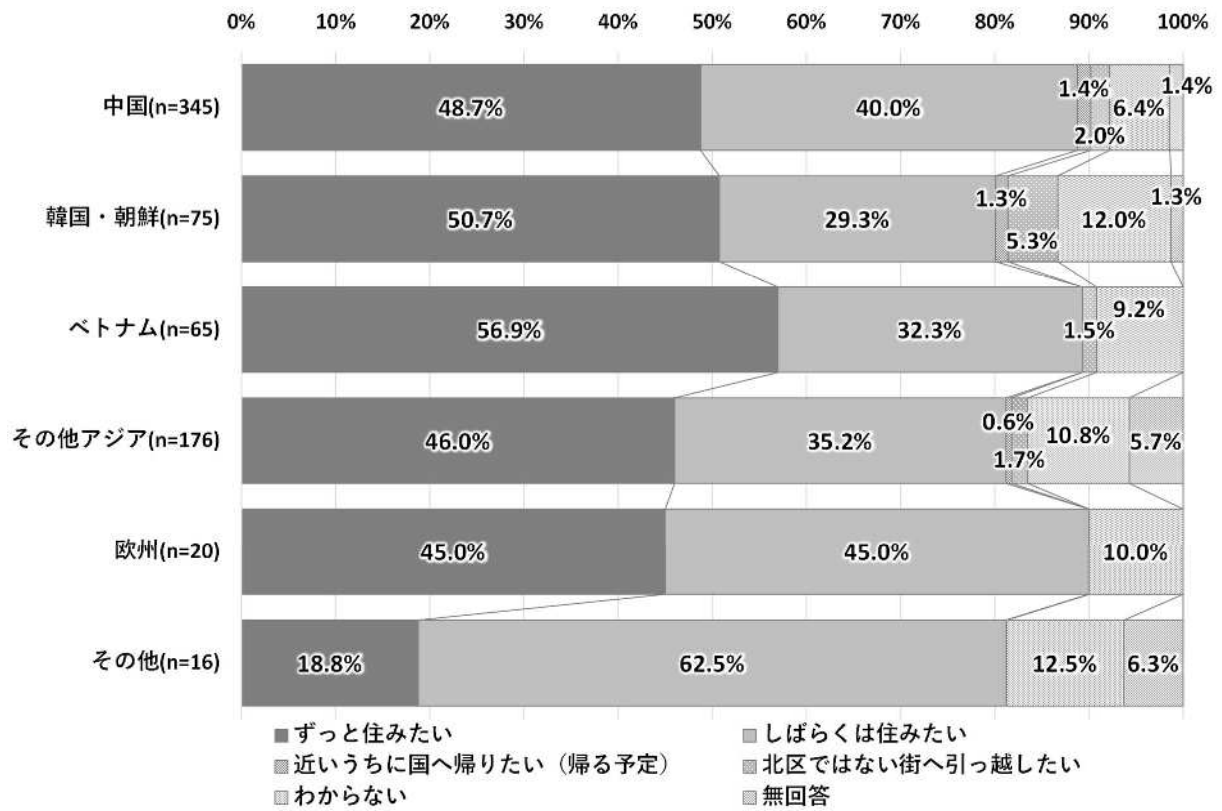
**図表Ⅷ- 8**



【国籍・出身地別】

ベトナムでは「ずっと住みたい」の割合が56.9%と、他の国籍・出身地と比較してやや高い。  
中国及びベトナムでは、今後も北区への居留意向のある人の割合がおおよそ9割となっている。

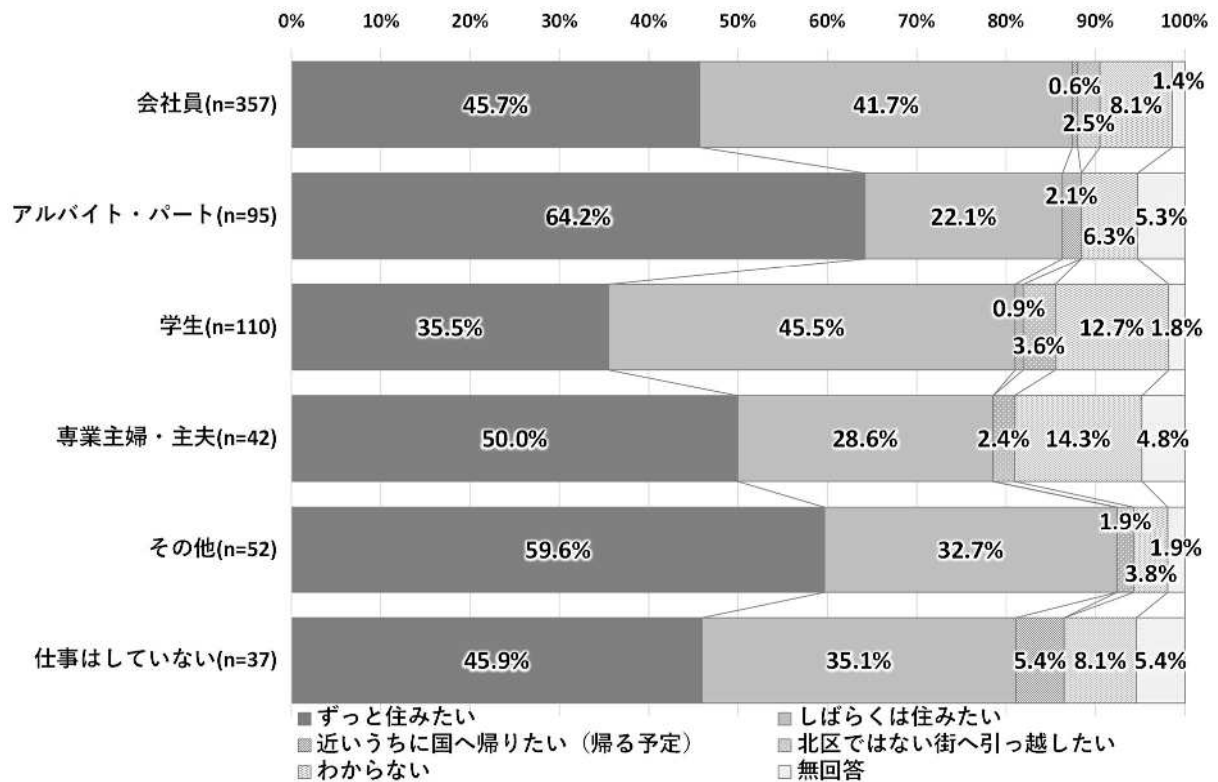
図表VIII- 9



【職業別】

アルバイト・パートでは「ずっと住みたい」の割合が 64.2%と、他の職業と比較して高い。今後も北区への居住意向のある人の割合は、どの職業においても概ね 8 割以上となっている。

図表VIII- 10



**Q34** 北区は日本人区民と外国人区民がお互いを認め合い協力し合う住みやすいまちにしたいです。あなたが北区にしてほしいことがあれば書いてください。あなたが思ったことを自由に書いてください。

○ 異文化理解・コミュニティづくりに関する主な意見

【中国】

- 定期的に交流会をやっていただきたい。(30代・女性)
- 異なる文化背景の人々が簡単に交流できる場所やイベントをさらに設けて欲しいです。言葉が100%通じ合えなくても、会って話すことがお互いを認め合うことに役に立つと思います。(30代・男性)
- 公民館などで、外国の方に自国の文化、歴史、日常生活、身の回りのことなどを紹介してもらうイベントを提供したらと思います。また北区の名勝・古跡・神社などを巡ることで、北区の歴史・逸話・地域文化をより理解できるようになるかと思っています。(60代・男性)
- 言語学習でお互いに助け合う形の交流の場や、趣味や興味を目的とした互助交流会を設けることを望む。(30代・男性)
- 可能であれば、ネット投票の形式で趣味イベントを決めて実施してほしい。そうすれば同じ趣味趣向を持つ区民が集まってイベントに参加することができ、相互交流の促進につながると思うので。(20代・女性)

【韓国・朝鮮】

- 外国人でも気まずくならずに参加できる交流会や勉強会などのイベントがあったらと思います。(30代・男性)
- 区のイベントにもっと若い人達が参加したいと思う企画を望む！(60代・女性)

【ベトナム】

- 日本や他の多くの国と、より多くの文化交流活動をしていきたい。(10代・男性)

【ネパール】

- 日本の文化や習慣について色々なイベントに日本人と一緒に参加して、説明とかしていただけるとうれしいです。(30代・男性)
- 全ての国の出身の人たちが幸せと気づきを交わせるプログラムやセミナーを開催していただきたいと思います。(20代・男性)

【フィリピン】

- 北区には、外国人が日本語を学ぶためのサービスや、日本人と外国人が文化的な理解を深めるための活動を提供してほしい。(20代・女性)
- 外国人がお互いつながりを持てるコミュニティを作るのに、出会い、挨拶を交わせるようなイベント。(10代・女性)

## ○ 施設・設備に関する主な意見

### 【中国】

- バasketボールができるところを増やしてほしいです。現在は体育館などでBasketボールできるが、6人以上のチームを組まないといけなく、ハードルが高いです。アメリカのように、Streetコートなどがあれば、自然と外国人と日本人のふれあいの場が増えるかと思えます。(30代・男性)
- スポーツセンター(バドミントン室とか)を増やしてほしい。(40代・男性)
- 車道や歩道の段差をなくしてほしいです。(30代・男性)
- テニス施設などの公的施設の利用はもっと使いやすくしてほしいです。お年寄りのイメージがある北区ですが、より若年層でもワクワク遊べる場所を増やし、魅力度をupさせてください。(30代・女性)
- 赤羽図書館の中国語の本や雑誌がとても古く、数も少ないのもっと増やしてほしい。(60代・男性)
- 色々な国の食べ物を置いてあるスーパーを増やしてほしい。(30代・女性)

### 【ベトナム】

- 小さな子供のいる家族が楽しめる遊び場や娯楽施設が増えることを希望します。(20代・女性)

### 【バングラデシュ】

- 北区に外国人の相談センターを作ってもらいたいです。(30代・女性)

### 【インド】

- 近くにジムやプール、スポーツセンターがありません。可能であれば、北区には近くにジムの設立する手助けをしてほしい。(30代・男性)

### 【マレーシア】

- 芝生や子供が安全に遊べる場所を増やしてほしいです。(30代・女性)



## ○ 税金や生活費に関する主な意見

### 【中国】

- 生活面での支援をもう少し提供してほしい。(30代・女性)
- 生活保護の基準を見直してほしいです。(30代・女性)

### 【ベトナム】

- 家賃の減額や留学生に対する減税。(10代・女性)
- 生活費を安くしてほしい。現在の家賃は非常に高く、特に初めて日本に来た人にとっては生活が非常に困難な状況です。また医療費が非常に高額なため、区が検討・調整してくれることを期待しています。(20代・女性)

### 【フィリピン】

- ひとり親だけでなく、単身世帯への支援にも焦点を当て、経済的支援を行う。(30代・男性)

### 【パキスタン】

- 自分の給料はとて少なく、それに対する税金と年金が高すぎます。(30代・男性)

## ○ 日本語学習に関する主な意見

### 【中国】

- 日本語教室の回数や時間をもっと増やしてほしい。(20代・男性)
- 外国人にとって日本語の勉強はとても重要だと思いますが、周りに日本語教室や、日本語を勉強するところなどがあまりなく、少し不便だと思います。できれば日本語教室を増やしたほうが良いと思います。(20代・女性)
- 日本語学校に通っている方も日本語教室に参加できれば良いと思います。(20代・女性)

### 【韓国・朝鮮】

- 無料または安価な日本語のレッスンを提供してほしい。(70代以上・女性)

### 【フィリピン】

- 日本語レッスンをもっと増やし、仕事をしている人がもっと利用しやすくしてほしいです。(40代・男性)

### 【アメリカ合衆国】

- 新たな住民に対して、日本や日本語について教育する機会を増やす。(40代・男性)

## ○ 多言語対応に関する主な意見

### 【中国】

- 中国語を話せる日本人がもっと増えて、私たちが生活で困ったときに助けてくれることを願っています。(30代・女性)
- 区役所等に手続き等で行く時に通訳がおらず、日本に来て間もない頃は知り合いに同行を依頼していました。毎回お願い出来るわけではないため、区役所の中に通訳の方がいると助かりますし、安心して手続きに行けると思います。(30代・女性)
- 医療通訳を提供してほしい。普段、自分だけでは病気を診てもらえない。(50代・男性)

### 【フィリピン】

- さまざまなサービスで通訳を提供してください。(40代・男性)
- 北区からの書類（特に入院、税、保険について）がもっと翻訳してあると助かります。(40代・女性)

### 【台湾】

- 台湾は中国ではない事を区職員に周知してほしいです。簡体字は繁体字ユーザーにとって分かりにくいです。(40代・女性)

### 【ポーランド】

- 怪我や病気で仕事の継続が困難になった場合に利用できる解決策など、医療サービスに関する情報とサポートを多言語で提供してください。また市町村のウェブサイトなどに、さまざまな医療機関のリストが掲載されていることは知っていますが、全体として、個人経営の小さな診療所が多数存在する日本のシステムは非常にわかりにくく、現在の情報では十分とは思えない。(30代)

### 【英国】

- 区役所に日本語以外の用紙があれば便利です。(30代・女性)

## ○ 子育て・学校教育に関する主な意見

### 【中国】

- 外国人区民に限ったことではないですが、保育園や幼い子どもの子育ての支援を増やして欲しいです。各園の0才クラスの定員が比較的少なく、子どもが満1才になっても高月齢で0才クラスに入れず、仕事に戻れません。(30代・女性)
- わが子が小学1年生で、日本語が上手でないために学校での生活や学習において、先生とのコミュニケーションを取ることが難しくとても不安を感じる。区立学校で面談を行う際に通訳を手配してもらえると非常に助かる。(40代・女性)

### 【韓国・朝鮮】

- 待機児童をなくすこと。なくさないと第二子を作ろうと思わない。(70代以上・男性)

### 【ミャンマー】

- 小学生のランドセルの慣習をなくして欲しい。学校からの案内では任意となっているが、実際はほとんどの子どもがランドセルを使用しており、周りと違うと本人の精神的な負担やイジメの原因にもなりそう。また、宿題のない教育に変わって欲しい。共働きだと習い事など、平日にできない事も多く、子供とゆっくり暮らす時間がとれない。子供も忙しく、親も忙しくて余裕がない生活では、何の為に仕事しているのかが分からなくなる。大人もほとんどの人は仕事を職場で終わらせ、子供も学校のことは学校で終わらせて、週末はみんな自由に好きな事をしたり、友達と会って遊んだり、旅行したり家族の時間が生まれる生活にしたい。(30代・女性)

### 【ネパール】

- 子供を育てるのはとても大変なので、保育園などを無料にしてほしい。(20代・男性)
- 子供に英語を教えたいです。学校で英語も学べたらいいと思います。(30代・女性)

## ○ 情報発信に関する主な意見

### 【中国】

- 北区ニュース以外にも、ライン公式アカウントからほかの情報(防災、イベント)をいただければと思います。(30代・女性)
- 赤羽公園の近くに住んでいますが、公園や赤羽会館でやるイベントはわざわざ行かないと情報がもらえませんでした。近所との関わりが少ない中、情報が入ってこないのでもいつも困っています。特に子供向けのイベントは学校を通じた情報発信など、情報伝達手段の拡充など、ご検討よろしく願います。(30代・女性)
- せっかくいろんなイベントを開催しているので、何かお知らせがほしいです。1年住んでいますが、どこでどのようなイベントがあるかが分かりません。(20代・男性)
- 北区でどんなイベントがあるかについて、どこで情報が提供されているのか、入手先が知りたい。(30代・女性)
- ゴミ分類のルールをもっと分かりやすくお知らせしてほしいです。(40代・女性)

### 【韓国・朝鮮】

- 外国人のためにどんなサービスを提供しているのか教えてください。(20代・女性)
- 日本人や他の外国人と交流する機会について、あまり知られていないのが残念です。そのような情報を郵便物などで教えていただければ、地域社会に参加する機会として参考にできると思います。(20代・女性)

### 【台湾】

- 私は外国人なので、日本人とは習慣や生活ルールが異なります。できるだけ日本人に迷惑をかけたくはありませんが、最初は日本人の習慣やルールなどのことが分かりません。例えば、道に歩いている時に、どちら側に寄ればいいのか。ゴミはどう分ければいいのか。このようなことが分からないので、よく日本人に迷惑をかけているかもしれないと心配になります。なので、在留カードを取った人に最低限の日本生活ルールガイドを配るといいと思います。(30代・男性)

## ○ 差別に関する主な意見

### 【韓国・朝鮮】

- 差別は減ってきているように感じるが、息子の世代で差別を受けるようであれば、不安を感じるし、対処できるのか心配。区のサポートに期待したい。(40代・女性)
- 特別永住者であるにも関わらず、ビザが必要な外国人と同じくくりで外国人と呼び、口座を作る時や手続きの際に何かと書類を書かされる事が多々あります。住宅を借りる時や、契約事でも何かと差別があります。それでも税金や保険料などは同じ条件で払っていることに不満を感じます。(40代・女性)

### 【ミャンマー】

- お店での接客サービスの際に、外国人だから日本人のように接客サービスは慎重にしないでいい、などと従業員の外国人に対する態度が悪い、という話を外国人の知り合いからよく聞きます。(20代・女性)
- 北区の賃貸マンション(田端)を借りるとき、外国人には貸しません、と断られることが多いです。外国人でもちゃんと家賃を払って住んでいるので、たくさんの候補の中から住む家を選びたいです。最近子供が大きくなり引越しをしたいのですが、外国人だからと断られることが多いです。それがないと住みやすい街になって、とても良いと思います。(40代・男性)

### 【タイ】

- 病院、クリニック、託児所、またはいずれの地域サービスにおいても、外国人を同様に理解し、敬意を持ってください。一部のサービスは外国人に失礼で人種差別的で、日本人と同じく、税金を払っていますので、サービスは公正である必要があります。(30代・女性)

## ○ 仕事に関する主な意見

### 【中国】

- 起業やスタートアップ企業に対する支援、どうすれば北区に対するビジネス投資を増やせるのかについて考えたほうが良いのではないかと思います。ビジネスが良くなれば、若者と外国人が自然に増え、協力し合う環境もより良くなると思います。(30代・男性)
- 就労支援の情報がわからない。就労支援があればうれしい。(20代・男性)

### 【ベトナム】

- 外国人が日本の生活に容易に溶け込んで働き、貢献できるよう支援してください。(20代・男性)

### 【バングラデシュ】

- 私は主婦なので、外で働きません。在宅の仕事が得られればとても助かります。(30代・女性)

### 【台湾】

- 来年から日本で働きたいのですが、どうすればいいか分からなくて支援してほしいです。(30代・女性)

## ○ 行政サービスに関する主な意見

### 【中国】

- 一度だけ区役所で不愉快な思いをしたことがあり、職員に対する教育をちゃんとして欲しいと思います。(50代・女性)

### 【韓国・朝鮮】

- 3月など、外国人の引越しが多い時に窓口の人が少なく、待つ時間がとても長かった。忙しいシーズンには働く人を増やしてほしい。(20代・女性)
- 円滑な行政サービスをするために、担当者は担当業務の知識を熟知してほしい。以前全く同じ事に対して、出張所ではできないと言われたので、案内郵便物に記載されていた電話番号に問い合わせをしたら、本庁でも出張所でもできる業務で、結局本庁に行って処理してもらった経験もあります。(50代・男性)

## ○ その他の意見

### 【中国】

- 日本少子化解決のため、若者の結婚こそが重要だと思います。無料で結婚相手を照会する活動など、ネットでもいいし、やってほしいと思います。(50代・男性)
- 日本に自転車を買う外国の方に、日本の交通ルール（自転車）を簡単に説明してほしいです。ほとんどの日本の方が中学生の時に自転車の交通ルールを習っているので、北区の交通安全のためにも、外国の方に自転車の交通ルールを教えたほうが良いと思います。よろしくお願いします。(20代・女性)
- 長期間北区に住んでいる外国人に選挙権を与えてほしい。(60代・男性)
- 法律相談室に弁護士を紹介してほしいです。(70代以上)

### 【韓国・朝鮮】

- 日本に長く住んでおり、日本語も母国語も分かる人達が、日本語がよくわからない人達を助ける場や機会があったら、良いと思います。(50代・女性)

### 【バングラデシュ】

- 北区にイスラム教のモスクを建ててほしいと思います。(30代・男性)
- 赤羽エリアで外国人が住宅を探すのは非常に困難です。(30代・男性)

## 【資料】北区民意識・意向調査との比較

今回の「北区外国人意識・意向調査」と、令和3年6月に北区在住の満18歳以上の区民（外国人区民を含む）を対象に実施した「北区民意識・意向調査」について、類似する設問の比較を行った。

### 1 多文化共生社会について

外国人 意識・意 向調査 R5.11	Q28	北区で地域の人と生活していくためにあなたは何かができますか。
	結果	「あいさつなど声をかけ合う」が57.1%と最も高く、「日本語を勉強する」(35.6%)、「地域の人との交流イベントに参加する」(33.4%)と続いている。
北 区 民 意識・意 向調査 R3.6	問 24	外国人区民と日本人区民がお互いを尊重しながら共存していくため、重要な取組みは何だと思いますか。
	結果	「日本人区民と外国人区民のコミュニケーション機会の拡大」が31.6%と最も高く、「外国人区民が日本語や日本文化を学ぶ機会の充実(26.2%)」、「日本人区民が異文化や生活習慣の違いを理解する機会の充実(23.4%)」と続いている。

質問及び選択肢が異なるため厳密には比較できないものの、多文化共生を進めるために重要なこととしては、外国人区民、日本人区民ともに「コミュニケーション機会の創出」が1位、「日本語の学習」が2位になっている。

### 2 差別について

外国人 意識・意 向調査 R5.11	Q29	あなたが日本人にしてほしいことは何ですか。
	結果	「差別をなくしてほしい」の割合が40.5%と最も高く、「あいさつをしてほしい、声をかけてほしい」(28.8%)、「やさしい日本語で話してほしい」(28.1%)と続いている。
北 区 民 意識・意 向調査 R3.6	問 23	あなたは、差別や偏見が身近にあると感じますか。
	結果	「感じたことはない」の割合が51.2%と最も高い。一方で、身近に感じたことのある差別や偏見としては、「国籍に関すること」の回答割合が27.4%で最も高くなっている。

同様の設問がないため参考であるが、日本人区民が最も感じたことのある差別は「国籍に関すること」であり、外国人区民からも「差別をなくしてほしい」が最も求められている。



## 【資料】 調査票

(省略)

**北区外国人意識・意向調査 報告書【令和5年度】**

令和6（2024）年3月発行

刊行物登録番号

5-1-135

発行 北区 総務部 総務課

〒114-8508 東京都北区王子本町一丁目15番22号

電話 (03) 3908-9308

調査分析 株式会社サーベイリサーチセンター

〒116-8581 東京都荒川区西日暮里二丁目40番10号

電話 (03) 3802-6711